令和三年度

主要な施策の成果に関する報告書

都

府

京

令和3年度

主要な施策の成果に関する報告書

京都府

令和3年原	度一般?	会計、特別会計歳入歳出決算総括表 1頁		土	木	費	219頁
一 般 纪	会 計			警	察	費	263頁
総矛	務	費3頁		教	育	費	275頁
民生	生	費61萬		災害	復旧	費	311頁
衛 生	生	費 83頁	特	5 別	会 計	t	
労 値	動 3	費109頁		京都府	于営林事	\$ 業	313頁
農林水	(産業質	費129頁		京都府	港湾事	\$ 業	314頁
商	I f	費177頁					

令 和 3 年 度 ^{一 般 会 計} 歳 入 歳 出 決 算 総 括 表

	E //				歳入歳出	左	の 内	訳
会	計名	予 算 現 額 (A)	歳入決算額 (B)	歳 出 決 算 額 (C)	差 引 額 (B-C)(D)	予算現額と歳入 決算額との比較 (B-A)(E)	翌年度繰越額 (F)	決算額との比較 不 用 額 (A-C-F)(G)
-	般 会 計	円 1,471,963,259,580	円 1, 356, 660, 848, 392	月 1, 342, 848, 083, 381	円 13, 812, 765, 011	円 115, 302, 411, 188	円 92, 249, 273, 492	円 36, 865, 902, 707
	営 林 事 業	273, 547, 100	252, 941, 727	251, 488, 978	1, 452, 749	20, 605, 373	21, 050, 000	1, 008, 122
	母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付事業	562, 561, 000	576, 010, 918	355, 341, 018	220, 669, 900	13, 449, 918	0	207, 219, 982
特	農業改良資金助成事業等	180, 435, 000	413, 785, 203	110, 140, 054	303, 645, 149	233, 350, 203	0	70, 294, 946
	中小企業経営基盤強化資金助成事業	264, 629, 000	295, 987, 479	263, 672, 219	32, 315, 260	31, 358, 479	0	956, 781
別	収 益 事 業	28, 691, 860, 000	28, 708, 851, 351	26, 565, 854, 948	2, 142, 996, 403	16, 991, 351	0	2, 126, 005, 052
	地域開発事業	85, 560, 000	122, 479, 628	84, 468, 276	38, 011, 352	36, 919, 628	0	1, 091, 724
会	公共用地先行取得事業	3, 183, 082, 000	3, 183, 084, 328	3, 183, 079, 944	4, 384	2, 328	0	2, 056
	港湾事業	1, 933, 757, 000	1, 148, 053, 836	1, 128, 053, 836	20, 000, 000	785, 703, 164	800, 000, 000	5, 703, 164
計	公 債 費	324, 315, 871, 000	324, 315, 497, 233	324, 315, 497, 233	0	373, 767	0	373, 767
	国民健康保険事業	236, 000, 097, 000	236, 766, 447, 630	232, 916, 903, 981	3, 849, 543, 649	766, 350, 630	0	3, 083, 193, 019
	小計	595, 491, 399, 100	595, 783, 139, 333	589, 174, 500, 487	6, 608, 638, 846	291, 740, 233	821, 050, 000	5, 495, 848, 613
	計	2, 067, 454, 658, 680	1, 952, 443, 987, 725	1, 932, 022, 583, 868	20, 421, 403, 857	△ 115, 010, 670, 955	93, 070, 323, 492	42, 361, 751, 320

一般 会 計

科目	予算現額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
1 総務管理費	P	円		
1 一般管理費 (P74)	1 '	280, 701, 410 (5, 417, 478, 404) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 32, 739, 610 財産収入 5, 000, 000 寄附金 100, 807, 790 一般財源 142, 154, 010	(国際課)	1 施策の趣旨等 府とカナダ・ケベック州との友好提携5周年を記念して、交流協議や両地域の強みである 映画産業分野での新たな交流の創出を図る。 2 施策の実施状況 (1) ケベック州政府在日事務所との交流協議 開催日 令和4年3月18日 協議内容 文化交流、青少年交流、コンテンツ産業、スマートシティ、モデルフォレスト分野における今後の交流 (2) 映画産業分野での交流 ア 京都府ケベック州友好記念映画上映会の相互実施開催地域 開催日 参加者数京都府 令和4年1月22日、2月26日 323人ケベック州 令和4年3月19日 約300 イ 若手映画制作者向けワークショップの実施開催日 令和4年1月30日参加者数 54人
				3 執 行 額 1,187,626円 (うち委託料 696,880円)
			留学生総合支援事業 (国際課) (人材確保推進室)	1 施策の趣旨等 海外から留学生を積極的に受け入れ、彼等の知識や経験を地域の国際化・活性化に活かす ため、オール京都で留学生を誘致・支援する。
				指標 目標 実績 府内の留学生数 12,000人 11,075人 留学生の就職内定者数 400 404
				2 施策の実施状況 (1) 留学生スタディ京都ネットワーク事業 ア 京都留学に関する総合ポータルサイトの運営 学校情報や生活情報等、京都地域の留学に関する情報を一元化した総合的なポータル

円 サイト「STUDY KYOTO」を運営した。 対応言語 7 言語(英語、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語、タイ語、ナム語、日本語) アクセス件数 136,443件 イ 留学コーディネータの配置 京都留学に関するとは、明白は、の対応は関するとは、	科目
京都留学に関する相談・問合せへの対応や関係機関とのコーディネートを実施し ウ 海外向付日本留学フェアへのオンラインプースの出展 閉係機関と連携し、現地の学生、教育機関及び留学関連事業者等への京都留学情 発信等を行った。 参加国(地域)数 13箇国(地域) エ 留学生向付有給・無給インターンシップの実施 派遣学生のための任宅情報サイトの運営 カ 京都ジョブバークでの留学生の就職支援 留学生向付対職・生活相談件数 1,829件 就職活動セニナー 開催回数 53回 参加留学生数 544人 企業交流会	

多文化共生推進事業 (国際課)	1 施策の趣旨等 外国人住民に対する生活支援の充実を図り、多文化共生を推進する。 指標: 府内日本語教室の数 目標: 30教室 実績: 30教室 2 施策の実施状況 (1) 京都府外国人住民総合相談窓口の運営 ア 外国人住民に対する生活情報の提供・相談を行う「京都府外国人住民総合相談窓口」を運営 対応言語 23言語 相談件数 1, 292件 イ 外国人住民が増加している市町村を中心に出張相談を実施 実施回数 9回 (2) 府内における日本語教育の総合的な体制づくり 「地域における日本語教育の総合的な体制づくり 「地域における日本語教育推進ブラン」に基づき、地域における日本語教育の取組を総合的に推進した。 ア 日本語教室空白地域における新たな教室の開設支援 新たな日本語教室を開設するために、学習支援者の養成講座を開催した。 開催地域 京丹波町 学習支援者養成数 16人 イ 初期日本語教育の区域的な展開のための研修機会の提供 日本語を初めて学ぶ外国人住民の学習機会を確保するため、日本語教室の学習支援者が初期日本語教育を学ぶ場を対面形式とオンライン形式のハイブリットで設けた。参加者数 35人 ウ 市町村、地域日本語教室及び企業等が参加する意見交換会の実施 (3)「やさしい日本語」活用・普及促進事業 外国人住民とのコミュニケーション手段として有効な「やさしい日本語」の行政機関での活用と府民への普及を促進した。 ア 市町村向けオンライン情報交換会 開催回数 4回 参加者数 21人 イ 府民向け講習会(オンライン含む) 開催回数 7回 参加者数 92人 (4) 多言語対応推進事業 外国人住民に対する円滑な窓口対応を推進するため、府庁舎に多言語のオンライン通訳サービスや通訳機器を導入した。 配備台数 8台

科目	予 算 現 額 決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	P) P	新型コロナウイルス感 染症対策応援基金積立 金 (総務調整課)	1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症が発生し、府民生活に多大な影響が生じている状況に鑑み、府 民、事業者等から広く募った寄附金等を新型コロナウイルス感染症対策に活用するため、京 都府新型コロナウイルス感染症対策応援基金に積立てを行う。
			2 施策の実施状況 京都府新型コロナウイルス感染症対策応援基金への積立てを行った。 令和2年度末現在高 93,962,276円 (出納整理期間中に、5,286,425円を積立て) 執行額(積立金) (一般会計への繰出額 200,000,000) 令和3年度末現在高 46,491 出納整理期間中に、10,000円を積立て
			3 執 行 額 100,807,790円 (積立金)
		きょうと地域創生活動 推進事業 (地域政策室)	1 施策の趣旨等 「きょうと地域創生府民会議」が地域創生を盛り上げるために実施する「府民交流フェスタ」 の開催支援や「協賛事業」等により、地域創生の機運醸成及び地域力のさらなる推進を図る。
			指標:府民交流フェスタ参加団体数及び参加者数 参加団体数 参加者数 目標:50団体以上 13,000人 実績:69団体 27,560
			2 施策の実施状況 (1) 「府民交流フェスタ」の開催 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、令和3年度は、感染防止対策を徹底した上で、府立植物園でのリアル開催とオンライン開催のハイブリッド形式で実施アリアル開催開催日 令和3年11月3日場所府立植物園参加者数 13,961人イオンライン開催開催開催期間 令和3年10月7日~令和4年3月20日(165日間)参加者(実閲覧者)数 13,599人

	(2) きょうと地域創生府民会議協賛事業
	府民会議構成団体が実施する地域創生に関するイベントに対する支援 24団体
	 3 執 行 額
	(補助金)
	(1132-73-2022)
人権啓発費	1 施策の趣旨等
(人権啓発推進室)	一人ひとりの尊厳と人権が尊重され、だれもが自分らしく生きることのできる共生の京都
	府社会の実現を図るため、様々な人権課題に関する啓発・相談等を実施する。
	2 施策の実施状況
	(1) 啓発・相談
	ア 新聞、テレビ、ラジオ、ホームページなど様々な媒体を通じた啓発・広報
	(ア) 憲法週間(5月) 人権強調月間(8月)及び人権週間(12月)に新聞意見広告や、
	学識経験者の解説記事を掲載した。
	(4) 民間テレビ放送において、スポットCMを放映した。 放映期間 令和4年3月1日~3月30日
	放映期间 受和4年3月1日~3月30日 放映回数 23回
	イ 人権啓発イベントの開催
	(ア) 京都ヒューマンフェスタ 2021
	トークショー、人権擁護啓発コンクール表彰式、人権啓発イメージソング等のス
	テージ発表を行うとともに、特設サイトでオンデマンド配信を実施した。
	会場で記されています。
	開催日 令和3年11月13日
	参加者数 565人
	< インターネット上の特設サイト > 掲載期間 令和 3 年11月13日 ~ 令和 4 年 3 月31日
	問覧者数 8,626人
	(イ) 人権フォーラム2021
	「コロナ禍における子どもたちへの支援」をテーマにパネルディスカッション等を実
	施し、ラジオで公開生放送を行った。
	会 場 KBSホール
	開催日 令和3年6月25日
	参加者数 約300人
	ウ 新型コロナウイルス感染症に関する誹謗中傷など、SNS等インターネットモニタリン
	グの実施
	インターネット上の人権侵害に係る効率的なモニタリング手法について研究・試行するとともに、研究成果を活用した人権啓発資料を作成した。
	ることもに、別九以木で石市した八惟古光具作で下以した。

科目	予 算 現 額 決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	P P		エ 人権問題法律相談(京都府リーガルレスキュー隊の設置) 京都弁護士会と連携し、人権に関する法律相談を実施した。 相談件数 39件 (2) 市町村支援等 ア 人権啓発指導者養成研修会の実施 市町村で人権啓発等を企画・実施する指導的人材を養成するための研修を対面及びリモートで実施した。 実施日 令和3年7月28日、令和3年11月1日~令和4年1月14日参加者数 149人 イ 市町村が実施する人権啓発事業に対する助成 市町村が実施する人権問題に関する講演会及び研修会等の啓発事業や啓発資料の作成に対する助成等を実施した。 補助件数 26件 補助金額 17,372,000円 3 執 行 額 114,002,887円 (うち種財) (うち種財) 114,002,887円
		業 (安心・安全まち) では、 (できる) では、	1 施策の趣旨等様々な地域団体やボランティア団体等との協働による地域防犯活動を実施し、犯罪のないまちづくりを総合的に推進する。 指標:刑法犯認知件数 目標:15,000件以下 実績:10,483件 2 施策の実施状況 (1) ビューティフル・ウィンドウズ運動 小さな犯罪の芽を摘むことで、大きな犯罪を抑止することを目的とし、地域との協働により、花を植えるなどまち全体をきれいにすることで犯罪の起こりにくい環境づくりを行った。 期間令和3年5月14日~令和4年3月12日(全19回)場所府内市街地等協働団体NPO法人京都割れ窓理論実践委員会他延べ99団体、参加者延べ501人 (2) 地域安全マップづくり講習会子ども達自身が、どのような場所で犯罪が起こりやすいか理解し、犯罪被害を回避する能力を身に付けるための地域安全マップづくりの講習会を開催した。期間令和3年10月13日、11月25日場所福知山市立大江小学校、福知山市立成仁小学校

参加者 延べ169人 (3) 子ども・地域安全見守り隊支援 地域住民による自主的な防犯活動に必要な資機材の交付及びボランティア保険の加入に より子どもの安全確保と地域防犯力の向上を図った。 交付団体 地域の子ども見守り隊 138団体 (4) 府民防犯旬間啓発活動 犯罪のない安心・安全なまちづくりの機運を醸成するため、府内各地域で広報啓発活動 を実施することで、府民一人ひとりの防犯意識の向上と犯罪を発生させない環境づくりを 推進した。 期 間 令和3年7月1日~7月21日 場 所 商業施設、鉄道駅前等28箇所 参 加 者 約450人 3 執 行 額 10,793,066円 犯罪被害者等支援活動| 1 施策の趣旨等 推進事業 犯罪被害者等に対する支援の充実と社会全体で犯罪被害者等をサポートする環境づくりを (安心・安全まち) づくり推進課) 図る。 指標:犯罪被害者等からの相談件数 目標:1,000件以上 実績:1,014件 2 施策の実施状況 京都府犯罪被害者サポートチームを運用するとともに、公益社団法人京都犯罪被害者支援 センター及び同ほくぶ相談室が実施する相談・被害者支援事業を支援することで、社会全体 で犯罪被害者等をサポートする環境づくりを促進した。 (1) 総合的な被害者支援のための犯罪被害者サポートチームの運用 犯罪被害者支援コーディネーターの配置 3人 相談件数 19件 (2) 公益社団法人京都犯罪被害者支援センターへの助成 フリーダイヤルによる電話相談や臨床心理士によるカウンセリングに要する経費に対 し、助成した。 フリーダイヤル相談件数 356件(うちほくぶ相談室29件) カウンセリング件数 124 (3) 中高生を対象とした「いのちを考える教室」の開催 期間 令和3年11月15日~12月15日(全3回) 場所 京都聖カタリナ高等学校他2校 3 執 行 額 3,392,580円 (うち補助金 2,850,000円)

科	目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
2 人事 (P7		4, 771, 000 (4, 644, 320, 923	円 4,579,766 (2,788,657,700) 決算額の財源 内訳 一般財源 4,579,766	職員総務課 課 対	1 施策の趣旨等 現場主義を徹底し、前例にとらわれず、民間団体等と連携して、先進性のある施策提案を 行うとともに、果敢にチャレンジする職員の育成を実施する。 指標実績 提案・研究件数 6件 事業化比率 83.3% 2 施策の実施状況 職員が府政全般に関する課題について、市町村、大学、民間企業やNPO等と連携・協力し、 専門家の意見を踏まえた幅広い視点から、その解決策を研究、提案し、事業化に繋げた。 3 執 行 額 4,579,766円
6 会計 (P7		1, 000, 000 (129, 760, 000	1	(会計課)	1 施策の趣旨等 証紙制度の見直しを進め、府民の利便性の向上を図る。 2 施策の実施状況 証紙廃止に向けた第1歩として、証紙の代わりに金融機関で手数料を納付できるよう財務 会計システムを改修し、手数料の納付手続の簡便化を図った。 3 執 行 額 850,000円 (うち委託料 660,000円)
7 財産 (P7		5,549,672,000 (6,892,317,000 翌年度への繰越 事業費繰越額 2,830,793,068 新行政棟・文化 庁移転施設整備 費	(4,035,930,331) 決算額の財源 内訳	(府有資産活用課) (文化政策室)	1 施策の趣旨等 文化庁移転に向け、新行政棟建設及び旧京都府警察本部本館改修工事等を行う。 2 施策の実施状況 (1) 新行政棟・文化庁移転施設整備 新行政棟建設及び旧京都府警察本部本館改修工事、埋蔵文化財調査等を実施した。 (2) 仮移転先の賃借 教育庁仮移転先である京都産業大学むすびわざ館を賃借した。 2,624,423,932円

		旧本館保存活用推進事業 (府有資産活用課)	1 施策の趣旨等 府民に開かれた府庁のシンボルとして利活用を進めてきた府庁旧本館を府民の財産として 未来に引き継ぐため、保存と活用を推進するための整備を行う。 2 施策の実施状況 汚水配管設備を更新し、トイレの洋式化・多機能化を図った。 3 執 行 額 94,318,400円 (うち委託料 4,620,000円)
8 文化芸術費 (P78)	事業費繰越額 7,000,000 文化芸術施設整 備事業費	(文化芸術課)	1 施策の趣旨等 学校や地域の文化施設と連携した小中学生等への「質の高い芸術文化」や「地域文化」を 活かした文化体験機会の提供や全国トップレベルの高校生が京都に集い、日頃の成果を披露し合い、交流する「全国高校生伝統文化フェスティバル」等を実施する。 日標実績 児童生徒等が学校等で体験する文化活動事業数 80件 63件 2 施策の実施状況 (1) 文化を未来に伝える次世代育み事業 優れた専門講師を派遣し、質の高い、また各地域に根ざした文化芸術を、学校や地域で体験・体感できる機会を提供した。 小・中・高・特別支援学校等での芸術体験 53件 地域の文化会館等での地域文化承継事業 10 (2) 古典芸能普及促進事業 京都の歴史と伝統に育まれてきた古典芸能を継承し、技術を未来に引き継ぐため、古典芸能団体に助成を行った。 助成件数 22件 (3) 全国高校生伝統文化フェスティバル開催事業 次世代の文化活動の夢や希望、目標の場として、「全国高校生伝統文化フェスティバル」を文化庁と共同開催した。 場所 開催日 参加者数 京都コンサートホール他 令和3年12月11日、12日 868人 3 執 行 額 36,632,487円 (うち負担金 5,587,101)

科 目	予 算 現 額 決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円 円	こころを育む古典の日 推進事業 (文化芸術課)	1 施策の趣旨等 「古典の日」の法制化を踏まえ、古典に親しみ、次世代へとつないでいくための新たな一歩を踏み出すため、他府県と連携した全国展開活動や学校における古典教育の充実等を図る。 2 施策の実施状況 古典の日推進フォーラム及び古典の日朗読コンテストを開催し、府民が古典に親しむ機会づくりを進め、「古典の日」の普及・定着を図った。 (1) 「古典の日フォーラム2021」の開催 場所開催日参加者数京都劇場 令和3年11月1日 521人 (2) 第13回古典の日朗読コンテストの実施応募564作品 受賞9作品
			3 執 行 額 6,500,000円 (負担金)
		文化創造促進事業 (文化芸術課)	1 施策の趣旨等 京都文化を支える文化芸術団体の分野横断的連携を促進するとともに、各分野の芸術活動 を振興し、新たな京都文化の創造を図る。
			2 施策の実施状況 (1) 京都野外彫刻展 野外に相応しい彫刻作品を展示することにより、府民の彫刻に対する関心を高めるとと もに、京都彫刻界の振興を図った。 場所開催日 入場者数 府立植物園 令和3年12月4日~19日 23,839人 府立陶板名画の庭 " 3,416 (2) 京都現代写真作家展 京都で活動する写真作家の作品を公募し、優れた作品を展示公開することにより、写真芸術の振興を図った。
			場所開発を図りた。 場所開催日入場者数 京都文化博物館 令和3年12月15日~19日 2,276人 (3)舞台芸術振興・次世代体験 優れた舞台芸術を体験する機会の提供や、多様な舞台芸術公演の実施を通じて府民が舞台芸術に親しむ環境を創出し、舞台芸術の活性化を図るため、府民ホールアルティ、府立文化芸術会館等での公演事業を実施した。 公演事業数 15件

	3 執 行 額 16,596,608円 (うち番託料 8,985,914円) (うち補助金 3,899,838)
地域文化活動振興事業 (文化芸術課)	1 施策の趣旨等 アーティスト・イン・レジテンスの府内各地展開や、市町村を含む実行委員会等や地域の 団体による文化事業に対する助成等、府内各地域における文化活動の振興と地域の活性化に 資する取組を実施する。
	2 施策の実施状況 (1) 京都: Re-Search芸術祭創生事業 地域アートマネージャーを配置し、市町村と協働して、地域の文化資源を発掘し、文化 による地域の活性化を図るアーティスト・イン・レジデンス事業「京都: Re-Search」等を 実施した。 ア 地域アートマネージャーの配置 配置箇所 山城広域振興局、南丹広域振興局、中丹広域振興局、丹後広域振興局 イ 京都: Re-Search等の実施 八幡市、京丹後市、南丹市、与謝野町(令和3年10月1日~11月7日) (2) 新・文化芸術振興助成事業 市町村における地域文化資源を活用した文化芸術活動を発展させるとともに、東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大会等に向けた新たな文化の創造の取組を推進するため、府内市町村やNPO等の地域団体等が取り組む文化活動に対し助成を行った。 文化芸術振興・発信事業 16件 文化力チャレンジ事業 30
	3 執 行 額 58,399,202円 (うち負担金 14,000,000円) 補助金 17,634,324
日本博府域展開アート プロジェクト事業 (文化芸術課)	1 施 策 の 趣 旨 等 文化庁が推進する「日本博」事業として、地域の文化に触れる新たな機会を創出すること により、観光誘客の促進、地域経済の活性化を図るためのアートプロジェクトを実施する。
	 2 施策の実施状況 (1) 宮津エリア ア 天橋立砂浜ライトアップ 天橋立の砂浜において光と音による演出を実施 場 所 開催日 参加者数 天橋立公園 令和3年7月10日~10月10日 9,391人

科 目	予	,算	現	額	決	算	額	主	要	な	施	策				施	策	の	実	斺	Ð	状	況	٢	成	果	等		
				円			円							1	メディ	ママ-	- F E	₹ 											
															神社の				たデシ	ブタ 」	レア-	- 卜作	品の	展示を	宇宙施				
																所	<i></i>	1,5 0			• •		崖日		- / (110		山者 数		
															天橋立	公園			4	>和 3	3年1	0月15	日~	11月7	7 日	5,	531ノ		
															元伊勢				4	7和3	3年9	月24	日~	11月7	7 日	3,	204		
															スペシ														
															丹後鄉		斗館 と	:連携	したメ	近型プ	き形化					<i>(</i>) 1	11	,	
															場の後に	所	*		^	\ T	. /- (11日		7 🗖		加者 数		
													(1)		丹後国 知山エ		小		7	रेंक्याः	4	9月24	- H ~	11月	7 日	6,	924)		
													\ \		知山工 知山城		コミジュ	- クシ	ョンマ	フット	ク ヘッチ	ブで油	144						
														TΗ		所		- / /	コノ 、				世 田			参†	1111	4	
															福知山		白耆丸	し公園	4	>和 3	8年1				7日				
													3	執	行	額										6	,	0,000円 担金)	
								京都	作家	マー	ケッ	ト開	1	施策	この 趣	旨等													
								拓支	援事	業	ケッ 特課)			国際		一ト原								京都0	D作家	とのっ	マッチ	「 ングなど、	作》
								拓支	援事	業			σ.	国際	的なア	ート居って								京都0	D作家	との、	マッチ	- ングなど、	作
								拓支	援事	業			σ. 2	国 ス 施 文 化	的なア ップア の実施 を活か	ート展 ップに 状況 した新	またな	がるマ	ーケッ	ノトを P産業	を開拓	石する 二連携	。	新たな	な文化	マーク	ケット	- の創出のた	こめ、
								拓支	援事	業			σ. 2	国ス 施文際 策化的	的なア ップア の実施 を活か 」なアー	ート居 ップに 状況 ・トフ:	こ繋 <i>た</i> 新たな	がるマ	ーケッ 創出や Collab	トを を産業 orati	を開拓 を開拓 e on K	石する と連携 yoto」	。 した や作	新たな	は文化 らが則	マー! 仮売等	ケット を行	〜の創出のた う見本市「	こめ、 AR
								拓支	援事	業			σ. 2 Ξ	国際テ 施文際 国際 STS T	的なア ップア の実施 を活か 」なアー	ート居 ップに 状況 ・トフ:	こ繋 <i>た</i> 新たな	がるマ	ーケッ 創出や Collab	トを を産業 orati	を開拓 を開拓 e on K	石する と連携 yoto」	。 した や作	新たな	は文化 らが則	マー! 仮売等	ケット を行	- の創出のた	±め、 AR′
								拓支	援事	業			σ. 2 IS	国ス 施文際TS TS た。	的プラック 実施 で で で PAIR K	ート展 ップに 状況 ・したま ・トフ: YOTO	に繋 <i>た</i> 新たな ェア 2022	がるマ 企業 「Art と」、若	ーケッ 創出や Collab 手作り	トを を産業 orati	を開拓 を開拓 e on K	石する と連携 yoto」	。 した や作	新たな	は文化 らが則	マー! 仮売等	ケット を行	〜の創出のた う見本市「	±め、 AR′
								拓支	援事	業			σ. 2 IS	国ス 施文際TS STS TS Ar	的なアップア で の実施 を活か Jなアー FAIR K	ート展 ップに 状況 したま トフ: YOTO	に繋 <i>た</i> 新たな ェア 2022	がるマ 企業 「Art と」、若	ーケッ 創出や Collab 手作り	トを を産業 orati	を開拓 を開拓 e on K	石する ニ連携 yoto」 展覧る	。 した や作 会「K	新たた 『家自 『yoto <i>』</i>	は文化 らが則	マー! 仮売等	ケット を行 orrow	〜の創出の <i>た</i> う見本市「 2022」等を	こめ、 AR´
								拓支	援事	業			σ. 2 IS	国ス 施文際TS STS Ar	的なアア の実施 を活か PAIR K ct Colla 場	ート展 ップに 状況・したま ・トフ: YOTO boratio	に繋が 新たな エア 2022 on Ky	で な産業 「Art で な、若	ーケッ 創出や Collab 手作? 開催	ットを orati 家の	を開技 を界と on K 選抜	石する ニ連携 yoto 」 展覧を	。 した や作 会「K	新たな 家自 yoto A	は文化 らが則 Art for	マーク 反売等 Tome	ケット を行 orrow <i>)</i>	- の創出のだ う見本市「 2022」等を 、場者数	こめ、 AR
								拓支	援事	業			2 IS U	国ス 施文際TS STS Ar 国	的なアップア で の実施 を活か Jなアー FAIR K	ート用 ッ ポレトフ YOTO boratio 馬際	に繋が 新たな エア 2022 on Ky	でotoの	ーケッ 創出や Collab 手作! 開催	ットを P産業 orati 家の	を開拓 作界と on K 選抜	石する ニ連携 yoto 」 展覧を	。 した や作 会「K	新たな 家自 yoto A	は文化 らが則	マーク 反売等 Tome	ケット を行 orrow <i>)</i>	〜の創出の <i>た</i> う見本市「 2022」等を	±め、 AR′
								拓支	援事	業			2 IS U	国ス 施文際TS Man Ar	的ップ での で で で で で で で で で で で で で	ートだ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	に繋が 新たな ア 2022 on Ky 会館化	でotoの	ーケッ 創出や Collab 手作! 開催	ットを P産業 orati 家の	を開拓 作界と on K 選抜	でする に連携 (yoto) 展覧で 3 年11	。 した や作 会「K	新たた 家自 yoto A 崔 日 日~1	は文化 らが則 Art for	マーク 反売等 Tome	ケット を行 orrow ノ 1	- の創出のだ う見本市「 2022」等を 、場者数	±め、 AR′
								拓支	援事	業			2 2 IS U	国ス 施文際TS た AT 国AT 京	的ップ 実活アーK でをなアーK FAIR Colla RTISTS 化 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ーッ 状しトソO boratio FAIR PAIR PAIR Main Ma Main Main Main Main Main Main Main Main Main Main M	こ繋が 新たた 2022 on Ky 会館代 R KY(でを な産業 「Art で Art で Cotoの DOTO 2	ーケッ 創出や Collab 手作り 開催	ルトを orati 家の 開催	を開放 等の を の を の を の を の を の を の る の る の る の る	石する ・連携 yoto 」 展覧会 4年3	。 した 所 所 所 所 り に り り り り り り り り り り り り り り	新たな 家自 yoto A 当日~1 日~1	な文化 らが則 Art for 1月7	マーク 反売等 Tomo	ケット errow り 1	〜の創出のだ う見本市「 2022」等を 、場者数 3,910人	こめ、 AR´
								拓支	援事	業			2 2 IS U	国ス 施文際TS STS STS STS STS STS STS STS STS STS	的ップ で で で で で で で で で で で に は 場 で に は 場 で に は に に は に に に に に に に に に に に に に	ートプ 状しトYOTO boratio FAIR 第 FAIR ま for T	こ繋が 新たた 2022 on Ky 会館代 R KY(でを業 「Art でを でを ででを でもの でも	ーケッ 創出や Collab 手作り 開催	ルトを orati 家の 開催	を開放 等の を の 変数 和 の 和	石する ニ連携 yoto」 展覧を 3 年11 4 年3 新鋭	。 した 作 ド 開 月 開 月 振 5 に 8 5 月 8 5 月 8 7 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	新たな 家自 Yyoto A 当日 日 ~ 1 目 ~ 0	な文化 らが則 Art for 1月7	マーク 反売等 Tomo	ケット を行 orrow り 1	〜の創出のた う見本市「 2022」等を 、場者数 3,910人 、場者数 9,706人	こめ、 AR´
								拓支	援事	業			2 2 IS U	国ス 施文際TS D AT B S D D D D D D D D D D D D D D D D D D	的ップ 実活アイ K Colla RTISTS 化 yoto Ar wyoto Ar	ーッ 状しトYOTO boratio S 所博 for T M た T M た T M た T M で	こ繋がたたア 2022 on Ky eft (他 omor	でを業 「Art でを でを ででを でもの でも	ーケッ 創出や Collab 手作り 開催	アトを oration の の で が の で の で の で の に 。 に に 。	を開封 く	石する ・連携 yoto 」 展覧会 3 年11 4 年3 新鋭	。 しゃ 開月 開月選開 5 展 6 月 6 月 6 月 6 月 6 月 6 月 6 月 6 月 6 月 6	新たた Syoto A 当日 当日 の 日 1	は文化 らが則 Art for 1月7 3月催	マーク 販売等 Tome	ケット を行 り 1	〜の創出のだ う見本市「 ・2022」等を は場者数 3,910人 と り,706人 は場者数	±め、 AR′
								拓支	援事	業			7. 2 IS U (1	国ス 施文際TS た Ar 国AF 京 Ky 京	的ッ のでは では では では では では は では は に に は に に に に に に に に に に に に に	ーッ 状しトYO bornation FAIR 物T M たフO B FAIR 物T M で 物 T M で か で か で か で か の T M で か で か で か で か で か で か で か で か で か で	こ繋がたた エア 2022 On Ky 会館化 でmon	で で で を と い 若 で で の の を の で で の の で で の の で で の の の の の の の の の の の の の	ーケッ 創出や Collab 手作 開催 022の	アトを oration の の で が の で の で の で の に 。 に に 。	を開封 く	石する ・連携 yoto 」 展覧会 3 年11 4 年3 新鋭	。 しゃ 開月 開月選開 5 展 6 月 6 月 6 月 6 月 6 月 6 月 6 月 6 月 6 月 6	新たた Syoto A 当日 当日 の 日 1	な文化 らが則 Art for 1月7	マーク 販売等 Tome	ケット を行 り 1	〜の創出のた う見本市「 2022」等を 、場者数 3,910人 、場者数 9,706人	±め、 AR′
								拓支	援事	業			7. 2 IS U (1	国ス 施文際TS の の の の の の の の の の の の の	的ップ 実活アイ K Colla RTISTS 化 yoto Ar wyoto Ar	ーッ 状しトYO boff国 所博 f 所博トプ 況たフO tate 祭IR 物 T 物ラ	こ繋がたた エア 2022 On Ky 会館化 でmon	で で で を と い 若 で で の の を の で で の の で で の の で で の の の の の の の の の の の の の	ーケッ 創出や Collab 手作 開催 022の	アトを oration の の で が の で の で の で の に 。 に に 。	を開封 く	石する ・連携 yoto 」 3 年 11 4 新鋭 4 年 1	。 しゃ 開月 開月選開 5 展 6 月 6 月 6 月 6 月 6 月 6 月 6 月 6 月 6 月 6	新ま yoto A 当日 当日 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 3 日 2 日 3 日 2 日 3 日 3	は文化 らが則 Art for 1月7 3月催	マーク 販売等 Tome	アット を行 り 1 り 1	〜の創出のだ う見本市「 ・2022」等を は場者数 3,910人 と り,706人 は場者数	±め、 AR′

	3 執 行 額	192, 465, 970円 (うち委託料 16, 025, 000円) 負担金 175, 650, 000
文化財活用 (文化基	技術課) 文化財の価値や承継の大切さが広く地域の特色を生かした文化に親しむ取組を	或の人々に伝わるよう、社寺等の文化財において地 支援するなど、文化財に親しむ機会を増やすこと な化財の「保存」と「活用」の好循環を生み出す取
	2 施策の実施状況 社寺等の文化財を活用し、個性豊かな地 に親しむ取組を行う団体を支援した。 助成件数 9件	地域の文化資源の魅力を活かし、地域における文化
	3 執 行 額	3, 184, 000円 (補助金)
文化芸術施(文化スポー	設整備事業 1 施策の趣旨等 ・ツ施設課) 文化芸術振興の「拠点」としての機能及 備の充実・機能回復を実施する。	及び発信力を強化するため、緊急度の高い施設や設
	2 施策の実施状況 (1) 京都文化博物館 熱源設備等の更新、建物防水層の改修 (2) 府立ゼミナールハウス 総合ゼミナール室建具、1号ゼミナー (3) 府立植物園 観覧温室の空調、散水設備の改修工事 (4) 長岡京記念文化会館 音響設備の更新等	-ル室トイレの改修工事等
	3 執 行 額	177, 950, 398円 (うち委託料 17, 118, 948円) (する工事請負費 153, 961, 950)
文化芸術発	信強化事業 1 施策の趣旨等 文策室) 文化庁京都移転に向け、機運醸成を図る。	るとともに京都文化を広く発信する取組を実施す

科 目	予 算 現 額 決 算 額	主 要 な 施 策 施	策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	F)	等を実施した。 (1) 京都府伝統文 場 所 宇治市文化セ (2) CONNECT 場 所 グンゼ博物苑 (3) フランス共和 場 所 有斐斎弘道館	や文化力による京都の活性化を図る「京都府伝統文化体験フェスティバル に化体験フェスティバルの開催 開催日 参加者数 シター他 令和4年1月22日、2月6日 495人 _展 府域展開事業CONNECT-EXPANDの開催 開催日 参加者数 に他 令和3年12月1日~19日 11,092人 国国オクシタニ州との国際文化交流展覧会の開催 開催日 参加者数 、令和3年10月1日~15日 137人 公舎(旧富岡鉄斎邸)整備負担金
		事業 (文化政策室) 2 施策の実施状況 「文化観光サポーに、地域文化活性 (1)「文化観光サガー 海の京都エリー 森の京都エリー お茶の京都エリー お茶の京都下地域文	にの魅力を高め、文化観光の推進による地域文化振興を推進する。 リーター」の配置により、地域文化を支える保存会等を伴走支援するととも に化連絡協議会の創設による課題解決等を推進した。 ポーター」の配置 ア 1人 ア 2 リア 1 4 に化連絡協議会の創設 に化連絡協議会の創設 に化活性化連絡協議会を創設し、海の京都、森の京都及びお茶の京都地域ご は市町村、関係保存会等が課題解決等に向け、現状報告や意見交換を行った。

			WITHコロナ文化活動 支援事業 (文化芸術課)	1 施策の趣旨等 緊急事態宣言の発令等により、活動が困難となっている舞台芸術家等への支援を行う。 2 施策の実施状況 府内に拠点のある舞台芸術団体が府内で行う公演等に対し助成を行った。 助成件数 53件 3 執 行 額 19,709,000円 (補助金)
			文化団体等活動継続支 援事業 (文化芸術課)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた公演等を休止した団体等に対して、発表の場を提供することで活動継続を支援する。 2 施策の実施状況 府内の文化施設等を活用し、舞台芸術団体等に公演の機会を提供するとともに府民の文化体験の機会を創出した。 支援件数 65件
			文化・スポーツ施設新型コロナウイルス感染症対策事業(文化スポーツ施設課)	(委託料)
9 体育振興費 (P78)	190, 970, 000 (440, 546, 000)	· · ·	ワールドマスターズ ゲームズ2021関西開催 準備事業 (スポーツ振興課)	 施策の趣旨等 ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催に向けた準備等を実施する。 施策の実施状況 ワールドマスターズゲームズ2021関西開催負担金 広報活動

科目	予算現額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	E	寄附金 50,000,000 繰入金 12,519,458		府内開催競技におけるテストイベント等において、大会の広報活動を実施した。 3 執 行 額 10,412,181円 (うち負担金 10,249,000円)
		繰越金 58,816,851 一般財源 13,646,892	東京2020オリンピック	1 施策の趣旨等 府における「東京2020オリンピック聖火リレー」及び「東京2020パラリンピック聖火フェスティバル」を実施する。
				2 施策の実施状況 (1) 東京2020オリンピック聖火リレーの開催 場所開催日 府立京都スタジアム 令和3年5月25日~26日 (2) 東京2020パラリンピック聖火フェスティバルの開催場所開催日 時に日本館前(北側) 令和3年8月16日 (3) 聖火リレー開催に向けた準備経費の助成 交付先 13市3町
				3 執 行 額 58,816,851円 (うち補助金 27,680,000円)
			ホストタウン等新型コロナウイルス感染症対策事業 (スポーツ振興課)	 1 施策の趣旨等 東京2020オリンピック・パラリンピックの安全・安心な運営確保に向け、ホストタウン等 において新型コロナ感染症対策を実施する。 2 施策の実施状況 東京2020オリンピックのホストタウンにおいて、事前合宿の受入れ時に必要な新型コロナウイルス感染症対策を実施するため、移動車両・宿泊施設の感染予防対策、PCR検査等に要する経費を助成した。 交付先 3市
				3 執 行 額 12,519,458円 (うち補助金 12,028,000円)

		スタジアムわいわい絆 づくり推進事業 (スポーツ振興課)	1 施策の趣旨等 京都スタジアムのにぎわいづくりのため、TEAM京都コンソーシアムや京都サンガFCホームタウンなどと連携し、府内全体で京都サンガFCのホームゲームを盛り上げる取組を推進する。 2 施策の実施状況 (1) 京都サンガFCホームタウンと連携したにぎわいづくり 試合前やハーフタイムに子ども達によるダンスや楽器演奏のパフォーマンス等のにぎわいづくり事業を実施した。 開催回数 9回 参加者数 511人 (2) 京都スタジアムのコンコースを活用したにぎわいづくり 京都スタジアムのコンコースで障害のある方々の絵画作品展等を実施した。 開催回数 3回
		ニュースポーツ・e スポーツ競技環境整備支援事業(文化スポーツ施設課)	3 執 行 額 4,977,672円 (負担金)
10 広域振興局 費 (P80)	111, 097, 000 (508, 868, 500)		1 施策の趣旨等 広域振興局ごとに策定した「地域振興計画」に基づき、総合的・戦略的な視点による地域 づくりを進める。 2 施策の実施状況 (1) 山城広域振興局 ア「お茶の京都」や「竹の里・乙訓」による地域ブランドカ向上事業 「お茶の京都」を展開する中、宇治茶の魅力等を発信し、宇治茶ファンの拡大と宇治茶

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主	要	な施	策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	F	一般財源 77, 680, 990					の消費拡大、「竹の里・乙訓」かぐや姫観光を企画、推進した。 (7) 宇治茶文化の継承・発展を目指し、歴史や美味しさ等の魅力を伝え、コロナ禍における「お茶する生活」を普及するための講座等をオンラインで開催・宇治茶ムリエ講座 30回 参加者 506人 5ちキッズ茶ムリエ検定 4 参加者 160 キャズ・ジュニア茶ムリエ大校定 4 参加者 200

社会全体で子どもをあたたかく見守り、子育てが応援されていると感じられるよう、行政、地域、企業及び府民が一体となった子育て家庭応援体制づくりを展開した。

- (ア) 講演やパネルディスカッションを行う「きょうと子育て環境日本一山城地域サミット」を開催 参加者 約200人
- (4) 子育て世代をはじめとする府民を対象に、子育てに役立つ先進的な製品・サービス 等に触れる機会を提供する「子育て応援見本市in山城」を開催 参加者 約1,000人
- (2) 南丹広域振興局
 - ア 京都丹波の地域資源を生かした交流・活力のまちづくり事業

新しい生活様式等に配慮しつつ、豊かな「食」など、京都丹波の地域資源を広く発信し、地域の賑わいづくりを推進した。

- (ア) 京都丹波の魅力を発信するWebサイトや地元CATVを活用した地域の魅力発信を実施
- (4) 京都丹波のモデルコースを紹介するプロモーション動画を発信
 - ・プロモーション動画放映箇所数 27箇所
- (ウ) 京都市内の商業施設において、京都丹波地域の「食」のPR・販売や観光情報を発信
- (エ) 地元産木材を使った食器・小物などを展示等により発信
- (対) コロナ禍においても京都丹波の魅力をまるごと体感できるオンラインバスツアーを 開催
- (カ) SNS (インスタグラム等)の活用により、若者の視点から京都丹波地域の魅力を発信。216件
- (キ) 京都丹波ファン拡大に向け、京都スタジアムを中核としたサイクルツーリズムを推進
 - ・サイクルコース近傍の主要スポットを巡るスタンプラリーを実施 完走者 533人
 - ・コース周辺のお立ち寄り観光スポット等の魅力を紹介するPR動画を作成・発信 作成本数 6本 スポット数 17箇所
- (ク) スポーツ&ウェルネス構想の具体化に向けて、大学、関係機関、市町等によるプラットフォームを開催 全体会 2回 部会 6回
- イ 人権が尊重され、希望を持って元気に暮らせる地域づくり事業

NPO等地域活動団体や障害者に対する支援など、誰もが生き生きと暮らせる地域づくりや、京都丹波の豊かな自然環境やスポーツ資源を生かした健康づくりを推進した。

- (ア) 地域の若者等を対象に、地域活動を担うリーダーを育成
 - ・地域リーダー養成講座を開催 3回 参加者 8人
- (4) 介護予防や運動習慣の定着に向け、新たなコースを追加したウォーキングマップの配布を実施
 - ・ウォーキングマップ配布数 2,482枚
- (ウ) 障害者の経済的自立を支援するため、オリジナルブランド「ぬくもり京都丹波」商品の販売会を実施 1回
- ウ 明日の京都丹波産業を担う人づくり事業

中小企業の支援強化や農林畜産業の担い手育成及び生産拡大を推進した。

(ア) 管内企業の課題解決を支援するため、「京都丹波中小企業支援 A チーム」による伴走

科目	予 算 現 額	決 算 額	主要	な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	F.	円			支援を行うとともに、人材確保策についてのオンラインセミナーを開催 ・「京都丹波中小企業支援Aチーム」による企業訪問 延べ3/43社 ・経営セミナー 1回 参加企業 26社 参加者 42人 (イ) 農場HACCP認証に向け専門家による技術指導等を実施 12回 (ツ) 丹波くりの生産拡大に向け、「丹波くりマイスター」を管内各市町に養成するための講座を開催 ・「丹波くりマイスター養成講座」の開催 修了者 3人 (エ) 持続的で収益性の高いそば産地づくりを進め、そばを地域の魅力ある観光コンテンツとして発信 ・飼料用稲とそばの二毛作の実証 ・生産省力化のため、ドローンによるそばの播種作業を実施・「京都丹波そばの里魅力発見講座」を開催 3回 エ オール京都丹波による移住・定住プロジェクトの推進事業大都市に近く暮らしやすいという京都丹波の強みを生かした移住・定住施策や、子育で環境日本一の京都丹波を実現する取組を推進した。 (ア) オンラインセミナー、相談会等を開催し、移住希望者に対し京都丹波の魅力を発信するとともに、雇用や子育てなどの移住に伴う不安を解消し、移住者の増加を促進・新規移住者 192人 (イ) 「京都丹波沖ス子育で文化推進協議会」において、行政、子育で支援団体、商工団体、事業者等が連携し、住みやすい、働きやすい地域づくりを推進・「きょうと子育で環境日本一京都丹波地域サミット」を開催 参加者 約650人・子育で支援リーダー養成整 2回 参加者 54人(オンライン参加含む)・売育教室、保育所等の従事者に対する発達障害児及び保護者への対応力向上に向けた研修・連携会議の開催 3回 参加者 77人・地域の中核病院に病児保育室の整備・情報サイト「子育でにやさしい職場ガイド」による企業の紹介 15社 交流と安心・安全の基盤づくり事業地域の防災力の向上に向けた取組など、安心・安全な京都丹波づくりを推進した。 (ア) 水等等避難行動タイムラインの作成支援・自主防災組織(亀岡市)を対象に、タイムラインの必要性に係る研修を実施参加者 48人 (イ) タイムラインの必要性を周知する防災パンフレットの作成・配布 3、278部 中丹広域振興局 ア 持続可能な地域づくり「子育て・定着促進」事業安心して子育でしやすい地域づくりに向けて立ち上げた、子育で中の方をはじめ子育で支援者、企業、行政機関が参画する子育で支援のブラットフォーム「中丹子育て表来づくり100人会議」主催の研修等を開催するとともに、中丹地域への移住・定住を促進するため、中丹地域での働き方や暮らし方を移住希望者に広く発信した。

- (ア) 「中丹子育て未来づくり100人会議」事業
 - ・「きょうと子育て環境日本一中丹地域サミット」の開催 参加者 約300人
 - ・子育て支援者向け家族コミュニケーション研修の開催

参加者 28

- ・働きやすい職場づくりに向けた企業ワークショップの開催 参加者 14
- (イ) 若者地域定着促進事業
 - ・中丹地域で「働く・暮らす」をテーマとしたインタビュー記事を発信するととも に、掲載サイトの案内を中丹地域の全ての高校生に配布 サイトへの年間アクセス件数 16.103件
 - ・中丹地域での魅力ある働き方について伝える高校出前講座の開催 6校
- (ウ) 「京都中丹暮らし」魅力発信事業
- ・オンラインでの移住セミナーや現地体験ツアーの開催 3回 参加者 延べ22人
- イ 持続可能な地域づくり「働く場づくり」事業

中小企業の育成を図るため、新商品開発を目指す地元企業相互の交流を地域の高等教 育機関とも連携して促進するとともに、「儲かる農林水産業」を推進するため、中丹地域 の主要農産物の若手生産者や新規生産者向けに、ICT技術導入や品質向上の講座・講習会 を開催した。

- (ア) 新産業創出イノベーション推進事業
 - ・「新産業創出イノベーション交流会」の開催 参加企業 21社
- (イ) 「儲かる農林水産業」推進事業
 - ・万願寺甘とうの担い手育成や温湿度自動制御センサー等のICT技術の活用による 効率化を目的とした「万とうゼミ」の開催 6回 参加者 50人
 - ・担い手育成を目的とした「丹波くり実習モデル園」での講習会の開催 3回 参加者 延べ166人
 - ・品質向上を目的とした「丹波くりマイスター養成講座」の開催 修了者 3人
 - ・若手生産者の技術向上を目的とした共同茶園の設置 1箇所
- ウ 魅力あふれる地域づくり事業

交流の拡大と関係人口の創出を図るため、DMO等と連携し、地域資源の魅力を発信す るサイトによる情報発信やプロモーション、食などの特産品の新商品開発及び販売支援 を実施した。

- (ア) 中丹ファン(応援団)獲得拡大事業
 - ・中丹地域出身者をはじめ、ゆかりの方々に対して、子育て、働き方、移住、観光・ イベント、季節の特産品等の地域情報を発信するまとめサイト「CO-KYOTO(こ きょうと)」を運営 サイトへの年間アクセス件数 41,524件
 - ・海路からの周遊促進・観光消費拡大のため、関係団体等と連携して、観光情報を 一元化するとともに、所要時間別コースや二次交通、キャッシュレス対応店等の 情報提供サイト「京都舞鶴港エリアNAVI」を運営

サイトへの年間アクセス件数 4.276件

・WebメディアやSNS等の個人媒体も含めた情報発信のため、DMOと連携し、発信 力のあるライター等を招いたツアーを実施

科目	Ŧ	万 拿	章 :	現	額	決	算	客	Ą	主	要	な	施	策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
					P				円						(4) 中丹「食の魅力」発掘・発信事業 ・消費者視点で地域の加工食品の付加価値向上を図る「京都中丹いちおし商品」を 追加選定するとともに、大型店舗や観光拠点での販売促進イベントを実施 追加選定 8点 累計 55点 年間販売額 25,939千円 ・中丹地域の独自基準による「京都中丹認証ジピエ」の需要拡大のため、「第5回森 の京都ジピエフェア」や京都市内イベントへのジピエ料理提供を実施 中丹地域の参加店舗 17店「京都中丹認証ジピエ」の年間販売額 8,421千円 (ヴ) 中丹スポーツ・トレイル推進事業 ・登山アブリ「YAMAP」に、サイクリングルートや食事や買い物ができる協力店舗 の情報を追加掲載 サイトへの年間アクセス件数 6,234件 エ 災害に強い地域づくり事業 地域全体の防災力を高めるため、モデル地区で行った治山・治水対策の検証結果の広 報啓発を実施するとともに、道路冠水等の災害情報提供・共有ネットワークを充実した。 (ア) 安心・親しみの流域づくり事業 ・地域ぐるみによる防災・減災対策の取組支援を図るために実施した、農地、森林 も含めた流域の貯留効果の調査結果を基に、流域住民全体の意識向上について啓 発するリーフレットを作成し、管内関係機関に配布 1,000部 (4) 地域防災・減災ネットワーク事業 ・LINEを活用して災害箇所の情報共有を図る「中丹自然災害情報連絡ネットワーク」登録者のオンライン防災教育・システム操作講習会を開催するとともに、情 報提供時の操作性を向上させる自動応答ブログラムの改修を実施 (4) 丹後広域振興局 ア 丹後の子育てにやさしい風土づくり推進事業 「きょうと子育て環境日本一丹後地域サミット」の関係機関の協働による子育て にやさしい風土づくりを展開するとともに、医療的ケア児の移動支援モデル事業の実施 や子育て世帯向けガイドの作成など、子ども・子育てにやさしいまちづくりを推進した。・「きょうと子育で環境日本一月後地域サミット」の問催 参加者 約150人 ・「きょうと子育で環境日本一月後地域サミット」の問催 参加者 524人 ・医療的ケア児の移動支援の実施 4回 イ 丹後産農産物の影路広大や魅力づくりによる誘客促進事業 丹後産農産物の販務広大や魅力づくりによる誘客促進事業 丹後産農産物の販務広大や魅力づくりによる誘客促進事業 丹後産農産物の販売促進活動を展開するとともに、四季を通じた産地の魅力発信、地産地消の仕組みづくりによる丹後への誘客を促進した。 (ア) 丹後産農産物の販売促進活動を展開するとともに、四季を通じた産地の魅力発信、地産地消の仕組みづくりによる丹後への誘客を促進した。 (ア) 丹後産品の魅力向上・発信 ・「たんご de Marche ~たんご秋祭りin 円後王国 ~」の開催 来場者 3,457人 ・円後産農産物の応援フェア等の開催 3回

- ・旬の食材提供店&農産物直売所周遊キャンペーンの開催 丹後地域の参加店舗 46店
- ・丹後の直売所の魅力発信に向けた直売所マップの発行
- (4) 四季毎に選定した旬の食材を使った「海の京都旬の食材提供店」を認定し、統一的 に発信
 - ・選定食材 49種類 認定店舗 延べ112店
 - ・冬期いちおし食材フェア 参加店舗 70店
 - ・プレゼント応募件数 338件
- (ウ) 丹後産農産物の流通の効率化に向けた取組支援
 - ・運送会社と連携した定期便の利用農家数 29経営体 京都市内百貨店等配送先 11社
- ウ 丹後の周遊観光基盤強化事業

丹後地域の豊富な観光資源や食の魅力等を生かし、鉄道事業者との連携や自転車の活用による周遊観光につながる事業を実施した。

- (ア) JR西日本、京都丹後鉄道、兵庫県と連携した「近畿のキタだよ、北近畿キャンペーン」の実施
 - ・キャンペーン専用サイトにおけるPR動画作成・掲載
 - ・バス車内広告による誘客PR 令和3年7月21日~8月31日(42日間)
- (イ) e バイクを活用した周遊観光基盤の整備
 - ・充電ステーション整備 新規1箇所(累計9箇所)
 - ・e バイク活用観光コンテンツ造成の支援 5件
 - ・「サイクルモード大阪」へのブース出展による情報発信 来訪客 450人
- (ウ) 天橋立海面利用安全対策協議会による天橋立周辺の水上オートバイ等の利用ルールの策定・啓発
- エ 人と人とをつなぐ丹後魅力の森満喫事業

地域住民や地元高校生等、多様な主体の協働により森林の利用と保全活動を推進した。

- ・地元高校による木造休憩施設設置及び自然環境等現地学習会 参加者 27人
- ・杉山天然杉写真展(7日間(令和3年12月6日~12月12日)) 参加者 309
- オ 水害等避難行動タイムライン作成支援事業

各市町村と連携し、水害等避難行動タイムラインの作成を支援するとともに、自主防 災組織等の防災リーダーの育成や訓練の実施等を支援した。

- ・水害等避難行動タイムライン作成に向けた講師派遣 8件
- ・地域防災リーダー等研修会の開催 参加者 209人
- カ 丹後の新しいくらし創出事業

「チーム丹後」により移住促進を図るとともに、丹後地域外居住者等が丹後地域の課題 解決や地域資源の活用に関わる関係人口の創出に取り組んだ。

- (ア) 企業向け採用活動セミナーの開催 2回 参加者 延べ28人
- (4) 移住セミナー・ツアーの開催(オンライン) 2回 参加者 35人
- (ウ) 関係人口創出事業の実施
 - ・丹後地域に関わる起業等に関心のある若者を対象した「Local Venture College in

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		Tango」を開催 参加者 4人 ・関係人口の創出に向けた、民間との連携事業を実施 6事業 ・丹後地域の魅力を紹介するオンラインイベント開催 6回 参加者 延べ99人 3 執 行 額 107,211,442円
11 京都学・歴 彩館費 (P80)	18, 989, 000 (693, 212, 000)	18, 782, 372 (689, 671, 297) 決算額の財源 内訳 一般財源 18, 782, 372	(文化スポーツ施設課)	1 施策の趣旨等 京都学・歴彩館を拠点として、京都の歴史、文化に関するフォーラム等の実施及び国内外の大学や研究機関との研究ネットワークを構築し、研究成果を国内外へ発信する。 2 施策の実施状況 京都の文化資源などをテーマにセミナー等を開催したほか、地域の文化資源について、大学・研究機関と共同で研究を行った。 (1) 大学等との共同研究会の実施 ア 令和3年度研究テーマ「宇治の文化資源」参加大学等 府立大学ほか5大学等イ 令和2年度研究テーマ「伏見の文化資源」報告書及び一般書籍の発行ウ 平成31年度研究テーマ「洛東の文化資源」「京都を学ぶセミナー」実施 (計7回 延べ1,195人) (2) 海外若手研究員招聘事業の実施京都学・歴彩館と覚書を締結した日本文化研究機関から推薦を受けた海外若手研究者の中から選考の上、研究員として招聘(2箇国、2人 コロナ禍のため受入延期)
			北山エリア整備推進事業(文化施設政策監付)	 3 執 行 額 3,783,300円 1 施策の趣旨等 旧総合資料館跡地や府立植物園、大学共同体育館の整備に向けて必要な検討を実施する。 2 施策の実施状況 事業手法等について、官民連携手法も想定して、様々なアイデアやノウハウを参考とする ため、民間の視点から提案を受ける等、必要な検討を実施した。 3 執 行 額 14,999,072円 (委託料)

12 植物園費 (P82)	6, 197, 000 (487, 818, 000)		1 施策の趣旨等 植物園の持つ四季折々の魅力を更に向上させ、より多く 場を提供する。 指標:植物園入園者数 共通目標:90万人 実績:58万798人 2 施策の実施状況 次の施策を実施することにより、植物園の魅力の向上を なった。 (1) 夏 早朝開園 開催期間 令和3年7月9日~11日、7月22 入園者数 約4,600人 (2) 秋 「紅葉」のライトアップ 開催期間 令和3年11月13日~12月5日 入園者数 約25,200人(夜間の入園者数 約 (3) 早春 早春の草花展 開催期間 令和4年2月11日~3月13日 入園者数 約37,000人 例年春に開催している「桜」のライトアップは、新型 ため中止した。 3 執 行 額	図り、年間入園者数は58万798人と 2日~8月15日 112,300人)
16 諸 費 (P84)	103, 131, 000 (15, 451, 114, 000)	·	1 施策の趣旨等 学術上又は文化的価値の高い貴重な文化財の保全を図る 府基金」への寄附金等を活用しながら、未指定文化財を含等を総合的に推進する。 2 施策の実施状況 (1) 文化財を守り伝える京都府基金等事業 事業内容 歴史的建造物など文化財(有形)の保存・修理事業 地震・火災等から文化財(有形)を守る事業 文化財保護のこころを育む事業 文化レジリエンス事業 (2) 未指定文化財の保全 事業内容 防災防犯設備の整備又は保存施設の修理	む文化財の保存、修理、防災対策 件数 補助金

科目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	祇園祭山鉾懸装品新調 事業 (文化政策室)	建造物の補修 美術工芸品の補修 有形民俗文化資料の保全等 無形民俗文化資料の保全等 無形民俗文化資料の保全等 変化財を守り伝える京都府基金事業の選定委員会を開催するとともに、PRリーフレットを作成し、寄附の呼びかけに関する広報活動を行った。 寄附金額 106件 10,215,996円 3 執 行 額 87,956,536円 (うち補助金 87,119,000円)
2 企 画 費 1 企画総務費 (P84)	133, 632, 000 (1, 296, 514, 000	133, 632, 000 (1, 277, 496, 533) 決算額の財源 内訳 内訳 一般財源 133, 632, 000		1 施策の趣旨等 関西広域連合は、平成22年12月1日に関西の2府5県(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、徳島県)が結集し、複数府県で構成される全国初の広域連合として設立され、平成24年から4政令市(京都市、大阪市、堺市、神戸市) 平成27年12月から奈良県も加わった。 その運営に要する経費に対して分担金を支出することにより、広域的な課題に取り組み、住民の安心・安全を守り、関西を活性化する広域行政の推進を図る。

				(1) 広域連合議会等の開催 広域連合議会の開催 広域連合議会総務常任委員会の開催 広域連合議会院災医療常任委員会の開催 広域連合議会産業環境常任委員会の開催 広域連合委員会の開催 広域連合協議会の開催 京域連合協議会の開催 新型コロナウイルス感染症対策本部会議の開催 13 (2) 広域連合の事業分野 防災、観光・文化・スポーツ振興、産業振興、医療、環境保全、資格試験・免許等、職員研修の7分野の各事業及び広域行政の推進に係る基本的な政策の企画調整を実施 3 執 行 額 133,632,000円 (負担金)
2 計画調査費 (P86)	1,306,224,000 (4,584,964,000) 翌年度への繰越事業677,674,000 ウ境、674,674,000 ウ境、1世事等46,000 ラよ費20,8と一整でよりです。 アロレ費400,000,000	(3, 144, 405, 154) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 344, 538, 250 寄附金 13,000,000 繰越金 712,000 府債 38,000,000 一般財源	ウトロ地区住環境改善 事業 (総務調整課)	1 施策の趣旨等 宇治市ウトロ地区について、国・府・宇治市の三者連携により、平成27年3月に策定され、 令和元年12月に変更されたウトロ地区小規模改良事業計画に基づき住環境の改善を図る。 目標:宇治市ウトロ地区の住環境改善 実績:地区内幹線道路及び地区周辺道路の整備、公的住宅第2期棟の建設着工 2 施策の実施状況 国・府・宇治市の三者で構成される「ウトロ地区住環境改善検討協議会」における連携の 下、宇治市が行う地区内幹線道路及び地区周辺道路の整備、公的住宅第2期棟の建設等に対 して助成した。 3 執 行 額 39,683,000円 (補助金)
	観光関連・交通 事業者緊急支援 強化事業費 200,000,000 スタジアムを核 とした地域周遊 促進事業費 12,000,000		子育てにやさしいまち づくり事業 (総合政策室)	 1 施策の趣旨等 安心して子どもを産み育て、子どもが健やかに育つことができるよう、地域全体で子育てしやすいまちづくりを進めるため、子育てに適した住環境や、親子が集い、子どもが安心して遊べる公園・広場等の居場所づくり等、子育てにやさしいまちづくりを総合的に行う市町村に対して交付金を交付する。 2 施策の実施状況 子育てにやさしいまちづくりに取り組む市町村をハード・ソフト両面から包括的に支援し

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		た。 子育てにやさしいまちづくりモデル事業交付金 8地域 (福知山市、舞鶴市、宇治市、城陽市、長岡京市、京田辺市、久御山町、井手町) 3 執 行 額 94,558,000円 (交付金)
			京都夢実現プラン・地 域創生戦略推進事業 (総合政策室)	1 施策の趣旨等 「京都府総合計画(京都夢実現プラン)」で掲げた「将来構想」の実現に向け、概ね4年間で 取り組む「基本計画」及び「地域振興計画」並びに「京都府地域創生戦略」の総合的な推進 を図る。
				2 施策の実施状況 「京都府総合計画」及び「京都府地域創生戦略」を着実に推進するため、課題や方向性について助言を得る有識者会議を運営するとともに、府政運営の方向性が府民の皆様の意識とかけ離れたものとなっていないかなどを点検する府民意識調査を実施した。 京都府総合計画・地域創生戦略推進会議の開催 1回 府民意識調査の実施(郵送アンケート形式) 対象 4,900人
				3 執 行 額 13,666,693円 (うち委託料 8,522,700円)
			子育て環境日本 本 会議設置事業 会 政 策 策 少 書 策 策 学 会 議 が 書 策 策 第 学 会 政 書 策 策 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	1 施策の趣旨等 「京都府子育て環境日本一推進会議」を設置し、子どもや子育て世代を地域や企業を含め社会全体であたたかく見守り支え合う様々な取組をオール京都体制で推進する。 2 施策の実施状況 オール京都の推進体制により、「風土づくり」「まちづくり」「職場づくり」の各分野の課題の深掘りや課題解決につながる新たな取組を検討した。京都府子育て環境日本一推進会議 1回風土づくり部会 3まちづくり部会 3
				3 執 行 額 4,000,000円

「海の京都」DMO推進 事業 (地域政策室)	1 施策の趣旨等 観光交流・観光消費額の拡大や、地域資源のブランド化を図るため、観光地域づくりの総合プロデューサーである一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社(海の京都DMO)を支援し、地域の稼ぐ力の創出を図る。 指標 目標 実績 海の京都エリアにおける観光入込客数 1,220万人 533万人 海の京都エリアにおける観光消費額 361億円 177億円
	2 施策の実施状況 海の京都エリアの観光振興を図るため、海の京都DMOが行う事業に対して助成した。 (1) マーケティング調査事業 ・外国人・日本人観光客動向調査、全国観光圏顧客満足度調査等 事業数 6事業 ・「海の京都DMO」観光マーケティング調査データの公表 (2) 着地型旅行商品等の造成・販売事業 着地型旅行商品造成等 148商品 (3) 特産品のブランド化・販売促進事業 ECサイト「海の京都市場」での特産品販売 商品売上高 1,229千円 (4) インパウンド推進事業 ・欧米豪やアジア圏への訪日旅行需要の回復期を見据えたオンライン商談会の実施現地旅行会社等との商談 45社 ・エージェント向けパーチャル体験ツアーの実施 2回 参加 17社48人 (5) 人材育成・確保事業 ・インバウンドローカルガイド養成講座等の実施 8回 養成者 延べ28人・観光ガイド育成支援 助成団体 5団体 参加者 74人 (6) 情報発信・プロモーション事業 ・オウンドメディア「海の京都Times」での情報発信 配信数 24件・JR西日本と連携し、貨客混載の取組として、京都駅前地下街ポルタにおいて「海の京都回廊マルシェ」を開催し、海の京都エリア7市町の特産品を販売実施日 令和3年12月18日~12月19日 売上高 849千円・関西鉄道会社と連携した広報キャンペーンの実施・錦市場「丹後TABLE」での情報発信
	3 執 行 額 84,250,000円 (負担金)
「森の京都」DMO推進 事業 (地域政策室)	1 施策の趣旨等 観光交流・観光消費額の拡大や、地域資源のブランド化を図るため、観光地域づくりの総合プロデューサーである一般社団法人森の京都地域振興社(森の京都DMO)を支援し、地域の稼ぐ力の創出を図る。

科 目	予算現額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	P	F	3	指 標 目 標 実 績 森の京都エリアにおける観光入込客数 1,180万人 792万人 森の京都エリアにおける観光消費額 247億円 123億円
				2 施策の実施状況 森の京都エリアの観光振興を図るため、森の京都DMOが行う事業に対して助成した。 (1) マーケティング調査事業 外国人・日本人観光客動向調査、スマートフォンによるアンケート調査等事業数 5 事業 (2) 着地型旅行商品等の造成・販売事業・着地型旅行商品等の造成・販売事業・着地型旅行商品造成等 49商品・農山村教育体験旅行の受入 3 校 213人・御城印の観光コンテンツ化 販売業 13,335枚 (3) 特産品のブランド化・販売促進事業・ECサイト「森のおすそわけ」での特産品販売 商品売上高 1,007千円・京都市内ホテルと連携した「森の京都ジビエ絶品グルメフェア」の開催売上高 1,210千円・食を活かした商品開発 商品売上高 772千円 (4) インパウンド推進事業 欧米豪やアジア圏への訪日旅行需要の回復期を見据えたオンライン商談会の実施現地旅行会社等との商談 52社 (5) 人材育成・確保事業サイクリングガイド養成講座の実施 2 回 参加者 27人 (6) 情報発信・ブロモーション事業・海外エージェント向けニュースレターの配信 配信数 683件・「森の京都QRトレイン」による福知山駅までのツアーの実施大阪駅・京都駅・福知山駅 参加者 57人 終部駅・福知山駅 参加者 103人・錦市場「丹後TABLE」での情報発信
				3 執 行 額 53,080,000円 (負担金)
			「お茶の京都」DMO推 進事業 (地域政策室)	1 施策の趣旨等 観光交流・観光消費額の拡大や、地域資源のブランド化を図るため、観光地域づくりの総合プロデューサーである一般社団法人京都山城地域振興社(お茶の京都DMO)を支援し、地域の稼ぐ力の創出を図る。
				指 標 目 標 実 績 お茶の京都エリアにおける観光入込客数 1,560万人 761万人

	お茶の京都エリアにおける観光消費額 331億円 138億円
	2 施策の実施状況 お茶の京都エリアの観光振興を図るため、お茶の京都DMOが行う事業に対して助成した。 (1) マーケティング調査事業 外国人・日本人観光客動向調査、お茶の京都認知度調査 (2) 着地型旅行商品等の造成・販売事業 ・着地型旅行商品の造成等 77商品 ・ 近隣地域をターゲットとした誘客商品の開発 ・ お茶の京都観光ループパスの運行 (3) 特産品のブランド化・販売促進事業 ・ ECサイト「お茶の京都宇治茶navi」での特産品販売 商品売上高 595千円 ・ ECサイト「お茶の京都ア治茶navi」での特産品販売 商品売上高 595千円 ・ ECサイト「お茶の京都DMOセレクトショップ」での特産品販売 商品売上高 303千円 インパウンド推進事業 ・ 欧米豪やアジア圏への訪日旅行需要の回復期を見据えたオンライン商談会への参加 台湾現地旅行会社との商談 26社 ・ 富裕層に特化したB to B旅行会社との商談 46社 (5) 人材育成・確保事業 ・ 観光地域づくり専門アドバイザー派遣地域・施設等 11件 ・ 観光ガイド育成講座 (英語ガイド講座含む)12回 参加者 延べ 233人 (6) 情報発信・プロモーション事業 ・ フリーアナウンサーが観光スポットを巡ってお茶の京都エリアの魅力を発信する YouTube動画の制作・配信 掲載施設数 25施設 ・ 日本遺産サミットin小松に出展し、来場者へパンフレットの配布やお茶の試飲等を通じて、お茶の京都のPRを実施 実施日 令和3年11月13日 ~ 11月14日 来場者数 8,483人 ・ 関西の鉄道会社と連携した広報キャンペーンの実施 ・ 第市場「丹後TABLE」での情報発信
	3 執 行 額 65, 251, 000円
	(負担金)
「もうひとつの京都」 多言語情報発信強化事 業 (地域政策室)	1 施策の趣旨等 「もうひとつの京都」多言語Webサイト(対応言語:英語、中国語(繁体字、簡体字)韓 国語)を活用し、外国人目線で掲載コンテンツを充実させるなど、外国人に向けた情報発信 の強化を図る。

科目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	B P	3	2 施策の実施状況 海の京都DMO、森の京都DMO、お茶の京都DMOと京都府観光連盟の多言語Webサイトを 統合した「もうひとつの京都」多言語Webサイトを活用し、「もうひとつの京都」エリアの魅力について、ネイティブ翻訳による情報掲載、外国人ライターによる取材記事の掲載等、外国人目線のコンテンツを充実させるとともに、SNSでの情報発信やWeb広告配信等のプロモーションを実施した。 新規記事掲載数 32本アクセス件数 93,704件
				3 執 行 額 14,120,000円 (補助金)
			「もうひとつの京都」 観光周遊カーシェアリング推進事業 (地域政策室)	1 施策の趣旨等 民間事業者との連携により展開する観光周遊カーシェアリング事業について、既存ステーションの利用促進を図るとともに、設置駅を拡大し、府域における二次交通を充実させ観光 周遊の取組を推進する。
				2 施策の実施状況 府、森の京都DMO、お茶の京都DMO、タイムズモビリティ株式会社、JR西日本が連携し、観光周遊カーシェアリング事業を実施した。 (1) 観光周遊カーシェアステーション 設置駅 お茶の京都エリア 宇治駅、玉水駅、木津駅、加茂駅、松井山手駅 森の京都エリア 亀岡駅、馬堀駅、福知山駅(新設) (2) 優待観光施設(ドライプチェックイン施設) 設定施設 お茶の京都エリア 14施設 森の京都エリア 6 (うち新設2)
				3 執 行 額 2,800,000円 (委託料)
			伝統的建造物活用宿泊 施設等整備推進事業 (地域政策室)	 1 施策の趣旨等 「もうひとつの京都」エリアの交流人口拡大のため、地域に散在する伝統的建造物や古民家等の歴史的資源を活用した新たな宿泊施設の創出を通じた観光地域づくりを推進する。 2 施策の実施状況 伝統的建造物や古民家等を活用した宿泊施設等の整備検討を行うためのイメージパース作成等の支援を実施した。 実施地域 宮津市、南丹市、南山城村

	3 執 行 額	2,699,800円 (委託料)
「もうひとつの京都」 ダイレクトマーケティ ング事業 (地域政策室)	 施策の趣旨等 旅行商品の予約システム等を通じて提供を受けたデータを活力トマーケティングを展開する。 施策の実施状況 各DMOの顧客管理システムを活用し、「もうひとつの京都」 集した顧客属性・ニーズ傾向等のデータについて調査・分析をシステム登録者数 海の京都DMO 13,133人 森の京都DMO 8,203 お茶の京都DMO 6,579 	絆キャンペーン等を通じて収
	3 執 行 額	2, 200, 000円 (補助金)
「もうひとつの京都」 見える化促進事業 (地域政策室)	1 施策の趣旨等 旅行者や地域住民が「もうひとつの京都」の魅力を一層体感 振興と観光需要の喚起を図る。	できる環境整備を進め、地域
	2 施策の実施状況 令和3年3月からJR嵯峨野(山陰本)線等を運行している「和1周年を記念して実施した、京都鉄道博物館における車両展示が 都QRトレインの車両を使った団体旅行ツアーにあわせて、森の信した。 (1) イベント等の記事配信 「森の京都QRトレイン」を使用した団体ツアーや京都鉄道 記事を、鉄道・旅行情報サイト「トレたび」において配信し	や内装リニューアル、森の京 の京都エリアの魅力を広く発 博物館における車両展示等の
	に事を、鉄道・旅行情報リイド・ドレだび」にあれて配信し、 (2) オリジナルノベルティの制作 「森の京都QRトレイン」のデザインを使用したオリジナノ アーの参加者及び車両展示の来場者等に配布した。	
	3 執 行 額	1,489,700円 (委託料)

科 目	予 算 現 額	決 算	<u> </u>	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	H		円	「もうひとつの京都」 観光誘客事業 (地域政策室)	1 施策の趣旨等 「もうひとつの京都」エリアへの宿泊者・観光客に対する特典付与キャンペーンやプロモーションを実施し、観光誘客を推進する。
					2 施策の実施状況 海の京都・森の京都・お茶の京都エリア内で利用できる「もうひとつの京都」クーポンを 発行する「もうひとつの京都」絆キャンペーンを行うとともに、キャンペーン参画施設(飲 食店・宿泊施設・体験事業者)におけるプロモーションを実施した。 実施期間 令和3年12月20日~令和4年1月10日(22日間) 参加企業 171社 クーポン利用数 2,670枚 クーポン利用額 4,038,500円
					3 執 行 額 18,467,350円 (補助金)
				新しい観光資源発掘事業 (地域政策室)	1 施策の趣旨等 WITHコロナ社会における「新しい生活様式」に対応した安心・安全な京都観光を段階的 に推進するため、府内の観光事業者等が工夫を凝らして取り組む、新たな観光コンテンツの 発掘・磨き上げの取組を推進する。
					2 施策の実施状況 府内観光資源の更なる磨き上げ・充実を図る取組や、地域資源を活用した新たな観光コンテンツの造成を図る取組を実施した。 (1) 水と火を活用した非日常体験空間創造事業(城陽市) 「水と火」をテーマに、城陽市総合運動公園調整池を活用し、焚き火ラウンジやコンサート等のナイトコンテンツを創造した。 (2) 里山の楽しさを価値にするアドベンチャー体験プログラム創造事業(宇治市) 府立山城総合運動公園にある里山を活用したアドベンチャー体験施設(令和2年度に整備)において、オープン体験イベントを実施した。 参加者 地元小学校 3校 213人 近隣中学校、高等学校 4校 1,146人 (3) 竹の里・乙訓「もの・こと展」乙訓スタイル(長岡京市、向日市、大山崎町) 乙訓スタイルを体感・経験する周遊観光を促進するため、人に焦点をあてたWebページの作成や、サイクリングマップの作成、スタンプラリーの広報を実施した。

	盤の整備(南丹市) 南丹市美山地域の自然資源を活かした滞在交流型ツーリズムを創 モニターツアーやワーケーション等の体験プランを造成する実証事 モニターツアー数 6 参加者 41人 体験プラン造成数 8 参加者 51	
「もうひとつの京都」 周遊観光推進事業 (地域政策室)	1 施策の趣旨等 「お茶の京都」エリアの周遊観光を促進し、エリア内での滞在時間の の拡大を図る。	増加による観光消費額
	2 施策の実施状況 「お茶の京都」エリアにおいて、「歴史・文化発見周遊事業」として コンテンツをテーマ別にストーリー化し、地元ガイドや交通事業者と ターツアーの企画・実施及び広報宣伝を行った。 (1) 伝説の茶農家や茶商がもてなす至高の茶 宇治「プレミアム大茶 実施日 令和3年11月21日 行 程 新大阪駅 ~ 伏見区内 ~ 萬福寺 ~ 和束町内 ~ 新大阪駅 名古屋駅 ~ 萬福寺 ~ 平等院 ~ 宇治上神社 ~ 名古屋駅 参加者 35人 (2) 京都・奈良間の山際の小径「山背古道」ウォーキングプラン 実施日 令和4年3月28日 行 程 玉水駅 ~ 地蔵禅院 ~ 玉津岡神社 ~ 蟹満寺 ~ 椿井大塚山古参加者 12人	連携した観光周遊モニ を会」プラン
	3 執 行 額	2,000,000円 (委託料)
可政手続利便性向上推 進事業 (情報政策課)	1 施策の趣旨等 行政手続のオンライン化により、来庁を不要とし、コロナ禍におけ 確保や利便性向上を図る。	「る府民の安心・安全の
	2 施策の実施状況 キャッシュレス決済対応電子申請システムを整備し、令和4年1月 対応手続数 2手続(納税証明書、教員免許授与証明書)	4日から運用を開始
	3 執 行 額 (うち	6, 490, 000円 委託料 4, 840, 000円)

科目	予 算 現 額 決 算 額	主要な施策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	H) P	京都学生祭典開催助成事業 (大学政策課)	1 施策の趣旨等 京都の活性化を推進するため、京都に学ぶ学生たちが力を合わせ、行政、経済界、地域と 幅広く連携しながら、京都の学生文化や学生の熱気あふれる大学のまちを全国に発信する 「京都学生祭典」の開催を支援するため、第19回京都学生祭典実行委員会に対して助成する。
			指 標 目 標 実 績 京都学生祭典参加学生数 2,000人(令和3年度) 902人
			2 施策の実施状況 産学公連携のもと、京都の学生たちが中心となり第19回京都学生祭典がオフラインとオン ラインのハイブリット方式で開催され、特設ホームページ等において約11万8千回視聴され た。
			実施内容 開催日 視聴回数、来場者数 本祭 令和3年10月10日 43,704回 本祭前後(当日除く) 令和3年10月1日~10月31日 74,711 当日体験型企画来場者数 令和3年10月10日 265人
			企画参加者 大学 学生数 実行委員 20 114人 「京炎そでふれ!」おどり手 22 788 計 30 902
			3 執 行 額 5,500,000円 (補助金)
		人・まち・キャンパス 連携支援事業 (大学政策課)	1 施策の趣旨等 大学等が市町村及び企業・団体等と連携し、当該市町村をフィールドとして取り組む大学 等の授業や研究活動等のプロジェクトを支援することにより、府内全体をキャンパス化し、 地域や企業と結び付いた教育環境を整備する。
			指 標 目 標 実 績 大学と市町村及び企業・団体との連携事業数 20プロジェクト 9 プロジェクト
			2 施策の実施状況 大学・地域連携プロジェクトへ助成を行った。 大学名 プロジェクト数 連携市町村名 連携企業・団体数 補助金 京都大学 2 宮津市 10 600,000円 伊根町 4 1,000,000

			大学等教育環境緊急支援事業 (大学政策課)	1 2 (京 龍関大執施新年 施ラ士お 谷西阪策型末 策大学イ助年年の	大国計 のコ年 の学生ン成末末交成学際計 行 あ口始 実等へ授件年年流件 大 地ナの 施教の業数始始に数	・ 学 学 ョウ生 状育実の 緊や いん いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい い	その解消のた る支援事業 FOPCR検費 OWi-Fi整備費 会等 医支援事業 よ等におい窓口	京丹後市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市	で で で で で で で 要 す る 費 用へ 139, り 提供、生 活 必 目に 要 す る 費 用。 24, 163,	て支援する。 ドカード配付、オン の助成を行った。 350,000円 需品の支援、学生同
3 交通対策費 (P86)	(7,651,920,750) 翌年度への繰越 事業費繰越額	(7, 167, 121, 374)	(安心・安全まち) (づくり推進課)	2	通	教育「 の実施 える・ もの歩 絵本を	でくなっ かなえる 状況 かなで 行中の3	る・かなでる る絵本」の作 逐通事故を防	員の遺族からの寄附を活 」プロジェクトを展開す F成 止するため、安全な道路 園、保育所等へ配布した	る。	

科	目	予 算 現	額	決	算	額	主	要	な施	策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
		北道業 多化 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	,000ア整 ,000の10費00通援	2, i 一 般	2, (1 298, (計	043, 834 債 000, 000)) JR系 速化	2整備	≹複線化 事業 通政策課		JR奈良線複線化整備に向けた取組を沿線市町と協働して実施し、沿線地域の利便性向上による地域活性化を図る。 指標:府域における鉄道(JR在来線)の複線延長(累計) 目標:94.6km(令和4年度まで) 実績:80.6km
		220, 000,	, 000)								2 施策の実施状況 複線化・高速化第二期事業に係る複線化本体事業(鉄道施設設計、線増工事)及び複線化 に伴う関連事業(山城青谷駅及び六地蔵駅)の支援並びに西日本旅客鉄道株式会社に対し事業推進のための資金貸付を行った。 3 執 行 額 5,203,946,000円 (うち補助金 3,203,946,000円)
							事業	É	ンゴ鉄道		1 施策の趣旨等 安心・安全・快適性を確保するための基盤部分(インフラ)を担う北近畿タンゴ鉄道株式 会社への支援を行う。 指標:年間利用人数 目標:200万人 実績:112万人 2 施策の実施状況 基盤部分(線路・電路・車両)の維持管理等に係る経費に対して支援を行い、安全対策の 向上を図った。
											3 執 行 額 366,698,000円 (補助金)
							化対	策事	ンゴ鉄道 業 通政策課		1 施策の趣旨等 国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化計画」を踏まえ、北近畿タンゴ鉄道 株式会社が実施する施設老朽化対策への支援を行う。

	2 施策の実施状況 老朽化が認められる鉄道施設の補強・改良に係る経費に対して支援を行い、中長期的なコスト縮減を図った。
	3 執 行 額 15,470,834円 (補助金)
鉄道駅舎バリアフリー 化設備整備事業 (交通政策課)	1 施策の趣旨等 府域における交通拠点となる鉄道駅舎を対象に、バリアフリー化のための整備を行う事業者に対して助成し、高齢者・障害者等の移動の円滑化を図る。
	指標:バリアフリー法に基づく基本方針において対象とされる駅舎のうち段差解消済の語合 共通目標 :100%(令和7年度まで) 実績:95.5% 鉄道駅利便性向上整備事業と共通の目標
	2 施策の実施状況 施行場所 補助金 京阪鳥羽街道駅 16,291,000円 JR京都駅 23,775,000
	3 執 行 額 40,066,000円 (補助金)
鉄道駅利便性向上整備 事業 (交通政策課)	1 施策の趣旨等 鉄道駅の総合的な改善を行う事業者に対して助成し、鉄道利用旅客の利便性、安全性の 上等を図る。
	指標:バリアフリー法に基づく基本方針において対象とされる駅舎のうち段差解消済の語合 共通目標 :100%(令和7年度まで) 実績:95.5% 鉄道駅舎バリアフリー化設備整備事業と共通の目標
	2 施策の実施状況 施行場所 補助金 JR西大路駅 77,960,000円
	3 執 行 額 77,960,000円 (補助金)
	化設備整備事業 (交通政策課) 鉄道駅利便性向上整備 事業

科 目	予 算 現 額 決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	P P	地域公共交通計画策定 支援事業 (交通政策課)	1 施策の趣旨等 複数市町村で構成された協議会に対し、地域公共交通計画の策定に係る経費を支援し、地 域交通のあり方について市町村による主体的な検討を促進する。
			2 施策の実施状況 交通再編やMaaS等の新モビリティサービスの推進を位置づけた地域公共交通計画の策定 を支援した。 策定計画 補助金・負担金 JR山陰本線(園部~綾部)沿線地域公共交通計画 1,250,000円 JR関西本線(加茂以東)沿線地域公共交通計画 1,250,000 京都府北部地域連携都市圏公共交通計画 1,250,000
			3 執 行 額 3,750,000円 (うち補助金 1,250,000円) (うち負担金 2,500,000)
		生活交通ネットワーク 構築支援事業 (交通政策課)	1 施策の趣旨等 過疎地域等における住民の交通確保を図るとともに、便利で使いやすい生活交通ネット ワークの構築に向け、利用者・交通事業者・市町村・府等が協働し、利用者の視点に立った 公共交通の改善を図る。
			2 施策の実施状況 (1) 路線維持対策等補助事業 生活交通バス路線及び市町村運行確保バス等に対して助成し、生活交通の維持確保を図った。 補助金
			路線維持対策補助金 99路線 371,850,000円 車両購入費等補助金 27両 29,743,000 (2) 便利で使いやすい生活交通ネットワークの構築支援事業 交通事業者や市町村等との連携のもと、生活交通対策地域協議会や市町村が開催する地 域公共交通会議などへの参画を通じて、利用促進策の検討やダイヤ、停留所、運行情報等 の交通システムの改善を進めた。
			3 執 行 額 401,960,000円 (うち補助金 401,593,000円)

「もうひとつの) にぎわい回復支 (交通政策説	援事業 新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が減少した府内公共交通の利用を促進
	3 執 行 額 14,059,750円 (補助金)
地域公共交通支	
	3 執 行 額 322,356,463円 (補助金)
交通事業者観光 境強化事業 (交通政策誤	
	2 施策の実施状況 府内に営業所又は事業所を有する貸切バス及びタクシーの交通事業者に対して、国と協調 し、車内環境の向上を目的とした設備等の導入を支援した。 支援事業者数 9社
	3 執 行 額 4,932,000円 (補助金)

科目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
多 男女共同参 画推進費 (P88)	予算現額 円 112,975,000 (176,609,000)	円 112, 229, 657	マザーズジョプカフェ 推進事業 (男女共同参画課)	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等 1 施策の趣旨等 再就職に向けたカウンセリング、職業紹介及び保育情報の提供等を行う「京都ジョブパークマザーズジョブカフェ」を運営するとともに、「北京都ジョブパークマザーズジョブカフェ」での相談等により、子育てしながら働きたい女性やひとり親家庭の方などのニーズに応じて、子育てと就業をワンストゥブで支援する。 指標:相談者のうち、就職内定者数目標:1,400人実績:1,479人 2 施策の実施状況 (1) 利用状況・就職内定者数 延べ利用者数 23,629人(1日平均82人)うち延べ相談者数 18,318 就職内定者数 1,479 (2) 女性再就職フェア仕事と子育ての両立が可能な企業の出展による就職説明会を実施した。開催回数 11回出展企業数 52社来所者数 146人 (3) 一時保育の実施京都ジョブパークマザーズジョブカフェ及び北京都ジョブパークマザーズジョブカフェ内の保育ルームで、就職活動中保育所が決まるまでの一時保育を実施した。場所 延べ利用者数京都ジョブパークマザーズジョブカフェ 544人北京都ジョブパークマザーズジョブカフェ 271 (4) マザーズジョブカフェ巡回相談マザーズジョブカフェへの来所が難しい女性を対象に府内6地域で就職に関する巡回相談を実施した。
				開催回数 69回 延べ相談者数 119人
				3 執 行 額 45,060,000円 (うち委託料 41,571,860円)
			京都ウィメンズベース 事業 (男女共同参画課)	1 施策の趣旨等 「輝く女性応援京都会議」のもと、京都労働局、府、京都市、経済団体が一体となって運営 する女性活躍支援拠点「京都ウィメンズベース」を中心に、企業における女性の活躍を重点

	め, トナ+立ナフ
	的に支援する。
	指 標 目標 実績
	事業主行動計画策定企業数(従業員300人以下の企業) 10社 10社
	「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス認証企業数 50 50
	2 施策の実施状況
	(1) 大学連携京都版リカレント事業
	出産・育児等により離職した女性を対象に、大学と連携したリカレント(学び直し・再
	就職支援)を実施した。
	連携大学の京都光華女子大学・京都光華女子大学短期大学部、京都精華大学
	参 加 者 6人
	(2) 女性中核人材育成研修
	企業の意思決定に参画できる役職(中核人材)への女性の登用を推進するため、研修を 実施した。
	美心した。 開催回数 8回
	(3) 一般事業主行動計画策定支援
	企業訪問による支援 187社
	(4) 女性活躍・ワーク・ライフ・バランス企業応援チームによる中小企業の取組支援
	「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進企業の認証を進めるため、社会保険労務士
	等からなる女性活躍・ワーク・ライフ・バランス企業応援チームが中小企業を訪問し、中
	小企業のニーズに合わせた相談、研修等を実施した。
	ワーク・ライフ・バランス推進宣言企業数 26社 累計 2,702社
	「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス認証企業数 50 " 541
	(5) 管理職・人事担当者向け研修
	女性の部下を持つ管理職・人事担当者向けに女性活躍推進研修を実施した。
	開催回数 1回
	参 加 者 14人
	(6) 女性社員向け研修
	スキルアップや意識醸成を目的とした研修を実施した。
	開催回数 4回
	参 加 者 延べ49人
	3 執 行 額 23,415,657円
	(うち委託料 15, 276, 653円)
ドメスティック・バイ	1 施策の趣旨等
オレンス対策事業	ドメスティック・バイオレンス(DV)について、広く府民への意識啓発を行うことで、
(男女共同参画課)	被害者支援や防止を図る。

科目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
科目	予算現額			指標:自立支援計画を策定し継続的に支援する者(概ね2週間以上の家庭支援総合センター入所者) 目標:50件 実績:74件 2 施策の実施状況 DVに関する講座の開催やグループカウンセリング等を実施し、被害者支援や被害の未然 防止を図った。 (1) DV一般啓発講座 「DVを考えるつどい」を開催し、DV根絶の気運を醸成した。 講座数 3回 場 所 綾部市I・Tビル(綾部市) ガレリアかめおか(亀岡市) 京田辺市社会福祉センター(京田辺市) 受講者 85人 (2) 自立支援グループカウンセリング 自立支援の一環として、DV被害者同士が体験を共有しつつ専門のカウンセラーの援助
				を受けるグループカウンセリング等を実施した。 参加者 延べ36人 (3) 若年層向けデートDV防止啓発講座 中学生・高校生を対象にデートDV防止啓発講座を開催し、年代に応じた暴力を許さない 意識づくりを進めた。 講座数 5回 場 所 府立朱雀高等学校(京都市)福知山市立大江中学校(福知山市)府立西舞鶴高等学校(舞鶴市)府立莵道高等学校(宇治市)京丹後市立峰山中学校(京丹後市) 受講者 774人 (4) 加害者プログラム 被害者支援の一環として加害者が自らの加害に気づき、加害を繰り返さないためのプログラムに取り組んだ。
				相談者数 延べ124人 グループワーク参加者 " 15 相談員養成研修における参加者数 30 3 執 行 額 4,628,000円
			女性活躍応援塾事業 (男女共同参画課)	1 施策の趣旨等 地域活動を始めたい女性や地域活動を継続・発展させたい女性を対象にして女性活躍応援 塾を開設し、様々な分野で活躍する女性リーダーを育成する。

	2 施策の実施状況 (1) 女性活躍応援塾の実施 経験豊富な女性活躍プロデューサーによる伴走支援のもと、塾生となった団体や個人の 地域活動への参画を支援した。 参加者数 3 団体、1 個人 (2) 輝く女性応援補助事業 地域活動を始めたい女性や、地域活動を継続・発展させたい女性を対象に、地域活性化 等の取組を支援した。 補助件数 17件 補助金額 4,054,000円
	3 執 行 額 6,854,000円 (うち委託料 2,592,049円) (する補助金 4,054,000)
子育てにやさしい職場 づくり事業 (男女共同参画課)	1 施策の趣旨等 子育て世代をはじめとした多様な人材が活躍できる社会を実現するため、子育てしやすい 職場環境への企業改革を促進する。
	指 標
	2 施策の実施状況 男性育休の取得促進を図るため、男性従業員の意識改革を促進するセミナー等を開催し、 育休を取得しやすい職場づくりを支援した。 開催回数 7回 参加者数 延べ76人
	3 執 行 額 2,920,000円 (うち委託料 2,891,790円)
非正規雇用女性就労促 進事業 (男女共同参画課)	1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症の影響で特に非正規雇用の女性の解雇・離職が増加する中で、 「働きたいのに働けない」「働くことを仕方なく諦めた」といった方への相談から就労までの サポートを実施する。
	指標:出張スキルアップセミナーの開催回数 目標:40回 実績:41回

科目	予	算	現	額		決	算	額		主要	Ę	な	施	策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
				P	3			F	-	文性つ	なか	У 1) †	ナポ		
									1	事業 (男 5	共	同参	画語	果)	新型コロナウイルス感染症の拡大により様々な困難・課題を抱える女性に対する支援を強化する。 2 施策の実施状況
															(1) 京都府男女共同参画センターの相談体制強化 多様化・深刻化する女性からの相談に対応するため京都府男女共同参画センターの電話 相談体制を強化した。 相談件数 1,216件 (2) 民間団体による女性相談の実施 民間団体の専門性を活用した無料カウンセリング及び無料電話相談を実施した。 相談件数 348件 (3) 民間団体による伴走支援の実施
															民間団体による相談者に継続的なアプローチで寄り添う伴走支援を実施した。 相談件数 631件 (4) 人材育成 女性相談に対応できる人材を育成するためワークショップなどの研修を実施した。 研修回数 5回 参加者数 71人
															3 執 行 額 15,000,000円 (うち委託料 14,988,145円)

6 青少年育成 費 (P88)	110, 447, 000 (271, 268, 000)	(262,365,670) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 15,912,000	(家庭支援課)	 1 施策の趣旨等 「脱ひきこもり支援センター」を中心に、ひきこもり状態にある者の早期 適応訓練、自立までを一体的に支援するとともに、市町村での相談体制の相談は、ひきこもり支援を受けてコミュニケーション能力や生活スキルなる割合 目標:72.0% 実績:63.4% 	構築を図る。
					(臨床心理士)精 に基づき設置サービスを設置では、 を受験を関いているでは、 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、
				ひきこもり状態にある者のための社会参加支援事業補助金交付件数 社会的ひきこもり支援ネットワーク連絡会議参加団体 ネット相談件数 職親登録事業所(民間協力事業所)	19 36団体 45件 125事業所
				職親事業参加者	6人

科目	予算現額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		将来設計セミナー参加者 131人 3 執 行 額 80,260,950円 (うち報 酬 16,488,298円) 委託料 33,771,700
			非行少年等立ち直り支援事業 (家庭支援課)	1 施策の趣旨等 「立ち直り支援チーム」が関係機関と連携して、非行等の問題を抱える少年の立直りを支援 するため、少年一人ひとりに適した就学・就労等の寄り添い型支援プログラムを実施し、再 非行の防止を図る。 また、地域の民間団体と協働し、少年の学習支援や相談支援を行う居場所(ユース・コミュ ニティ)を運営することにより、非行・再非行の未然防止を図る。
				2 施策の実施状況 (1) 「立ち直り支援チーム」の運営 設置場所 家庭支援総合センター、福知山総合庁舎(北部サテライト) 支援コーディネーターの配置 6人 臨床心理士の配置 1 (2) 支援人数・体験受入登録事業所数 寄り添い型支援人数 40人 家庭裁判所との連携支援人数 50 体験受入登録事業所数 184事業所 (3) 非行少年等立ち直り支援ネットワーク推進連絡会議会議開催 1回 (4) 「ユース・コミュニティ」の運営設置場所 京都市西京区、宇治市、長岡京市及び精華町参加者 延べ1,352人 3 執 行 額 23,757,955円 (うち報酬 12,483,036円)
3 徴 税 費 2 賦課徴収費 (P90)	1, 521, 010, 000 (6, 400, 334, 000)	1, 496, 131, 006 (6, 361, 379, 880)	京都地方税機構分担金 (税 務 課)	1 施策の趣旨等 府及び府内市町村(京都市除く)の税業務を統合的に行うことにより、納税者の利便性向

決算額の財源 内訳 一般財源 1,496,131,006	上や業務の効率化を図るとともに、公平公正を指標:徴収率 実績:98.9% 2 施策の実施状況 各構成団体の滞納案件に係る徴収業務並びに施した。 (1) 府税の滞納に係る整理状況 移管件数 28,505件 移管額 1,855百移管総額(繰越分含む) 3,691収納額 1,653 (2) 法人関係税の事務共同化の取組状況申告書の受付調定件数 83,824件更正・決定、加算金決定件数 2,605 (3) 自動車関係税の事務共同化の取組状況申告書等の受付件数 261,259件 3 執 行 額	に法人関係税及び自動車関係税の課税業務を実 延滞金・加算金除く ‡ 百万円 市町村分除く ‡ 市町村分除く
4 市町村振興費 2 自治振興費 (P92) (2,892,451,000) (2,814,316,322) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 15,035,000 繰 入 金 601,498,000 府 債 900,000,000 一般財源 531,257,344	府と市町村、市町村間の連携を強め、一体と 施策との相乗効果を発揮し、地域の課題解決に 市町村間の連携や行政サービス提供体制・公共 市町村の取組を支援する。 (1) 地域づくり連携推進事業 目標:子育て環境日本一の推進など各年度 「最重点支援枠」として積極的に支 地域づくりの推進に寄与する事業を 実績:「最重点支援枠」をはじめ、府内市時 発揮する取組を実施 (2) 市町村間連携推進事業 指標:市町村が他の市町村と連携して行き 実績:24市町村等(一部事務組合・広域返 (3) 行政サービス改革推進・小規模市町村支援	は施設運営のあり方の見直し・改善に取り組む きの重点課題への克服・解決に寄与する事業を を援するほか、府と市町村が連携した効果的な を支援 町村(京都市除く)が府の施策との相乗効果を の広域的な事業を支援 連合含む)連携事業数33件

科目	予 算 現 額	決 算 額 主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	F	B B	実績:行政サービス提供体制の工夫を支援 8 市町村 公共施設の運営改善、あり方の見直しを支援 11
			2 施策の実施状況 (1) 地域づくり連携推進事業 全市町村において、府が推進する重点施策分野における府と市町村の連携を強めるとと
			もに効果的な地域づくりに向けた取組の推進に寄与した。 件数 金額
			子育て環境日本一の推進 146件 645, 285, 000円
			高齢者が安心して暮らせるまちづくりの促進 37 121,311,000
			ひきこもり者の社会参加の促進 3 4,256,000
			スポーツ交流の拡大 5 14,969,000
			多文化共生の推進 18 50,871,000
			地域文化の振興 19 33,658,000
			広域周遊観光の促進 19 59,723,000
			地域経済を担う産業の創出等 58 223,420,000
			防災対策の推進 63 92,819,000
			過疎地の交通移動手段の確保 18 78, 296, 000
			新型コロナウイルス感染症対策 9 23,859,000
			その他 67 173, 737, 000
			計 462 1, 522, 204, 000
			(2) 市町村間連携推進事業
			市町村間で取り組む事務の共同処理による効率化、業務連携による施策効果の向上に資
			する取組を支援し、府内の市町村間連携の推進に寄与した。
			10市7町1村6団体 177, 796, 000円
			(3) 行政サービス改革推進・小規模市町村支援事業
			厳しい財政状況に置かれている市町村の行政サービス提供形態の工夫による行財政コス
			トの削減、効率化に資する取組を支援し、持続可能な行政サービスの提供に向けた行財政
			基盤構築の推進に寄与した。
			10市8町1村 200,000円
			3 執 行 額 1,900,000,000円
			(交付金)
		 地域交響プロジェクト	1 施策の趣旨等
		地域交替プロジェクト 推進事業	1
		/ 地域政策室 \	施できるよう、周辺住民の協力が得られる環境の整備や他の活動団体や市町村、府等との連
		(社会教育課)	携・協働関係の構築を支援する。
			5.4 12.1 × 11.1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

指標:地域課題の解決に取り組む活動に対する支援件数

実績:延べ549件

2 施策の実施状況

(1) 地域交響プロジェクト交付金

地域住民が相互に協力して課題解決に取り組む活動が継続して実施出来るよう、周囲の環境の整備や他団体、行政との連携・協働を目指す取組を支援した。

	件数	金額
重点課題対応プログラム	156 件	54, 750, 000 P
介護予防分野	(29)	(7,591,000)
見守り・生活支援分野	(11)	(3,413,000)
子育て分野	(61)	(27,052,000)
ひきこもり分野	(14)	(4, 275, 000)
防災分野	(7)	(2,677,000)
多文化共生分野	(8)	(1,341,000)
協働教育分野	(26)	(8,401,000)
基盤強化プログラム	127	43, 278, 000
地域協働モデル推進プログラム	7	2, 717, 000
計	290	100, 745, 000

(2) 伴走支援・基盤強化事業

専門家による周囲との関係性構築の少人数制講座や伴走支援等により、NPO等地域活動 団体の持続性強化やさらなる府民の参画に寄与した。

ア きょうとNPOアカデミー事業

非営利活動団体が自らの運営を振り返り、ステップアップのための組織基盤強化や安定的な自主財源の確保を目指す講座を実施し、団体の持続的な事業運営やさらなる共感の高まり、先進性・専門性の深化へとつなげた。

受講団体 13団体

イ 民間力による地域力再生促進事業

活動の支え手との関係づくりに関心を持っている団体に対して専門家によるセミナーを実施した。

専門家によるセミナー参加者数 208人(179団体)

ウ 専門家派遣事業

府政の重点課題の解決や地域で自立的に活動を行う団体に対し、専門家の派遣による 定期的なアドバイスを行い課題解決への伴走支援を実施した。

専門家派遣回数 60団体延べ192回

工 地域協働推進事業

地域コミュニティが地域で抱える課題を掘り起こし、その解決方法や地域が目指すべき方向性を共有するため、地域に関わる多様な主体が対話する場の設置などを実施

科目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		した。 対話の場の実施回数 7地域延べ12回 3 執 行 額 132,755,344円 (うち交付金 100,745,000円)
			地域活動緊急支援事業 (地域政策室)	1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた府民の年末年始の生活不安を解消するため、こどもの居場所や大学、NPO等を通じた緊急的な支援を実施した。 2 施策の実施状況 NPO等の民間団体が、新型コロナウイルス感染症の影響により生活に困窮する方に対し、年末年始に支援物資を無償で提供する活動について支援した。 支援団体数 57団体 支援額 15,035,000円
				3 執 行 額 15,035,000円 (交付金)
5 選 挙 費 3 衆議院議員 選挙費 (P94)		1, 295, 315, 948 (1, 295, 315, 948) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 1, 295, 315, 948		1 施策の趣旨等 令和3年10月14日の衆議院解散に伴う衆議院議員総選挙であり、その概要は、次のとおりである。 2 施策の実施状況 衆議院議員総選挙を適正に管理・執行した。 選 挙 期 日 令和3年10月31日 選挙すべき定数 6人(6選挙区計)(比例代表(近畿)28人) 立 候 補 者 数 20 (比例代表("")9政党127人) 当日の有権者数 2,104,958 (比例代表(京都府)2,104,958人) 投 票 者 数 1,185,530 (""("")1,185,350人) 投 票 率 56,32% (""("")56,31%) 3 執 行 額 1,295,315,948円 (うち交付金 1,153,744,463円)

4 最高裁判所 裁判官国民 審査費 (P94)	13, 000, 000 (13, 000, 000)		(自治振興課)	1 施策の趣旨等 衆議院議員総選挙と同時に行われた最高裁判所裁判官国民審査であり、その概要は、次の とおりである。 2 施策の実施状況 最高裁判所裁判官国民審査を適正に管理・執行した。 審 査 期 日 令和3年10月31日 審査すべき人数 11人 当日の有権者数 2,103,236 投 票 者 数 1,181,186 投 票 率 56.16% 3 執 行 額 12,509,755円
5 知事選挙費 (P94)	449, 000, 000 (449, 000, 000)		(自治振興課)	1 施策の趣旨等 令和4年4月15日任期満了に伴う京都府知事選挙であり、その概要は、次のとおりである。 2 施策の実施状況 京都府知事選挙を適正に管理・執行した。 選 挙 期 日 令和4年4月10日 選挙すべき定数 1人 立 候 補 者 数 2 当日の有権者数 2,063,401 投 票 者 数 775,461 投 票 率 37.58% 3 執 行 額 448,381,337円 (うち交付金 368,144,288円)
6 府議会議員 補欠選挙費 (P94)	8, 000, 000 (8, 000, 000)	· ' '		1 施策の趣旨等 京都市北区選挙区における府議会議員補欠選挙であり、その概要は、次のとおりである。 2 施策の実施状況 京都市北区選挙区における府議会議員補欠選挙を適正に管理・執行した。 京都市北区選挙区 選挙期日 令和4年4月10日 選挙すべき定数 1人

科目	予算現額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	F	円		京都市北区選挙区 立 候 補 者 数 4人 当日の有権者数 90,508 投 票 者 数 35,815 投 票 率 39.57% 3 執 行 額 7,794,893円 (うち交付金 6,284,101円)
6 防 災 費 1 防災総務費 (P96))(2,807,425,307) 決算額の財源 内訳 国庫支出金		1 施策の趣旨等 適切な原子力防災対策の推進を図る。 目標:UPZ(原子力発電所から概ね30km圏)内の市町等と合同で、令和2年7月に改定された広域避難計画「高浜・大飯地域の緊急時対応」における感染症流行下での防護 措置等を踏まえた原子力総合防災訓練等を実施し、感染症流行下での避難計画等の 実効性の向上を図る。 実績:原子力総合防災訓練を実施(参加機関約15機関、約280人) 2 施策の実施状況 原子力災害に備え、避難訓練や広域避難調整会議の実施、原子力防災資機材の整備等により、原子力所災体制の充実・強化を図った。 原子力発電所緊急時安全対策事業 ・原子力発電所事故時の避難訓練(図上・実動)の実施 実施日 場所 原子力総合防災訓練(実動)令和3年11月28日 舞鶴市、宮津市、京丹波町 実動訓練前に各市町で図上訓練を実施 ・原子力防災資機材の整備 人検査用資機材の整備 人検査用資機材の整備 ・緊急時連絡網の管理運営 3 執 行 額 234,395,850円

原子力災害対策施設整備事業 (原子力防災課)	1 施策の趣旨等 原子力発電所の周辺地域住民の安全確保のため、要配慮者施設や屋内退避施設の放射線防護工事及び資機材整備の支援を実施する。
	指標:要配慮者施設の放射線防護工事等の支援 目標:6箇所 実績:6箇所
	 2 施策の実施状況 原子力災害発生時に、即時避難が困難な要配慮者等が一時的に退避できる施設を確保するため、既存の屋内退避施設の機能強化等に助成した。 施設種別 箇所数 高齢者福祉施設 3 箇所 障害者福祉施設 2 公 民 館 1
	3 執 行 額 113,916,900円 (補助金)
マルチハザード情報活 用促進事業 (災害対策課)	1 施策の趣旨等 災害時に府民一人ひとりが自らの安全を確保する行動がとれるよう、マルチハザード情報 提供システムの運用・保守を行うとともに、ハザード情報を随時更新する。
	2 施策の実施状況 府管理河川(70河川)の洪水浸水想定区域図や避難施設等のハザード情報を更新した。
	3 執 行 額 9,098,100円 (委託料)
総合防災訓練等実施事 業 (災害対策課)	1 施策の趣旨等 防災関係機関の連携強化や防災意識の高揚を図るため、地震や水害を想定した訓練及び防 災教育を実施する。
	2 施策の実施状況 (1) 防災教育・啓発 防災に関する知識・技術を体系的・実践的に修得するための出前講座を実施した。 実施回数 6回 参加者 126人 (2) 災害ボランティアセンターの設置・運用研修

科	目	予算	現	額	決	算	額	主	要	なが	施	策				施		策	の	実	施	状	況	ع	=	成	果	等		
				円			円							実施 実	地災 した。 施回 加者			ティフ 11回 264人		ノター	の早	期設置	置や活動	動支払	爰を	行える	る人材	才育成	のための研	∓修≀
													3	執	行	客	湏											1, 368	,796円	
								事	幾管理 業 危機管				₹		災害・ でき・	 や大規 る常記	- 見模 殳の1		_				事象へ(可けた)		_				等の応援態	[勢
													3	常設執				ンタ-	一設置	置に向	けた	基本語	計を	実施し	した。	0		4, 943 (委 言	, 400円 E料)	
								避事	1-	営訓練 ぽ対策詞				府の	作成	指針に	こ基						「行わる 【を支持			ムライ	インを	を活用	する地域に	こお
													2	施策 7 市			-	熱中症	走計や	b間仕	切り	等の過	難所	軍営に	こ必	要な詞	没備は	こ対し	助成した。	
													3	執	行	客	頂											7, 037 (補 月	, 000円 加金)	
								染	型コロ [:] 定拡大 危機管	防止推	進	事業	ā 1	ること 査パッ	店が「 によった テージ	取り り、 利 ジ制 検査 も	目む! 利用・ 夏及・	者が3 び旅行 感染抗	安心し テ等を 広大化	ノて飲 を行う 頭向に	食店 場合 ある	を利用 にワク 場合に	でき プチン 知事(る環境 妾種歴	竟を 歴や	整備 検査	する。 結果る	また を確認	創設、普及 、ワクチン する取組へ を感じる府	ノ・ への

2 施策の実施状況

(1) 第三者認証制度

利用者・事業者がともに安心して飲食店を利用できる環境を整備するため、飲食店が実 施する感染防止対策について個別に訪問確認し、基準を満たす飲食店を認証するととも に、見回り等により啓発、指導等を実施した。

認証店舗数 12,363店

(2) 検査環境整備事業

ワクチン接種歴や検査結果を確認する取組等のために府民が受ける検査や、感染拡大傾 向にある場合に知事の要請により感染に不安を感じる府民が無料で受ける検査について、 検査を実施する事業所の登録を推進し、実施された検査に対し助成した。

実施箇所数 180箇所 検査実施件数 133.148件

3 執 行 額

1,788,304,725円

(うち補助金 1,173,655,709円) 委託料 611,061,047

災害時避難行動促進事 1 施策の趣旨等 業

(災害対策課)

コロナ禍における避難所数の不足という課題に対し、避難場所を緊急的に確保するととも に、避難所における要配慮者対策等の「質」(生活環境)及び「量」(避難所数)の不足に対 応する広域避難体制の構築に向けた検討を実施する。

- 2 施策の実施状況
- (1) 避難所緊急確保事業

コロナ禍における避難所数の不足という課題への緊急的な対応策として、山城総合運動 公園及び丹波自然運動公園に、看板や夜間照明等の車中避難に必要な資機材を整備した。

(2) 防災プラットフォーム設置事業

府、防災関係行政機関、大学や学術研究機関、民間事業者等により、ICTを駆使した情 報ツールによる避難情報発信等の仕組みや風水害時における広域避難体制の構築について 研究を行うプラットフォームを設置し、検討を実施した。

開催回数 5回

(3) 広域避難体制構築準備事業

避難所における「質」(生活環境)及び「量」(避難所数)に係る課題解決を目的とした 広域避難体制の構築に向け、必要な情報の収集、整理及び検討を実施した。

3 執 行 額

11, 218, 683円

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
2 消防連絡調整費 (P96)	用 113, 497, 000 (258, 323, 000)	112, 749, 452	わがまちの消防団強化・応援事業 (危機管理総務課)	1 施策の趣旨等 消防団員の確保等、消防団が実施する取組を支援し、安心安全な地域づくりを推進する。 指標:消防団員充足率 目標:100% 実績:87.0%(令和4年4月1日現在) 2 施策の実施状況 (1) 消防団活動活性化支援 消防団員の確保や活動活性化を支援し、各地域における消防団活動の充実強化を推進した。 ア わがまちの消防団強化交付金 内 容 消防団の自主的な取組に対する支援 実 績 55消防団 活用団員数 16,881人 イ 地域防災力総合支援事業 内 容 消防団車両等の整備に対する支援 実 績 75消防団の裾野拡大の取組 内 容 経験者・女性・大学生等への働きかけによる消防団への加入促進 実 績 消防団員のBの登録 延べ75人 大学生消防防災サークル数 "13大学(継続13大学) エ 京都府消防団応援の店事業 内 容 府内飲食店等の登録店舗で割引サービス等を提供することにより、府内の消防団員やその家族を応援する制度の運用 実 績 274店舗 (2) 消防団員確保対策 団員募集チラシ等による消防団加入促進キャンペーンを実施した。 (3) ふるさとレスキュー事業 府内中山間地において、災害時などに消防団員等の地域住民が協力し、現地でいち早くけが人の救助等を行う「ふるさとレスキュー」の立上げを支援した。 取組地域 人数 佐濃(京丹後市) 183人 (4) 災害時避難行動円滑化事業 消防団が自主防災組織と実施する避難訓練に必要な資機材整備に対し助成した。 実 績 2地域 3 執 行 額 112,749,452円 (補助金)

第3款 民 生 費

科目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
1 社会福祉総務費 (P100)	(33,518,309,000 翌年度への繰越 事業費繰越額	26, 405, 407, 376 (X 32, 939, 898, 739) 決算額の財源 内訳 国庫支出金	京都式地域包括ケアセカンドステージ事業 高齢者支援課 地域福祉推進課 障害者支援課	1 施策の趣旨等 医療・介護・福祉を一体化した地域包括ケアを推進し、高齢者が住み慣れた地域で安心し て暮らし続けられる社会の実現を図る。 京都府介護・福祉人材の確保 目標: 7,500人(うち北部1,050人)(令和3年度~令和5年度まで) 実績: 2,685 (うち北部 387)(令和3年度) 2 施策の実施状況 (1) 京都府介護・福祉人材確保総合事業 福祉人材の確保及び定着を図るための支援を行った。 ア 福祉人材育成認証システム推進事業 全国に先駆けた取組として、人材育成に積極的に取り組む福祉事業所を府が認証し、公表する「きょうと福祉人材育成認証制度」を推進した。 宣言法人 認証法人 287 上位認証法人 15 イ 人材確保・定着 (ブ) 福祉の星事業 福祉業界のイメージアップのため、上位認証法人の職場環境改善モデルについて積極的に広報を行うとともに、職場の魅力発信を行い、福祉業界の見える化を推進した。 (4) 介護・福祉人材ブラットフォーム事業 関係機関・団体からなるブラットフォーム(きょうと介護・福祉ショブネット)により、介護・福祉人材プラットフォーム(きょうと介護・福祉ジョブネット)により、介護・福祉人材でラットフォーム(きょうと介護・福祉ジョブネット)により、介護・福祉人材でラットフォーム(きょうと介護・福祉ショブネット)により、介護・福祉人材でラットフォーム(きょうと介護・福祉ショブネット)により、介護・福祉人材でラットフォーム(きょうと介護・福祉ショブネット)により、介護・福祉人材の正常に発言に係る事業を企画・調整するとともに、「情報発信等を行った。 (グ) 福祉人材カフェに家がジョブパーク内) 相談件数 3,946件 就職者数 702人北部福祉人材カフェ(北京都ジョブパーク内) 相談件数 3,946件 就職者数 702人北部福祉人材カフェ(北京都ジョブパーク内) 相談件数 3,946件 就職者数 702人北部福祉人材カフェ(北京都ジョブパーク内) 1,664 "387 福祉・編就職プェアの開催 全域 2回 地域別 1回福祉就活サポート事業 就職者数 23人

科	目	予	算	現	額	1	夬	算	額	ŧ	要	な	施	策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
					F.	3			F	9					ウ 人材育成
															小・中・高校生に対する職業教育プログラムや福祉職場未経験者への職場体験事業を
															実施し、介護・福祉を担う人材を育成した。
															次世代の担い手育成事業 小学校4校87人、中学校1校17人
															職場体験事業 高等学校 4 校128人
															エ 介護・福祉人材総合支援センターの運営
															介護福祉人材確保の拠点として、就業支援やマッチングに加え、就業後の研修や定着
															支援までを一体的に実施した。 就業相談・マッチング事業 内定者 188人
															オー介護福祉士等修学資金貸付事業・介護人材再就職準備金貸付事業等の実施
															介護福祉士等を目指す学生への修学資金貸付制度の充実及び離職した介護人材が再就
															職する際に必要となる準備金の貸付を実施した。
															また、介護福祉士の資格を取得しようとする者に対し、実務者研修の受講に必要な資
															金の貸付を実施した。
															修学資金貸付 80件
															再就職準備金貸付 18
															実務者研修受講資金貸付 57
															カ 北部福祉人材養成システム推進事業
															府北部地域の医療・福祉施設・行政・地域の団体等が協働して学生等を対象とした社
															会福祉に関する実習やフィールドワーク等を実施。福祉や北部地域の魅力を体感するこ
															とにより府北部地域での就職につなげた。
															参加者 147人 (オンライン型含む)
															キ 業務効率化支援事業 介護サービス従事者の介護における身体的負担の軽減や業務の効率化を目的に、介護
															「ではりっと人徒争者の介護にのりる身体的負担の軽減や業務の効率化を自的に、介護 ロボット及びICT機器の導入に係る補助金を交付した。
															イボット及びに1機器の導入に振る補助金を支付した。 補助金交付 介護ロボット 39事業所、ICT機器 63事業所
															(2) 新・地域包括ケア総合交付金事業
															京都式地域包括ケアシステムの3大プロジェクト(認知症、リハビリ、看取り)を軸と
															した、地域の特性に応じた市町村の積極的な取組や、団体による府全域を対象とした人材
															育成事業、団体と市町村との連携による取組に対して交付金を交付した。
															2 市町村 2,059,000円
															7 団体 11, 282, 000
															(3) 看取リプロジェクト推進事業
															「『さいごまで自分らしく生きる』を支える京都ビジョン・京都アクション」に基づき、
															看取りサポート専門人材の養成や、本人の意思を尊重した在宅及び施設における看取りの
															支援等、看取り対策を推進した。

	ア 看取りを支える看護師や介護支援専門員等の専門人材を育成するための研修の実施 看護師 377人 介護支援専門員 667 介護職員 816 イ 看取りに係る啓発事業の実施 市町村数 19市町村 (4) 高齢者等見守り地域づくり事業 地域の高齢者、障害者、児童等、要配慮者の見守り・生活支援を進めるため、地域の活動団体を巻き込んだ「見守りネットワーク(絆ネット)」により、見守り団体の強化・支援を実施した。 絆ネット構築市町村 13市町 訪問見守りボランティア支援数 612団体
	3 執 行 額 480, 132, 616円 (うち委託料 567, 307, 000円) (する補助金 331, 716, 038)
重度心身障害児(者) 等医療給付助成事業 (医療保険政策課)	1 施策の趣旨等 重度心身障害児(者) ひとり親家庭及び重度心身障害のある高齢者の経済的負担の軽減を 図る。
	2 施策の実施状況 市町村が実施する福祉医療給付事業等に助成した。 重度心身障害児(者)
	京都市 京都市以外の市町村 計 医療費 1,095,834,406円 848,121,202円 1,943,955,608円 ひとり親家庭
	京都市 京都市以外の市町村 計 489, 432, 801円 387, 392, 665円 876, 825, 466円 重度心身障害老人 京都市 京都市以外の市町村 計
	" 561, 391, 096円 455, 999, 702円 1, 017, 390, 798円
	3 執 行 額 3,883,332,200円 (補助金)
新型コロナウイルス感 染症対策事業 (地域福祉推進課)	1 施 策 の 趣 旨 等 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備え、必要な対策を講じることにより、府民生活 の安心の確保を図る。
	2 施策の実施状況 (1) 生活福祉資金貸付事業

科目	予 算 現 額	決 算 額 主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	P	円 円 災害時要支援者コミュニケーション支援事業 (障害者支援課)	新型コロナウイルス感染症による経済への影響に伴う休業や失業等により一時的又は継続的に収入が減少した世帯の生活の立て直しを図るため、生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例貸付を実施した。(貸付原資の補助)補助金交付先京都府社会福祉協議会補助金交付額22,025,914,000円 (2) 住居確保給付金支給事業新型コロナウイルス感染症により経済的に困窮し、住居を失った又はそのおそれがある者に対し、家賃相当額(生活保護の住宅扶助費上限)を支給した。支給期間原則3箇月(状況により延長可(最長9箇月))新規決定件数21件 3 執行額 22,041,860,560円(うち補助金22,025,914,000円)
			2 施策の実施状況 避難所において意思疎通支援を必要とする方、その他避難所内で合理的配慮が必要な方の ために市町村が行う備品等の整備に対して支援を行った。 実施市町村 2 市町 3 執 行 額 82,000円 (補助金)
2 障害者福祉 費 (P100)	(22,438,895,600 翌年度への繰越	× 21, 764, 338, 843 業 決算額の財源 (障害者支援課)	1 施策の趣旨等 障害福祉計画に定めるサービス見込量を確保するため、施設の創設や既設事業所の大規模 修繕等に要する経費を助成し、量的整備と質の向上を図る。
	事業費繰越額 134,504,00 障害者施設整備 助成事業費	内訳 国庫支出金 452,615,391 寄 附 金 100,000 繰 越 金 3,467,000	指標:共同生活援助の支給決定見込量 目標:1,923人 実績:1,935人 2 施策の実施状況 (1) 共同生活援助・短期入所・生活介護(創設) 設置主体 社会福祉法人成光苑 事業所名 ライフ・ステージ夢咲(舞鶴市) 定員 42人

府 債 72,000,000 — 般財源 97,557,299		総事業費 411,382,865円 補助額 91,400,000 (2) 生活介護・施設入所支援(大規模修繕) 設置主体 社会福祉法人南山城学園 事業所名 障害者支援施設 紡(城陽市) 定員 37人 総事業費 131,267,840円 補助額 48,757,000 (3) 生活介護・施設入所支援(大規模修繕) 設置主体 社会福祉法人南山城学園 事業所名 障害者支援施設 紡(城陽市) 定員 37人 総事業費 111,744,160円 補助額 65,007,000 (4) 生活介護・就労継続支援A型及びB型・施設入所支援(自家発電) 設置主体 社会福祉法人南山城学園 事業所名 障害者支援施設 魁(城陽市) 定員 60人 総事業費 16,500,000円 補助額 12,375,000 (5) 生活介護・就労継続支援B型・計画相談支援(改築) 設置主体 社会福祉法人うめの木福祉会 事業所名 城陽作業所(城陽市)
	障害者文化・スポーツ 1 振興事業 (障害者支援課)	定員 40人 総事業費 396,007,050円 補助額 128,130,000 3 執 行 額 233,860,000円 (補助金) 1 施策の趣旨等 障害のある人もない人も共に安心していきいきと暮らせる共生社会を実現するため、障害 のある人の文化芸術及びスポーツ活動を推進する。 指標:スポーツ、文化、芸術、レクリエーション活動への障害のある人の延べ参加者数 実績:3,620人 2 施策の実施状況 (1) 自立型障害者アート推進事業 「きょうと障害者文化芸術推進機構」の運営や芸術作品のアーカイブ化を行い、文化芸術

科目	予算現額 決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円 円		活動を推進した。 障害者文化芸術展の企画・開催 来場者数 1,951人 「共生の芸術祭 旅にでること、その準備」 " 1,170 とっておきの芸術祭 " 2,363 アートサポーター等人材育成 3回 受講者数 延べ36人 アーカイブ「アートと障害のアーカイブ・京都」 作家数 18 (2) 障害者スポーツ推進事業 身近な施設でスポーツに親しむ障害者を増加させるため、指導員の養成や、スポーツ庁から指定を受けたナショナルトレーニングセンター(NTC)の整備、体験イベントやオンライン運動会の開催等、障害者スポーツの推進を図った。 障害者スポーツ指導員養成講習会 参加者数 24人 パラリンピック競技ナショナルトレーニングセンターパワーリフティング強化合宿等参加選手数 172人 障害者スポーツ拠点NTCの備品の整備等 体験イベント 参加者数 330 オンライン運動会 9競技、投稿動画総数 293本、投稿団体 33団体 3 執 行 額 71,889,014円 (うち養託料 17,144,857円)
		京都式農福連携事業(障害者支援課)	1 施策の趣旨等 農福連携を軸に、障害者の就労促進や地域の人々と交流できる仕組みの構築を行い、障害者が地域の担い手となる地域共生社会づくりを推進する。 2 施策の実施状況 きょうと農福連携センターを中心に、農福連携を通じて地域社会づくりを行う事業所に対する補助や、農産物等を販売する「マルシェ」の開催、農業技術等に係るアドバイザーの派遣、就農促進や意欲向上のためのキャリアパス制度の運営等を行った。京都式農福連携補助金 11事業所マルシェ開催 12回アドバイザー派遣 10チャレンジアグリ認証修了 8人 3 執 行 額 39,302,236円(うち補助金 27,868,000円)

発達障害者支援体制整 備事業 (障害者支援課) 1 施策の趣旨等 発達障害児者に対する相談支援体制を整備するとともに、府民への発達障害に関する普及 啓発を行う。 2 施策の実施状況 (1) 発達障害者支援センター運営事業 発達障害者支援センター「はばたき」において、発達障害児者及び家族からの相談に応 じた助言等を行うとともに、関係機関と連携し、発達障害児者に対する地域の支援体制の 向上を図った。 本人等の相談支援 実人数 297人 延件数 1,204件 相談機関への助言 延件数 9件
関係機関向け研修 開催回数 7回 受講人数 609人
(2) 発達障害者圏域支援センター運営事業 府内 6 圏域の発達障害者圏域支援センターにおいて、発達障害児者及び家族からの日常 の相談・支援等を行うとともに、圏域内の関係機関の連携を図った。 (丹後)障害者生活支援センター結 (中丹)福知山市障害者生活支援センター青空 (南丹)花ノ木医療福祉センター (乙訓)乙訓ひまわり園地域連携室 (山城北)障害児(者)地域療育支援センターういる (山城南)しょうがい者生活支援センター「あん」 (3) 京都府発達障害者支援体制整備検討委員会 発達障害の早期発見・早期療育やライフステージを通じた適切な支援が継続して行われるよう、医療、保健、福祉、教育、労働等の各分野が連携した総合的な支援施策の検討を行った。 (4) 普及啓発事業 発達障害関係団体と連携し、府民への発達障害に関する普及啓発活動を行った。 2回 令和3年4月2日(京都市内、福知山市内)
3 執 行 額 44,993,900円 (うち委託料 44,633,900円)
新型コロナウイルス感 1 施策の趣旨等 染症対策事業 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備え、必要な対策を講じることにより、府民生活 (障害者支援課) の安心の確保を図る。
2 施策の実施状況 (1) 多床室の個室化改修経費支援事業 多床室の個室化に要する改修経費を補助することで、当該施設における新型コロナウイ

科目	予算現額 決算額 主要な施策 施策の実施状況と成果等	
	円 円 ルス感染症の感染拡大の防止を図った。 ア 設置主体 社会福祉法人不動園	
	事業所名 天ヶ瀬きぼうの家(宇治市)	
	定員 60人 総事業費 1,188,000円	
	補助額 891,000	
	イ 設置主体 社会福祉法人京都太陽の園	
	施設名 障害者支援施設こひつじの苑舞鶴 (舞鶴市) 定員 60人	
	補助額 1,064,000	
	(2) 障害者就労支援事業所維持確保事業	
	新型コロナウイルス感染症の影響により生産活動が縮小している就労総	^E 続支援B型事
	所等に対し、障害福祉サービスを継続するために必要な支援を行った。 支援事業所数 70事業所	
	支援額 30,588,000円	
	(3) 障害福祉施設感染症対策促進事業	
	新型コロナウイルス感染症の拡大に備え、必要となる資材を調達し、ク	ラスターが発
	した障害福祉施設への配布を行った。 資材配布数	
	防護服 710枚	
	(4) 感染症拡大防止対策支援事業	
	障害福祉サービス事業所等が行う感染症対策のかかり増し経費等に対し	、必要な支援
	行った。 アー感染症が発生した障害福祉サービス事業所等へのかかり増し経費	
	ファンステンス ファンス ファンス ファンス ファンス ファンス ファンス ファンス ファ	
	支援額 20,781,000円	
	イ 感染症防止対策を行う障害福祉サービス事業所等へのかかり増し経費	
	支援事業所数 835事業所	
	支援額 5,939,000円	
	3 執 行 額 235,694	
		22,552,000円)

- //// (12 1222	515,000 92,000) 39,135,845 (118,412,835) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 18,416,000 一般財源 20,719,845	ドメスティック・バイオレンス対策事業 (家庭支援課)	1 施策の趣旨等 家庭支援総合センターを中心に、市町村等関係機関と連携・協力し、配偶者から暴力を受けた者に対する相談対応、一時保護及び自立支援等を実施する。 指標:自立支援計画を策定し継続的に支援する者(概ね2週間以上の家庭支援総合センター入所者) 目標:50件 実績:74件 2 施策の実施状況 (1) 相談・支援機能の強化 家庭支援総合センター(配偶者暴力相談支援センター)において、被害者に対する適切な処遇を行うための相談・支援を実施した。 相談件数 延べ9、247件 カウンセリング件数 "262 (2) 一時保護、被害者の自立支援事業
			家庭支援総合センターにおける緊急一時保護や民間支援団体が運営する民間シェルターへの助成により、被害者支援の推進を図るとともに、被害者の地域生活を支援する地域生活サポーターへの資質向上研修を実施した。 ー時保護人数 79人 地域生活サポーター養成数 97 (3) 協力機関の連携・協力 関係機関・団体からなる「DVネットワーク京都会議」を開催するとともに、同会議主催のシンポジウム「DV加害者の心理について」を開催した。また、市町村相談員等を対象に研修を実施し、市町村におけるDV施策の推進・連携体制を強化した。 DVネットワーク京都会議 4回 DV被害者シンポジウム視聴回数 93 市町村相談員等研修 3
			3 執 行 額 19,317,233円 (うち報酬 9,425,847円)
		京都性暴力被害者ワンストップ相談支援センター事業 (家庭支援課)	1 施策の趣旨等 性暴力被害者に対して総合的な支援を提供する「京都性暴力被害者ワンストップ相談支援 センター」を運営し、被害者の心身の負担軽減とその回復を図るとともに、被害の潜在化を 防止し、性暴力のない社会づくりを推進する。
			 2 施策の実施状況 (1) 性暴力被害者の状況に応じた支援を関係機関と連携して実施電話相談 延べ1,415件 来所相談 " 139 同行支援 " 138

科目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	F	P P		公費負担による経済的支援 医療費 34件 カウンセリング265件 (2) 性暴力被害者相談支援員のスキルアップを図るための研修 関係機関の支援をコーディネートできる専門的な知識やスキルの向上を図るための研修 を実施した。 性暴力被害者支援員ステップアップ講座 13回 受講者 延べ107人 3 執 行 額 19,818,612円 (うち委託料 18,057,710円)
4 老人福祉費 (P102)	(40,444,737,000 翌年度への繰越 事業費繰越額	(40, 174, 196, 837) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 56, 724, 000		1 施策の趣旨等 医療・介護・福祉を一体化した地域包括ケアを推進し、高齢者が住み慣れた地域で安心し て暮らし続けられる社会の実現を図る。 2 施策の実施状況 通院等の外出に支援を要する高齢者の移動手段を確保するため、事業者の車両購入経費・ 保有する車両の改造経費の助成及び運転協力者の養成講習会を実施した。 福祉車両購入等助成台数 5台 運転協力者養成講習参加者数 76人 3 執 行 額 5,251,070円 (補助金 4,606,000円)
			老人医療給付助成事業(医療保険政策課)	1 施策の趣旨等 府民の高齢期における適切な医療を確保し、健康を守る。 2 施策の実施状況 65歳以上70歳未満の高齢者のうち、高齢者の医療の確保に関する法律による医療等の給付の対象とならない者を対象に、市町村が行う医療費の給付に助成した。 京都市京都市以外の市町村計 医療費 104,614,935円 220,469,523円 325,084,458円 3 執 行額 335,193,695円 (うち補助金 334,920,458円)

	新型コロナウイルス感染症対策事業(高齢者支援課)	1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備え、必要な対策を講じることにより、府民生活の安心の確保を図る。 2 施策の実施状況 (1) 介護施設等における感染症防止対策にかかる整備等に対する支援 ア 簡易陰圧装置経費支援 37施設 177,944,000円 イ ゾーニング環境整備等経費支援 21 41,563,000 ウ 多床室の個室化改修経費支援 4 78,504,000 (2) 介護サービス事業所等が行う感染症対策のかかり増し経費等に対する支援 ア 感染症が発生した介護サービス事業所等へのかかり増し経費 支援事業所数 473事業所 支援額 386,585,000円 イ 感染症防止対策を行う介護サービス事業所等へのかかり増し経費 支援事業所数 1,936事業所 支援額 32,130,000円 3 執 行 額 734,335,627円 (うち補助金 716,726,000円)
進費 (39, 239, 507, 000) 38, 67 (P104) 翌年度への繰越 事業費繰越額 315, 440, 000 京都式地域包括 ケアセカンドス テージ事業費 繰 を 繰 を を の の の の の の の の の の の の の の の	額の財源	 施策の趣旨等 介護保険制度の円滑な運営を図る。 施策の実施状況 介護保険法に基づき、市町村の介護給付及び予防給付に要する費用の一部を負担した。 要介護認定者数 163,736人 受給者数 137,776 給付額 236,196,506,779円 執 行 額 35,073,807,984円 (負担金) 施策の趣旨等 医療・介護・福祉を一体化した地域包括ケアを推進し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会の実現を図る。 施策の実施状況 (1) 認知症総合対策事業 ア 認知症の人とその家族を支えるため、相談体制の充実及び専門的な診断等のサービスを充実し、医療・介護・福祉の連携体制の強化を図った。

日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	科目	予算現額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
,	科目				認知症疾患医療センターの設置 26市町村 26市町村 初期認知症対応型カフェの設置 26市町村 初期認知症対応型カフェの設置 26 割知症対応力向上研修受講者数 800人 高齢者あんしんサポート企業 登録数 252事業所 養成研修受講者数 373人 イ 京都認知症総合センター機能強化事業 認知症の初期から重度まで、状態に応じた適時・適切なサービスを一体的に提供する 複合型施設「京都認知症総合センター」における医療・介護連携の枠組みの構築や、初期支援プログラムの開発等を支援した。 ウ 認知症アクションアライアンスの推進 当事者ワーキンググループの設置等による認知症の方にやさしいまちづくりを推進した。 エ 若年性認知症対策の推進 就労継続できる環境の整備に向け、若年性認知症支援コーディネーターを設置するとともに、産業医等への理解促進のための研修を実施した。 (2) 介護予防安心住まい推進事業 市町村が実施する要介護状態となるおそれが高い高齢者等の住宅改修事業に対して助成した。 8 市町 50世帯 (3) 地域介護基盤整備促進事業 地域医療介護総合確保基金を活用して、認知症グループホーム等の設置を促進し、量的整備を行った。 ア 地域密着型サービス等整備助成事業 市町村の計画に基づき事業者が実施する認知症グループホーム等の整備事業に助成し、介護基盤整備を推進した。 特別養護老人ホーム 6 箇所 小規模特別養護老人ホーム 3 介護医療院 1 認知症高齢者グループホーム 2 小規模多機能型居宅介護事業所 1 介護予防拠点 3 イ施設開設準備経費等支援事業 開設時から安定した質の高いサービスが提供できるよう、施設の開設準備に必要な初年度経費等に対して助成した。

	介護医療院2認知症高齢者グループホーム5小規模多機能型居宅介護事業所1介護予防拠点18介護付きホーム1訪問看護ステーション1
	(4) 京都地域包括ケア推進機構の事業展開 京都地域包括ケア推進機構において、多職種による在宅療養支援プロジェクト、看取り 対策プロジェクト、認知症総合対策推進プロジェクト等5つの事業推進プロジェクトを実 施するとともに、各保健所に地域包括ケア推進ネットを設置し、プロジェクトを実施する 市町村及び地域団体等に対し支援を行った。
	(5) 介護・医療連携ケア推進事業 医療職と介護職の相互連携に必要な専門知識等に関する研修を実施した。 受講者数 医療的研修 1,204人(延数) 指導看護師養成研修 52 (6) 在宅療養あんしん病院登録システム推進強化事業
	在宅で療養する高齢者がいつでも必要な時に安心して適切な医療サービスを利用できるよう、空床情報の公開によるスムーズな入院を支援するなど、在宅療養あんしん病院登録システムを強化するとともに、医療・介護・福祉の関係者が連携した在宅医療をチームで支える取組を推進した。 在宅療養あんしん病院指定数 134病院
	登録者数 16,266人 (7) 在宅療養サポート強化事業 在宅療養者が病状増悪時等に安心して在宅療養生活を送れるよう、地区医師会や医療機関が連携した拠点の運営や在宅チームの活動を支援した。 (8) 地域課題解決型市町村支援事業 高齢者への介護予防、生活支援サービスの拡充に取り組む市町村に対し、まちづくりや
	企業支援などの専門家と共に、サービスの創出等の支援を行った。 支援対象 3 市町村 3 執 行 額 1,497,809,778円
	(うち補助金 1,396,385,645)
ス推進	齢者支援課) 2 施策の実施状況 (1) 市町村職員を対象とした介護給付適正化研修会事業
	「ケアプラン点検」「要介護認定」及び「介護給付費通知」に係る研修会を開催し、利用

科 目	予 算 現 額	決算額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	H	新型コロナウイルス感 染症対策事業 (高齢者支援課)	者に適切な介護サービスが提供される取組を推進した。 開催数 2回 (2) 介護給付適正化アドバイザー派遣事業 ケアブラン点検アドバイザーを派遣し、市町村職員と事業所等を訪問するとともに、現場の介護支援専門員と意見交換等を行い、知識・技術の向上を図った。 派遣回数 7回 (3) 課題分析事業 令和5年度に第10次高齢者健康福祉計画を策定するため、府内の要介護認定率が高い要因等に係る分析調査を実施した。 3 執 行 額 5,585,453円 (うち報酬 2,061,600円) 1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備え、必要な対策を講じることにより、府民生活の安心の確保を図る。 2 施策の実施状況 介護サービス事業所等におけるマスク等の衛生用品の不足に備え、備蓄を行うとともに、必要に応じて配付を行った。 防護服セット 6,400セット 袖付きガウン 50,000枚 N95マスク 8,000 ゴーグル 4,000個 3 執 行 額 25,689,455円
2 児童福祉費 1 児童福祉総 務費 (P106)	(9,990,445,000)(9 翌年度への繰越 事業費繰越額	9, 261, 121, 848)	(医療保険政策課)	 施策の趣旨等 子育てに係る経済的負担を軽減し、子育てを社会全体で支援する。 施策の実施状況 中学校卒業までの子どもを対象に、市町村が実施する子育て支援医療給付事業に対して助成した。

新型コロナウイ ルス感染症対策 費	寄 附 金 82,897,054 繰 入 金	京都市 京都市以外の市町村 計 医療費 1,161,518,498円 1,234,630,223円 2,396,148,721円
	19, 744, 513 一般財源 2, 955, 187, 317	3 執 行 額 2,420,511,941円 (うち補助金 2,420,307,000円)
	児童虐待総合対策事業 こども・青少年 (総合対策室 家庭支援課 警察本部)	1 施策の趣旨等 急増・困難化する児童虐待に迅速かつ的確に対応するため、関係機関と連携を図り、未然 防止、早期発見・早期対応、再発防止に至るまで、一貫した施策を総合的に推進する。
	警察本部	2 施策の実施状況 (1) 未然防止 心理カウンセラー、医師、保健師等による相談・支援を行うとともに、児童虐待防止ネットワーク会議を通じた関係機関との連携強化や市町村への虐待防止アドバイザーの派遣等
		を実施した。 心理カウンセラー等による相談・支援 延べ86人 虐待防止アドバイザーの派遣 13市町 (2) 早期発見・早期対応 児童相談所への児童虐待対応協力員及び児童虐待・DV連携推進員の配置、法的対応を行
		うための弁護士の招へいを実施するとともに、相談援助を行う児童家庭支援センターの運営費を助成し、地域における相談体制を充実した。 児童虐待対応協力員の配置 15人 児童虐待・DV連携推進員の配置 3
		弁護士への依頼件数 231件 児童家庭支援センター相談人数 延べ2,423人 (3) 再発防止 家庭支援総合センターや児童相談所に精神科医を配置し、保護者へのカウンセリングを
		実施した。 精神科医による保護者カウンセリング 141件 (4) 市町村との連携強化 市町村(要保護児童対策地域協議会)職員の保護者対応等、児童虐待に関する専門的な
		対応力・技術力の強化を図った。 要保護児童対策調整機関の調整担当者研修参加者数 20人 3 執 行 額 134,397,597円
		(うち報酬 38,402,580円) 補助金 32,220,928

科 目	予 算 現 額 決	き 算 額 主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円 子育て環境日本一推進戦ニション (総) () () () () () () () () (1 施策の趣旨等 令和元年9月策定の子育で環境日本一推進戦略に基づき、オール京都体制で「子育てにやさしい社会づくり」の実現に向けた取組を推進する。 2 施策の実施状況 (1) 子育てにやさしい風土づくり ア 子育てにやさしい風土づくり推進事費 (ア) 「きょうと子育で環境日本一推進会議の構成団体による「共同声明」各団体の行動宣言」を発信したほか、「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」への賛同を宣言した。 開催日 令和3年11月3日 場所 府立京都学・歴彩館、稲森記念館、プロムナード参加者 約5,000人 子育で応援・見本市参加企業数 11社 (イ) 関係団体と連携した地域サミットの開催 「社会全体で子育でを見守り支える」という気運を醸成するため、各地域において、府民参加型のワークショップ等を開催した。 開催回数 35回 (ウ) 地域子育で環境「見える化」ツールの作成 府内市町村の子育で環境の向上を支援する地域子育で環境「見える化」ツールを作成し、本ツールを用いた市町村町修会を実施した。 エ) 妊婦や子連れ世帯の外出・移動支援モデル事業 府内の商店街、企業の店舗及び公共施設を「きょうと子育て応援施設」と位置づけ、子ども同伴での外出を応援する取組を実施した。 実施店舗 326店舗 イ 京都若者ライフデザイン推進事業 若者 (大学生や企業の若手社員)が人生設計を考えるきっかけづくりのため、ワークショップや仕事と子育でを両立している家庭との交流等、体験的に学ぶプログラムを実施した。 ワークショップ開催数 延べ25校・団体 ワークショップ受講者数 1,462人 仕事と育児の両立体験事業参加企業数 22社 ウ その他 (ア) 「出会いは京都」きょうと婚活応援センター事業 「きょうと婚活応援センター」を活動拠点とし、婚活マスターや婚活支援団体、民間企業等と連携し、総婚の希望を持つ独身者の支援を行うとともに、団体会員制度と登録結婚支援団体制度を通じて、事業所や団体への支援を行った。本会員登録者数 923人

団体会員数 107**計** 婚活マスター登録数 49人 登録結婚支援団体 5 団体 (イ) 京都で育む子育て応援パスポート事業 子育て家庭・妊産婦の方が様々な特典を受けられる「きょうと子育て応援パスポー ト」のさらなる利便性の向上や普及促進のため、同パスポートのスマートフォンアプ リ「まもっぷ」の機能拡充に取り組んだ。 「まもっぷ」利用登録者数 累計108,177人 (ウ) 少子化対策推進事業 府子育て支援審議会幼保連携型認定こども園審査部会を開催し、同認定こども園の 設置に係る審査を行った。 開催回数 2回 (2) 子育てしやすい地域・まちづくり ア 保育人材等総合確保対策事業 (ア) 保育士修学資金等貸付事業 保育士資格取得のための修学資金、潜在保育士の再就職時の就職準備金、保育料等 の負担軽減のための貸付、保育補助者の雇上費の貸付を実施した。 保育十修学資金貸付 66件 潜在保育士の再就職準備金貸付 5 未就学児をもつ保育士に対する保育所復帰支援に係る貸付 保育補助者雇上支援に係る貸付 (イ) 保育士等の確保・養成対策事業 a 事故防止等対策事業 事故防止や事故発生時の対応等に必要な知識・技術の習得等を目的とした研修を 実施するとともに、園内活動中の事故防止等に関するアドバイザー派遣を実施し た。 研修開催回数 6回 アドバイザー派遣巡回件数 12件 b 保育の魅力発信キャンペーン事業 学生や潜在保育士等に向けて保育の魅力を伝えるため、保育団体と合同でSNS等 を活用した広報活動や、特設Webサイトを活用した府内の保育所等の情報やイベン ト情報等の発信を行った。 (ウ) 職場環境改善支援事業 保育所等における短時間勤務の導入やICT化による事務負担軽減等の職場環境改善 のため、巡回支援による改善方法の提案・助言を行った。 巡回支援回数 10回

支援を行った。

巡回支援回数 18回

(エ) 保育士・保育所マッチング支援事業

京都式キャリアパスの普及のため、研修及び京都式キャリア導入支援に関する巡回

科目	予 算 現 額 決	算 額 主 要 な 施 第	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	京都府保育人材マッチング支援センターにおいて、保育士の就職相談、職業紹介、定着支援のほか求人開拓などを実施し、保育人材の安定的確保・定着を図った。京都府保育人材マッチング支援センターにおけるマッチング数 83人離職保育土バンク登録人数 累計335 (才) 学生等への就職・キャリア形成支援相談事業キャリア形成の専門的知識を持つキャリアコンサルタントにより、求職者と保育所等とのマッチング及び定着支援を行った。マッチング数 27件保育所や保育士養成施設等への訪問による情報収集・求人開拓・学生への就職支援を実施した。訪問数 75件 (力) 病児保育促進事業市町村が実施する病児保育の施設整備費や運営費を助成した。実施市町村 19市町 イ その他第3子以降保育料無償化事業子育て世帯の経済的負担感を軽減するため、市町村が実施する3人目以降の幼児教育・保育料無償化事業に対して助成を行った。補助対象全市町村負担割合(保育料無償化分)府1/2、市1/2 (副食費分)府1/4、市3/4 交付額 239,224,000円
		子どもの未来を守る	3 執 行 額 548,449,661円 (うち補助金 462,764,131円) 事 1 施策の趣旨等
		業(家庭支援課)	サーゴール 泉の 趣 自 寺 すべての子どもが生まれ育つ環境に左右されることなく、その将来に夢や希望を持って成 長していけるよう、施策を推進する。
			2 施策の実施状況 (1) きょうとこどもの城づくり事業 子どもたちが自分の家のように安心して過ごせる場所を作り、育ちや学びをサポートする総合的な支援を実施した。 ア ひとり親家庭等のこどもの居場所づくり事業 (ア) 夏休み等短期型 夏休み等長期休暇期間中の生活習慣の確立及び学習等の支援を行った。 実施箇所 4箇所 参加世帯 60世帯

(イ) **涌年型** 年間を通じ、居場所を開設し、生活習慣の確立及び学習等の支援を行った。 実施箇所 26箇所 参加世帯 315世帯 (ウ) 親の学び直し等の支援 こどもの居場所を活用し、ひとり親への生活相談及び学習等の支援を行った。 実施箇所 3箇所 参加世帯 35世帯 イ きょうと子ども食堂開設・運営支援事業 無償又は低価格で食事を提供し、様々な課題を抱える子どもとその保護者の居場所や その他の福祉施策につなぐ入口となる子ども食堂の開設・運営を支援した。 実施箇所 49箇所 ウ 子どもの未来づくりサポーター活動支援事業 若い世代が主体となった子どもの貧困対策に係る取組を支援した。 実施箇所 6箇所 エ きょうとフードセンター事業 食材提供者と子ども食堂等食材受給者とのマッチングを実施した。 実施件数 154件 (2) 施設等入所児童社会生活自立支援事業 ア 就業定着支援事業 児童養護施設等と連携し、入所中から退所後まで切れ目のない支援を実施した。 進路相談人数 4人 研修実施回数 22回 イ 施設退所者居場所運営事業 児童養護施設退所児童の居場所の運営と併せて生活相談等の寄り添い型支援を実施し 交流事業参加退所者数 延べ61人 ウ 施設等入所児童社会生活自立支援貸付事業 保護者の援助が期待できない児童養護施設等入所者及び退所者が、安定した生活基盤 を築くことができるよう、資格取得及び家賃等生活に要する資金の貸付を実施した。 貸付件数 37件 工 社会的養護自立支援事業 措置解除後も引き続き支援が必要な者に対し、22歳の年度末まで居住支援、生活費支 援を実施した。 支援対象者数 4人 3 執 行 額 136, 705, 251**円** (うち委託料 118,999,897円)

発達障害者支援体制整 1 施策の趣旨等

る。

備事業

(障害者支援課)

79

発達障害児に対する切れ目のない支援体制を構築し、安心して子育てできる環境を整備す

科目	予 算 現 額	決 算	額	主	要	なん	5 5	策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円		円						2 施策の実施状況 (1) 発達障害児支援拠点相談体制強化事業 発達障害児に対し、医療・福祉・相談をトータルパッケージで提供できる支援拠点として北部・中部・南部の専門医療機関に相談員を配置し、身近な地域での相談事業を実施した。 北部:府立舞鶴こども療育センター中部:花ノ木医療福祉センター南部:発達障害者支援センターこども相談室 (2) 発達障害診療体制拡充業務 発達障害に係る初診待機期間の短縮に向けて、診断ができる医師を養成するため、若手の小児科医師を対象として、府立こども発達支援センターの医師の指導の下、実習や診察補助等の研修を実施した。 (3) 小児整形外科拠点整備府立舞鶴こども療育センターにおいて、小児整形外科の治療等を充実するための医療機器を整備した。 (4) その他 早期発見された幼児の保護者に対する指導助言等、市町村が行う事後支援への助成等を行った。 3 執 行 額 53,172,262円
				染症效	寸策引	ナウ業 青が支 イン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			3 執 行 額 53,172,262円 (うち委託料 43,614,513円) 1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備え、必要な対策を講じることにより、府民生活の安心の確保を図る。 2 施策の実施状況 (1) 保育所等感染拡大防止緊急対策事業 市町村が実施する保育所等の継続的な運営に必要となる衛生用品や感染防止のための備品の購入等に対し支援を行った。 実施市町村 14市町村 (2) 児童養護施設等の業務継続支援 児童養護施設等において、感染症対策の徹底を図りながら業務を継続していくための経費に対する助成を行った。 児童養護施設等 10施設 里親・ファミリーホーム 9世帯 (3) ひとり親家庭等生活緊急支援事業 ひとり親家庭のこどもの居場所を通じ、食料品や生活必需品を配付した。

				食料品 延べ 8,153世帯 生活必需品 延べ10,451 (4) こどもの城づくり特別支援事業 ひとり親家庭等の子どもの受け皿となる子ども食堂 策を講じて実施する年末年始の催しに対する支援を行 子ども食堂 20箇所 こどもの居場所 23	
2 児童措置費 (P106)		11, 805, 933, 515 (22, 181, 448, 152) 決算額の財源 内訳 一般財源 11, 805, 933, 515	(こども・青少年) (総合対策室)	1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備え、必要なの安心の確保を図る。 2 施策の実施状況 新型コロナウイルス感染症拡大による保育所等の臨時する経費を支援した。 実施市町村 16市町 3 執 行 額	
3 母子福祉費 (P108)	78, 931, 000 (1, 172, 876, 000)	76, 824, 616 (1, 156, 014, 957) 決算額の財源 内 訳 国庫支出金 76, 824, 616	(家庭支援課)	1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備え、必要なの安心の確保を図る。 2 施策の実施状況 (1) 低所得のひとり親家庭への生活支援特別給付金 低所得のひとり親家庭の子育て負担の増加や収入の 支援特別給付金を支給した。 支給世帯数 950世帯 (2) ひとり親家庭相談支援体制強化事業 就労環境の変化等による生活不安に対応するため。 し、ひとり親家庭に対する相談体制を強化した。 3 執 行 額	減少に対する支援を行うため、生活

第4款衛生費

科目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
1 公衆衛生費	円 3, 368, 701, 000	円	子育て環境日本一推進 戦略事業 (こども・青少年総合) 対策室)	1 施策の趣旨等 令和元年9月策定の子育で環境日本一推進戦略に基づき、オール京都体制で「子育でにやさしい社会づくり」の実現に向けた取組を推進する。 2 施策の実施状況 (1) 学校と連携した妊娠・出産に係る啓発事業 小・中・高等学校等に対して、産婦人科医や助産師を派遣し、子どもが医学的知見に基づく妊娠及び出産に関する知識を学ぶ機会を提供し、啓発を行った。派遣小学校数 23校派遣中学校数 12 派遣高等学校数 6 (2) 不妊治療給付等事業 一般不妊治療(保険適用治療、人工授精、不育症治療)及び特定不妊治療(体外受精・顕微授精等)への助成、通院交通費に対する助成等を実施し、患者負担の軽減を図った。治療費助成件数 7,208件通院交通費助成件数 419 3 執 行 額 875,140,942円 (うち,772,819) 1 施策の趣旨等 難病医療法の施行に伴う医療費助成制度の運営をはじめ、難病医療提供体制の整備、難病患者の療養生活支援、多領域の難病に対応できる相談支援体制等の強化を図る。 2 施策の実施状況 (1) 医療費助成制度の運営 指定難病についての治療研究事業を推進し、指定難病患者の医療費負担の軽減を図っ
				(1) 医療費助成制度の運営

科 目	予 算 現 額		主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
		円	9	リキュラム等を策定し、難病指定医を養成した。 難病指定医登録数 累計1,118人 (3) 療養生活支援 ア 在宅難病患者に対する療養支援 難病対策地域協議会の設置等により、地域での包括的な療養生活を推進した。 イ 在宅重症難病患者に対する支援 在宅難病患者等に意思伝達装置等の療養生活機器を貸し出し、難病患者の生活の質の 向上を図った。 貸出件数 38件 ウ 在宅重症難病患者等入院受入体制整備事業 介護者の疾病等により在宅療養が困難になった重症患者の一時的な入院を受け入れ、 重症患者や介護者の負担軽減を図った。 受入件数 37件 (4) 相談支援 難病相談・支援センターにおいて、相談員、専門医による相談を実施し、日常生活の悩みや不安等の解消を図った。 3 執 行 額 1,869,135,768円 (うち扶助費 1,795,588,014円)
			歯と口の健康づくり事業 (健康対策課)	1 施策の趣旨等 京都府歯と口の健康づくり推進条例の規定により策定した京都府歯と口の健康づくり基本 計画(第2次)に基づき、8020運動を推進するなど、口腔保健支援センターを核として、乳 幼児期、学齢期、成人期、高齢期などライフステージに応じた歯科保健の普及・啓発を図る。 指標:12歳児一人平均むし歯数 目標:0.5以下(令和5年) 実績:0.53 2 施策の実施状況 (1) むし歯予防対策事業 幼児・小学生を対象とした、むし歯予防に優れた効果を発揮するフッ化物の塗布・洗口による予防事業を実施する市町村に対して助成し、市町村における歯の健康づくり対策の充実を図った。 実施市町村 17市町 実施人数 27,401人 (2) 地域歯科保健推進事業 歯周病予防・歯周疾患に対する府民の意識向上のための普及・啓発を行うとともに、歯周病に罹患しやすく歯の健康を損ねやすい障害(児)者、要介護高齢者等を対象に歯周病の予防を図った。

I	1
	ア 京都歯と口の健康づくり推進協議会(京都8020運動推進協議会)の開催条例に基づく京都府歯と口の健康づくり基本計画の推進、進行管理及び見直しのため、意見聴取を行った。 イ 歯科保健指導事業看護師及び養護教諭等地域保健活動従事者向け歯科保健研修会を開催した。開催回数 15回受講者数 1,840人、156事業所 (3) 歯科専門職人材育成研修事業ア災害時歯科保健医療活動研修災害時における歯科口腔保健のための活動が実施できる人材育成や実施体制の整備等を推進するための研修会を開催した。受講者数 49人 イ 歯科専門職向け糖尿病重症化予防研修歯周病と糖尿病の双方の重症化予防のため、歯科専門職が糖尿病重症化予防に関する理解を深め、他職種連携を推進するための研修会を開催した。受講者数 48人 (4) 障害者等歯科健診・指導事業歯科医師・歯科衛生士による健診・保健指導を実施し、障害者等の口腔状態の改善を図った。施設数 37施設 健診実施人数 633人 (5) 在宅要介護者口腔支援体制整備事業在宅歯科医療の充実のための人材育成及び訪問歯科診療を支援する体制の強化を図った
	to.
	3 執 行 額 27,086,856円 (うち委託料 5,100,000円) (する対理的 20,739,856)
がん対策総合推進事業 (健康対策課)	1 施 策 の 趣 旨 等 京都府がん対策推進条例に基づき、がん検診受診率の向上をはじめ、がん教育の推進、相 談支援の強化、がん医療提供体制の充実など、総合的ながん対策の推進を図る。
	指標:がん検診受診率 目標:50% 実績:胃がん 38.7% 乳がん 44.3% 肺がん 43.9% 子宮がん 38.9% 大腸がん 39.8% (出典:令和元年度国民生活基礎調査)
	2 施策の実施状況 (1) がん対策府民運動の展開 行政、各種団体、がん患者等の関係者が一体となりがん対策を推進するため、がん撲滅

科目	予算現額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	P	日 日		に向け様々な府民運動を推進する府民会議の取組を進め、気運醸成を図った。 (2) がんの予防と早期発見 ア 100万人がん検診推進運動事業

	ア及び最新のがん医療に即したフォローアップを受けられる体制の構築を目指し、医療機関を対象に研修を実施した。 受講者数 41人 (4) 相談支援体制の充実 ア 京都府がん総合相談センター運営事業 相談件数 1,037人 イ がん患者生殖機能温存療法助成事業 小児・AYA世代(思春期・若者)がん患者の生殖機能温存療法に要する費用の一部を助成した。 助成人数 25人
	3 執 行 額 270,419,325円 (うち補助金 172,569,720円)
健康長寿・データクス推進事業 (健康対策課)	1 施策の趣旨等 民間企業や関係団体と連携して健康づくりの取組を推進する。 2 施策の実施状況 糖尿病重症化予防対策事業 糖尿病重症化予防の保健指導に従事する専門職不足解消のため、府医師会、府栄養士会が 実施する研修会を支援し、人材育成と人材登録を実施した。 人材育成研修会受講者 463人 地域保健指導人材の登録者 131
	3 執 行 額 3,800,000円 (補助金)
新型コロナウイルス 染症対策事業 こども・青少年総合 対策 健康福祉総務部	1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備え、必要な対策を講じることにより、府民生活の安心の確保を図る。 2 施策の実施状況 (1) 不妊治療給付等事業 新型コロナウイルス感染防止の観点から一定期間治療を延期した場合の年齢要件を緩和し、経済的負担の軽減を図った。 助成件数 82件 (2) 安心・安全な妊婦出産確保事業 妊産婦が安心して出産・育児に臨むことができるよう、出産前妊婦のPCR検査費用の助成等を実施した。

科 目	予算現額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	F	F		助成件数 3,158件 (3) 産前産後ケア支援事業 妊産婦の産前・産後の不安感、負担感の増大による産後うつ等を未然に防止するため、 産後ケア事業の利用に対する助成等を実施した。 助成件数 403件 (4) 医療資材コントロールセンター事業 N95マスク等の医療資材を一括調達し、医師会等団体や医療機関への配布を行った。 資材配布数 N95マスク 73,570枚 医療用ガウン 29,350 サージカルマスク 35,900 手袋 297,200 フェイスシールド 23,250 ヘアキャップ 7,800 3 執 行 額 87,705,219円 (うち表託料 5,234,000円)
3 予 防 費 (P112)	(22,036,786,000 翌年度への繰越 事業費繰越額	内訳 国庫支出金) (健康対策課)	1 施策の趣旨等 ウイルス性肝炎(B型・C型)の検査体制を整備して早期発見を図るとともに、医療費を 公費負担し、患者の負担軽減を図る。 2 施策の実施状況 (1) 肝炎コーディネーターの養成 看護師、薬剤師、行政職員などを対象に肝炎コーディネーターの養成を行った。 認定者数 56人 (2) 肝炎ウイルス検査等強化事業 保健所や医療機関において無料で肝炎検査を実施した。 検査人数 552人 (3) 肝がん・重度肝硬変患者の入院医療費助成事業 B型・C型肝炎ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変の患者に対して、入院医療費の 助成を行った。 助成人数 9人 (4) 医療費助成事業 B型・C型肝炎のインターフェロン治療費及びインターフェロンフリー治療費等を公費 負担し、医療費の負担軽減を図った。

	助成人数 303人 (5) 重症化予防事業
	府及び市町村が実施した肝炎ウイルス検査で陽性となった者に対して、医療機関への受診勧奨及び検査費用の助成を行った。 助成人数 58人 (6) 肝疾患相談センターの運営 肝疾患診療連携拠点病院である京都府立医科大学附属病院及び京都大学医学部附属病院において肝疾患相談センターを運営し、肝炎患者支援の充実を図った。 相談件数 89件
	3 執 行 額 116,674,733円 (うち扶助費 101,138,751円)
新型インフルエンザ対策事業	1 施策の趣旨等 新型インフルエンザ等の感染拡大を防止するため、患者発生時の体制整備の充実を図る。
(健康対策課)	 2 施策の実施状況 (1) 防護服等資機材の整備 各保健所に防護服をはじめとした資機材を配備するほか、検査機器の点検・整備等により、患者発生時に即応できる体制の充実を図った。 (2) 医療体制の整備 医療関係者等を対象として、感染症に関する研修会及び会議を開催し、情報共有を図った。 (3) 抗インフルエンザウイルス薬の更新 備蓄している抗インフルエンザウイルス薬のうち、使用期限を迎えるものについて更新を行った。 タミフルカプセル 31,280人分 リレンザ 11,920 ラピアクタ 13,400
	3 執 行 額 128, 283, 961円 (うち報酬 4, 123, 200円) 委託料 3, 720, 382
新型コロナウイルス感染症対策事業 「ワクチン接種対策室」 「恵齢者 古 提 理	1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備え、必要な対策を講じることにより、府民生活の安心の確保を図る。
高齢者支援課 障害者支援課 健康対策課	2 施策の実施状況 (1) ワクチン接種体制の確保 ア 府接種会場の運営及び市町村への支援 府接種会場の設置や市町村の支援を行い、新型コロナウイルスワクチンの接種体制の

内
入院患者の自己負担相当分を公費負担した。 助成額 299, 568, 150円

助成額 125, 691, 000円 オ 保健所体制の確保 保健所における健康観察業務、患者搬送等の実施体制を確保した。 カーゴールデンウィーク、お盆、年末年始医療機関支援事業 ゴールデンウィーク、お盆、年末年始に外来診療を行う医療機関に対する協力金の支 給等を実施した。 支給金額 80.100.000円 (3) 検査体制の確保 ア 京都検査センターの運営 PCR検査検体を採取し、迅速に検査機関に繋げる仕組みを構築・運営した。 設置箇所数 6 箇所 検査件数 イ 検査キット・試薬等の購入 行政検査に必要な検査試薬等を購入した。 ウ PCR検査費用に対する支援 PCR検査の保険適用に伴う自己負担相当分を公費負担した。 712,867,516円 助成額 エ 高齢者施設等従事者へのPCR検査等の実施 検査数 1,529施設、280,052人 オ 障害者・障害児施設等従事者へのPCR検査の実施 検査数 920施設、79,341人 (4) その他 ア きょうと新型コロナ医療相談センターの運営 休日・夜間や、かかりつけ医がいない場合などの受診・検査等に関する相談に24時間 体制で対応した。 相談件数 139,860件 イ LINEによるパーソナルサポート 府民一人ひとりに応じた健康情報を提供した。 **登録者数** 180,282件(令和4年3月31日現在) ウ スマートフォンアプリ「こことろ」の運用 店舗や集客施設等の利用者から陽性者が確認された場合にアプリの登録情報からより 多くの接触者を捕捉できるよう整備し、運用した。 登録者数 33,834件(令和4年3月31日現在) エ 施設内感染専門サポートチームの派遣 医療機関、社会福祉施設等で集団感染が疑われた場合に、早期に適切な感染防止策を 講じるため、専門家を派遣した。 派遣実績

オ 対策本部会議及び専門家会議の開催

科目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	F	円		新型コロナウイルス感染症対策に係る方針を決定するため、専門家等の意見を聴取する会議を開催した。 開催数 56回 3 執 行 額 18,351,298,736円 委託料 7,940,011,321円 うち補助金 4,347,090,987 扶助費 1,108,506,924
4 精神保健費 (P114)	108, 789, 370 (331, 023, 000	, ,	【学 校 教 育 課 <i>】</i>	1 施策の趣旨等 京都府自殺対策に関する条例及び京都府自殺対策推進計画に基づき、自殺ストップセンターを核として、関係機関との連携により、総合的な自殺対策を推進する。 指標:府内の自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数)実績:14.6 2 施策の実施状況 (1) 相談事業 精神保健福祉総合センター内に設置している自殺ストップセンターにおいて、府民の様々な悩みについて相談を行った。 相談件数 延べ1,469件 (2) 広報・啓発促進事業 SNS等を活用して自殺ストップセンターやLINE相談等の広報を行うとともに、自殺対策啓発イベント「京都いのちの日メッセージ展」を実施し、府内大学生が集めたメッセージや府内相談機関のポスター、チラシ等を展示した。 (3) 対応力向上支援事業 事業所等や小・中・高等学校への臨床心理士等の派遣、弁護士や司法書士等を対象とした自死遺族サポーター養成研修、ゲートキーパー養成研修等を対面講義やオンラインで実施した。 職場のメンタルヘルス向上支援事業 10回 小・中・高校生に対する自殺予防教育 16校自死遺族サポーター養成研修 1回 ゲートキーパー養成研修 3回 (4) 地域活動強化事業 市町村が実施する普及啓発や相談会の開催、民間団体が実施する電話相談、自死遺族支援事業に助成するなど、地域で自殺対策に取り組む体制を強化した。

	01
	21市町村・9団体
	3 執 行 額 72,958,415円 (うち補助金 52,008,000円)
新型コロナウイルス感 染症対策事業 (地域福祉推進課)	1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備え、必要な対策を講じることにより、府民生活 の安心の確保を図る。
	2 施策の実施状況 相談事業 新型コロナウイルス感染症に起因するこころの悩みなどによる自殺を防止するため、 LINEを活用した相談対応を行った。 相談件数 延べ1,063件
	3 執 行 額 24,588,355円 (うち委託料 24,355,705円)
アルコール等依存症対 策総合支援事業 (障害者支援課)	1 施策の趣旨等 京都府依存症等対策推進計画に基づき、アルコール健康障害やギャンブル等依存症などの 依存症等対策を総合的に推進する。
	2 施策の実施状況 (1) 府民啓発 アルコール健康障害に係る啓発マンガを作成し、大学生、高校生等へ不適切な飲酒防止の呼びかけ等とともに、アルコール依存症とギャンブル依存症に係るセミナーを実施した。 啓発資材の配布 271カ所 35,715部 セミナー開催回数 6回 (2) 人材育成 医療従事者を依存症に係る専門的な知識や技術習得のための研修に派遣した。
	研修受講者数 5人 (3) 早期発見・早期支援体制づくり 依存症専門医療機関の医師等による内科へのコンサルテーション派遣やアルコール依存症とギャンブル依存症に係るセミナーを実施した。 医師等派遣回数 9回 セミナー開催回数 3
	3 執 行 額 5,913,124円 (うち委託料 3,690,000円)

科目	予 算 現 額 決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
2 環境衛生費 3 環境衛生指 (P116)	円 F	日 イ プラスチックスマート) きょうと推進事業 (循環型社会推進課)	1 施策の趣旨等 プラスチックごみ全体の3Rに向け、排出実態等調査を行うとともに、プラスチック代替 製品の技術開発等の取組を支援する。 2 施策の実施状況 (1) プラスチックごみ組成調査 家庭等から排出されるプラスチックごみの組成調査を実施し、排出前の使用用途に応じ た品目別のプラスチックごみ排出実態を分析した。 (2) プラスチック代替製品開発支援等への補助 府内企業が開発したパイオプラスチック製品の販路開拓に対して助成した。 3 執 行 額 4,404,000円 (うち委託料 3,454,000円)

	廃棄物情報冊子の作成・配布や大学での講義等により、産業廃棄物の3Rに係る取組 や意識向上を支援した。
	3 執 行 額 53,367,424円 (うち補助金 52,862,085円)
海岸漂着物地域対策進事業(循環型社会推進課	海岸漂着物の回収・処理及び海ごみ発生抑制に係る啓発事業を実施する。 2 施策の実施状況 (1) 回収・処理事業 市町村名 海岸数 回収・処理量 舞鶴市 4海岸 39.0トン 宮津市 6 4.4 京丹後市 25 262.2 与謝野町 1 10.4 伊根町 6 8.9 計 42 324.9 (2) 発生抑制事業 市町村名 啓発人数 亀岡市 562人 京丹後市 20,000 3 執 行 額 38,740,356円
食品口ス削減事業(循環型社会推進課	(うち補助金 35,643,000円) 1 施策の趣旨等 食品ロス削減推進法が制定され、都道府県ごとの食品ロス削減推進計画を策定するに当たり、府内の事業者を対象とした実態調査を実施するとともに、食品ロス削減に向けた府民に対する啓発を行う。 2 施策の実施状況 (1) 食品ロスの実態調査 府内の食品製造業、卸、小売、飲食店等フードチェーン全体に対し、食品ロス発生状況や食品ロス削減の取組等に関する調査を実施した。 (2) 京都府食品ロス削減推進専門委員会の設置 京都府食品ロス削減推進専門委員会を設置し、食品ロスの原因を分析し、対応策を検討した。 開催回数 3回 (3) 食品ロス削減研修・啓発事業

科目	予 算 現 額 決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	西 きょうと上下水道未来 づくり総合対策事業 (公営企画課)	食品口ス削減月間(10月)に合わせ、食品を扱う小売店で食品口ス削減に関する啓発物の掲示、ラジオやSNS等の広報媒体を利用した啓発を実施した。 (4) 食品口ス削減推進計画の策定 食品口スの削減に向けて、多様な主体と連携し、地域の実情に応じた取組を推進するため、京都府食品口ス削減推進計画を策定した。 3 執 行 額 3,564,340円 (うち委託料 3,171,300円) 1 施策の趣旨等 将来にわたる安心・安全な上下水道サービスの供給体制を築くため、京都水道グランドデザイン等に基づく市町村の取組を支援する。 2 施策の実施状況 「京都府水道事業広域的連携等推進協議会幹事会」を開催し、地域に相応しい広域連携のあり方等について市町村とともに協議・検討を行った。 「京都府水道施設に関する意見聴取会議」を開催し、京都水道グランドデザインの取組状況の確認や評価を行うとともに、府内水道事業の持続可能なあり方等に向けた意見聴取を実施した。 市町村水道事業者の経営状況等の将来見通しについてシミュレーションを実施し、施設の共同設置・共同利用や事務の広域的処理の効果について検討を行った。 3 執 行 額 16,329,004円
3 保健所費 1 保健所費 (P118)	87,681,000 83,897,3 (2,494,409,000) (2,472,049,83 決算額の財源 内訳 繰 入 金 81,566,6 一般財源	(リハビリテーション 支援センター)	(うち委託料 15,620,000円) 1 施策の趣旨等 住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるよう、急性期から回復期、維持・生活期まで継続した総合的なリハビリテーション提供体制を整備する。 2 施策の実施状況 (1) 地域リハビリコーディネート事業 地域リハビリ支援センターにコーディネーターを配置し、地域包括支援センター等に対する助言、リハビリ従事者への訪問指導、リハビリサービス窓口担当者との事例検討会等

	リハビリサービスの助言 397件 リハビリ従事者への訪問指道 379回
	リハビリ従事者への訪問指導 379回 事例検討会参加者数 1,047人 (2) リハビリ人材確保育成事業 理学療法士等養成施設の在学者に修学資金を貸与するとともに、就業フェアや研修会を 開催するなど、人材の確保・育成を図った。 修学資金貸与人数 60人 就業フェア参加者数 122 研修会受講者数 延べ1,277 (3) リハビリ医等養成事業 回復期、維持・生活期のリハビリを担う、リハ医、リハ専門職の養成及び府内定着を推進するため、研修会等を実施するとともに、府立医大のリハ医学教室の運営を支援した。 座学研修会参加者数 延べ519人(2回) 実践セミナー 18課目 (4) 訪問リハビリ事業所等整備促進事業 在宅療養者が訪問リハビリサービスを受けられる環境を整備するため、事業所開設に要する経費を助成した。 4事業所
	(5) 先端的リハビリ推進事業 京都府立医科大学附属病院内に開設した「ロボットリハビリテーションセンター」において、先端的リハビリロボットの臨床研究及び介護ロボット等の普及・啓発を行った。 (6) 北部リハビリテーション推進事業 北部リハビリテーション支援センターにおいて、丹後・中丹地域のリハビリテーション の充実のため、在宅リハビリテーション研修等の取組を実施した。
	3 執 行 額 83,897,354円 委託料 21,984,759円 うち補助金 33,500,700 貸付金 25,380,000
4 医 薬 費	
1 医薬総務費 (P118) 10,936,000 9,205,225 原子力防災対策事業 (1,612,328,000) (1,555,756,007) 決算額の財源 内訳 国庫支出金	 1 施策の趣旨等 適切な原子力防災対策の推進を図る。 2 施策の実施状況 舞鶴赤十字病院と放射線検査施設の保守管理に係る協定に基づき、緊急時に対応できる体制を確保した。
9, 205, 225	3 執 行 額 9,205,225円 (うち委託料 7,333,700円)

	(7) 地域医療を担う人材の育成 府立医科大学「総合医療・医学教育学講座」において地域医療の教育を進めるとともに、 医学生等を対象に府北部の病院が制作した地域課題のピデオ等を通じて、将来の地域医療 を担う人材の育成を図った。 実習参加者数 167人 (8) 産科医等確保支援事業 産科医に手当を支給する医療機関に助成することにより、地域の産科医療の確保を図った。 分娩取扱手当 50病院 産科後期研修医手当 2 新生児担当医手当 2 (9) 女性医師等就労支援事業 医療機関が実施する女性医師等の復職研修や短時間勤務の導入、宿日直の免除等の取組 に対して助成し、離職防止や再就業を支援するとともに、京都府医師会館に開設した「子育て支援サポートセンター」により、子育てしながら働く医師を支援した。 支援した病院数 21病院 (10) 北部地域等在宅医療確保対策事業 医療機関が新たに受け入れた在宅医療や地域医療を担う医師への研修を支援した。 支援した病院数 1病院 (11) 医師等「働き方改革」支援事業 医師の働き方改革に関する取組を行う医療機関を支援した。 支援した病院数 8病院 (12) 医師偏在の解消に向けた包括的な診療体制構築事業 地域で不足する診療科の医師を配置し、複数病院間で勤務する仕組みを構築した。
	3 執 行 額 537, 483, 561円 (うち補助金 421, 511, 400円)
在宅医療推進基盤整備事業 (医療課)	1 施策の趣旨等 在宅医療を担う医療機関に対し、より質の高い在宅医療を提供するために必要な医療機器の整備等の支援を行い、在宅医療の推進を図る。
	 2 施策の実施状況 (1) 在宅医療に取り組む医療機関に対し、必要な医療機器の整備等を支援した。 補助対象医療機関 227医療機関 (2) 在宅医療の充実を図るため、訪問看護ステーションの新設及び人員増に対し支援した。 新設施設数 8 施設 人員増施設数 48 (3) 地域特性に応じた在宅医療を推進するための拠点づくり及びその核となる人材養成を支

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	P	円		援した。 3 執 行 額 (補助金)
			地域医療機能強化特別 事業 (医療課)	1 施策の趣旨等 在宅医療機能の充実と病床機能の強化に向け、ハード整備と人材育成確保等のソフト事業 をパッケージで支援する。
				2 施策の実施状況 医療機関の病床機能強化に必要となる施設・設備整備、人材養成等に係る経費及び病床機 能強化に併せて行う在宅医療提供の実施に必要な経費を補助することにより、病床転換を支 援した。 実施数 6 病院
				3 執 行 額 132,750,000円 (補助金)
			医療施設設備整備助成事業 (医療課)	 1 施策の趣旨等 患者の療養環境等の充実を図るため、医療施設・設備等の整備に対して助成する。 2 施策の実施状況 スプリンクラー等整備 1 医療機関
				医療機器整備 12 3 執 行 額 194,594,000円 (補助金)
			救急・医療ほっとライン事業 (医療課)	1 施策の趣旨等 子どもから高齢者まで、すべての年代の府民の救急医療相談に応じられる体制づくりのため、「救急安心センターきょうと(7119)」を運営し、従来からの小児救急電話(#8000)と連携した相談対応の充実を図る。
				2 施策の実施状況救急安心センター事業 相談件数 27,994件小児救急医療電話相談事業 " 14,459

	3 執 行 額 102,600,000円 (うち委託料 14,850,000円) (する 102,600,000円)
新型コロナウイルス感 染症対策事業 (医療課)	1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備え、必要な対策を講じることにより、府民生活 の安心の確保を図る。
	2 施策の実施状況 (1) 受入病院の施設・設備の整備に対する支援 新型コロナウイルス感染症患者の受入のための動線の確保や高度医療機器の整備等に対する支援を行い、医療機関の受入体制の確保を図った。
	45医療機関 900, 289, 000円
	(2) 入院患者受入のための病床確保等に対する支援 入院受入医療機関の病床確保等に要する経費を助成し、新型コロナウイルス感染症患者 の受入病床の確保を図った。
	96病院 44,611,323,000円
	(3) 入院医療コントロールセンターの運営 新型コロナウイルス感染症患者の受入先の調整を行う入院医療コントロールセンターの 運営や病状軽快後の転院を行った。
	調整数20,896件 36,011,901円
	(4) 医療従事者等に対する支援 新型コロナウイルス感染症患者に対応する医療従事者等の特殊勤務手当や宿泊費用に対 する支援等を行った。
	9 0 又接号を行うた。 84病院 1,062,645,506円
	(5) 医療人材の育成に対する支援 新型コロナウイルス感染症患者への対応に必要な知識及び技術を身につけた医療人材を
	育成し、患者受入体制の強化を図った。 75名 3,694,000円
	(6) 医療従事者応援金の支給
	入院受入医療機関の医療従事者等に対し、応援金を支給した。 49病院 200,000,000円
	(7) 入院待機ステーションの運営 搬送先が直ちに決まらない場合に、一時的に酸素投与等の措置を行うための入院待機ス テーションの運営を行った。
	利用者数257名 196, 065, 519円
	(8) 中和抗体薬投与調整窓口の運営 中和抗体薬の対象となる患者や投与医療機関との調整を行う中和抗体薬投与調整窓口の 運営や患者搬送を行った。

科	目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
		円	円		投与調整件数1,675件 46,792,328円 3 執 行 額 47,056,821,254円 (うち委託料 57,373,303円) (すが対象 46,591,443,699)
3	保健師等指導管理費(P120)	17, 150, 000 (813, 389, 000)		(医療課)	1 施策の趣旨等 高齢化が急速に進む北部地域において、地域包括ケアを着実に推進するため、看護師確保対策の一層の充実を図る。 2 施策の実施状況 (1) 北部地域病院実習受入拡大の支援 北部病院看護師の実習指導者講習会受講支援 12病院13人 南部地域看護師等学校養成所学生の北部地域臨地実習支援 6 校80 看護師等修学資金北部特別枠の設置 貸与者5 (2) 京都府看護師等確保対策推進協議会等の開催 1回 3 執 行 額 15,813,929円 (うち報酬 4,147,200円)
4	薬 務 費 (P120)	1, 041, 173, 000 (1, 102, 250, 000)	1,010,767,185)(1,067,780,390) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 1,002,307,000 一般財源 8,460,185		1 施策の趣旨等 府民、特に小・中・高校生や大学生等の若年層の薬物乱用ゼロを目指し、行政・PTA・業 界団体・民間団体等との協力・連携の下、薬物乱用防止対策を総合的に推進するとともに、 京都府薬物の濫用の防止に関する条例に基づき、規制強化を推進する。 2 施策の実施状況 (1) 若年層向け体験型薬物乱用防止対策の実施 高校生を対象にしたワークショップやシンポジウムの開催により、高校生自らが薬物乱 用について考え、発信する機会を創出し、効果的な啓発を実施した。 (2) 薬物乱用防止対策推進事業 ア 教員に対する薬物乱用防止教育推進に係る研修の実施(Web開催) 1回 イ 小・中・高校生対象の薬物乱用防止教室のモデル作成及び講師養成 1,992人 ウ PTA、青少年団体、業界団体等オール京都体制による予防啓発運動の推進 きょうと薬物乱用防止行動府民会議の設置 参画団体 158団体 (3) 薬物再乱用防止事業

	新型コロナウイルス感 染症対策事業 (薬 務 課)	薬物依存症からの回復支援を行っている医療機関や民間支援団体等と連携し、本人やその家族に対する回復支援の推進を図った。 3 執 行 額 9,431,185円 (うち委託料 6,681,200円) 1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備え、必要な対策を講じることにより、府民生活の安心の確保を図る。 2 施策の実施状況 検査機関、医療機関が実施するPCR検査機器等の整備に対して助成を行った。 行政検査機関 1機関
5 環境対策費		医療機関 189 衛生検査所 4 3 執 行 額 1,001,336,000円 (補助金)
1 環境総務費 (P122) 1,332,740,630 (2,009,303,630)(1 決内 国 財 家 繰 繰 諸	1,312,893,698 1,984,863,194) 2算額の財源 記 間車支出金 81,961,448 産収入 4,685,444 所 金 977,806 2 入 金 47,194,000 2 越 金 1,994,630 1,023,584,200 - 般財源 152,496,170	1 施策の趣旨等 2050年度温室効果ガス排出量実質ゼロに向け、太陽光・風力・バイオマスを中心とする再生可能エネルギー導入・利用の加速化、サブライチェーン全体での脱炭素化等省エネ対策の促進の2本柱で地球温暖化対策に係る施策を総合的に実施する。 指標 目標 実績 ・府内温室効果ガス削減率(平成25年度比)40%以上(令和12年度まで)19.1%(令和2年度)(令和2年度の電気の排出係数を使用して算定)・府内の総電力需要量に対する府内の再工25%(令和12年度まで)11.7%(令和2年度)ネ発電電力量の割合・府内の総電力需要量に占める再エネ電力35%(令和12年度まで)26.0%(令和2年度)使用量の割合 2 施策の実施状況 (1) 再生可能エネルギー導入加速化事業ア 太陽光導入活用推進事業 「ア)家庭向け自立型再生可能エネルギー設備設置助成事業市町村と連携して太陽光発電設備と蓄電池の同時導入に対する助成を実施した。助成件数563件 (4) 太陽光発電初期投資ゼロ促進事業

円 円 「 0 円ソーラープラットフォーム」を開設し、府民と事業者の もに、府民の導入に対する助成を実施した。 補 助 件 数 12件 (ヴ) 事業者向け自立型再生可能エネルギー設備及びEMS等設置助	*のフぃイン/ゲナ図フ L L
(タ) 事業者同り自立型発達によれば、	間助成事業 MS等)を導入する中小事 引入する中小事業者等に対 スコンシェルジュ」に認証 した。 の%化を実施した。 このサプライヤーの中小企 いる研究会を実施した。 なした。

	(7) 京都版CO ₂ 排出量取引制度の運営やクレジット取引の仲介等を実施した。 クレジット創出量 249.4t CO ₂ (令和2年度) (4) 特定事業者の事業者排出量削減計画書・報告書に対して指導・助言を行った。 府への提出事業者 163事業者 指 導 ・ 助 言 18件 (3) 地産地消型エネルギー活用推進事業 京都舞鶴港前島ふ頭において、再エネへの理解促進等を図ることを目的に、ふ頭全体の 魅力・機能向上に資する再エネを活用した取組の検討や、再エネ設備の概略設計と事業採 算性等を検討した事業実施計画を策定した。 (4) 次世代エネルギー活用社会推進事業 ア 燃料電池フォークリフト実証事業 京都舞鶴港において、地元の倉庫事業者の協力を得て、燃料電池フォークリフトの使 用と水素の巡回供給の実証事業を実施した。 イ 京都舞鶴港エネルギークラスター推進事業 府北部地域の水素利用の可能性及び京都舞鶴港を拠点とした南部地域への水素供給事業の費用便益に係る調査を実施した。 3 執 行 額 1,251,863,441円 (うち 補助金 121,985,720円)
脱炭素化推進事(脱炭素社会推	
	2 施策の実施状況 (1) EV・PHVタウン推進事業 EV(電気自動車)やPHV(プラグインハイブリッド自動車)FCV(燃料電池自動車)の普及推進による運輸部門のCO2削減を図るため、公用車への率先導入や急速充電器の管理等を実施した。 普及台数 7,999台 (令和3年度末累計) (2) 次世代環境担い手づくり推進事業夏休み期間を利用したオンラインによる環境学習の実施など、次代を担う子どもたちや若者を環境人材として育成した。参加者数 932人 (3) WE DO KYOTO!府民運動推進事業次世代のリーダーを育成するため、大学生を中心に「WE DO KYOTO!ユースサポークを発展しています。

ター」を募集し、活動を推進するとともに、小学生を対象に気候変動に関する啓発を実施

科目	予算現額	決 算 額 主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	F	B P	した。 「WE DO KYOTO!ユースサポーター」委嘱者数 25人 小学生向け気候変動啓発物品配布者数 約3,100 (4) 暮らしとオフィスの脱炭素化推進事業 温室効果ガスの排出削減が進んでいない家庭部門等の省エネ推進に向けた普及啓発施策 として、住宅の断熱・気密に関する府民向け啓発セミナーや動画を府ホームページで紹介 するとともに、エアコンを対象に省エネ家電買替えキャンペーンを実施した。 省エネ家電買替えキャンペーン申込者数 125人 3 執 行 額 19,797,860円
		気候変動適応推進事業(脱炭素社会推進課)	1 施策の趣旨等 府民生活に直結する自然災害等による被害を未然に防止・軽減するため、「京都気候変動適 応センター」を設置し、気候変動に起因する環境への影響や変化等の情報収集・分析・発信 を行うとともに、熱中症を予防するための取組を実施する。 2 施策の実施状況 (1) 京都気候変動適応センターの設置及び取組の推進 気候変動適応法に基づく地域気候変動適応センターとして、令和3年7月に府・京都市・総合地球環境学研究所の3者で「京都気候変動適応センター」を設置した。 京都で生じている自然生態系、農林水産業、文化・伝統・観光分野における気候変動の 影響を把握するため、高等学校、農林水産業、伝統工芸・寺社・庭園関係者等へのヒアリング調査を実施し、気候変動の影響と適応に関する情報を収集するとともに、収集した情報を整理・分析した上で、シンポジウムやホームページ等で発信した。 さらに、調査を通じて、研究機関、事業者団体、NPO等、多方面との連携体制を構築し、情報を共有した。 ヒアリング調査件数 42件 (2) 熱中症予防対策 府内5箇所に設置した独自の気象観測機の観測データに基づく「暑さ指数」の情報や、熱中症警戒アラートの発令情報について、府内主要駅等(12箇所)に設置したデジタルサイネージを用いて広く府民や観光客に発信する等、熱中症予防に対する注意喚起を実施した。 さらに、外部有識者・市町村等からなる熱中症対策会議を令和3年10月に設置し、会議開催を通じて府域の効果的な熱中症対策の方策について議論し、その成果として「京都府熱中症対策方針」を策定した。

3 執 行 額 15, 568, 095円 (うち委託料 15,478,095円) 生物多樣性未来継承事 1 施策の趣旨等 京都の豊かな生物多様性を守り、未来に伝えるため、生物多様性センター機能の整備や府 (自然環境保全課) 民協働での希少種対策、保全地域の生態系維持回復、外来生物対策等を実施する。 指標:環境学習等の啓発イベントの実施 目標:5回 実績:11回 2 施策の実施状況 (1) 生物多様性次世代育成・継承事業 府内に生息・生育する生物の分布状況や生息地の環境等の生物多様性に関するデータ ベースを構築するとともに保全に関する主体間の連携を進め、収集した情報等を活用して 保全活動等を推進した。 (2) 京都府レッドリスト更新事業 府内の生物多様性を保全する基礎的データとして活用するため、改訂に向けた調査を実 施した。 (3) プラットフォーム事業 保全と自然資源の利活用について検討し、生物多様性の保全のための調査を開始した。 (4) 指定希少野牛牛物保全回復府民協働推進事業 府の保全回復事業計画に基づき地域住民等と協働で指定希少野生生物の保全を図る事業 を行う団体に対して、その事業に必要な活動経費を支援した。 実施団体 3団体 (5) 特定外来生物対策事業 地域固有の生態系を守るため、外来生物対策を実施した。 ア 「侵入特定外来生物バスターズ」の活動推進 行政、専門家、事業者、保全団体等で結成する「侵入特定外来生物バスターズ」によ り、ヒアリ、クビアカツヤカミキリ、オオバナミズキンバイの侵入監視や防除を実施し た。 イ その他の特定外来生物の対策 アライグマ:市町村と府で構成する協議会を運営し防除を実施した。 (有害鳥獣捕獲で対応する丹後地域及び京都市以外で実施) アルゼンチンアリ:府、京都市ほか関係機関との協働による一斉防除を実施した。 ヌートリア: 餌やり等の不適切行為の監視及び防止啓発等を実施した。 3 執 行 額 25, 664, 302円 うち委託料 18,040,261円) (33,000)

2 環境保全費 366, 581, 000 314, 688, 820 放射線モニタリング強 1 施策の趣旨等 (P124) (674, 172, 000) (612, 317, 712) 化事業 高浜及び大飯原子力発電所に係る放射能の環境影響調査、監視調査を行う。	
要業質繰越額 内訳	を 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、

第5款 労 働 費

科目	予 算 現 額 決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
1 労 政 費 1 労政総務費 (P124)	円 56, 820, 000 (216, 317, 000) (209, 498, 205 決算額の財源 内訳 国庫支出金 4, 557, 080 一般財源 49, 116, 224	4 就労・奨学金返済一体)型支援事業 (労働政策課)	1 施策の趣旨等 中小企業等の人材確保と従業員の定着及び若者の負担軽減を図るため、従業員の奨学金返済支援を行う中小企業等を支援する。 指標:奨学金の返済負担軽減制度を設けた企業数 目標:200社 実績:182社 2 施策の実施状況 中小企業等が従業員へ支給する奨学金返済に係る手当等に対して助成した。 交付企業数 112社 支援対象者数 564人 交 付 額 26,946千円 3 執 行 額 29,446,000円
		中小企業労働相談事業(労働政策課)	(補助金) 1 施策の趣旨等 健全な労使関係の安定を図るため、京都テルサ内に設置する労働相談所において、職場でのトラブルや人間関係、労働条件等の問題について労使双方からの相談に応じる。 2 施策の実施状況 専門的知識を有する相談員を配置し、電話、来所、メール、Webにより相談に対応するとともに、ブラックバイト相談窓口を併設し、学生からの相談にも対応した。また、新型コロナウイルス感染症の影響による労働に関する悩みや不安を抱える方々に切れ目ない相談対応を行うため、5月の大型連休及び年末年始に臨時相談窓口を開設した。相談件数 4,196件 うち新型コロナウイルス感染症に関連する相談 624
		就労環境改善緊急応援 事業 (労働政策課)	3 執 行 額 19,849,304円 (うち報酬 7,597,393円) (うち報酬 7,597,393円) 4 施策の趣旨等 京都未来塾事業等で訓練を受けた人材を雇用する企業の就労環境改善を図ることで、新型 コロナウイルス感染症による経済的な影響(解雇・雇い止めなど)を受けた求職者の雇用確

科 目 予算現	額決算額	主要な施策 施策の実施状況と成果等
	P) P	保と就労環境改善をパッケージで支援する。 2 施策の実施状況 京都未来塾事業等により研修・実習を行った求職者の受入れを行う府内中小企業に対し、 就労環境改善に要する経費を助成した。 交付企業数 15社 交 付 額 2,378千円 3 執 行 額 4,378,000円 (うち養託料 2,000,000円)
翌年度への	(2,683,909,597 操越 大算額の財源 内訳 内訳 国庫支出金 1,185,192,24 諸 収 入 9,452,79 一般財源 658,596,04	第 までは、

伝統産業業界が継続発展するための人材確保・育成や販路開拓支援のため、新たに雇用 した人材の研修支援、専門コーディネータによる持続的なサポート等を実施した。 支援企業数 延べ123計 (4) 観光経営人材育成事業 観光産業の労働生産性や稼ぐ力の向上を図り、経営の好循環を生むため、経営者向け段 階別セミナーや従業員向け実務スキル向上セミナーを実施した。 観光おもてなし人材育成セミナー参加者数 71人 観光経営入門セミナー参加企業(参加者)数 18社 (26人) 観光経営ステップアップセミナー参加企業(参加者)数 17 (20) 観光経営セミナー DX実践編参加企業(参加者)数 11 (15) (5) 観光関連産業担い手創造・育成プロジェクト(京都市内の担い手確保・流出防止、受入 事業者の環境改善) 観光関連産業において従業員の定着率向上や生産性向上、雇用環境の改善を促進するた め、経営者や若手従業員を対象にしたセミナーや専門家派遣を実施した。 セミナー開催数 7回 セミナー参加企業数 94社 専門家派遣 50回 出前研修 (6) 観光関連産業担い手創造・育成プロジェクト(京都市外からの担い手確保) 京都市外から京都の観光産業を支える担い手を確保するため、首都圏等で開催された就 職フェアへの出展や、メルマガの配信を実施した。 就職フェア来場及びマッチングイベント参加者数 500人 (7) 京都の建設産業の魅力発信とICT技術の活用等による担い手確保・育成事業 建設技術者等の育成、確保を支援する事業を推進し、地域の安心・安全を支える建設産 業を発展させるため、建設業団体、教育機関、行政が参加する『京都府建設業魅力向上プ ロジェクト推進プラットフォーム』が連携し、建設業の魅力を広報するホームページや SNSによる情報発信を行うとともに、VRによる重機の遠隔操作体験ができるイベントや現 場体験会、業界説明会、インターンシップ等を実施した。 建設業体験イベント開催 2回(参加者 約600人) 現場体験会・業界説明会 3 (" 約80) インターンシップ開催 3 (" 14) (8) 良質な正規雇用による人材確保チャレンジ事業 人手不足が顕著となっている「ものづくり産業」、「観光関連産業」、「建設業」のうち、 特に良質な雇用条件で持続的な人材確保と定着を図ろうとする府内の中小企業に対して、 求職者とのマッチング支援を実施するとともに、良質な雇用条件を目指して社内環境整備 などに取り組む企業の支援を実施し、良質な正規雇用を創出した。 支援企業数 94社 合同企業説明会開催 3回(参加企業60社) 働きやすい職場づくりに向けた企業コンサルティングの実施 20回 (9) IoT等技術人材活躍支援事業 質の高い安定的な雇用の創出に意欲的な企業を支援するため、企業が行う生産性向上や 働き方改革等の推進役となる人材を正規雇用した際の人件費に対し補助を行うとともに、 コンサルティングやフォローアップのための専門家派遣を実施した。

科目	予 算 現 額 決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円 H		支援企業数 51社 専門家派遣回数 77回 (10) 若年者IoT活用人材育成支援事業 AI等を活用し社内の生産性向上に向けた環境整備を行う高度・中核人材を確保するため、 府内企業の良質求人及び求職者を開拓し、合同企業説明会の開催等により両者のマッチン グを支援するとともに、AI活用人材等の育成に取り組む府内中小企業に対し、人材育成経費の助成を行った。 支援企業数 79社 交付企業数 25 マッチング支援者数 476人 交付額 7,500千円
			3 執 行 額 397, 174, 491円 (うち委託料 358, 979, 714円)
		京都未来塾事業(労働政策課)	1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症による経済的な影響(解雇・雇い止めなど)を受けた求職者を 一定期間雇用し、研修と企業実習を組み合わせた訓練コース等の実施により、府内中小企業 の未来を担う人材を育成するとともに、正規雇用に繋げる取組を推進するためのきめ細やか な支援体制を強化する。 指標:就職者数 目標:160人 実績:122人
			2 施策の実施状況 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、解雇・雇い止めにあった方や内定取消・採用延期になった若者等に対し、求職者の社会人経験等に合わせ、研修内容を分けた複数のコースを設定し、2箇月から3箇月間の雇用型訓練を実施した。 (1) 第3期 訓練期間 令和3年2月1日~4月30日 受講者数 60人 修了者数 53 就職者数 39
			(2) 第4期 訓練期間 令和3年6月1日~9月30日 受講者数 61人 修了者数 56 就職者数 50 (3) 第5期

訓練期間 令和3年11月1日~令和4年2月28日 受講者数 42人 修了者数 37 就職者数 33 3 執 行 額 206, 722, 135円 (委託料) WITHコロナ雇用ミス 1 施策の趣旨等 マッチ対策事業 新型コロナウイルス感染症による経済的な影響(解雇・雇い止めなど)を受けた求職者の (雇用推進室) 就業支援のための求人開拓やマッチング機会の提供等に加え、離職防止・雇用維持のための 働きやすい職場づくりや従業員定着支援セミナー等を実施する。 指標 目標 実績 人材確保数 2,000人 3,196人 2 施策の実施状況 京都ジョブパーク「中小企業人材確保・多様な働き方推進センター」において、府内中小 企業等の人材確保支援と多様な働き方の推進及び雇用シェアリングの推進を行った。 (1) 企業に対するアウトリーチ支援・求人開拓 コロナ離職者や学生等を対象とした求人開拓や、企業のニーズ調査のための企業アウト リーチ支援を実施した。 実訪問企業数 4,829社 (2) 求職者と企業のマッチング促進・高齢者就業支援 大規模合同企業説明会「京都ジョブ博」をはじめ、各種企業説明会の開催や、WEBマッ チングシステム「ジョブこねっと」の活用促進により、求職者と企業のマッチングを促進 した。また、高齢者の就労意欲を喚起するセミナーや高齢者人材活用研修等を開催し、高 齢者の就業を支援した。 個別・ミニ企業説明会等参加企業数 176社 大規模合同企業説明会参加企業数 355 定着支援セミナー・研修会参加者数 281人 (3) 企業の採用力の向上・働きやすい職場づくり支援 企業の採用力を高める「京都ジョブパーク人材確保塾」の開催や各種セミナー等を通じ た定着支援により、企業の採用力向上と誰もが働きやすい職場づくりを推進した。 日 程 令和3年5月27日~令和4年2月17日(全12回) 参加企業 22社 内 容 職場づくり行動宣言にも対応した、働きやすい職場を目指す社内改革の目標 設定や実施に向けた提案を行った。

科 目	予算現額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	F.	F.		(4) 短期雇用シェアリング支援 出向や兼業・副業の支援等により、一時的に休業・業務縮小をする企業と人手不足企業 の従業員シェアを促進した。 雇用シェアリングセミナー参加企業・人数 23社・29人 短期就業の雇用契約者数 23人
				3 執 行 額 175,013,018円 (うち委託料 171,345,015円)
			子育ではいい職場では、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、	1 施策の趣旨等 子育て世代をはじめとした多様な人材が活躍できる社会を実現するため、子育てしやすい 職場環境への企業改革を促進する。 指標 日標 実績 子育て企業サポートチームによる企業訪問件数 25,000社 14,958社 子育て環境日本一に向けた職場づくり行動宣言を行った企業数 300 965 多様な働き方推進の取組を支援した企業数 120 153 2 施策の実施状況 (1) 子育てにやさしい職場づくりを進める企業の気運の醸成 ア 中小企業応援隊、京都ジョブパークの企業支援コンサルティングチーム及び府職員の約300人で構成する子育て企業サポートチームを結成し、府内企業への訪問を通じて、国や府の子育で支援制度を周知した。企業訪問件数 14,958社 イ 子育でにやさしい職場環境づくりに向けた具体的行動を企業経営者が従業員に対して宣言し、実行する子育で環境日本一に向けた職場づくり行動宣言の取組を実施した。職場づくり行動宣言を行った企業数 965社 (2) 子育でにやさしい職場づくりを実施する企業等への支援(多様な働き方推進事業費補助金)子育で環境日本一に向けた職場づくり行動宣言の実現に向け、府内中小企業等が実施する時間単位の年次有給休暇制度の導入など、職場の環境改善に必要となる経費に対し助成した。交付企業数 55社 交付 額 19,463千円 (3) テレワーク導入支援緊急補助事業 従業員に対し新たにテレワークを実施する府内中小企業等を対象に、テレワークの導入及び利用促進に要する経費に対し助成した。 交付企業数 457社

交 付 額 108,087千円 (4) 子育てにやさしい職場づくりに資するサービスの提供企業等への支援 子連れコワーキングスペースの設置・運営など、子育てにやさしい職場環境づくりに役 立つサービスメニューを府内企業等へ提供する事業者のスタートアップを支援した。 交付企業数 交 付 額 5.896千円 (5) 子育てにやさしい職場づくり実践企業の情報発信 ア 実践企業と求職者をつなぐ「子育てジョブ博」の開催 (ア) 子育てジョブ博(社員の奨学金返済を支援するリクルートフェア) 時 令和3年7月31日(土)10:00~13:00 会 場 京都経済センター 出 展 社員の学生時代の奨学金の返済を支援する京都企業 23社 対 象 令和4年3月大学等卒業予定者 内 容 合同企業説明会 参加者数 20人 (イ) 社員を大切にするジョブ博 日 時 令和3年12月9日(木)10:00~15:00(Web) 令和3年12月12日(日)10:30~15:30(対面) 会 場 Web及び国立京都国際会館 展 社員の奨学金支援制度や資格取得制度、社内託児所があるなど、ワーク ライフバランスの取れた社員想いの企業 30社 対 象 一般求職者、大学生等(インターンシップ希望者を含む) 内 容 合同企業説明会 参加者数 190人 イ Webサイトを活用した実践企業の情報発信 発信企業数 14計 3 執 行 額 169, 730, 074円 (うち補助金 142,450,918円) 障害者雇用サポート強 1 施策の趣旨等 化事業 共生社会の実現に向け、障害者の相談から就職・定着までの一貫した就職支援の推進に加 / 雇用推進室、 え、企業での働きやすい職場環境の整備や定着を促進する事業を実施する。 人材育成課 指標:障害者雇用率 目標:2.3% 実績:2.28% 2 施策の実施状況 (1) 障害者雇用定着環境整備事業 企業支援の核となる「京都障害者雇用企業サポートセンター」が、府内8箇所の地域セ ンターと連携し、センター・企業・障害者が参画する地域に密着したネットワークを構築 し、企業内サポーター育成事業や雇用施設整備事業等を実施した。

科目	予算現額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	P.			ア 障害者雇用企業サポートセンター事業 障害者に適した仕事の創出、雇用管理、各種助成制度等に関する提案やアドバイスを実施し、障害者の更なる雇用拡大及び職場定着を促進した。 企業における障害者の人材確保数 328人 訪問企業数 1,003社 1 地域センター事業 障害者に対する就労生活支援を行う地域センターにおいて、障害者の雇入れや職場適応、定着に関する相談や支援を実施するなど、企業支援を強化し、職場定着を促進した。 企業相談・支援件数 8,859件 ウ 障害者企業内サポーター育成事業 国と連携した「企業内サポーター」育成や障害者が自身の体調等を日報形式で毎日記録し、専門支援者の助うを受けられるツール(SPIS)を活用し職場定着を促進した。 企業内サポーター育成数 83人 SPIS導入企業・事業所数 企業1社、事業所2社 工 障害者雇用施設整備事業等事業費補助金 働きやすい職場づくりのため、障害特性に応じた施設整備等に対して支援した。 交付件数 2件 交付額 360千円 (2) 障害者就業支援事業 ア 京都ジョブパークはあとふるジョブカフェによる支援 相談から実習、マッチング、定着まで特性に応じたきめ細かい支援を実施した。 (7) 障害者専門相談員による相談等 障害者の就労力シセリングや情報提供等を実施した。 相談者数 延へ4、4パ入 就職内定者数 262 (イ) 企業実習の促進 障害者の就労準備性を高めるため、企業実習を実施した。 実習者数 126人 3 等り添い支援型学生インターンシップ事業 大学生を対象に障害の特性に応じたインターンシップを実施した。 参加大学 6 大学 参加学生数 6 人 0 府立高等技術専門校における障害者訓練(一般校における障害者訓練除く) 障害の種別・特性や企業ニーズに応じた職業訓練を実施した。 旅職者数 10人 変託訓練 受講者数 82 (在職者訓練受講者34人含む) " 14
1				

京都ジョブパーク推進 事業

(雇用推進室)

1 施策の趣旨等

若年者をはじめ、幅広い府民に対して、ハローワークと連携しながら、相談から就職、職場定着支援までのサービスをワンストップで提供する総合就業支援拠点を運営し、就業促進を図る。

指標:京都ジョブパーク利用者の就職内定率 目標:66,7% 実績:76,7%

2 施策の実施状況

京都ジョブパーク・北京都ジョブパークにおいて、相談・就職・定着までの総合的な就業 支援を実施した。

利用状況・就職内定者数

京都ジョブパークうち北京都ジョブパーク

延べ利用者数 148,423人 17,163人

延べ相談者数 112,835 (1日平均385人) 13,618 (1日平均56人)

就職內定者数 11,584 1,509

3 執 行 額 154, 246, 155円

(うち委託料 110,079,000円)

地域雇用再生緊急対策 事業

1 施策の趣旨等

国の「地域活性化雇用創造プロジェクト」を活用し、産業施策と一体となって、企業の業種転換や多角化による雇用確保や、求職者のキャリアチェンジやキャリアアップを伴う再就職等を支援することにより、新型コロナウイルス感染症の影響等を受けた地域雇用の再生を図る。

指標:正規雇用創出数 目標:184人 実績:287人

2 施策の実施状況

企業の成長分野進出と、DX等の人材育成を同時に支援し、双方をマッチングすることで、 産業パラダイムシフトを推進した。

(1) プロダクトデザイン試作連携事業

新たな事業展開や新規事業開発等を模索する中小企業に対して、優れた提案力を持つデザイナーとの協働・連携を支援するためのセミナーやワークショップを実施した。

セミナー等開催回数 4回 支援企業数 延べ228社

(2) 北部地域産業転換支援事業

京都府北部地域のものづくり企業における業種転換や多角化により雇用機会の確保や維持を図るため、セミナーやワークショップ及びコーディネータによる伴走支援を実施した。

セミナー等開催回数 4回 支援企業数 延べ75社

科目	子	,算	Į Į	見	額	;	決	算	額		主	要	な	施	策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
					PA					円						(3) 新文化産業多角化事業 伝統産業のものづくりと流通の構造改革が必要となっている現状を踏まえ、消費者に価値を提供し続ける体制を構築できる事業者を増やすために、事業主や求職者の意識改革や他分野進出、新商品開発、技術向上・販路開拓につながる支援を実施した。支援企業数 延べ55社 (4) けいはんなデジタル化推進による事業再構築・人材育成支援事業中小製造業の経営者向けにDX推進の必要性理解の促進を図るべく、DX推進セミナーやIT化導入事例セミナー、AIを利用した体験セミナー等を実施するとともに、DXやIT化の取組に活用できる補助金の紹介や若手社員向けに仕事と家庭の両立について考えるワークショップを開催した。DX推進関連セミナー実施回数 7回 参加者数 434人働き方改革ワークショッブ参加者(企業)数 9人(5社) (5) IT人材育成支援事業人材需要が高まる情報通信分野や社内IT部門等への再就職を支援するため、企業ニースを踏まえたIT人材育成研修を実施した。研修実施回数 33回 支援企業数 延べ138社 参加者数 192人 (6) デジタル人材雇用促進事業中小企業等において、業務プロセスの改善や新しい事業への進出などに向けて総合的な視点でデジタル化・オンライン化を推進できる人材等を確保・育成するためのセミナーや企業説明会を実施した。デジタル人材養成講座参加者数 1,401人 (7) 多角体感型!コロナ離職者等再就職促進事業新型コロナウイルス感染症の影響を受け離職した方等の再就職促進のため、多様な方向からの就職先選択を促進する「正社員適職発見支援プログラム」として、キャリアコンサルティングによる相談支援のほか、業界や業種、職種を広く学べるセミナー、企業と求職者の交流会やインターンシップのマッチング、職場体験ツアー等を実施した。プログラム奏加者数 475人 (8) 技術人材トライアル支援事業 求職者の業界研究の幅を広げ、キャリアチェンジに繋がるきっかけづくりや気づきを促すため、コロナ禍にあっても悪要が見込まれる建築・建設業やネット・EC販売等の技術系職種に対する適性を見極めることができる導入訓練を実施した。技術系導入訓練実施回数9回参加者数95人 129,853,035円(うち委託料127,588,295円)

多様な働き方・テレ 1 施策の趣旨等 ワーク推進事業 (労働政策課) 2 施策の実施状況 (1) 相談体制の整備 を構築した。 相談件数 2,041件 助金) 交付企業数 (3) 専門家の派遣 専門家派遣回数 185回 (4) セミナーの開催 セミナー開催回数 来場・視聴者数 1,072人 3 執 行 額 生涯現役活躍人材育成 1 施策の趣旨等 支援プロジェクト事業 (労働政策課)

テレワークの導入・定着をはじめ、誰もが働きやすい職場づくりの推進に取組む府内中小 企業を支援するため、京都経済センター内に設置する「京都府テレワーク推進センター」に おいて、WITHコロナ社会に対応した企業の就労環境整備を推進する。

指標:テレワークを導入・拡充した企業数 目標:230社 実績:276社

ITコーディネーターと社会保険労務士による技術・法務両面でのワンストップ相談体制

(2) テレワークの導入など多様な働き方を推進する企業の支援(多様な働き方推進事業費補

中小企業への訪問等を通じて、多様な働き方推進事業費補助金等の補助制度を活用した テレワークの導入等を支援した。

導入・拡充企業数 276社

98

交 付 額 23,388千円

中小企業の実情に応じ、中小企業診断士等の専門家を派遣し伴走支援を実施した。

テレワークの導入・定着に資するセミナーを開催した。

30回

87, 847, 416円

(うち委託料 60,500,000円) (うち補助金 24,788,000)

WITH・POSTコロナ社会で必要とされる能力の変化や人生100年時代の到来を見据え、生涯 現役クリエイティブセンターを設置し、主に大企業・中堅企業の在職中のミドル・シニア層 を対象に人手不足分野等への労働移動や地域貢献に資する人材を育成し、生涯学び・働き続 けることのできる社会の実現を目指す。

- 2 施策の実施状況
- (1) 京都府生涯現役クリエイティブセンターの設置 開設日 令和3年8月1日

科目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円 ·	円		場 所 京都経済センター 3 階 (2) 企業・従業員に対する相談・支援の実施 主にミドル・シニア層の在職者を対象に、セカンドキャリアを見据えた自身のキャリアの振り返りや、今後のキャリアプランの構築を支援する相談を実施した。相談件数 145件 (3) 社会人向けリカレント教育の実施 主にミドル・シニア層の在職者を対象に、産学公連携による産業人材の育成や地域課題解決の担い手育成等を目的としたリカレント研修を実施した。ア 個別研修 コース数 前期・後期各6コース開催時期 前期:10月~2月 後期:1月~3月参加者数 297人 イ エクセレント講座(京都府ゆかりの著名人による意識啓発講座)開催回数 3回参加者数 450人 ウ 転職者向け個別セミナー等開催回数 10回参加者数 299人 (4) リカレント教育情報の一元化と発信センターで提供する社会人向けリカレント教育を中心に、府内大学等関係機関で実施するリカレント教育情報等を利用者に発信した。利用者数 1,595人
				3 執 行 額 65,079,605円 (うち委託料 60,207,427円)
			若者等就職・定着総合 応援事業 雇用推進室 労働政策課 人材育成課	1 施策の趣旨等 京都府若者の就職等の支援に関する条例に基づき、就職の難しい若者等を対象とした人づ くりを推進する。 指標 目標 実績 伴走型訓練修了者の就職率(うち正規雇用率) 80%(50%) 62.9%(59.1%) 若年求職者の内定者数 980人 1,655人 2 施策の実施状況 (1) 若者等就職・定着総合応援事業 ア 就職困難な若者等への支援 就職の難しい若者等を対象に、人手不足が顕著な分野の企業と連携し、基礎訓練及び

実地訓練から就職・定着支援までの4箇月間の伴走支援を実施した。 訓練受講者数 37人 訓練修了者数 35 就職者数 22 イ 早期離職した若者等への支援 職業適性や職場への理解が不足していたこと等により早期離職した者を対象に、必要 に応じ、インターンシップ活用等の支援を行った上で、マッチングを実施した。 利用者数 1,489人 (2) 京都わかもの就職支援等推進事業 京都府若者の就職等の支援に関する条例に基づく計画の認定を受けた就業支援事業を行 うNPO等を支援するため、若者の自立・就労に向けた活動に対して助成した。 交付団体数 9 団体 交 付 額 12,302千円 3 執 行 額 49. 305. 337**円** (うち委託料 33,251,149円) STOP氷河期・学生就 1 施策の趣旨等 職応援事業 第2の就職氷河期世代を生み出さないため、新卒高校生・大学生の「徹底した就職機会の 確保」と「早期離職防止・定着、速やかな再就職支援」を柱に、府内企業との出会いの場の (雇用推進室) 創出と、教育現場と連携した定着・再就職支援の仕組みを構築する。 2 施策の実施状況 (1) インターンシップの推進による学生の業界研究支援 ア 学生と府内企業の交流促進 学生就職センターの運営や府内企業との出会いの場となる「KYOTO業界研究フェス タ」の開催等により、学生と府内企業との交流を促進した。 インターシップ等の参加人数 1, 101人 京都インターンシップナビ掲載企業数 510社 「KYOTO業界研究フェスタ」参加人数 194人 イ 有償インターンシップ補助金 学生の有償インターンシップを受け入れる企業に対する助成を通じ、学生の業界研究 を支援した。 交付件数 4社 交付額 336千円 (2) 未内定者の就職支援 ア 未内定者向け合同企業説明会の開催 未内定の高校生・大学生向けの合同企業説明会を開催し、府内企業とのマッチングの 場を提供した。 参加者数 96人

科目	予 算 現 額 決 算 額	主要な施策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円		イ 未内定者の相談対応 カウンセリングや面接対策の実施等、就職に向けたきめ細やかな伴走支援を実施し、 未内定者の就職を支援した。 学生就職センター延べ相談者数 4,653人 就職内定者数 1,892 (3) 就職支援協定締結大学と連携した学生の府内企業への就職促進 ア モデル事業の実施 低年次から卒業年次までの段階的なキャリア教育を通じて学生の視野を広げ、府内企業への就職を促進させるモデル事業を実施した。 モデル事業実施大学数 6大学 京都ジョブバーク新規登録者数 885人 イ 学内合同企業説明会等の実施 学内合同企業説明会や各種就活セミナーの実施など、就職支援協定締結大学と連携した学生の府内企業説職促進に向けた取組を推進した。 京都ジョブバーク新規登録者数 1,473人 (4) 府内高校生の就職・定着等支援 ア 進路指導教員及び保護者対象セミナーの開催 府内高校生の就職・定着等支援 ア 進路指導教員及び保護者等を対象に府内企業をより深く知るためのセミナーを開催した。 セミナーを開催した。 セミナー実施回数 4回 参加者数 13人 イ 卒後調査の実施 卒業生の実態調査を実施し、卒業生の早期離職防止・定着、再就職を支援した。 回答者数 1,161人
		観光関連人材緊急就労 支援事業 (労働政策課)	1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症による経済的な影響(解雇・雇い止めなど)を受けた観光関連 産業の非正規雇用労働者等を短期間雇用し、研修と企業実習を組み合わせた訓練コースを実 施するとともに、新型コロナウイルス感染症が収束するまでの間、人手不足に悩む府内中小 企業等での就労を促進することで、離職者等の生活の安定を図る。 指標:就職者数 目標:140人 実績:106人 2 施策の実施状況 新型コロナウイルス感染症の影響により解雇・雇い止めなどを受けたが、コロナ禍の収束

	後、再び観光関連産業で就職したいと考える求職者等に対し、10日間の雇用型訓練を実施した。 受講者数 155人 修了者数 146 就職者数 106 3 執 行 額 41,760,639円
	(うち委託料 41,739,739円)
ダイバーシティ人材育 成支援対策事業 (人材育成課)	国の就職氷河期世代支援プログラムを踏まえ、就職氷河期世代の方が希望に応じた就業ができるよう、きめ細やかな就業支援を実施する。 指標 目標 実績 研修等受講者数 140人 389人
	就職者数 45 46
	 2 施策の実施状況 (1) 京都府つながる・学ぶ・働く支援センター運営事業相談窓口「京都府つながる・学ぶ・働く支援センター(Lコネクト)」を開設し、福祉支援機関等との連携によるアウトリーチや支援対象者(ひきこもり状態の方等)と在宅でもつながることのできるオンラインの手法などを用いて、支援対象者の把握から就労までの一貫した支援を実施した。 (2) 京都式業界一体型ホップステップジャンプ就労支援事業支援対象者や業界団体等のニーズを把握した上で、支援対象者の状態に合わせて徐々に時間数や日数、作業負荷を増していく研修を業界団体等と連携して企画・実施した。
	3 執 行 額 37,722,173円 (うち委託料 37,206,703円)
非正規雇用女性就労促 進事業 (雇用推進室)	1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症の影響で特に非正規雇用の女性の解雇・離職が増加する中で、 働きたいのに働けない方や働くことを仕方なく諦めた方への相談から就労までのサポートを 実施する。 指標 目標 実績 セミナー受講者数 450人 605人 うち就職内定者数 300 141

科目	予算現額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	F		専門的技術人材緊急養 成事業 (人材育成課)	2 施策の実施状況 (1) 巡回相談員によるアウトリーチ型の就業サポート 京都ジョブパークに巡回相談員を配置し、市町村自立相談支援機関等を巡回訪問して就 労意欲のある者へアプローチを行い、ジョブパークやハローワーク等への誘導を強化し た。 巡回相談実施回数 南部延べ108回 北部延べ67回 (2) 出張セミナー及び企業説明会の実施 新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、雇用情勢が悪化する中、特に解雇・離 職が増加する非正規雇用者の女性の再就職を促進するため、アウトリーチ型のスキルアッ ブ講座やマッチング支援を実施した。 出張セミナ 実施回数 98回 企業説明会実施回数 71 3 執 行 額 33,292,000円 (うち委託料 22,029,040円) 1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症による経済的な影響(解雇・雇い止めなど)を受け、離職を余 儀なくされた求職者を一定期間雇用し、人手不足が顕著な業界における専門的な技術に関す る訓練を行うことで、求職者等の生活の安定と専門的技術人材の育成を図る。
				指標 目標 実績 訓練生数 60人 35人 就職者数 60 27 2 施策の実施状況 新型コロナウイルス感染症による経済的な影響を受け、離職を余儀なくされた求職者等に対し、人手が不足している技能系職種等(4職種)を選定し、資格取得等に向けた雇用型訓練を実施した。 (1) ITパスポートコース 訓練期間 令和3年10月20日~11月19日 訓練生数 18人資格合格者数 16 就職者数 13 (2) 建設業(CAD)人材養成コース 訓練期間 令和3年11月15日~12月15日 訓練生数 12人 就職者数 10

	(3) 電気工事士養成コース 訓練期間 令和3年11月15日~12月15日 訓練生数 4人 就職者数 3 (4) 測量士補養成コース 訓練期間 令和3年11月24日~12月24日 訓練生数 1人 就職者数 1 3 執 行 額	32, 531, 105円 (委託料)
就職氷河期世代正規雇用化促進事業(雇用推進室)	1 施策の趣旨等 国の就職氷河期世代支援プログラムとも連携し、ができるよう、きめ細やかな就業支援を実施する。 指標 目標 就職内定者数 240人 うち正規内定者数 240 2 施策の実施状況 (1) カウンセリング等の実施 概ね35歳~54歳で、正規雇用を希望しながら報 (1) 対の大きので、正規雇用を希望しながらま 職後、就職活動中の方を含む)や、不安定就労其等、安定した就労経験の乏しい方等へのキャリブ 登録者数 443人 (うち新規登録者数 124相談件数 1,252件 (2) スキルアップ研修の実施 就職氷河期世代の方が企業の中間層人材として けるための段階的な研修(組織で働く力、社会人 南部(10講座) 受講者 76人 北部(1) "12 (3) 氷河期世代の採用に意欲的な企業とのマッチン 小規模企業説明会の開催及び個別マッチングな企業説明会実施回数8回 出展企業42社 参加3 執 行 額	実 績 170人 40 5 やむを得ず非正規雇用で在職中の方(離間的でででででででででである。 17カウンセリングを実施した。 17カウンセリングを実施した。 17人) 17年間 18年間 18年間 18年間 18年間 18年間 18年間 18年間 18

科 目	予 算 現 額 決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	P) P.	中小企業等緊急人材確保事業 (雇用推進室)	1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症の影響による入国制限等により、ものづくり産業を中心とした 中小企業等の人手不足が深刻化していることから、中小企業等の人材確保を緊急的に支援す る。
			2 施策の実施状況 離職者、転職希望者、UIJターン希望者等を対象に、京都企業の魅力を伝え、就職に繋げる ための「緊急合同企業説明会」を実施した。 実施回数 3回 参加者数 435人 出展企業数 45社
			3 執 行 額 20,000,000円 (委託料)
		中小企業等障害者雇用 モデル事業 (雇用推進室)	1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症の影響により、雇い止めなどで離職を余儀なくされた障害者へ の対策が課題となっている状況や、令和3年3月に障害者の法定雇用率が引き上げられたこ とを踏まえ、新たに障害者雇用義務が生じた府内中小企業等での採用を支援し、障害者雇用 を促進する。
			指標:モデル事業参画事業所数 目標:10事業所 実績:9事業所 2 施策の実施状況 新たに障害者雇用義務が生じた府内中小企業等に対し、専門家による業務の切り出しや職場理解等のアドバイスを通じて、受入体制などの検討から採用までを一貫支援するモデル事業を実施した。 (1) 経営者向けセミナーの実施障害についての正しい理解など、障害者雇用促進に向けてのセミナーを実施した。実施回数2回参加企業数 14社 (2) 合同企業説明会の開催障害者と府内中小企業等とのマッチングを支援するため、合同企業説明会を開催した。
			実 施 回 数 2 回 参加 企業数 11社 参加求職者数 106人
			3 執 行 額 12,100,000円 (委託料)

観光人材緊急雇用シェ アリング事業 (雇用推進室)	1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症の拡大を受けた緊急事態措置の実施による外出自粛等により影響を受ける観光関連産業等の従事者を中心に、短期的な雇用のシェアリングを支援し、失業の防止・雇用の維持を図る。
	2 施策の実施状況 (1) 企業情報の収集・開拓及びマッチング 出向や兼業・副業の支援等により一時的に休業・業務縮小する観光関連の企業と人手不 足企業の間でのマッチングを支援した。 マッチング情報掲載企業数 46社 マッチング成立件数(人数) 11件(23人) (2) 専門家による伴走支援 専任の企業訪問コンサルタントやマッチング調整員等により相談対応やシェアリング制 度導入企業に対するWEBセミナー等の伴走支援を実施した。 セミナー実施回数 2回 ッ 参加企業数 23社
	3 執 行 額 10,000,000円 (委託料)
外国人材受入・活躍促 進事業 (労働政策課)	1 施策の趣旨等 研究者等の高度外国人材や介護・農業など特定技能外国人、留学生など多様な外国人材が 安心して活動し暮らせるための受入体制を構築し、多文化共生の推進から人材確保まで、 オール京都でサポートする。
	 2 施策の実施状況 (1) 外国人材の確保・定着に向けたネットワークの運営 国や市町村、経済・労働関係団体、外国人との共生を支援する団体等で構成する「産学公連携海外人材活躍ネットワーク」を運営し、構成団体における外国人材受入れや多文化共生に係る取組・現状等について取りまとめを実施した。 (2) 中小企業の外国人材受入・定着に向けたサポート体制の構築外国人材の募集・採用、在留資格、労働環境整備に係る相談に対応するため、京都ジョブパーク内の京の留学生支援センターに「外国人採用アドバイザー」を配置外国人材の採用に積極的な求人の開拓 40件
	3 執 行 額 6,395,000円 (うち委託料 6,300,000円)

第6款 農林水産業費

科目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
1 農 業 費 3 農業振興費 (P132)	円 6, 164, 980, 000 (7, 689, 333, 000) 翌年度への繰越 事業費 2, 798, 310, 000 農林事業費 2, 022, 316, 000 農禁署 19, 994, 000 農対策 96, 000, 000 農大援策 660, 000, 000	3, 884, 928, 481 (4, 206, 946, 851) 決算額の財源 内駅	食の安心・安全推進事)業 (農政課)	1 施策の趣旨等 消費者と生産者・事業者の交流や食情報の提供による食の安心・安全に関する情報の共有 化、食品表示の監視などにより、「食の信頼づくり」を推進する。 指標:食品表示巡回調査の調査店舗数 目標:300店舗 実績:263店舗 2 施策の実施状況 (1) 食品表示パトロール事業 誤った食品表示による所民の誤認や健康被害の未然防止のため、違反事実に効率的かつ 迅速に対応し、食の安心・安全の確保を図った。 ア スーパー、小売店等での表示状況の調査 イ 商品を買い上げて、表示されている原産地の信びょう性について科学的検査等を実施 40検体 (2) 食品安心・安全確保事業 府内産農畜水産物の放射性物質モニタリング検査(23検体)を実施し、府民の食の安心・安全の確保を図った。 (3) くらしの安心推進員設置事業 食の安心・安全に関心のある府民を京都府くらしの安心推進員(食品表示チーム)及びリスクコミュニケーターに登録し、食品表示の監視や食品の安心・安全情報の提供、リスクコミュニケーターに登録し、食品表示の監視や食品の安心・安全情報の提供、リスクコミュニケーションを図った。 ア 京都府くらしの安心推進員(食品表示チーム)登録数 295人 イ 京都府食の安心・安全リスクコミュニケーションの開催 11回 3 執 行 額 2,999,809円 1 施策の趣旨等 「きょうと食いく先生」の派遣、地域の食育支援活動、若い世代を対象とした食育出前講座等を開催することで、体験型食育を強化し、地域や府民の食育を推進する。 指標 実績 きょうと食いく先生の授業数 425授業 216授業 2 施策の実施状況 学校、保育所、地線団体等が行う食育活動に「きょうと食いく先生」を派遣するとともに、

科目	予 算 現 額 決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	P) P.		大学生を対象とした和食に関する食育講座、府民向け食育トークショーの開催等により、幅 広い層の府民の食育への関心を高めた。
			3 執 行 額 4,366,815円
		中山間地域等直接支払 事業 (農村振興課)	1 施策の趣旨等 耕作放棄地の増加等により、多面的機能の低下が懸念される中山間地域等において、中山 間地域等直接支払事業を実施することで、農業生産の維持を図り、多面的機能を確保する。
			2 施策の実施状況 農業生産の維持を通じて、水源かん養、洪水防止をはじめとした多面的機能の確保に寄与した。 した。 交付金実施市町村 京都市ほか15市町村 交付金総額 667,435,994円 交付対象実施面積 50,809,044㎡ 集落協定締結数 486協定 個別協定締結数 3 活動内容 農道・水路等の維持管理、共同利用機械の購入、鳥獣被害対策等
			3 執 行 額 503, 194, 134円 (うち補助金 502, 951, 391円)
		農村型小規模多機能自 治推進事業 (農村振興課)	1 施策の趣旨等 米政策の転換や農山漁村の過疎高齢化が進む中、小規模農家も含めた農山漁村全体を守る 地域活動を強化するため、外部人材の活用を含めた地域の基盤づくりや、地域資源を活用し た「なりわい」づくりから企業と提携したビジネスへの発展まで一体的に支援することで、 トータルマネジメントを行う農山漁村コミュニティ(農村型CMO)の形成を図る。
			指標:持続的な地域経営の体制(農村型CMO等)を構築した地区数(累計) 目標:37地区(令和5年度まで) 実績:15地区
			2 施策の実施状況 (1) 農山漁村コミュニティ維持強化事業 ア 新農山漁村コミュニティ形成支援 コミュニティの方向性や課題を共有し、移住促進などのコミュニティ維持強化や「なりわい」づくりなどのビジネス強化に向けて行う計画づくりを支援した。 事業実施地域に係る市町村 京都市ほか6市町

	事業実施地区数 10地区 事 業 費 2,508,000円 補 助 金 1,254,000 イ 参加型住民(地域外ファン)づくり事業 地域の協働活動などに参加する参加型住民(地域外ファン)を増施するフィールドワーク活動などを支援した。 事業実施地域に係る市町村 福知山市ほか6市町 事 業 実施件数 20件 事 業 費 4,545,000円 補 助 金 3,870,000 (2) 農山漁村ビジネス強化事業 農村コミュニティ組織等が展開する地域の活力維持・強化に資する域の特徴を生かした新たな「なりわい」創出を支援した。 事業実施地域に係る市町村 京都市ほか3市町 事 業 実施地域に係る市町村 京都市ほか3市町 事 業 実施地区 数 5地区 事 債,123,000円 補 助 金 4,079,000 (3) 農山漁村コミュニティ伴走支援事業 行政等との調整、地域・仕事おこし活動全般を担う「里の公共員」による農山漁村地域の再生を図った。 里の公共員 配置人数 6人	地域おこし活動や地
京都移住促進されています。(農村振興	プロジェ 1 施策の趣旨等 京都府移住の促進のための空家及び耕作放棄地等活用条例に基づき、	の確保を核とした都 の活力ある農山漁村地 のでは、一(移住相談窓口)

目	予	算	現		i.	算	額	主	要	な	施	策				施	策	の	実	施	状	況	۲	成	果	等	
				円			円							柜	談者数	ī				983人							
															3位者数			3	331世書		`						
													(5		· L L D X/ 是山漁村		へのホ										
													\) や空	き家改	修等Ⅰ	こ対す	る支	援を実	施し、移住者
															を図っ		,,,,,	,, ,	VIII III			- 3.00	. 12 . 3 1	_,,,	-	J.Z. C. J.C.	
															移住促		宅整 6	#事業									
																· 施市		111 3- >/<		件数		事	業費	ì		補助	金
															福知山	 i市ほ7	か12r	节町村		86件		257, 41				5, 182, (
														1	空家流							,	,			, ,	
																施市				件数		事	業費	Ī		補助	金
															福知山	市ほれ	לי10ד	市町		79件			9,000			3, 945, 0	
															移住者							,		-		. ,	•
																施市				件数		事	業費	Ì		補 助	金
															亀	」	市			5件		33, 16	5, 000)円		7, 500, 0	000円
															南	ī 丹	市			14		66, 61	7, 000)	1	7, 946, 0	000
																計				19		99, 78	2, 000)	2	5, 446, (000
														エ	企業連	携移	主促注	進事業									
															実	施市	订村			件数			業費			補助	金
																ī 丹				10件		21, 90	8, 000)円		6, 000, 0	000円
														オ	地域受	入体制	削整係	備促進	事業								
																施市				件数		事	業費	Ī		補助	金
																もほか				3件		1, 53	0, 000)円		750, (000円
														カ	きょう	-		1) 応	援金事	業							
																施市				件数			業費			補助	
																部				3件		65	0, 000)円		650, 0	000円
														キ	移住支												
															-	施市				件数			業費			補助	
																i 丹				1件			1, 000			75, (
															트	謝野	,町			1			5, 000			7, (
																計			-4 10 40	2		18	6, 000)		82, (000
														ク	京のふ			らし体					MI =:	_		, p =:	
															-	施市				件数			業費			補助	
																部				1件		4, 07				1, 500, (
															南	i 丹	市			1			4, 000			122, (
																計				2		4, 31	4, 000)		1, 622, 0)00
													3	勎	行	額									15	9, 513, 4	181 円
														T7 V	1.7	дX								(うt			7, 347, 000円

「農・観」連携地域コ
ミュニティ応援事業
(農村振興課)

1 施策の趣旨等

野菜の収穫体験の実施等農山漁村の実りや暮らしを体験できる地域資源を磨き上げ、エリア全体を滞在施設化する取組を支援する。

指標:農観ブランディング作成農山漁村

目標:10地区(令和3年度まで) 実績:6地区

- 2 施策の実施状況
- (1) 地域ブランディング推進事業 (ソフト対策)

魅力ある地域資源を磨き上げ、地域を総合的にブランディングする取組を支援した。

事業実施地域に係る市町村綾部市ほか5市町村事業実施地区数6地区事業費6,238,700円補助金5,011,000

(2) 地域内集落景観整備事業(ハード対策)

「見たい、行きたい、体験したい」地域を創り上げるため、集落内の環境及び景観の整備を支援した。

事業実施地域に係る市町村綾部市ほか3市町事業実施地区数4地区事業費14,248,000円補助金7,123,000

3 執 行 額

12, 319, 712円

(うち補助金 12,134,000円)

農林水産業基盤整備事業

経営支援・担い手課が、プランに関する。では、アランに関する。では、アランに関する。

1 施策の趣旨等

地域の特性を生かした農林漁業の振興、山村地域と都市との交流促進とこれを支援する豊かな自然環境の保全及び地域の担い手の確保・育成に必要な事業を実施する。

2 施策の実施状況

市町村名	事業内容	事業費	補助金
京都市	京 都 市 中 央 卸 売 市 場 第 一 市 場 整 備 ほ か	3, 123, 579, 705円	1, 219, 602, 000円
舞鶴市	事 業 継 続 計 画 策 定	22, 140	22, 000
宇治市	蒸留濃縮装置導入ほか	80, 830, 000	39, 140, 000
宮津市	パ イ プ ハ ウ ス 整 備	6, 545, 233	1, 952, 000
京田辺市	低コスト耐候性ハウス導入	259, 050, 000	127, 073, 000
京 丹 後 市	パ イ プ ハ ウ ス 整 備	5, 845, 968	1, 509, 000
木津川市	抹茶包装設備整備ほか	80, 360, 000	23, 120, 000
宇治田原町	定 温 倉 庫 改 修 ほ か	9, 520, 000	4, 760, 000
与謝野町	バックホウ導入	4, 345, 000	1, 185, 000

科目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	F.	円		市町村名 事業内容 事業費 補助金 計 3,570,098,046円 1,418,363,000円
				3 執 行 額 1,418,363,000円 (補助金)
			集落連携100ha農場づくり事業 (農村振興課 経営支援・担い手 育成課)	1 施策の趣旨等 複数集落の組織化や農地管理の分離・委託による規模拡大・収益力向上及び企業連携による人材確保を支援することにより、メガ団地(100ha農場)を形成する営農モデルを構築し、持続可能な地域農業を創出する。
				指 標 目 標 実 績 広域的経営を行う集落営農組織数 10組織(令和7年度まで) 2組織
				2 施策の実施状況 (1) 稲作・園芸規模拡大支援事業 ア 計画策定支援事業 集落連携や収益性の高い作物の導入等の革新的な営農計画(革新計画)の作成に取り 組む地域組織に対し、「集落連携100ha農場づくり推進チーム」により、計画作成及び実践を支援した。 (ア) 革新計画作成推進事業
				実施市町村実施地区数補助金京丹後市1地区10,000円与謝野町1250,000計2260,000
				(イ) 革新計画作成サポート事業 対象団体 一般社団法人京都府農業会議 補助金 6,000,000円 イ 企業連携支援事業 府内における新規就農希望者等に対し、研修を実施した。 研 修 名 開催回数 人 数
				研 修 石 開催回数 へ 数 就農ステップイン講座 5回 14人 農業経営力向上講座 4 41 ウ 100ha農場づくり準備事業 集落営農組織の法人化に向け、専門家による助言等を行う取組を支援した。
				法人化件数 3件 対象団体 一般社団法人京都府農業会議 補助金 750,000円 (2) 広域的農地(100ha)管理体制構築事業 農地管理を専門的かつ広域に請け負う事業体の形成による新たな農地管理手法の確立に

向け、スマート技術導入によるコスト低減効果等の実証調査を実施するとともに、ラジコ ン草刈り機等の農地管理の省力化に資する機械導入を支援した。 実施地区数 補助金 実施市町村 与 謝 野 町 1 地区 1,339,000円 3 執 行 額 12,846,018円 (うち補助金 8,349,000円) 京都農人材育成強化事 1 施策の趣旨等 「京都農人材育成センター」を設置し、農業の新たな担い手を確保するため、就農・就業希 /経営支援・担い手 \ 望者の相談から技術習得、地域定着までをワンストップで支援することで、円滑な新規就農・ 首 成 就業を促進するとともに、京の農業応援隊による技術研修などの伴走支援に加え、経営の発 展段階に応じた経営研修を一体的に実施することで、高度な経営感覚を持つ農人材の育成を 図る。 指標:新規就農・就業者数 目標:年間150人 実績:164人 2 施策の実施状況 (1) 京都農人材育成センター事業 ア 人材確保事業 (ア) 農林水産業ジョブカフェ事業 新規就農等相談の総合窓口「農林水産業ジョブカフェ」を設置・運営し、新規就農 希望者等への情報提供や就農・就業相談、農業体験研修を支援した。 相談件数 427件 就農あっせん件数 9 研修あっせん件数 9 補助金 9,727,721円 (イ) 就農インターンシップ事業 就農希望者等に対して、人材育成に取り組む農業法人等で研修を実施した。 研修参加者 10人 研修先登録 10箇所 補助金 5,545,000円 (ウ) 宇治茶実践型学舎事業 宇治茶園への就農・就業を希望する者に実践研修を実施した。 研修生 3人 イ 人材育成事業 経営の段階に応じた経営研修のカリキュラムを作成し、研修を実施した。 研修名 開催回数 対象者 人 数 5 回 就農者 就農直後フォロー研修 86人 (2) 人材育成支援事業 ア 農業次世代人材投資事業 新規就農希望者等に対し、収入が不安定な就農前の研修期間及び就農直後の期間に交 付金を交付し、生活の安定に寄与した。

科目	予算現額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	F			(ア) 準備型資金
			京ものブランドカ向上総合戦略事業 (流通・ブランド 戦略 解事業 開業 を開業 を開業 を開業 を開業 を開業 を関する。	1 施策の趣旨等 ライフスタイルや消費動向の変化へ素早く対応し、国内外における京都産農林水産物・加工品(京もの)のブランド力・販売力を強化するため、国内の「中食」マーケットにおけるビジネスモデルの構築や海外販路拡大等を図る。 指標 目標 実績 府内産農林水産物・加工品の輸出額 13.1億円 23.0億円 2 施策の実施状況 (1) 未来の「京都プレミアム中食」創出促進事業 ア 京都食ビジネスプラットフォーム研修会の開催 開催日 令和3年11月2日(キックオフイベント) ほか 全2回 イ 「京都プレミアム中食」開発支援事業 京都のすぐれた加工技術やしつらえ等を施した「京の食文化」を体現する最高品質の

加工品の開発や販路拡大に係る取組を支援した。

実施事業者数 24件

ウ 中食開発ビジネスモデル構築事業

京の食文化を背景とした、京都の料亭等が生産者や食関連事業者と連携し、京都ならではの新たな「中食」向け商品を開発するビジネスモデルの構築を支援した。

- (2) 京もの輸出拡大戦略推進事業
 - ア 京もの世界発信展開事業

京ものの魅力を海外に発信する取組を支援した。

取組内容 開催期間 開催場所

オンライン料理教室令和4年1月27日シンガポール、香港京ものフェスティバル令和4年2月1日~2月28日シンガポール

- イ 京もの輸出体制強化・開拓推進事業
- (ア) 京もの伝道師の設置

京ものの魅力の情報発信や需要開拓の推進を図るため、「京もの伝道師」の設置を支援した。

設置場所 イギリス、シンガポール、フランス

(イ) 「京もの提供店」の認定

海外における京都産農林水産物の需要拡大・認知度向上を図るため、通年で京都産 農林水産物を提供する飲食店等の認定を実施した。

認定店舗数 6店舗

(ウ) イベント等の開催

京ものの需要拡大を図るため、販売促進に係る取組を支援した。

取組内容 開催期間 開催場所

京都産農林水産物 令和3年8月19日~8月24日 P R フェア ほか 全3回 香港

京 の 酒 試 飲 会 令和 3 年12月 9 日 ほか 全 5 回 イギリス、中国、フランス レストランフェア 令和 4 年 3 月 1 日 ~ 3 月 16日 シンガポール

(エ) グローバル産地づくりの推進

京都産農林水産物の輸出拡大を図るため、輸出先国の規制に対応した生産・出荷体制の整備や各種認証等の取得に係る取組を支援した。

対象品目 対象国・地域

京野菜 シンガポール、台湾、香港

 宇治 茶
 欧州、北米

 京の酒
 欧州

ウ 農林水産物輸出チャレンジ支援事業

京都産農林水産物の輸出強化を支援するため、これから輸出に取り組む経営体向けの相談窓口の設置や専門家派遣による助言・指導を実施した。

相談対応件数 261件

農林水産物輸出セミナーの開催 1回

(3) 京もの需要拡大国内戦略事業

ア 小売店向け販売事業促進

科目	予 算 現 額 決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	P) P.		高級量販店等への動画放映モニターの設置や、京野菜マルシェでの京野菜の販売促進キャンペーンの開催を支援した。 開催期間 参加店舗 令和3年8月12日~9月12日 40店舗 令和3年11月19日~12月19日 168 イ 若年層向け需要拡大 首都圏の料理教室において、京都の料理人を講師に産地のこだわりやおいしさを実感してもらうため、京野菜の試食会やオンライン料理教室の開催を支援した。 取組内容 開催回数 参加者 京野菜お試し会 延べ25回 1,420人 オンライン料理教室 2 44 ウ 実需者向け消費拡大 京野菜の消費拡大を図るため、オンライン産地見学会の開催や旬の京野菜提供店の新規認定等を支援した。 オンライン産地見学会の開催 3回 旬の京野菜提供店の新規認定 12店舗(計263店舗) 3 執 行 額 127,705,750円 (うち補助金 125,325,881円)
		「食の京都」推進事業 (流通・ブランド 課) 戦 略 課)	1 施策の趣旨等 府域共通の観光資源でもある「食」を目的とした観光誘客を促進するため、「食の京都」を キーワードに注目食材を活用した地域の魅力向上・消費地での認知度向上を図る。 2 施策の実施状況 (1)「食の京都TABLE」整備支援事業 地域の観光・物流拠点として機能を強化するため、「食の京都TABLE」等の施設における食材加工・販売設備等の整備に係る取組を支援した。 採択件数 9件 補助金 9,265,000円 (2) Next「食の京都TABLE」拠点育成事業 「食の京都TABLE」拠点候補を育成するため、直売所等を対象に研修会を実施した。 開催日 令和4年1月13日 ほか 全6回 内 容 専門家派遣によるコンサルティング (3)「食の京都TABLE」展開事業 錦市場「丹後TABLE」で「もうひとつの京都」のエリア毎に「食の京都」の特産品を展示販売する「食の京都」特選フェアを開催した。 出展団体数 46団体

	る取組を支援した。 実施期間 令和3年10月15日~令和4年3 参加店舗 180店舗 (5) 首都圏での「食の京都」発信事業 地方銀行フードセレクション2021において ン商談等を通じて「食の京都」の魅力を効果 実施期間 令和3年10月1日~令和4年1	、「食の京都」の特産品の情報発信やオンライ 的に発信した。
	3 執 行 額	12,690,250円 (うち補助金 10,265,000円)
ウイル 服事等	通・ブランド / 的に支援し、需要喚起を図る。	して、コロナ禍の危機を克服する取組を緊急 ット等と京の酒、宇治茶、京漬物等をセット
	3 執 行 額	479, 984, 009円 (補助金)
緊急支	食」流通事業者 1 施策の趣旨等 支援事業 外食需要の長期低迷により、農林水産物や加 ・プランド 仲卸組合等を支援するため、京都産農林水産物 ・略 課 消費拡大を図る。	
	2 施策の実施状況 京都産農林水産物等の情報を一元的に扱う特 ンラインイベントの開催を支援した。 (1) オンライン販売フェアの開催 開催期間 令和4年2月1日~2月28日	設サイトを設置し、PR等を行うとともに、オ

科目	予 算 現 額 決 算 額	主要な施策 施策の実施状況と成果等
	P P	(2) オンライン料理イベントの開催 開催日 令和4年2月20日 ほか 全2回 参加者数 82名
		3 執 行 額 9,599,010円 (補助金)
		「京都ブランド米」新 展開事業 (農産課) 1 施策の趣旨等 新たに開発した府オリジナル米新品種「京式部」のブランド化を戦略的に進めるとともに、 「京の米」の高品質化と知名度向上を推進し、新たな市場・販路拡大を展開する。
		指 標 目 標 実 績 需要に応じた地域ブランド米の作付面積 1,843ha 1,857ha 需要に応じた地域ブランド米の生産量 9,169トン 8,505トン
		2 施策の実施状況 (1) 新京都ブランド米「京式部」PR戦略事業 令和3年度から本格的に販売を開始したオリジナル新品種「京式部」のブランド化に向けた戦略的なPRを実施した。 ア 京式部ロゴマーク発表会 開 催 日 令和3年8月25日 開催場所 廬山寺 紫式部邸宅址 来 場 者 報道機関4社 イ 「京式部」販売開始式 開 催 日 令和3年9月30日 開催場所 リーガロイヤルホテル 来 場 者 報道機関5社 ウ 「京式部」新米フェア 開 催 日 令和3年10月1日~12月31日 開催場所 府内京料理店、百貨店、米穀店等 内 容 京料理店で「京式部」をメニューの一部として提供するとともに、百貨店、米穀店等における販売を実施 (2) 「京の米」ベンチャーコンペティション事業 ア おいしいお米生産対策事業 米価向上に向けた京の米のPRや特色ある米づくりへの技術的取組等を支援した。 地 域 名 事業主体 事業内容 事業費 補助金 山城地域 京都やましる農業協同組合 特別栽培米部会ほか 研修会の開催ほか 472,038円 234,000円

	南丹地域 京都 丹 注 良食 味 推 進	度 米 協会 技術普及広報ほか 632,809 300,000
	中丹地域 中丹米振興協	
	丹後地域 丹後米改良協会	
	計	2, 555, 159 1, 183, 000
	・・・・ イ 「京のプレミアム米コンテス	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
		、おいしいお米のコンテストを開催し、入賞した米をWei
	等でPRした。	のいらいの木のコンノハーと別位の、八貫のた木とれの
	応募受付点数 174点	入賞点数 8点
	(3) 「京の米」生産イノベーション	
		ずるための機械導入を支援した。
	市町村名事業主体	事業内容事業費補助金
	福知山市 株式会社大門ファーム	• • • • •
	宮津市 農事組合法	
	亀 岡 市 春日部ファーム	
	八幡市 八幡市西 特裁米組合信	部 肥料散布機ほか 5,330,000 2,131,000
	京田辺市 江津米生産部	3会 コンバイン 4,730,000 1,792,000
	京丹後市 株式会社田吾作	まか 色彩選別機ほか 41,636,227 18,540,000
	南 丹 市 農 事 組 合 法	ま人 コンバインほか 43,911,260 17,808,000
	京丹波町 一般 社 団 法 和知ふるさと振興セン	: 人 光選別機ほか 5,746,800 2,096,000
	与謝野町 株式会社AGRIST	ほか 色彩選別機ほか 4,669,500 1,955,000
	計	132, 839, 387 57, 408, 000
	3 執 行 額	70, 189, 878円
		(うち補助金 62,591,000円)
有機農業・環境調和型	1 施策の趣旨等	
農業支援事業	有機農業をはじめとする、地球流	温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を支援
(農産課)	し、取組の拡大を通じて環境保全の	の向上を図る。
	2 施策の実施状況	
	(1) 有機農業等直接支払交付金	
		割削減に加えて、地球温暖化防止や生物多様性保全に効 果
	の高い営農活動を支援した。	
	取組件数 74件	
	事業費 32,720,	
	交付金 24,540,	<i>1</i> ′20

科	目	予	算 琲	見額	決	算	額	主	要を	よ施	策			施	策	0	実	施	状 涉	2 ك	成	果	等	
				F			円					有事	境直接:機農業:業主体 付 金	等直接 福	接支払3	交付金 市ほか			≣事務及び ₹都府農地					交付した。 協議会
												3 執	行	額							(う			.017円 25,254,720円)
										:営強化 全 課)		1 施策 外食 図る。			€ ;	ズと生	産者	を結び	がつけ、マ	?ーケッ	トイン	による	る儲か	る農業の実現を
												(1) 京 ア	パイプ 出荷の	産加速 ハウス	く等整体	備促進			5期の調整	隆が可能	となパイ	プハウ	フス等	の整備を支援し
													パイ							_				
														村名		件数			事業規模			業費		補助金
														lШħ		2件			52. 0a			03, 38		24, 119, 000円
													舞			2			30.4			68, 07		16, 364, 000
														部市	-	1			15. 1			64, 74		10, 132, 000
														治 津 市		1			11.4			66, 82		3, 732, 000
																1			2.8			64, 22		163, 000
														湯す		2			24.4			89, 28		5, 245, 000
														は コーコー		1			39.4			32, 09		10, 806, 000
														辺 市 後 市		1 2			9. 2 14. 6			28, 130 12, 94		2, 870, 000 5, 055, 000
														1夜 T ! 川市		1			6.0			12, 94; 68, 20		1, 276, 000
														山田		1			9.0			68, 96°		2, 565, 000
														手町		1			1.0			94, 39		280, 000
														于 叫 田原町		1			2.6			91, 93		722, 000
														四尽则 華 町		1			3.0			64, 80		711, 000
														₩ ™. 計	J	18			220. 9		189, 0			84, 040, 000
												(1)	生産		1 改善		借事	業	LLU. J		100, 0	10, 02	_	o-r, o-ro, ooo
												(1)		村名		水口症 件数			事業内容		重	業費	ŧ.	補 助 金
														鶴市		2件			ザ ボ バロ 培システ.	ムほか		79, 72		1,965,000円

	綾 部 市 2 自動かん水装置ほか 4,563,988 1,925,000
	八 幡 市 4 畝立て成形機ほか 1,562,800 624,000
	京田辺市 1 えびいも選別機 627,000 250,000
	京 丹 後 市 2 ぶどう雨よけ棚ほか 22, 320, 613 10, 043, 000
	南 丹 市 4 遮 光 資 材 ほ か 1,972,715 885,000
	木津川市 1 畝立て成形機 701,000 280,000
	伊根町 1 こかぶ洗浄機 1,045,000 470,000
	計 17 37, 472, 842 16, 442, 000
	イ 京野菜生産加速化支援活動事業
	「京野菜生産加速化支援隊」による技術指導等の伴走支援を実施した。
	市町村名 事業主体 事 業 費 補 助 金
	京都市 京都府特産物育成協議会 3,625,971円 1,800,000円
	(2) 「京の食 6次産業化を進める経済人会」活動支援事業
	実需者からのニーズに基づいた農産物の安定供給体制を図るため、生産現場の課題解決
	に係る取組を支援した。
	意見交換会や勉強会等の実施 5回
	0 th 45 th
	3 執 行 額 103,041,456円
	(うち補助金 102,282,000円)
スマート農林水産業加	1 施策の趣旨等
速事業	生産現場の過疎高齢化による農林水産業の生産力低下と農山漁村コミュニティの衰退に対
	応するため、AI・ICT等先端技術を活用したスマート技術の実装を加速化し、農林水産業の
	作業性・品質・生産性を向上することで府内農林水産業の成長産業化と魅力向上、集落維持
	を実現する。
	指標:生産現場へのスマート技術の実装の支援
	共通目標 :30件 実績:30件
	スマート農林水産業加速事業全体を通した共通目標
	2 施策の実施状況
	2
	カマート技術の活用による主産性向工や作業の軽力化・効率化の実証を支援した。 市町村名 取組主体 実証作物 事業費 補助金
	京丹後市
	ホ月夜中 万夜化开土庄伽峨云 コ T フ 1,300,430日 1,300,433日
	3 執 行 額 1,300,455円
	(補助金)

科	目	予	算	現		算	<u> </u>	額	主	要	な	施	策				施	策	の	実	施	状	況	٢	成	果	等	
					円				府内原 支援				上産		達物	の生	産継網	売と産 ナた取				こめに.	、農業	者が終	組織す	る団体	本が行	う品目転換や原
														2 施 農 した	農業者			る団体	等が行	行う品	目転換	換や再	生産に	必要な	な肥料	・農薬	薬費、	資材費等を支持
														市.	5 囲	村 名		件	数		事業	 模規模		Ę	事業	費		補 助 金
														京	1	市		2	件			527a		1,	581, 0	00円		1,581,000円
														舞				1				63			189, 0	000		189,000
															三治			2				633		1,	899, 0			1, 899, 000
														宮				1				24			72, 0			72, 000
														亀				1				194			582, 0			3, 582, 000
														切				3				546			638, 0			4, 638, 000
														•	「「「」			3				982			946, 0			2, 946, 000
																後市		3			1,	772			316, 0			5, 316, 000
																市		1				49			147, 0			147, 000
																川市		1				66			197, 0			197, 000
																原町		1				219			658, 0			658, 000
																更町		1			5,	089			267, 0			15, 267, 000
														트		野町		3				175			525, 0			525, 000
															討	ŀ		23	3		12,	339		37,	017, 0	000		37, 017, 000
														3 勢	ħ	行	額									3		7,000円 协金)
									安全机応援				光」	めつ 2 施 を仮	が型し、 一型、 一型、 一型、 一型、 の 一型、 の 一型、 の に で の に の に の に の に の に の に の に の に の	コーナ 府 実対 がた。	ウイル による 状況 に取	る消費 組む府	を促注 「内飲1	進する 食店で	0							感染状況を見れ
																枚 数			717 セ 、									
																舗数			34店									

	3 執 行 額		3	32, 757, 309円
	O 470 1		9	(補助金)
				(1111243312)
	1 施策の趣旨等			
大衆国の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の		の影響により 厳し	い経営状況にある農業者	等の生産同復・経営雨
	開に向けた取組を支援する			サの工座四段 社合円
	州に同じた状況を交換する	いことで、ラ及の主	圧性体で図る。	
	2 施策の実施状況			
	(1) 農産物生産回復支援			
		た農作物について、	病害虫防除や追加施肥等	に要する経費を支援し
	た。			
	市町村名	件数	事業費	補助金
	京都市	1件	662, 908円	314,000円
	福知山市	1	40, 000	40, 000
	亀 岡 市	1	330, 200	159, 000
	城陽市	1	215, 708	104, 000
	八幡市	3 2	3, 863, 819	1, 779, 000
	京田辺市	2	429, 951	167, 000
	京丹後市	2	992, 800	508, 600
	木津川市	2	2, 376, 426	1, 185, 400
	久 御 山 町	3	1, 578, 467	743, 000
	宇治田原町	3	1, 211, 830	548, 400
	和東町	1	5, 659, 600	5, 659, 600
	南山城村	1	1, 628, 400	1, 628, 400
	京丹波町	1	46, 145	23, 000
	伊根町	1	43, 708	14, 000
	計 (a) 括乙物(D取名社(数表)	23	19, 079, 962	12, 873, 400
	(2) 種子確保緊急対策事業		_	
	種子の確保・供給に対			
	事業主体	事業費	補助金	
	京都米振興協会	14,007,112円	13,754,152円	
	(3) パイプハウス復旧支持		旧・撤去に要する経費を	士坪 した
	市町村名	こハイフハウスの復 棟数	事業費	又援した。 補助金
	綾 部 市	1 棟	步来員 54, 890円	17,000円
	宇治市	15	846, 450	407, 000
	八幡市	16	2, 030, 109	829, 000
	京丹後市	12	945, 428	363, 000
	精華町	2	307, 067	153, 000
	伊根町	20	1, 535, 827	635, 000
	計	66	5, 719, 771	2, 404, 000
	81		, , ,	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

科目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	「京の米」流通促進緊 急対策事業	(4) 経営再開支援事業 生産用資材・器具等の購入や機械等の修繕に要する経費を支援した。 市町村名 件数 事業費 補助金 京 都 市 6件 1,125,300円 561,000円 舞 鶴 市 1 26,400 13,000 宇 治 市 2 924,000 199,000 南 丹 市 1 2,830,454 100,000 計 10 4,906,154 873,000 3 執 行 額 29,904,552円 (補助金) 1 施策の趣旨等 外食需要の長期低迷により、全国的に米価が下落したことに伴い、府内産の米価も下落し、
			思知束事業 (農産課)	外食需要の長期低速により、全国的に未価か下落したことに住れ、府内産の未価も下落し、 米生産の継続が困難な状況となっていることから、販路開拓や販売先確保の取組等を支援することで、生産基盤の維持を図る。 2 施策の実施状況 (1) 生産者による販路開拓等支援事業 直販等に取り組む稲作農家が実施する販路開拓や販売先確保の取組を支援した。 取組農家数 120件 補助金11,980,890円 (2) 流通事業者による販売先確保支援事業 小規模な稲作農家に代わり、流通事業者が実施する販路開拓等の取組を支援した。 取組事業者数 7件 補助金81,025,740円
				(3) 京都産米販売促進事業 京都産米の需要喚起を図るため、府内産の新米をPRするイベントを実施した。 ア 京都米フェア 実施期間 令和3年12月18日~12月19日ほか 開催場所 京都ポルタほか 内 容 京都産米の販売及び京式部のサンプル配布等のPRを実施 イ 京都米応援キャンペーン 実施期間 令和4年2月1日~2月28日ほか 開催場所 京都生協18店舗ほか 内 容 京都産米の販売及び府内産農林水産物のプレゼントキャンペーンを実施
				3 執 行 額 97,177,158円 (補助金)

	「食の京都」需要拡大促進事業(農産課)	1 施策の趣旨等 府内及び首都圏において「食の京都」を掲げた京都産農林水産物等の販売機会を創出し、 需要拡大を図る。 2 施策の実施状況 (1) 府内におけるイベント 各地域の「食の京都TABLE」や道の駅、農産物直売所等で需要拡大イベントを同時期に 開催するとともに、府内各地のいちおし食材や加工品等を集めた販売促進イベントの開催を支援した。 ア 地場産品応援フェア 実施期間 令和4年3月19日~3月20日 開催場所 京都駅ビル・京都ボルタ 参加店舗数 32店舗 イ 道の駅・直売所等におけるイベント 開催性件数 62件 ウ 府内農林水産団体等によるイベント 開催団体数 3団体 エ 府内各地域におけるイベント 開催地域 乙訓、山城、南丹、中丹、丹後地域 開催件数 7件 (2) 首都圏におけるイベント 消費者が多く購買力の高い首都圏において、京都産農林水産物や加工品等を集めた販売 促進イベント「京都マルシェ」の開催を支援した。 実施期間 令和4年2月26日~2月27日 開催場所 東京交通会館 参加店舗数 9店舗 3 執 行 額 67,397,599円 (うち補助金 59,860,397円)
7 農業協同組 合指導費 (P134)		1 施策の趣旨等 農協・農協連合会の営農指導機能の充実を目的とした、農業生産及び農産物流通に関する 施設整備を支援する。 2 施策の実施状況 市町村名 事業主体 事業内容 事業費 補助金 亀 岡 市 京都農業 直売所販売 3,465,000円 1,050,000円 亀 岡 市 協 同 組 合 管理システム

科目	予算現額	決 算 額 主 要 な 施 策 施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	P	市町村名 事業主体 事業内容 事業費 補助金 京田辺市 京都やましろ 農業協同組合 冷凍機設置ほか 5,280,000円 1,600,000円 精 華 町 " 2,640,000 800,000 11,385,000 3,450,000 3 執 行 額 3,450,000円 (補助金)
9 農業技術セ ンター費 (P134)	75, 138, 000 (769, 219, 000)	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,

	宮津市 3 食味・収量センサーコンパイン 21,480,000 9,413,000 亀岡市 3 直進アシストトラクタほか 17,808,833 5,628,000 八幡市 3 環境制御システム 15,653,000 4,222,000 京丹後市 3 直進アシスト田植機ほか 18,180,000 8,250,000 南丹市 1 食味・収量センサーコンパイン 9,240,000 2,370,000 木津川市 1 直進アシストトラクタ 7,000,000 3,419,000 京丹波町 4 ドローンほか 9,375,939 3,642,000 伊根町 1 定置網モニタリングシステム 5,330,000 2,255,000 計 22 119,281,883 45,114,000 319,881,883 45,114,000 3119,281,881 319,281,281,281,281,281,281,281,281,281,281
2 茶 業 費 1 茶 業 費 (P136)	1 施策の趣旨等 増大する老朽茶園の改植や高級宇治茶生産に必要な被覆棚等の整備、茶園の省力化を図る 茶園管理機の導入等を支援することにより、良質な宇治茶を生産し、農家所得の向上と産地 の活性化を図る。 指標 目標 実績 新改植面積 年間 6.0ha 年間 5.2ha 被覆棚整備面積 年間 2.5 年間 3.3

科	予算		決	算	額	主	要	なが	5 策					施	策	Ø	実	施	状	況	٢	成	果		\$	
		円	府	債									の実施													
				40,00	0, 000									対策												
			一般	計源	į						7			園振り	興事業					_			- 312 -	_		. D = L A
				39, 15	2, 652								市町		+	事業に		L-#-	事業				業 3			補助金
													宇治田			園	新 1	沮	Ι	. 3ha		3, 7	749, 43	8円		1,425,000円
														環境改調 村 名	当 事第	€ 事業[力宓		事業			車	業	串		補 助 金
													宇治		2中	要来! 覆棚施		供		里 . 4ha) 183, 64			1,632,000円
													于		TX	很加ル ル		用		. 411a 1. 7)22, 32			1, 032, 000 1] 2, 006, 903
													八帽			,,				. 7			360, 67			2, 000, 903 1, 136, 967
													木津			,,				. 2			500, 07 521, 78			1, 434, 513
													TY /— 宇治田			"				. 4			949, 15			1, 168, 096
													5 和 束			"				. 1			140, 62			174, 521
												Ē	南 山	城 村		"			1	. 0		8, 9	911, 23	37	;	3, 564, 000
													言	ŀ					3	. 3		27, 8	389, 44	-7	1	1, 117, 000
											ŗ	ウ ま	共同集	操茶等	省力化	比推進	事業									
													市町				事業内						業			補助金
													舞鶴			乗 用							220, 00			2, 088, 000円
													宇治田			乗用搪							395, 00			4, 158, 000
													印味			製茶機							534, 10			6, 652, 000
												F	南 山			乗 用	摘 採	機整	望 備				225, 00			2, 090, 000
											(0)	4 :1∃	: := -\- ::		+- +∞ =	= 7117						37,4	174, 10)()	14	4, 988, 000
											(2)		余施設 町 村	整備。	文抜手		内容					事	業	串		補 助 金
													陽		隹□	要来 出荷 <i>抗</i>		敕 供			1 (_	• 🖚 🏮 597, 36	_	15	雅助亚 3,600,000円
													台田原			加工度							306, 66			5, 740, 000 5, 740, 000
												J-7	計	(μ)	21/ /	JH /.		正開					500, 00 504, 02			9, 340, 000
																					_, _	100, 0				
										3	3 ‡	執	行	額									5	516, 8		
																								(剂	甫助金	Ž)
						宇治	茶世	界文化	遺産3	ž 1	. ħ	施策	の趣	旨等												
								略事業 産 課)			世界でする。		產登銀	緑に向	けて、	宇治	茶の	文化的	景観の)資産(価値向	句上及	び府	民運	動の拡大を打
													の実施													
											(1)		案書の 界レヘ		資産個	価値・作	呆全措	置の	調査、	国際た	1ンフ:	ァレン	ンスや	イコ	モス	調査等の結り

を反映した提案書の改訂検討を進め、世界遺産暫定一覧表への登録を文部科学省等に要請 した。 (2) 宇治茶世界文化遺産登録有識者会議等の開催 開催回数 3回 (3) 地域フォーラムでのPR 「宇治茶の文化的景観」の世界文化遺産登録に向けて、登録候補地域で地域フォーラムを 開催し、登録推進活動のPRと意見交換を行った。 開催回数 2回 (4) 宇治茶文化講座の開催 府民が世界文化遺産登録の取組内容や宇治茶の歴史・文化・魅力を学ぶ場を提供し、世 界文化遺産登録に向けた地元の気運醸成を図った。 開催回数 6回 (5) 国際オンラインカンファレンスの開催 世界遺産関係の海外有識者4名をオンライン招聘し、世界遺産登録に至った経緯につい ての聞き取りや宇治茶の提案内容に関する意見交換を行った。 開催回数 1回 3 執 行 額 6,599,940円 (うち委託料 4,974,524円) 宇治茶新展開セカンド 1 施策の趣旨等 ステージ事業 宇治茶の新しい飲み方の提案・機能性の発信等を行うことで、宇治茶の消費・生産拡大を (農産課) 図る。 指標: 荒茶の年間販売額 目標: 91億円 実績: 59.2億円 2 施策の実施状況 (1) 宇治茶ブランド新展開プロジェクト協議会の開催 宇治茶のドリンクメニュー化の推進や新たな飲み方の提案を行うため、茶業団体や観光 業界等と府で構成する協議会を開催した。 開催回数 1回 (2) 宇治茶ドリンク新商品の販売促進 「京都宇治玉露 玉兎」のPR活動を実施した。 ア 府内及び大都市圏での展示会出展 イ 雑誌や広報誌へのPR記事掲載 ウ IAL国内線における機内食での提供 (3) 宇治茶機能性講座の開催 茶に含まれるテアニンのリラックス効果やカテキンの効用など、府民が宇治茶の機能性 を学ぶ場を提供した。 開催回数 2回 参加人数 298人

科目	予算現額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	P.	E P		(4) 宇治茶セミナーの開催 府内の留学生等を対象に、宇治茶の魅力を伝えるセミナーを開催した。 開催回数 1回 参加人数 44人 3 執 行 額 2,750,000円 (補助金)
			宇治茶商標関連対策事業 (農産課)	1 施策の趣旨等 中国における「宇治茶」に関連した冒認商標取消に向けて、「宇治」の認知度向上のための 取組を推進する。
				2 施策の実施状況 中国における「宇治」「宇治茶」の認知度を高めるため、中国の越境ECサイトでPR動画を 作成・配信するとともに、中国のインフルエンサーが出演して「宇治茶」を紹介するライブ 配信の取組を支援した。
				3 執 行 額 2,362,492円 (補助金)
			宇治茶産地体制強化事業 (農産課)	1 施策の趣旨等 宇治茶の新たな市場・販路拡大のため、商品価値の高い「宇治種」への改植等の取組を支援し、茶生産農家の収益性向上を図る。
				指 標 目 標 実 績 新改植面積 年間 6.0ha 年間 5.2ha
				2 施策の実施状況 (1) 宇治種改植支援事業 市町村名 事業内容 事業量 事業費 補助金 京都市 茶園改植 0.2ha 1,665,620円 605,000円 福知山市 " 0.4 1,387,700 555,000 京田辺市 " 0.6 6,465,536 2,444,000 宇治田原町 " 2.7 21,961,027 8,142,000 計 3.9 31,479,883 11,746,000
				市 町 村 名 事業内容 事業量 事 業 費 補 助 金 宇治田原町 採梢園設置 0.2ha 1,459,000円 1,459,000円

		3 執 行 額 13,205,000円 (補助金)
翌年度への繰越 事業費繰越額 405, 450, 000 農林水産業基盤 整備事業費 395, 450, 000 農林施設等雪害 対策事業費 10, 000, 000	120, 506, 060 (125, 729, 843) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 82, 170, 934 財産収入 14, 786, 000 諸 収入 7, 476, 880 一般財源 16, 072, 246	(記) 1 施策の趣旨等 受胎不全牛預託及び遺伝子検査や受精卵移植技術等の先端技術の活用により、高品質和牛の生産拡大を図るとともに、乳牛への高性能性判別精液交配による乳用後継牛の確保を行うことで、府内畜産・酷農経営の収益力及びブランド力の強化を図る。 2 施策の実施状況 (1) 農家の受胎不全牛を碇高原牧場で放牧・交配の上、妊娠牛として農家へ返却した。預 託 牛 12頭(10頭受胎) (2) 碇高原牧場において、高品質な和牛子牛の効率的生産のため、交雑種雌牛(乳用種と和牛の交雑種)への和牛受精卵移植を行い、生産された和牛子牛を農家に譲渡した。和牛子牛譲渡数 13頭 (3) 乳牛への高性性判別精液交配により、産乳能力の高い乳用後継牛の確保を図った。交 配 頭 数 600頭 (4) 供卵牛の遺伝子保有状況を検査することにより、牛の「おいしさ」の成分(オレイン酸等)増加能力のある遺伝子をもった受精卵を生産し、移植を行うことで、高品質な府内産和牛を増産した。受精卵の移植 366頭 (5) 畜産物の輸出拡大のため、令和3年度に設立された京都市食肉市場コンソーシアムの運営及び輸出に向けた試験的取組を支援した。市町村名事業内容事業費補助金71,963,003円71,262,934円3 執 行額 91,348,775円(うち補助金74,467,934円)
	京都牛輸出促進1億事業 (畜産課)	1 施策の趣旨等 輸出認定基準に対応した京都市中央卸売市場第二市場の整備を支援することにより、京都 牛の輸出促進やブランド力の向上を図る。 2 施策の実施状況 市町村名 事業内容 事業費 補助金
		京都市 京都市中央卸売市場第二市場整備ほか 27,816,034円 10,000,000円 3 執 行 額 10,000,000円 (補助金)

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	Ħ	農林水産業基盤整備事業 (畜産課)	1 施策の趣旨等 HACCPや輸出にも対応できる衛生管理が徹底された施設や生産基盤である牛舎等の整備 を支援することで、府内畜産業の振興を図る。
				2 施策の実施状況市町村名事業内容事業費補助金亀 岡 市堆肥舎整備ほか24,659,800円9,408,000円
				3 執 行 額 9,408,000円 (補助金)
			京都酪農「牛づくり」 事業 (畜産課)	1 施 策 の 趣 旨 等 酪農業の重要な経営資源である牛づくりを府内で行う体制を作ることにより、酪農家の収 益力を強化し、府内酪農業の持続的発展を図る。
				2 施策の実施状況 収益力の強化につながる優良乳用後継牛を府内で育成するため、JA全農京都の哺育・育成 センターと連携しながら、碇高原牧場で預託育成を実施した。 預託頭数 15頭
				3 執 行 額 3,333,280円
			京都畜産未来の担い手づくり事業 (畜産課)	1 施策の趣旨等 畜産経営の法人化を支援することで、対外的な信用力の向上や就業条件の改善を図るとと もに、畜産法人等への就業や新規就農希望者を幅広く確保し、後継者として育成する仕組み を構築することにより、府内畜産業の安定的な世代交代を図る。
				2 施策の実施状況 (1) 畜産人材育成推進事業 畜産の担い手育成のため、畜産センターにおいて、基礎から実践的な技術・経営知識の習得までを一貫して支援する畜産人材育成研修を実施した。 研修生 2人 (2) 畜産経営継承円滑化事業 経営の移譲を希望する畜産農家において新規就農者を対象とした研修を実施し、技術及び経営力の習得支援や、円滑な経営継承を推進した。 経営の移譲を希望する農家による技術指導 2件
				3 執 行 額 3,416,005円

			京ものブランド力向上総合戦略事業 (畜産課)	1 施策の趣旨等 ライフスタイルや消費動向の変化へ素早く対応し、国内外における 工品(京もの)のブランドカ・販売力を強化するため、国内の「中食 ビジネスモデルの構築や海外販路拡大等を図る。 指標 目標 実績 「Kyoto Beef 雅」輸出量 12.0トン 26.7トン 2 施策の実施状況 海外における府内産和牛の需要拡大を図るため、「Kyoto Beef 雅 促進活動を実施した。 (1) 海外市場調査 実施国 アメリカ (2) 京都市中央卸売市場第二市場から海外への試験輸送 実施国 フランス、ギリシャ、ドイツ、イギリス (3) 販路拡大に向けた「Kyoto Beef 雅」の輸送費の支援 輸出先 フランス、イタリア 3 執 行 額	コマーケットにおける
3 家畜保健衛 生費 (P140)	6, 758, 000 (381, 358, 000)	6, 124, 549 (378, 918, 905) 決算額の財源 内訳 使用料及び手数 料 2, 829, 000 国庫支出金 3, 245, 611 一般財源 49, 938		 施策の趣旨等	ウイルスを媒介する可 6, 124, 549円
4 農 地 費 2 土地改良費 (P142)		1, 749, 154, 274 (2, 312, 757, 905)	農林水産業基盤整備事 業 (農村振興課)	1 施策の趣旨等 ブランド京野菜等の生産振興により、京都の農林水産業を未来につ を整備するとともに、生産の場である農山漁村地域の整備を推進する	

科目	予 算 現 額	決	算	額	主	要	な 施	策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円 翌年度への繰越 事業費繰越額	決算額 内訳	額の財						2 施策の実施状況 (1) 団体営農業農村整備事業
	1, 029, 475, 363								ほ場、用排水路、農道等の農業基盤整備等について、地域の課題に応じてきめ細かに支援することで、農家経営の安定と所得の増大を図った。
	農林水産業基盤整備事業費		43, 99 支出金						事業名 地区数 事業内容 事業費 補助金
			122, 75						農 地 中 間 管 理 機 構 1 地区 換 地 調 整 2,772,000円 2,286,000円 関 連 農 地 整 備 事 業
			越 金						水利施設等保全。
		 府	79,53 債						高度化事業 2
			点 220, 00						農山漁村地域整備交付金 1 機能保全計画策定 18,000,000 9,180,000
			財源						農地耕作条件改善事業 7 取水施設改修ほか 97,777,000 57,874,000
		2	282, 86	1, 050					農業水路等長寿命化 ・防災減災事業 ³ 水利施設改修ほか 82,818,000 60,831,000
									計 17 260, 963, 000 171, 100, 550
									(2) 府営農地中間管理機構関連農地整備事業 担い手への農地の集積・集約化を加速化するため、農地中間管理機構が借り入れている
									農地について、区画整理等を実施した。
									朝来中(舞鶴市) 2 整理 11ha 243,093,000円 区画整理 29,731,000円
									下位田(綾部市)元 " 10 228, 276, 000 " 64, 975, 239
									計 2地区 471, 369, 000 94, 706, 239
									(3) 府営農業競争力強化基盤整備事業 ほ場、用排水路及び道路網を一体的に整備することで、農業の生産性を高め、農家所得
									の安定を図った。
									地区名 着工 事業内容 事業費
									蒲 江 · 油 江 · 迪 本 計 画 2 670 000円
									(舞 鶴 市) - 調
									事業内容 事業費 事業内容 事業費
									川 北(福知山市) 29 区画 21ha 526,838,000円区画整理 110,369,271円
									女布(京丹後市) 26
									上字川 (") 29 " 38 1,005,110,000 " 177,905,967 平 田 (") 2 " 34 834,480,000 換地計画 92,664,312
									湯屋谷(宇治田原町) 27 ″ 10 749,600,000 農地整備 79,593,800

	計 6 地区 (4) 府営水利施設等整備事業	125 3, 814, 328, 000	485, 943, 235
		資する機能保全計画に基づいた整備や地域	域の基幹的農業
	水利施設の整備補修を実施するこ	ことで、農業用水の安定的確保と維持管理	関労力の軽減を
	図った。		
	地 区 名 着工 年度	全体計画	
	豊富用水路(福知山市) 2	デスパロ	尹 耒 貝 1,408,000円
	木津用水(木津川市) 29	130, 300, 000 (水管理制御) 1	7, 589, 000
	計 2 地区 (5) 府営農地耕作条件改善事業	214, 300, 000 5.	1, 997, 000
		メリットを生かした高収益性作物の生産扱	太大や新たなブ
	ランド産地の形成及び次世代型農 労力の軽減や生産条件の改善を図		
	地 区 名	全体計画 令和3年度実施 事業費 事業内容	
	丹後国営 期8(京丹後市)	事業費 事業内容 93,265,000円 水路改修ほか 14	事業費 338,000円
	丹後国営 期9(")		, 779, 000
	計 2地区	113, 044, 000 34	, 117, 000
	3 執 行 額	855, 279,	000
		000, 219,	802円
	J +/4, 1J bp	000, 219,	802円
農と環境を守る地域協		655, 279,	802FJ
農と環境を守る地域協働活動支援事業	 施策の趣旨等 地域ぐるみでの地域資源の基礎的 	保全活動、質的向上活動や、農業用施設の	D長寿命化のた
	 施策の趣旨等 地域ぐるみでの地域資源の基礎的 	保全活動、質的向上活動や、農業用施設の 農村の持つ多面的機能の維持・発揮や、地均	D長寿命化のた
働活動支援事業	1 施策の趣旨等 地域ぐるみでの地域資源の基礎的 めの活動を支援することで、農業・県 の構築による「地域力の再生」を図	保全活動、質的向上活動や、農業用施設の 農村の持つ多面的機能の維持・発揮や、地域 る。	D長寿命化のた
働活動支援事業	1 施策の趣旨等 地域ぐるみでの地域資源の基礎的 めの活動を支援することで、農業・県	保全活動、質的向上活動や、農業用施設の 農村の持つ多面的機能の維持・発揮や、地域 る。 維持・発揮に取り組む面積	D長寿命化のた
働活動支援事業	 施策の趣旨等 地域ぐるみでの地域資源の基礎的 めの活動を支援することで、農業・ の構築による「地域力の再生」を図 指標:地域ぐるみで多面的機能の 目標:16,200ha 実績:16,035 施策の実施状況 	保全活動、質的向上活動や、農業用施設の 農村の持つ多面的機能の維持・発揮や、地域 る。 維持・発揮に取り組む面積	D長寿命化のた
働活動支援事業	1 施策の趣旨等 地域ぐるみでの地域資源の基礎的 めの活動を支援することで、農業・境 の構築による「地域力の再生」を図 指標:地域ぐるみで多面的機能の 目標:16,200ha 実績:16,035 2 施策の実施状況 (1) 農地維持支払交付金	保全活動、質的向上活動や、農業用施設の 農村の持つ多面的機能の維持・発揮や、地域 る。 維持・発揮に取り組む面積 oha	D長寿命化のた 域コミュニティ
働活動支援事業	1 施策の趣旨等 地域ぐるみでの地域資源の基礎的 めの活動を支援することで、農業・規 の構築による「地域力の再生」を図 指標:地域ぐるみで多面的機能の 目標:16,200ha 実績:16,035 2 施策の実施状況 (1) 農地維持支払交付金 農地の保全、水路の泥上げ、草 事業実施組織に係る市町村 京	保全活動、質的向上活動や、農業用施設の 農村の持つ多面的機能の維持・発揮や、地域 る。 維持・発揮に取り組む面積 Sha	D長寿命化のた 域コミュニティ
働活動支援事業	1 施策の趣旨等 地域ぐるみでの地域資源の基礎的 めの活動を支援することで、農業・農 の構築による「地域力の再生」を図 指標:地域ぐるみで多面的機能の 目標:16,200ha 実績:16,035 2 施策の実施状況 (1) 農地維持支払交付金 農地の保全、水路の泥上げ、草 事業実施組織に係る市町村 京 事業 実 施 活 動 組 織	保全活動、質的向上活動や、農業用施設の 農村の持つ多面的機能の維持・発揮や、地域 る。 維持・発揮に取り組む面積 sha が加 が加 が加 が が が が が が が が が が が が が が	D長寿命化のた 域コミュニティ
働活動支援事業	1 施策の趣旨等 地域ぐるみでの地域資源の基礎的 めの活動を支援することで、農業・県 の構築による「地域力の再生」を図 指標:地域ぐるみで多面的機能の 目標:16,200ha 実績:16,035 2 施策の実施状況 (1) 農地維持支払交付金 農地の保全、水路の泥上げ、草事業実施組織に係る市町村京事業実施活動組織 取組面積	保全活動、質的向上活動や、農業用施設の 農村の持つ多面的機能の維持・発揮や、地域 る。 維持・発揮に取り組む面積 iha がある がある がある がある がある がある がある がある がある がある	D長寿命化のた 域コミュニティ
働活動支援事業	1 施策の趣旨等 地域ぐるみでの地域資源の基礎的 めの活動を支援することで、農業・県 の構築による「地域力の再生」を図 指標:地域ぐるみで多面的機能の 目標:16,200ha 実績:16,035 2 施策の実施状況 (1) 農地維持支払交付金 農地の保全、水路の泥上げ、草事業実施組織に係る市町村 事業実施組織に係る市町村 事業との保全、水路の泥上が、草頭・漁工の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	保全活動、質的向上活動や、農業用施設の 農村の持つ多面的機能の維持・発揮や、地域 る。 維持・発揮に取り組む面積 sha が加 が加 が加 が が が が が が が が が が が が が が	D長寿命化のた 域コミュニティ

科目	予 算 現 額 決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	P P		施設の軽微な補修や生き物調査による啓発、植栽活動等の地域資源の質的向上を図る共同活動を支援した。 事業実施組織に係る市町村 京都市ほか18市町 事業実施活動組織 524組織 取組面積 14,177ha 事業費 244,558,617円 交付金 183,418,903 (3) 資源向上支払交付金(長寿命化) 農地周りの農業用排水路、農道などの施設の長寿命化のための補修・更新等の活動を支援した。 事業実施組織に係る市町村 京都市ほか18市町 事業実施活動組織 472組織 取組面積 14,403ha 事業費 476,296,584円 交付 (広域化・体制強化) 事務負担の軽減や、予算運用の弾力化等のスケールメリットを生かし、集落間連携により活動を活発化するため、活動組織の広域化を支援した。 事業実施組織に係る市町村 綾部市ほか4市町 事業実施活動組織 6組織 事業費 320,000円 交付金 (名40,000
3 農地防災事 業費 (P144)	2,360,391,059 (2,446,186,059) 翌年度への繰越 事業費繰越額 893,846,857 (農林水産業基盤 整備事業費 1,386,089,802 (1,499,059,056 決算額の財源 内訳 分担金及び負担 金 19,612,407 国庫支出金 955,826,282	(農村振興課)	3 執 行 額 893,874,472円 (うち補助金 891,877,402円) 1 施策の趣旨等 ブランド京野菜等の生産振興により、京都の農林水産業を未来につなげるため、生産基盤を整備するとともに、生産の場である農山漁村地域の整備を推進する。 2 施策の実施状況 (1) 団体営ため池等整備事業 ため池等の農業用施設の改修及び農村防災施設の整備等を支援することで、農業用水の安定供給を図り、災害を未然に防止した。

繰 越 金	事 業 名 地区数 事 業 内 容 事 業 費 補 助 金
76, 843, 623	ため池等整備事業 2地区 樋 門 撤 去 ほ か 186,295,088円 181,575,045円
府債	調査設計事業 18 実施計画策定ほか 91,660,900 91,660,900
313, 000, 000	農業水路等長寿命 化・防災減災事業 20 ハザードマップ作成ほか 198,746,300 194,371,300
一般財源	計 40 476, 702, 288 467, 607, 245
20, 807, 490	(2) 府営ため池等整備事業
	老朽化した農業用ため池等について、改修を実施することで、農業用水の安定供給を図
	り、災害を未然に防止した。
	施行場所 事業内容 事業費
	吹 前 揚 水 機 場 2 期 (京都市・宇治市・久御山町) 揚 水 機 改 修 56, 155, 000円
	福知山(その2)(福知山市) ため池改修 16,839,440
	大内山田奥池(")
	小 代 呂 池(綾部市) " 24,134,000
	上 桂 川(亀岡市) 頭首工改修 6,435,000
	段 ノ 池(") ため池改修 52,425,000
	昭 和 池(") " 34,700,000
	廻 り 池(亀岡市・南丹市) "30,807,000
	川 口 (八 幡 市) 揚水機場改修 60,907,000
	田 辺 排 水 機 場 (京田辺市) 排水機場改修 82,222,100
	菅 (京丹後市) ため池改修 77,491,512
	口 人(南丹市) " 66,940,000
	大 保 池(") " 44,812,200
	奥池(池ノ内)(")
	梅 谷(木津川市) " 17,899,200
	梅谷新池1号(") ため池廃止 6,996,000
	計 16地区 629, 374, 571
	(3) 団体営農業用施設保全管理事業
	農業用施設を維持するために必要となる修繕や国営排水機場の運転管理に要する経費を
	支援することで、農業経営の安定化を図った。 事 業 名 地区数 事 業 内 容 事 業 費 補 助 金
	+ + + - 1 - 中 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1
	管理適正化事業 10.10亿 土地以及地設備隊 90,000,000円 29,400,000円
	基幹水利施設管理 1 基幹水利施設管理 46,500,000 23,850,000 事業
	計 17 144, 500, 000 53, 250, 000
	(4) 小規模老朽ため池整備事業
	国庫補助事業の対象にならない小規模老朽ため池の整備を支援することで、農業用水の
	安定供給を図り、災害を未然に防止した。

科目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等	
5 国直轄事業費担金	四 254, 823, 000 (254, 823, 000	254, 821, 140	国直轄農業基盤整備事	地区名 事業内容 事業費 補助金野田池(京都市) 転落防止柵設置 858,000円 470,000円 天仏講池(") 814,000 440,000 寒谷東池(亀岡市) 取水ゲート改修ほか 13,557,500 7,420,000 計 3地区 15,229,500 8,330,000 (5) ため池調査計画事業 大規模地震時や豪雨時における防災重点農業用ため池の堤体に係る地質調査や構造部等により、大規模地震や豪雨に対するため池の安全性を評価した。 地区名 事業内容 事業費 京都6期(府内全域) 耐震診断 9,240,000円京都9期(") 地震・豪雨耐性評価 196,878,000 計 2地区 206,118,000 3 執行額 1,386,089,802円	計算
(P 146)	(204, 023, 000)	決算額の財源 内訳 分担金及び負担 金 833, 088 府 債 251, 000, 000 一般財源 2, 988, 052	(農村振興課)	盤の整備を進め、農業の振興を図る。 2 施策の実施状況 (1) 事業完了地区 (償還方式) 国営農地開発事業 丹後西部地区 平成12年度完了	*** ****

		T		
5 林 業 費 1 林業総務費 303, 164, 000	301,504,339 林業「森世紀」創造戦	 		
	(1,772,543,256) 略事業	府内の森林資源が伐其	朝を迎える好機を捉え、川下~川上の総合対策	
	決算額の財源 (森の保全推進課)	内産木材の自給率アップ 	プによる府内完結型の木材産業体制の構築を図	る。
	内訳		ら生産される素材生産量	
	301, 504, 339	1	6万m³(令和5年度) 実績:年間14.9万m 割造戦略事業全体を通した共通目標	n ³
	332, 33 1, 333		即但我哈争未主体を通りた共通日標	
		2 施策の実施状況	70×+m++>/-	
		(1) 豊かな森を育てる屋「森林の整備・保全」	☆氏枕中町竹文竹並 」、「森林資源の循環利用」、「森林の多様な重要・	性についての府民理解
			市町村事業に対して支援を実施した。	
		市町村名	事 業 内 容	交 付 金
		京都市	北山杉の枝打ち支援ほか	76, 301, 000円
		福知山市舞鶴市	放置森林の整備ほか 林業機械整備支援ほか	11, 783, 000 9, 250, 000
		が	林内路網の整備・出材支援ほか	7, 024, 000
		宇治市	府内産木材による木製品の設置ほか	9, 809, 000
		宮 津 市	林 内 路 網 の 整 備 ほ か	3, 847, 000
		亀 岡 市	放置里山林の整備ほか	7, 620, 000
		城陽市	拡大 竹林 整備	4, 560, 000
		向 日 市 長岡京市	竹林整備のための市有基金積立 危 険 木 伐 採 ほ か	3, 588, 000 4, 830, 000
		八幡市	た 険 ホース 採 は が 府内産木材による木製品の設置ほか	4, 216, 000
		京田辺市	// // // // // // // // // // // // //	4, 396, 000
		京 丹 後 市	危険 木伐採支援ほか	9, 660, 000
		南 丹 市	放置里山林の整備ほか	11, 728, 000
		木津川市	危 険 木 伐 採 ほ か 拡 大 竹 林 整 備 ほ か	5, 005, 000
		大山崎町 久御山町	拡 大 竹 林 整 備 ほ か 府内産木材による木製品の設置	1, 774, 000 1, 709, 000
		井 手 町	府内産木材利用のための町有基金積立	1, 481, 000
		宇治田原町	府内産木材による木製品の設置ほか	2, 185, 000
		笠 置 町	高 齢 級 間 伐	1, 381, 000
		和東町	府内産木材による木製品の設置	2, 016, 000
		精 華 町 南 山 城 村	危 険 木 伐 採 支 援 ほ か 府内産木材による木製品の設置	2, 723, 000 1, 918, 000
		京丹波町	が が 性 が が に よ る 不 袋	5, 910, 000
		伊根町	林内路網の整備	1, 953, 000

科 目	予 算 現 額 決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
科目	予算現額 決算額 P P		市町村名 事業内容 交付金 与謝野町 林内路網の整備 3,318,000円 計 199,985,000 (2) 京の森林文化を守り育てる支援事業 社寺の森や名木古木、伝統行事資源を地域住民や保全団体が保全再生する活動等、京の 森林文化を次代に伝える取組に対して支援した。 補助金 39,831,000円 3 執行額 240,141,955円 (うち補助金 239,816,000円)
			企画立案実施市町村数 18市町村 事業費 22,451,000円 (3) 森林経営管理市町村職員応援事業 市町村職員を対象に、森林・林業に関する専門的な知識の習得を目的とした研修を実施した。 開催回数 9回 参加者 延べ73人 事業費 2,777,500円
			3 執 行 額 61,362,384円 (うち委託料 61,100,600円)

			Г	
2 林業振興費(P146)	661, 036, 900 (826, 644, 000) 翌年度への繰越 事業費繰越額 453, 666, 000 (農林水産業基盤)	(323,063,784) 決算額の財源 内訳 国庫支出令	所産経育森林社警文 (所産経育森林社警文 (所産経育森林社警文 (所産経育森林社警文) (所産経育森林社警文) (日間報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報	1 施策の趣旨等 府内の森林資源が伐期を迎える好機を捉え、川下・川上の総合対策を実施することで、府 内産木材の自給率アップによる府内完結型の木材産業体制の構築を図る。 指標: 府内の森林から生産される素材生産量 共通目標: 年間24.6万m(令和5年度) 実績:年間14.9万m³ 林業「森世紀」創造戦略事業全体を通した共通目標 2 施策の実施状況 (1) 府内産木材需要拡大事業 公共施設等での率先利用を進め、府内産木材の需要を拡大するとともに、木の魅力発信を推進し、府内での府内産木材の利用を促進した。 ア ひろがる京の木整備事業 (7) 緑の木のまち拡大事業 京都府産認証木材を使用して住宅等を建設した緑の工務店等に対し、認証木材の使 用量に応じて助成することにより、府内産木材の需要拡大を図った。 建築戸数 27戸 認証木材使用量 331m³ 補助金 3,675,000円 (4) 住宅タイプ 住宅に係る府内産木材を使用した木造化や木質化を支援した。 整備箇所数 102箇所 補助金 18.576,000円 (空) 非住宅タイプ 商業施設やオフィス等の民間施設に係る府内産木材を使用した木造化や木質化を支援した。 整備箇所数 6箇所 補助金 17,722,000円 (エ) 木製品型導入支援タイプ 多数の府民等が利用する民間施設における府内産木材を使用した木製品導入を支援した。 整備箇所数 21箇所 補助金 8,706,000円 (コ) 木製品型内有施設タイプ 多数の府民等が利用する府有施設へ木製品を導入し、府内産木材利用の啓発を行った。 整備箇所数 10箇所 事業費 3,798,458円 (カ) 木製品型開発支援タイプ 府内産木材を使用した木製品の新規開発を支援した。 支援作数 7件 補助金 5,153,000円 (2) 府内完結型木材産業構築事業 府内完結型の木材産業構築事業 府内完結型の木材産業構築事業 府内完結型の木材産業構築事業 府内完料事業者による木材加工流通施設の整備を支援した。 ア 府内産木材競争力後化事業 ア 方内産料事業者による木材加工流通施設の整備を支援した。

科目	予 算 現 額 決 算	額 主要な施策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	H	円	整備施設 12箇所 補助金 8,990,000円 イ 建築物木造・木質化促進事業 建築物等における府内産木材の需要拡大を図るため、建築物の木造・木質化に係る建築技術講習会を実施するとともに、関係業界団体等を構成員とした協議会を運営した。 委託料 946,000円 (3) 木材生産パイオニア事業 搬出間伐を支援するとともに、里山保全活動を推進することで、地域産業の振興に寄与した。 ア 間伐対策事業 路網整備や機械整備等を支援し、効率的な間伐実施と間伐材の出材に寄与した。 間伐面積 18,21ha 林業機械導入件数 3台 補助金 13,714,000円 イ 豊かな森を育てる府民税を活用した森林の整備・保全事業 (ア) ふるさとの里山林保全活動推進事業 放置され荒廃した森林において、地域住民、ボランティア団体、NPOが里山保全活動を行うための基盤整備及び里山林保全活動や里山学習を支援した。 事業費 26,668,589円 (4) 豊かな森の恵み創造事業 文化財の修復に使用する漆等のパイロット採取園を造成するとともに、漆苗の生産・植栽等に係る技術講習を実施し、産地化の推進と安定供給体制の構築に寄与した。 事業費 2,003,955円
		森林経営管理制度市町 村支援事業 (林業振興課)	森林経営管理法に基づく、市町村による森林経営管理制度の取組を支援することで、適切な森林管理の実現を図る。 指標:森林経営管理制度により、森林整備を林業事業体に委託する市町村数
			共通目標 :10市町村 実績:5市町村 森林経営管理制度市町村支援事業全体を通した共通目標 2 施策の実施状況 シミュレーターによる高性能林業機械操作研修やドローン操作研修を実施した。 研修参加者 12名

3 執 行 額 4,504,500円 京都モデルフォレスト 1 施策の趣旨等 推進事業 森林所有者、ボランティア団体、NPO、企業、大学、行政等の様々な分野が連携した地域 (森の保全推進課) 組織を設置し、府民参画、府民協働による多様な森づくりを推進するとともに、公益社団法 人京都モデルフォレスト協会が行う企業参加の森づくりや活動団体のネットワーク化等の取 組と連携し、府民みんなで京都の森を守り育む「京都モデルフォレスト」運動を推進する。 指標 目 標 実 績 モデルフォレスト運動への参加人数 21,600人 10,764人 2 施策の実施状況 活動主体間の連携やネットワーク化、森林ボランティアリーダーの育成等の支援を行い、 京都府豊かな緑を守る条例に基づく森林づくりの推進等を図ることにより、様々な主体の参 加を促進した。 3 執 行 額 2,946,502円 豊かな森林継承事業 1 施策の趣旨等 (森の保全推進課) 長い歴史の中で伝承されてきた「森林と木の文化」を再認識し、豊かな森林を次世代に継 承していくため、森林資源の有効活用、府民参加の森づくり及び次世代の担い手の育成等を 推進する。 2 施策の実施状況 (1) 第 5 回Woodvコンテスト 循環型社会の実現を目指し、府内産木材を活用した製品のアイデアを競うコンテストの 開催等により、森と木の文化を継承し、森林資源の幅広い利活用の推進に寄与した。 ア コンテストの実施 応募 72作品 入賞 木造住宅部門 10作品 木製家具部門 8作品 イ 「第5回Woodvコンテストブース」の設置 場所 開催期間 令和3年6月26日~6月27日 イオンモール京都桂川 (2) 「森林力」活用促進事業 府民参加の森づくりを一層推進するため、府民の森ひよしにおいて、「散策の森」の散策 路を整備した。 木柵(手すり) 21m (3) 緑の少年団活動支援 次世代の森林の担い手である緑の少年団のふれあい活動を促進するため、「洛西散策の

科目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	F	日		森」の散策路紹介動画を作成し、府HP等で公開した。 (4) 京の森と木魅力発信事業 森林の多様な重要性について府民の理解を深めるため、北山丸太魅力体験ツアーの開催 等により、府内の林業や森と木の文化の発信を行った。 3 執 行 額 8,811,090円
			次世代林業を担う林業 事業体総合支援事業 (林業振興課)	
				指 標 目 標 実 績 府内の森林から生産される素材生産量 年間24.6万m³(令和5年度) 年間14.9万m³ 新規就労者数 年間 30人 年間 34人
				2 施策の実施状況 (1) 林業事業体経営力強化事業 経営力強化のための集合研修を実施した。 研修参加事業体 3事業体 委託料 499,400円 (2) 府内産木材生産増大支援事業 木質パイオマスの生産に要する経費支援や生産・輸送の低コスト化の実証を行った。 府内産未利用材調達量 3,565トン 補助金 2,852,000円 (3) 林業事業体経営基盤強化事業 森林組合連合会が実施する高性能林業機械のレンタルの取組等を支援した。 林業機械レンタル台数 165台 補助金 24,619,000円 (4) 先端技術導入チャレンジ事業 ドローン等の先端技術を用いた森林航測に係る研修を実施した。 研修参加者 12名 委託料 1,708,300円 3 執 行 額 30,658,265円 (うち補助金 27,471,000円)
4 造 林 費 (P148)	1, 192, 211, 000 (1, 296, 537, 000 翌年度への繰越 事業費繰越額 403, 079, 000	(874, 200, 665)	(林業振興課)	1 施策の趣旨等 森林の持つ公益的機能の維持増進、森林資源の充実、地域林業の振興を図るため、地域森 林計画及び市町村森林整備計画に即して森林整備等を実施する。 2 施策の実施状況 (1) 造林推進事業 森林の有する多面的な機能の維持・増進を図り、森林環境の保全に資する森林整備を実

農林水産業基盤整備事業費 377,939,000農林施設等雪害対策事業費 15,000,000林業「森世紀」 創造戦略事業費 10,140,000		施した。 ア 人工造林及び除間伐、枝打ち等の保育作業 イ 保全すべき松林での衛生伐 ウ シカ等の有害鳥獣による造林木の被害を防止するための防護柵の設置等 事 業 名 造林面積 保育面積 事 業 費 補 助 金 森林環境保全直接支 53,66ha 1140,69ha 1,735,623,517円 697,348,437円 特定森林再生事業 0.78 5.62 24,629,327 11,371,929 花粉発生源対策推進 2.09 - 13,635,725 5,454,292 計 56,53 1146,31 1,773,888,569 714,174,658 (2) いのちと環境の森づくり事業 放置された人工林等を対象に、環境保全の視点から間伐を軸にした森林整備を実施した。 ア 森林適正整備推進事業 長伐期施業への移行を通じて森林の持つ多面的機能を高度に発揮させるため、緊急に間伐が必要な長伐期施業地における6~12齢級の人工林の間伐等森林整備を行った。間 伐 105,65ha間伐材搬出 643,00m³ イ 放置竹林拡大防止等事業 放置され周辺森林に侵入拡大した竹林を伐採整理することにより、森林の健全な育成
	林業「森世紀」創造戦 略事業 (林業振興課)	侵入竹林の整理伐 1,77ha 整理伐後の刈払 3.51 3 執 行 額 760,330,913円 (うち補助金 732,349,658円) 1 施策の趣旨等 府内の森林資源が伐期を迎える好機を捉え、川下~川上の総合対策を実施することで、府内産木材の自給率アップによる府内完結型の木材産業体制の構築を図る。 指標:府内の森林から生産される素材生産量 共通目標 :年間24.6万m(令和5年度) 実績:年間14.9万m³ 林業「森世紀」創造戦略事業全体を通した共通目標 2 施策の実施状況 (1) 京の木生産の森再生事業 皆伐・再造林による森林資源の循環利用に向け、林業事業体等が行う再造林や保育を支援した。

科目	予 算 現 額 決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	P		植栽面積 27.14ha 補助金 12,485,863円 (2) 苗木供給体制整備事業 今後の森林造成に必要な優良種苗の確保のため、花粉の少ないスギの苗木の安定生産に向けた採種園の管理を行った。 採種園面積 0.66ha 事業費 3,057,060円 (3) 森林資源循環モデル林造成事業 再造林を推進するため、皆伐・再造林の一貫施業や成長の早い樹種の植栽により、再造林・保育経費の低コスト化を検証するモデル林を造成した。 造成面積 0.83ha 委託料 9,328,000円 3 執 行 額 24,880,923円 (うち補助金 12,485,863円)
5 林 道 費 (P148)	103, 520, 000 (135, 731, 000) 翌年度への繰越 事業費繰越額 28, 573, 755 農林水産業基盤 整備事業費 (101, 812, 412) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 51, 152, 100 繰越金 831, 000 府債 17, 000, 000 一般財源 975, 710	農林水産業基盤整備事業 (森の保全推進課)	1 施策の趣旨等 林業生産基盤である林内路網等を整備・拡充し、木材搬出コストの縮減による生産拡大を 図り、林業振興等山村地域の活性化に寄与するとともに、併せて健全な森林の造成・管理を 推進することにより、森林の多面的機能を最大限に発揮させる。 2 施策の実施状況 (1) 森林管理道開設事業 路線名 延長 事業費 補助金 月ヒラ長老 160m 35,770,000円 24,339,000円 (2) 林道改良事業 路線名 実施主体 延長 事業費 補助金 八 丁京都市 11m 8,784,400円 4,721,420円 他6路線 416 77,376,700 39,938,390
			計 7 路線 427 86, 161, 100 44, 659, 810 3 執 行 額 69, 958, 810円 (うち補助金 69, 005, 810円)
6 治 山 費 (P150)	5,317,544,818 3,214,812,810 (5,555,874,818) (3,451,843,603) 翌年度への繰越 事業費繰越額 内訳 2,038,796,657	農林水産業基盤整備事業 (森の保全推進課)	1 施策の趣旨等 保安林等において天然現象に起因する荒廃地や荒廃森林を復旧整備し、森林の多面的公益 的機能を最大限に発揮させ、下流の都市や集落などの保全対象に被害を与える災害等の発生 を未然に防止する。

(農林水産業基盤)	国庫支出金	2 施策の実施状況		
整備事業費	1, 273, 969, 793	(1) 復旧治山事業		
1, 248, 965, 122	操 入 金	天然現象等により林地に生じた崩り	裏地、荒廃渓流等で現に	こ下流の都市や集落に被害を与
災害に強い保安	58, 005, 720	え、又は、与えるおそれがあって流 ^力	或保全上重要な箇所及で	が公共の利害に密接に関係し、
	繰越金	放置し難い箇所に重点を置き、復旧	∐事を実施した。	
林業「森世紀」		施行箇所	事業費	
林業「森世紀」 創造戦略事業費	131, 192, 103	京都市左京区鞍馬本町(その1)	99,006,600円	風倒木処理工 1式ほか
251, 317, 640		亀岡市曽我部町南条	66, 510, 940	治山ダム工 3基ほか
災害関連緊急公	1, 744, 000, 000	亀岡市曽我部町南条 ほか22箇所	1, 074, 722, 060	
共治山事業費	一般財源	計 24箇所	1, 240, 239, 600	
(310, 945, 000)	7, 645, 194	(2) 緊急予防治山事業及び予防治山事業		
		天然現象等に起因する崩壊の可能	性が濃厚な林地で、下	流に被害を与えるおそれがあ
		り、流域保全上重要な箇所及び公共の	の利害に密接な関係を有	頁し、特に危険度が高く、放置
		し難い箇所に重点を置き、予防治山口	∐事を実施した。	
		施 行 箇 所	事 業 費	工事概要
		舞鶴市高野由里	38, 980, 000円	治山ダムエ 2基ほか
		与謝野町加悦奥(駒田)	85, 581, 600	" 1基ほか
		ほか21箇所	538, 460, 010	
		計 23箇所	663, 021, 610	
		(3) 奥地保安林保全緊急対策事業		
		奥地水源地域等の荒廃地や荒廃森村		
		流出防止機能を高度に発揮させるため		
		施 行 箇 所	事 業 費	工 事 概 要
		京都市右京区京北大野町升水	88, 304, 700円	風倒木処理工 1式ほか
		亀岡市宮前町猪倉 ほか10箇所	40, 399, 500	治山ダムエ 2基ほか
			170, 207, 730	
		計 12箇所	298, 911, 930	
		(4) 安心・安全の森整備事業	, ** ,, -1. \	
		暮らしの安心・安全を守る水源かん		
		高度に発揮させるため、公益性の高い	一保安林の改良及び保育	育を実施した。
		ア保安林改良事業	吉 业 走	T 表 40
		施 行 箇 所 福知山市夜久野町直見 京丹波町須知小滝 ほか3箇所	事業費	工事概要
		届知山巾 夜 久野町且兒	15,997,300円	本数調整伐 14.65haほか
		スサルの第55 スカルの第55	.,,	# 8.90haほか
		はから固介	11, 694, 100	
		計 5箇所	35, 361, 700	
		イ 保育事業 施 行 箇 所	事業費	工事概要
		福知山市川北	争 耒 賃 4,199,800円	エ 争 版 安 本数調整伐 3.41haほか
		南丹市美山町三埜	1, 050, 500	本数調整以 3.41maはか " 0.99haほか
		計 2箇所	5, 250, 300	" 0. 33114 4/1 ,
		司 ∠ 画州	0, 200, 300	

科 目	子	,算	I 現	見 額	į	決	算	客	頂	主	要	な	施	策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
					円				P						(5) 単費自然災害防止事業 保安林等において異常気象等天然現象により崩壊が発生し、又は、発生するおそれのある箇所及び治山施設災害のうち公共災害の対象とならない箇所で、特に緊急を要する箇所について防止工事を実施し、災害の未然防止を図った。 施 行 箇 所 事業費 工事概要 綾部市五津合町睦志 10,528,100円 保安林管理道補修 1式伊根町亀島 10,197,000 既存治山施設補修 1式目か21箇所 77,196,640 計 23箇所 97,921,740 (6) 災害に強い森づくり事業 台風、集中豪雨等により荒廃した森林及び渓流において、荒廃の拡大又は土砂、流木等の流出による再度被害を防止するため、森林の整備、治山施設の設置等を通じて災害に強い森の整備を図った。 施 行 箇 所 事業費 工事概要 宮津市国分 38,500,000円 治山ダムエ 1基ほか 両丹市日吉町生畑岩本 29,000,000 山腹工事 1式 ほか 7 箇所 112,905,600 計 9 箇所 180,405,600
										災害! 事業 (森			安林		1 施策の趣旨等 近年の豪雨災害による流木被害等に対応し、安心・安全な地域づくりを推進するため、保安林における間伐等の森林整備及び治山施設の整備等を実施することで、災害の未然防止を図る。 2 施策の実施状況 (1) 保安林危険木重点事業 山地災害危険地区において、現地状況を把握し事業実施の優先度を判定するための危険度診断を府内全域で実施し、優先度の高い地区から間伐等の森林整備や流木捕捉工及び治山ダム工等の設置を実施し、山地災害の未然防止を図った。 施行箇所 事業費 工事概要 綾部市睦寄町草壁 11,998,800円 本数調整伐7.15haほか 亀岡市本梅町平松西山 28,528,300 流木捕捉工1基ほか ほか33箇所 247,772,170 計 35箇所 288,299,270

	荒廃が進行した保安林等において となって、流木の原因となる危険木 施 行 箇 所 亀岡市保津町保津山 宇治田原町南掛谷 ほか17箇所 計 19箇所	を除去し、災害の未然防 事業費 29,026,800円 6,994,900 63,150,800	
		(うち	工事請負費 363,141,000円)
	1 施策の趣旨等	**************************************	A.1/1974-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1
略事業	府内の森林資源が伐期を迎える好機		
(森の保全推進課)	内産木材の自給率アップによる府内気	に結型の木材産業体制の構	染を凶る。
	指標:府内の森林から生産される素	表材生産量	
	共通目標 : 年間24.6万m²(令和5		年間14.9万m³
	林業「森世紀」創造戦略事業全	全体を通した共通目標	
	2 施策の実施状況		
	(1) 森林管理アクセス整備事業		
	豊かな森を育てる府民税を活用し		
	林管理環境を整備し、地域による持	持続的な森林管理を促進し	た。
	施行箇所	事 業 費	工事概要
	施 行 箇 所 福知山市堀森垣(その3) 亀岡市宮前町猪倉	2,836,000円	管理歩道整備ほか
	亀岡市宮前町猪倉 ほか32箇所	3, 246, 400	木製階段工ほか
	計 34箇所		
	(2) 地域とつくる安心・安全の森整備		郑大江田上 地球作品 4
	荒廃が進行した保安林等において となって、流木の原因となる危険オ		
		・を除去し、火舌の木然的 事業費	
	福知山市大江町佛性寺		
			危険不除去はガ·
	綾部市別所町滝谷 ほか32箇所	39, 746, 700	
	計 34箇所	46, 153, 300	
	(3) 山地災害防止対策事業	, ,	
	倒木や表土の流出により人家等に	:被害を与えるおそれがあ	る区域において、豊かな森を
	育てる府民税を活用し、危険木の	除去や簡易防災施設の設置	置により、災害の未然防止を
	図った。		

科目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	F	H.		施 行 箇 所 事業費 工 事 概 要 京都市左京区鞍馬二ノ瀬町 55,287,100円 危険木除去ほか 亀岡市保津町保津山 44,999,900 " ほか 2 箇所 13,145,960 計 4 箇所 113,432,960
				3 執 行 額 187,705,020円 (うち工事請負費 166,508,660円)
			災害関連緊急公共治山 事業 (森の保全推進課)	1 施策の趣旨等 令和2年7月豪雨により被災した主要公共施設周辺における山腹崩壊等防止や、山地における荒廃の拡大又は土砂、立木等の流出による二次災害の防止のため、治山施設の設置等の復旧・減災対策を実施し、府民の安心・安全の早期確保を図る。
				2 施策の実施状況 事業費 工事概要 施行箇所 事業費 山腹工 0.41haほか 3 執行額 2,000,000円 2,000,000円
			災害関連緊急単独治山 事業 (森の保全推進課)	1 施策の趣旨等 令和2年7月豪雨により被災した主要公共施設周辺における山腹崩壊等防止や、山地における荒廃の拡大又は土砂、立木等の流出による二次災害の防止のため、採択要件上公共事業の対象とならない小規模な荒廃山地において、治山施設の設置等の復旧・減災対策を実施し、府民の安心・安全の早期確保を図る。
				2 施策の実施状況 事業費 工事概要 施行箇所 事業費 工事概要 京都市北区大森大谷 23,251,040円 落石対策工 1式 京都市左京区鞍馬二ノ瀬町 19,537,560 現場技術業務委託 1式 福知山市田野(笹場) 31,271,900 既存治山施設補修 1式 計 3箇所 74,060,500
				3 執 行 額 75,288,100円 (うち工事請負費 54,522,940円)

8 狩 猟 費 (P152)	869, 979, 000 (913, 838, 000) 翌年度への繰越 事業費繰越額 202, 529, 000 (有害鳥獣総合対 策事業費		1 施策の趣旨等 野生鳥獣による農林業等の被害を防止するため、有害鳥獣の捕獲や地域ぐるみの防除対策、生態系の保全を行うなど、幅広い取組を総合的に推進する。 指標:農作物被害額目標:180百万円以下(令和3年度まで)実績:263百万円 2 施策の実施状況市町村の実情に応じた総合的・効果的な有害鳥獣捕獲防除施設の設置、生息環境整備等に対して助成し、被害の軽減を図った。実施市町村事業費補助金京都市ほか24市町村728,138,049円605,819,550円 3 執行額 647,704,275円(うち補助金605,819,550円)
6 水 産 業 費 2 水産振興費 (P154)	31, 188, 000 (78, 178, 000)	 (水産課)	1 施策の趣旨等 府内の各河川等において、16漁業協同組合が実施する種苗放流事業を支援し、内水面の水産資源の増殖を図るとともに、栽培漁業と資源管理等に必要な施設等を設置、又は設置に要する経費を支援することにより沿岸漁業の振興を図る。 2 施策の実施状況 (1) 漁業振興対策事業 ア 河川種苗放流事業 河川等での水産資源を継続的に利用する上で不可欠なアユ等の種苗放流を促進し、水産資源の増殖を図った。 種苗 放 流 ア ユ 1,727千尾 八 エ 7 千尾 フ ナ 114 マ ス 類 174 ウ ナ ギ 27 イ 栽培海域開発事業 事業 種目 事業 主体 事業費 事業内容 漁場造成 伊 根 町 3,400,100円 原木魚礁 870セット 京都府漁業協同組合 2,057,000

科目	予算現額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	P	円		3 執 行 額 22,578,000円 (補助金)
			未来へ羽ばたく京都の 漁業を育てる事業 (水 産 課)	1 施策の趣旨等 府内産水産物の生産・流通拡大、次世代の担い手の育成により、漁業・漁村の活性化を図る。
				指 標 目 標 実 績 漁業新規就業者数 50人 48人 丹後とり貝養殖生産量 30万個 19.2万個
				2 施策の実施状況 (1) 京都産水産物生産・流通拡大事業 生食用カキの試験生産を実施したほか、トリガイ養殖施設等の生産設備の導入や地産地 消の取組、試作品開発等を支援し、府内産水産物の生産・流通拡大を推進した。 事業主体 事業内容 事業費 補助金 府 生食用カキ生産試験 750,000円 京都府漁業協同組合 トリガイ養殖筏の導入ほか 13,609,656 6,185,000円 (2) 漁業・漁村の未来を担う若い漁業者育成事業 「海の民学舎」において、海の民学舎生や若手・中堅漁業者の経営力向上のための講座を 実施するとともに、新規就業者の経営開始や漁村定住に係る相談・指導員を配置した。
				3 執 行 額 8,435,000円 (うち補助金 7,685,000円)
6 水産技術セ ンター費 (P156)	180,500,000 (410,244,000) 翌年度への繰越 事業費繰越額 179,315,740 海洋調査船建造 費	(230,564,591) 決算額の財源 内訳		1 施策の趣旨等 水産制度改革に伴い資源管理の強化が必要となる中、府漁業の経営安定、漁村の活性化に 貢献するため、海洋調査船「平安丸(平成9年竣工)」に代わる、最新の性能を備えた調査船 を建造する。 2 施策の実施状況 水産資源及び海洋環境調査機能を有する海洋調査船の建造に係る詳細設計等を実施し、建造に着手した。 3 執 行 額 1,184,260円

	10,712,000 (10,712,000) 翌年度への繰越 事業費繰越額 2,496,791 農林水産業基盤 整備事業費	(8,215,209) 決算額の財源 内訳	(水産課)	1 施策の趣旨等 府が管理する漁港施設の維持管理をすることで、漁業生産の活動の場となる機能の維持増進を図る。 2 施策の実施状況 漁港名 事業内容 舞鶴 維持管理工事、資材購入費等 一式 5,459,599円中浜 パ 2,755,610 計 8,215,209 3 執行額 8,215,209円
1	571, 461, 599 (608, 484, 599) 翌年度への繰越 事業費繰越額 261, 251, 285 農林水産業基盤 整備事業費	309, 880, 314 (346, 897, 709) 決算額の財源 内訳 分担金及び負担 金 22, 118, 800 国庫支出金 156, 547, 000 繰 越 金 4, 952, 599 府 債 126, 000, 000 一般財源 261, 915		1 施策の趣旨等 漁港の計画的な整備により、安全で効率的な水産物供給体制の整備及び水産資源の生息環境の保全・創造に資するとともに、漁村環境の整備により、漁村の良好な生活環境の形成を図る。また、高潮、波浪等による災害及び海岸侵食に対処するため、海岸保全施設整備の計画的な推進を図る。 2 施策の実施状況 (1) 漁港施設の現況 ア 漁 港 数 33港 (1種20、2種11、3種1、4種1) イ 漁港施設の延長 外 か く 施 設

科	目	予	算	現	額	決	算	額	主	要	な	施	策				施	策の	実	施 状	況	と 成	果	等	
					円			円							1	海岸保:	全事業								
																漁港名	種別	事業主体	Z.	施行場所	Г	工種・	数量		事業費
																竜宮浜	2	舞鶴市			三浜	高潮対策	策工事		92, 346, 000円
																栗田	2	宮津市	[/ /	宮津市脇、 小寺、上司、 小 田 宿	中村 中津 1 野	"			80, 000, 000
																泊	1	伊根町	f	尹 根 町		老朽化刘	対策工	事	3, 407, 800
																/T 40	0		f	尹根町 3	平 田	護岸工	事 501	m	36, 500, 000
																伊根	2	"	f		高 梨	護岸	設	計	5, 910, 200
																計	4 港								218, 164, 000
															ウ	漁業集	客環境	整備事業							
																漁港名	種別	事業主体	Ž.	施行場所	fi	工種・	数量		事業費
																西大浦	1	舞鶴市	ಶ	舞鶴市	千 歳	保全工	事 一:	式	4,000,000円
																伊根	2	伊根町	f	尹根町(尹 根		"		8, 400, 000
															(本 庄 井 島	2	"	信	尹 根 町 本 新 井 、 本	庄、 庄 浜		<i>II</i>		45, 000, 000
																計	5港								57, 400, 000
														3	執	行	額						309	9, 880), 314円

第7款 商 工 費

日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
12,000,000 中小企業等緊急 支援強化事業費 300,000,000 300,000,000 12,000,000 15人 (3) 企業立地促進開拓員設置運営事業 企業情報の収集、戦略的な企業誘致を促進するため、本社機能が集中する首都圏に企業 立地促進開拓員を設置し、企業訪問等の誘致活動を実施した。 新規訪問企業数 延べ訪問企業数 261 3 執 行 額 1,884,230,037円 (うち補助金 1,869,234,000円)

科 目	予 算 現 額 決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
		「京の小売・サービス 業」応援事業 (中小企業総合支援課)	1 施策の趣旨等 地域の消費喚起を図るため、府内の小売・サービス業の店舗で使えるクーポン券を発行し、 小売・サービス業の事業者を応援する。
			2 施策の実施状況 中小企業が運営する府内の小売・サービス業の登録店舗で利用できるクーポン券を発行した。 名 称 京の小売・サービス店応援商品券(京の小売・サービスクーポン) 利用期間 令和3年12月1日~令和4年1月31日 販売価格 1冊6,000円のクーポン券を5,000円で販売 販売実績 577,298冊
			3 執 行 額 830,995,350円 (補助金)
		京都エコノミック・ ガーデニング支援強化 事業 (生 活 衛 生 課) ものづくり振興課)	1 施策の趣旨等 公益財団法人京都産業21を通じて、京都経済の原動力である中小企業の成長・発展に向け、 製造業から小売サービス業までを対象に、オール京都で組織する中小企業応援隊等が、事業 計画策定段階から本格展開まで伴走型により一貫支援を行う。 指標:事業創生、研究開発、販路開拓、事業化に伴う設備投資の取組件数 目標:40件 実績:45件
			2 施策の実施状況 (1) 京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業 自社独自の強みを活かし、新商品・新サービス・新ビジネスモデル等の開発や新分野進出等の新規事業に取り組む中小企業等を対象に、支援メニューをパッケージ化し、各企業に応じた最適な育成メニューを提供することにより、事業計画の策定から設備投資まで、あらゆる段階からのチャレンジを支援した。 ア 事業創生コース
			新規事業計画の見極めのための市場調査等に要する経費の一部を助成した。 イ 事業化促進コース 試作品・サービス等の開発、テスト販売等による本格的な市場調査等に要する経費の一部を助成した。 ウ 本格的事業展開コース 実用化に向けた応用研究・生産技術開発、生産・販売・サービス提供のための設備の導入に要する経費の一部を助成した。 交付件数 45件 交付額 403,221千円

	(2) R&D集積形成促進事業「けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)」に拠点関や中小企業などが取り組む研究開発の加速化・早期事業化に対交付件数 5件 交付額 6,033千円 (3) 京都府公衆浴場設備改善事業公衆衛生の維持及び増進に不可欠な公衆浴場の経営を支援する善に対して助成した。 交付件数 17件 交付額 5,792千円	して助成した。
	3 執 行 額	415,046,841円 (補助金)
「産学公の森」推進事業 (ものづくり振興課)	1 施策の趣旨等 公益財団法人京都産業21を通じた産産・産学連携グループの創出 業展開や国内外への販路開拓を後押しし、WITHコロナ・POSTコロ 解決に繋がる産業を創出する。	
	指標:プロジェクト創出件数 目標:20件 実績:30件	
	2 施策の実施状況 (1) 「産学公の森」推進事業 産学公の多様な連携プロジェクトの組成から、製品等の試作・た市場開拓、生産設備投資等を一貫して支援する助成事業を実施 交付件数 30件 交付額 383,357千円 (2) 京都イノベーション創出ネットワーク運営事業 公益財団法人京都産業21が運営する「京都イノベーション創出同研究プロジェクトの創出支援や研究開発サポート体制を構築た。 会員企業数 246社 実施事業 特許調査、市場動向調査、システム運用保守等 交 付額 12,000千円	した。 ネットワーク」による共 する事業に対して助成し
	3 執 行 額	395, 357, 000円 (補助金)
企業連携型ビジネス構 築事業 (ものづくり振興課)	1 施策の趣旨等 WITHコロナ・POSTコロナ時代における市場や産業構造の変化に根等を越えた企業グループの形成から新ビジネスの創出に至るまでる。	

科 目	予算現額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	F	F.		2 施策の実施状況 公益財団法人京都産業21を通じて、企業グループの形成及びグループによる新規事業創出を支援する助成事業を実施した。 (1) 企業グループ形成支援事業 企業グループの形成、新事業の構築等を支援した。 ア アイデアソン 1 Dayイベント 参加者数 16人 イ 「製品開発型企業×新素材」マッチングイベント 参加者数 11人 ウ ものづくり中小企業のための医療機器市場参入セミナー 参加者数 96人 エ 「京MED」キックオフセミナー 参加者数 84人 (2) 連携型ビジネス創出支援事業 DXに資するテクノロジーや新たな発想による斬新な手法等を活用した、企業連携による新ビジネス創出を支援した。 交付件数 43件 交 付 額 143,217千円
				3 執 行 額 167,760,216円 (うち補助金 162,260,216円)
			中小企業共同型ものづくり支援事業 (ものづくり振興課)	1 施策の趣旨等 IoT技術を駆使して、受注・設計・生産進捗管理の状況などの「情報の共有化」、共有機械の設置や遊休機械の利活用などの「工作機械の共有化」、又はその組み合わせ等により中小企業同士の連携・一体化を促進するため、その実現に向けた取組を計画策定段階から実施段階に至るまで一貫して支援することで、府内中小企業の連携・一体化を促進し、中小企業の生産性向上を図る。
				指標:プロジェクト創出件数 目標:7件 実績:9件 2 施策の実施状況 公益財団法人京都産業21を通じて、IoT等による中小企業連携・一体化(共同利用を前提とした最適な設備や必要な技術調査、運用ルールの検討から、受注・設計・生産進捗管理等の情報、工作機械等の共有化まで)を促進し、中小企業の生産性・競争力アップを支援する助成事業を実施した。 交付件数 9件

T		
	交 付 額 140,000千円	
	3 執 行 額 140,000,000円 (補助金)	
京都舞鶴港日本海側拠 点機能推進事業 (経済交流課)	1 施策の趣旨等 日本海側拠点港である京都舞鶴港において、国際海上コンテナ航路の拡充、国際フェ 航路の利用促進及び外航クルーズの誘致に向けたソフト・ハード一体となった事業を推 ることにより、京都舞鶴港のゲートウェイ機能の強化を図る。	
	指標:コンテナ取扱量 目標:20,000TEU 実績:10,746TEU	
	2 施策の実施状況 (1) コンテナ20,000TEU実現事業 前路の拡充、貿易の拡大等を図るため、一般社団法人京都舞鶴港振興会が行うボセールス等の事業に対して助成した。 ア コンテナ貨物等の集荷及びボートセールスの実施 コンテナ取扱量 令和3年 10,746TEU イ 京都舞鶴港トライアル利用促進特別支援事業の実施 北近畿に立地する事業者を中心に外国貿易貨物の京都舞鶴港でのトライアル利用すため、貿易取扱事業者の取扱コンテナに対して助成した。支援状況 10,577TEU (2) 日韓露国際フェリー航路利用拡大事業 日韓露国際フェリー航路の利用拡大を図るため、貿易取扱事業者の取扱貨物に対し成した。支援状況 1,034TEU相当分 (3) 国際クルーズ誘致事業 「環日本海クルーズ推進協議会」への参加による日本海側諸港との連携強化のほか、舞鶴港クルーズボータルサイトや専門誌を活用した情報発信、旅行会社等のキーパー招聘等により誘致活動を行った。 (4) 京都舞鶴港クルーズ誘致強化事業 舞鶴からの乗船客を増やすため、京都舞鶴港安全安心PR動画を制作し、セミナーをしたほか、寄港地観光モデルプランを作成した。 (5) 貿易振興対策事業 京都舞鶴港の振興を図るため、貿易関係団体への助成や対岸諸国等との連携によるトセールス、港湾関連用地への物流関連企業等の誘致等を実施した。 3 執 行 額 107,909,244円 (うち補助金107,709,244円	をでする。ソー・開ルポートをは、動をおり、一様には、一様には、一様には、一様には、一様には、一様には、一様には、一様には

科 目	予 算 現 額 決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	F) F.	北部産業活性化推進事業 (ものづくり振興課)	1 施策の趣旨等 「北部産業創造センター」及び「丹後・知恵のものづくりパーク」を核に、北部地域における中小企業の技術の高度化やものづくり人材の育成、新分野展開に向けた取組等を支援することにより、北部地域の産業振興を推進する。
			指標 目標 実績 技術相談件数 500件 706件 機器貸付件数 720 996 人材育成研修の延べ受講者数 1,000人 2,420人
			2 施策の実施状況 (1) 北部産業創造センター推進事業 中丹地域をはじめとする北部ものづくり企業の活性化を図るため、「北部産業創造センター」において、中小企業の技術力の強化・高度化への支援を実施した。 企業相談実施数 352件 各種機器の貸付 996 各種機器及び技術開発に関する中小企業向けセミナーの開催 51回 延べ1,568人 (2) 北部産業活性化拠点・京丹後推進事業 丹後地域の地場産業の一層の成長と次世代の産業振興を図るため、「丹後・知恵のものづくリパーク」において、ものづくリ人材の育成・確保や中小企業の総合支援を行い、丹後地域をはじめとする北部地域の産業振興を推進した。 ア 京都・丹後ものづくり等人材育成推進事業 地域企業の課題を解決するための技術・経営相談、機器の貸付及びものづくり技術者の育成とその高度化のための各種人材育成研修等を実施した。 企業相談実施数 6,234件 各種機器の貸付 1,765 各種機器の貸付 1,765 各種機器及び技術開発に関する中小企業向けセミナーの開催 30回 延べ852人 (7) 丹後基盤技術担い手育成事業 工作機械基礎セミナー等 19講座 延べ275人 (4) 研修実施支援事業 生産性向上セミナー等 7 講座 延べ275人 (5) 人材確保・流入促進事業 生産性向上でミナー等 7 講座 延べ355人 イ 丹後・知恵のものづくりパーク運営費等補助金 拠点の管理運営及び人材育成会議等に要する経費について、運営主体である公益財団法人京都産業21に対して助成した。

3 執 行 額

105, 281, 399円 (うち補助金 58,808,500円)

起業するなら京都・プ 1 施策の趣旨等 ロジェクト推進事業 ものづくり振興課 文化学術研究都市 推 進 課 経済 交流課

スタートアップ創出から成長発展までステージに応じた支援を、国や京阪神で連携しなが らオール京都で体系的に実施し、世界に伍するスタートアップの輩出を目指す。

指標:スタートアップ企業設立数 目標:34件 実績:39件

- 2 施策の実施状況
- (1) スタートアップ創出支援

ア 起業創出プログラムの実施

大学発、外国人、企業内など多様なスタートアップ企業を創出するためのプログラム を実施した。

継続プログラム数 38件

参加者数 632人

イ アントレプレナー教育の実施

小・中学生を対象とした起業家教育プログラムを実施した。

参加チーム数 6チーム

参加者数 33人

ウ 外国人のスタートアップ支援窓口の運営

外国人起業家、留学生が起業準備活動に必要な在留資格を得るための支援窓口を設置 した。

相談件数 72件

スタートアップ・ビザ取得件数

エ アクセラレーションプログラムの実施

新事業の創出を集中的に支援するアクセラレーションプログラムを実施した。

参加チーム数 3チーム

オ 社会課題解決の取組への助成

社会課題の解決に資することを目的に、AIやIoT等のスマート技術を活用した新しい サービスや技術の開発を行うスタートアップ企業等に対して助成した。

交付件数 7件

交 付 額 5.415千円

力 iPS細胞関連等研究開発支援

ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディング等により広く寄附を募り、今後 の需要拡大が見込まれるiPS細胞関連の産業化に向けて、公益財団法人京都大学iPS細胞 研究財団等に対して財政支援を行った。

寄 附 額 47,880千円

- (2) スタートアップ・エコシステム推進体制整備
 - 一般社団法人京都知恵産業創造の森をハブに、京都スタートアップ・エコシステム推進

科目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	Ħ	円		協議会、大阪・ひょうご神戸コンソーシアムと連携体制を構築した。 京都スタートアップ・エコシステム推進協議会開催回数 4回(ワーキンググループ含む) 京阪神連携プログラム件数 8件 3 執 行 額 103,989,285円 (うち負担金 90,561,000円)
			けいはんなオープンイ ノベーションセンター 活用推進事業 (ものづくり振興課)	1 施策の趣旨等 「けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)」への、多彩な共同研究プロジェクト集積等を目的とした取組を推進する。 指標:KICKにおける共同研究プロジェクト数 目標:20件 実績:20件 2 施策の実施状況 (1) KICKへのプロジェクト等の集積を促進するため、国内外の研究者をはじめ企業や大学等に対するプロモーションを実施した。 プロジェクトの集積数 20件 (2) KICKについて、公益財団法人京都産業21への無償貸付を行い、その管理運営を助成するとともに、現行機能の維持・回復に必要な修繕等を実施した。
			新型コロナウイルス感 染症危機克服戦略推進 事業 (染織・工芸課)	3 執 行 額 99,668,782円 (うち工事請負費 47,611,089円) 1 施策の趣旨等 「新型コロナウイルス感染症危機克服会議」の提言である「価値創造型産業の育成」や「多 様な交流によるイノベーションの誘発と京都産業の深化」を踏まえ、新たなビジネスモデル の創出や販路開拓等をパッケージで支援する。 2 施策の実施状況 伝統産業事業者がグループで取り組む新たな販路開拓に向けた商品開発事業に対して助成
				伝統産業事業者がグループで取り組む新たな販路開拓に向けた商品開発事業に対して助成した。 交付件数 48件 交付 額 97,404千円

	3 執 行 額	97, 404, 000円 (補助金)
小規模企業等経営基盤 強化支援事業 (ものづくり振興課)	1 施策の趣旨等 人手不足等に起因する生産上の課題解決、WITHコロ に対応するため、部材の内製化や販売方法の見直しなど 支援し、その経営基盤の強化を図る。	
	指標:経営基盤強化への取組件数 目標:20件 実績:33件	
	2 施策の実施状況 公益財団法人京都産業21を通じて、経営基盤強化に向 を実施した。交付件数 33件 交付額 95,365千円	けた設備投資等を支援する助成事業
	3 執 行 額	95, 365, 000円 (補助金)
次世代職人育成事業 (染織・工芸課)	1 施策の趣旨等 伝統産業の若手職人を育成するため、新たなものづく るとともに、商品開発、生産設備の整備及び国内外の販路	
	指標:マーケットイン型産業への変革を推進するため 目標:100件 実績:120件	の支援件数
	2 施策の実施状況 (1) 京ものクオリティ市場創出事業 国内外での販路開拓を目指す事業者が、国内外の市連携の下、海外の販売代理店を通じたマーケット開拓開発の支援、海外市場向け販路開拓やEコマースを活力した。 支援件数 59件 (2) 次世代職人育成事業 ア 職人アカデミー開催事業 専門家による商品開発やプランド創出の支援をはの交流やマッチングを促進し、「集い」「作り」「伝え	、マーケットニーズを踏まえた商品 用した伝統工芸品の販売促進を実施 じめ、地域や業種を超えた作り手と

科目	予算玩	見額	決	算 額	Ė	要	な	施	策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
		H			円					プログラム数 27件 参加者数 延べ501人 イ 京もの愛用券 京都の伝統工芸品等を掲載したネットカタログ「京もの愛用券」を通じて、「京もの」の 需要創出・販路拡大を図った。 販売実績 1,405千円 (3) 丹後・西陣織産地活性化事業 広幅を中心とする織物職人の育成や、関連する工程、織機調整等の研修を織物・機械金属振興センター及び西陣織工業組合において実施した。 受講者数 延べ219人 (4) 新堀川魅力創造事業 堀川新文化ビルヂングを活用し、伝統工芸品の作品展やワークショップを開催した。 作品展出展数 54品 来場者数 約670人 (5) 文化財保存修復推進事業 伝統工芸に携わる職人等に対して、伝統産業技術の継承や文化財の保存・修復に係る考え方を広く周知するため、セミナーを開催した。 受講者数 延べ58人
										3 執 行 額 61,139,325円 (うち委託料 43,720,000円)
						略プロ	o Japa]ジェ [·] 済交済	クト	事業	ジェトロ海外事務所や「京都倶楽部」等による海外ネットワークを確立し、京都海外ビジ ネスセンターを拠点に、海外販路開拓や外資誘致などを戦略的に推進する。
										指標:新たに海外展開に取り組んだ企業数 目標:60社 実績:82社 2 施策の実施状況 (1)「京都倶楽部」連携事業 世界の主要都市における現地の情報収集等を行う京都人ネットワークを活用し、現地の 情報収集や京都情報の発信を行った。 設立都市 ニューヨーク、シアトル、ロサンゼルス、台北、高雄、香港、北京、上海、蘇州、深圳、ソウル、クアラルンプール、シンガポール、バンコク、ハノイ、ミラノ、フィレンツェ、ミュンヘン、パリ、ロンドン (2) 海外物産展等開催事業 海外高級百貨店等海外小売店やレストランと連携し、京都物産展やPOP-UPショップ開設等の販促プロモーションを通して、継続的な販売先を拡大する取組を展開した。 (対象国・地域)

中国、香港、台湾、シンガポール、タイ、ベトナム、アラブ首長国連邦、イタリア、ス イス、ポーランド、イギリス、フランス、スウェーデン、アメリカ、オーストラリア、 ニュージーランド 成約件数 282件 (3) バイヤー招聘事業 世界各国のインポーター・小売店等のバイヤーとオンライン商談会を実施した。 (対象国・地域) 中国、ベトナム、アメリカ 成約件数 13件 (4) 越境EC推進事業 海外向けネットショップを活用し、中国を中心とした富裕層に伝統工芸品等の逸品を紹 介・販売した。 販売額 73,000千円 (5) 中国サポートデスク運営事業 京都産品の販路開拓支援を実施した。 (6) ジェトロ京都運営事業 オール京都(府・市・商工会議所等)でジェトロ京都貿易情報センターの運営を支援す るとともに、府内企業の貿易相談対応や海外進出支援、海外販路開拓(商談会、セミナー 開催等)を実施した。 3 執 行 額 56, 502, 504円 (うち補助金 56,326,000円) 新しい商店街づくり総 1 施策の趣旨等 合支援事業 商店街の多機能化と多様な人材の集積を進めることでコロナ禍において商店街が地域コ (中小企業総合支援課) ミュニティの核となり、地域・個店と一体的に発展していくことを支援する。 指標:それぞれの特性に応じたKPIを設定する商店街 目標:50商店街 実績:28商店街 2 施策の実施状況 (1) 地域課題解決コミュニティ活性化事業 ア 単独型 商店街等が自ら地域課題を解決するために取り組む事業に対して助成した。 交付件数 交付額 10,887千円 イ 連携型 商店街を核として、多様な主体が連携して地域課題を解決するために取り組む事業に 対して助成した。 交付件数 1件

科目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	F		交 付 額 5,000千円 ウ 商店街等新機能導入促進型 商店街等がまちづくりと一体となって地域課題解決のために取り組む中核施設等の整備に対して助成した。 交付件数 1件 交 付 額 21,060千円 (2) 商店街に関わる人材育成交流促進事業
				3 執 行 額 50,205,563円 (うち補助金 44,654,000円)
			次世代地域産業推進事業(ものづくり振興課)	1 施策の趣旨等 iPS、AI等、今後の経済成長に不可欠な最先端技術分野において、国の研究機関や大学、中 小企業、ベンチャー等が参画する産学公連携プロジェクトを育成し、オープンイノベーショ ンの更なる推進により、新産業の創出、府内経済の活性化を図る。 指標:プロジェクト創出件数 目標:5件 実績:6件
				2 施策の実施状況 公益財団法人京都産業21を通じて、iPS、AI等の最先端技術を用いるプロジェクトの育成、 事業化促進の取組に対して助成した。 交付件数 6件

	交 付 額 50,000千円	
	3 執 行 額	50, 000, 000円 (補助金)
	3 執 行 額	48, 901, 000円 (補助金)
パーク整		の育成と府内への波及を図るため、産学公で設置した 」の下、拠点の整備、人材育成、国際ネットワークの を総合的に展開する。
	指標:映画・コンテンツ産業を担う 目標:400人 実績:432人	若手クリエーターの育成人数
	つ一大メディア産業拠点である「京 よる事業実施や新産業創出のための 令和3年8月6日~8月8日 学 令和4年2月18日 京都クロスメ (2) デジタルリマスター推進事業	生ゲームジャム 17校108名参加 ディアパーク推進会議開催 た映像資産の保全と利活用により新たな産業を創出す

科目	子	,算	ΙĮ	見	額	;	決	算	客	頁	主	要	な	施	策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
					円					P						(3) クロスメディアクリエイター人材育成事業 映画・映像、ゲーム等のクリエイターの制作活動支援等を通じて、コンテンツ産業を担 う若手クリエイターの育成事業を実施した。 育成人数 248人 ア KYOTO CMEX 2021開催事業 京都が持つポテンシャルを国内外に発信するとともに、クリエイターの国際的な交 流、次世代のコンテンツ産業を支える人材育成等を推進するため、オール京都のコンテンツ振興イベントを開催した。 開催時期 令和3年9月~令和4年3月 開催時期 令和3年9月~令和4年3月 開催時期 令和3年9月~令和4年3月 開催時期 令和3年9月~令和4年3月 開催時期 令和3大学・アンツニュニティ」の形成を図るため、歴史創作コンテン・クリファンが集い交流するイベントや子ども映画製作ワークショップ等を実施した。 開催時期 令和3年11月20日~11月21日、11月27日 開催場所 東映大泰映画村 参加者数 5,712人 ウ BitSummit THE 8th BIT 日本のインディーゲームを京都から世界に発信するため、オンラインによる出展作品の試遊体験及び開発者等との交流ができる展示・交流会を開催した。 開催時期 令和3年9月2日~9月3日 開催場所 オンライン 視 聴 数 1,041,499回 エ 京都でスポーツサミット2022 ゲームを審査・表彰し、受賞に品及びクリエイターを京都から世界に発信した。 開催時期 令和4年3月23日 開催場所 オンライン 視 聴 数 1,471回 (4) 国際ネットワーク形成事業 京都ヒストリカ国際映画祭と連携したマスターズセッションを実施した。 開催場所 京都文イドによる上映作品の解説等を行うとともに、東京国際映画祭やヴェネチア国際映画祭と連携したマスターズセッションを実施した。 開催場所 京都文化博物館、オンライン 参加者数 1,354人

	(5) 映像産業等による府内活性化事業 コンテンツの活用による地域活性化と他産業への波及促進を図るため、「ロケスポット京都」運営事業においてオール京都体制で府内ロケ地の情報を一元的に発信した。 ロケ地登録数 501件 (6) 京都デジタルアミューズメントアワード事業 次代を担う若手コンテンツクリエイター等を表彰し、今後の制作活動を奨励するとともに、優れた才能を有する若手コンテンツクリエイターを京都から世界に発信した。受賞作品 大賞1件、部門賞2件 (7) 京都AR・VR技術活用促進事業 AR・VR技術活用促進事業 AR・VR等バーチャル技術の開発力向上や活用促進を図るため、府内外のXR開発事業者、ものづくり企業等の多様な中小事業者等で、バーチャル技術の活用策を検討するシンポジウムを実施し、XR技術活用促進のためのガイドブック・Webサイトを構築した。開催時期 令和3年11月29日~12月20日(全3回)参加者数 45人 (8) 京都アニメーターズキャンプ事業 アニメ産業の担い手やアニメ企業の産業振興を図るため、アニメ制作会社及び芸術系大学等と連携し、人材育成事業を実施した。開催時期 令和4年3月5日参加者数 29人 3 執 行 額 48,176,030円 (うち負担金 32,700,000円)
金融・経営一体型支援 体制強化事業 (中小企業総合支援課)	金融機関、経営支援団体が一体となった支援体制を府内地域毎に構築し、コロナ禍を乗り 越えようとする中小企業等の事業継続を支援する。 指標:各地域におけるネットワーク会議の開催回数
	目標:300回 実績:305回 2 施策の実施状況 厳しい経営環境にある中小企業の経営改革に向け、金融と経営が一体となった新たな伴走 支援体制を構築するため、金融機関と経営支援機関の橋渡しを行う特別経営指導員を設置す るとともに、経営相談機能を強化するため、専門家派遣を実施した。 特別経営指導員の設置人数 4人 専門家の派遣回数 558回
	3 執 行 額 45,922,658円 (うち補助金 44,943,308円)

科 目	予 算 現 額	決 算 額 主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円 京都作家マーケット開 拓支援事業 (染織・工芸課)	1 施策の趣旨等 伝統工芸に止まらず、アート、デザインも含めた「KOUGEI」をキーワードに、京都に集 結する国内外のものづくり関係者の相互交流を促進するとともに、「KOUGEI」の魅力を国内 外に発信することを通じて、「KOUGEI」市場の拡大等を実現する。
			指標:「KYOTO KOUGEI WEEK」での商談件数 目標:1,000件 実績:2,956件
			2 施策の実施状況
			3 執 行 額 41,470,000円 (負担金)
		スマートけいはんな活動強化事業 ものづくり振興課 文化学術研究都市 推進課	1 施策の趣旨等 けいはんな学研都市において、スマートシティ・スーパーシティの実現に向け、「スマート けいはんなプロジェクト」の取組を強化する。 2 施策の実施状況

	中小企業等の最先端技術を活用しスマート社会を推進支援制度の創設や自動運転等の実証環境を強化した。 (1) 中小企業等を新たに加えた連携体制の構築アデータ統合・連携基盤のサンプルデータ数 20イコーディネータによるスマート関連技術の実装化国内外の企業とのネットワークを活かし、京都府規企業の参画を支援するとともに、各企業の新規事件走支援を行った。 (2) 中小企業等の参画を促す新たな支援制度の創設中小企業等のプロジェクトへの参画に伴う技術実証交付件数 10件交付額 10,120,000円 (3) 協議会参加企業等が共同で利用可能な実証環境の充けいはんなオープンイノベーションセンター(KICFア本格化する自動運転車、自律移動ロボットなど次なセンサープラットフォームの整備イ DXによる映画・映像制作の生産性向上や高度化を術開発に必要な環境・機材の整備 3 執 行 額	プラットフォームの機能強化件 支援 の各スマートシティ関連事業への新 業創出に向けた政策提案を行うなど に対して助成した。 実 (1) 内の実証環境を整備した。 世代スマート技術の開発実証に必要
伝統産業事業継続緊急 支援事業 (染織・工芸課)	1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症の影響の長期化や原材料費 れる産地組合等に対し、事業継続のために行う生産設備	
	2 施策の実施状況 需要減少により存続が危惧される工程を担う産地組合 に行う生産設備の導入等に対して助成した。 交付件数 12件 交付額 33,038千円	や伝統産業事業者が事業継続のため
	3 執 行 額	33, 038, 000円
		(補助金)
		(<u>-</u> /

科 目	予算現額 決算額	主要な施策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
··	THE P		1 施策の趣旨等 長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、売上の落込みなど、厳しい環境にある伝統産業の新たな需要開拓等を支援する。
			2 施策の実施状況 伝統産業事業者がグループで取り組む新たな需要開拓に向けた試作品開発、新規ビジネス モデルの構築等に対して助成した。 交付件数 11件 交 付 額 29,718千円
			3 執 行 額 29,718,000円 (補助金)
		世界に伍するスタート アップ支援事業 (ものづくり振興課)	1 施策の趣旨等 スタートアップ創出から成長発展までステージに応じた支援を、国や京阪神で連携しなからオール京都で体系的に実施し、世界に伍するスタートアップの輩出を目指す。 指標:スタートアップ企業設立数 目標:34件 実績:39件
			2 施策の実施状況 (1) 起業創出プログラム等の増設 スタートアップ企業の層を厚くするため、起業創出や成長支援のためのプログラムを増設した。 増設プログラム数 35件 参加者数 1,229人 (2) 大型資金調達ピッチ会の開催 大型資金を調達するために首都圏等の投資家や大企業等を招聘したピッチ会を開催した。 開催回数 7回
			登壇企業数 66社 (3) 海外スタートアップ企業との相互交流 海外の起業家や支援者との交流プログラムを開催した。 プログラム数 2件 参加企業数 18社
			3 執 行 額 26,250,000円 (うち負担金 15,000,000円

伝統産業産地再構築事 業

(染織・工芸課)

1 施策の趣旨等

コロナ禍を契機に、長年の課題であった産地の構造改革を推進するため、「シルクテキスタイル・グローバル推進コンソーシアム」を設置し、西陣織・京友禅・丹後織物の3産地が連携して新たなマーケット開拓と産地を支える生産体制の再構築を図る。

- 2 施策の実施状況
- (1) 織機関連製品の共同開発等における連携体制の構築

ア 「シルクテキスタイル・グローバル推進コンソーシアム」の設置

設立年月日 令和3年4月12日

構 成 団 体 西陣織工業組合、京友禅協同組合連合会、丹後織物工業組合、京都府

- イ 3 産地の各産地振興計画及び3 産地連携ビジョンの策定
- 3 産地の事業者へのヒアリング等を実施し、各産地の振興計画及び3 産地連携ビジョンを策定した。
- ウ 民間企業と連携した商談支援

多数のバイヤーネットワークを有する民間企業と連携し、既存商品を国内外バイヤー に紹介するとともに、展示商談会に出展した。

(2) 建材・インテリア市場参入支援

京都のテキスタイル技術を活かした商品づくりによる国内外の建材・インテリア市場への参入を促進するため、新規顧客とのマッチング支援やデジタルツインカタログの作成を 実施した。

支援企業数 9社

- (3) 高級ファッション市場参入支援
 - ア ミラノウニカ等商談会出展

商談会出展に向けた海外貿易基礎講座や伴走支援等を実施

出展企業数 5社

イ 京友禅サリーの販路開拓支援

丹後ちりめんに京友禅の技術をあしらったインドの民族衣装「サリー」をインド・在 日インド人の富裕層向けに展開するため、インド総領事館への訪問を行うなど後方支援 を実施した。

(4) TANGO OPEN CENTER開設支援

「TANGO OPEN」ブランドの発信や、新たな販売方法の構築に向けたオンライン商談会のシステム及びECサイトの改修等を支援した。

3 執 行 額

24, 965, 761円

(うち負担金 16,965,761円)

けいはんなプラザ設備 整備事業

(文化学術研究都市 (推進課)

1 施策の趣旨等

企業等の交流やイノベーション拠点であるけいはんなプラザの機能強化や利用者の安全・ 安心を確保するための施設改修等を実施する。

2 施策の実施状況

けいはんなプラザホワイエ・ラボ棟壁面タイル改修工事設計やけいはんなホール舞台幕更

科目	予 算 現 額 決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等			
	P) P:		新等、施設の老朽化に伴う改修を実施した。 3 執 行 額 20,823,000円 (うち養託料 12,200,100円) (うち備品購入費 8,622,900)			
		京都スマートシティエ キスポ2021・国際シン ポジウム開催事業 (文化学桁研究都市 推 進 課)	ICTや環境・エネルギーなどスマートシティに関する多面的な産業の知見や技術に関する 国際会議をけいはんな学研都市等で継続的に実施し、国際的なビジネス交流を促進するとと もに、学研都市を内外に広く発信する。 指標:スマートシティエキスポ(オンライン)への参加者数			
			実績: 2,311人 2 施策の実施状況 京都企業等の技術PRやビジネス交流等を促進・支援するため、「京都スマートシティエキスポ2021」をオンラインで開催した。 開催期間 令和3年11月11日、11月12日(12月31日までオンデマンド開催) テーマ「安寧で持続的な未来を創る地域と産業」 内容スマートシティセミナー(講演)全国自治体交流シンポジウム等参加者数 2,311人(期間中のセミナー等視聴数 6,282回)			
			3 執 行 額 20,400,000円 (負担金)			
		匠の公共事業 (染織・工芸課 (観光室)	1 施策の趣旨等 伝統と文化のものづくり産業振興条例に基づき、和装・伝統産業の基盤づくり(ひとづく り、環境づくりの展開)を積極的に推進する。			
			指標:貴重な文化資料の復元新調数 目標:5件 実績:4件 2 施策の実施状況 (1) ひとづくり 京都未来の匠「技の継承」事業 京の名工等と若手職人が協働して行う祇園祭や社寺等の貴重な文化資料の復元新調事業 に対して助成した。 交付件数 4件			

		交 付 額 12,053千円 事業内容 鷹山の雉の復元新調ほか (2) 環境づくり 「京の伝統・食と文化」魅力発信事業 府内地場産品の普及宣伝及びその需要開拓を図るための物産展を開催する予定であった が、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 3 執 行 額 13,579,222円
		3 執 1] 額
(1)	後・知恵のものづく パーク機能強化事業 ものづくり振興課)	1 施策の趣旨等 府北部地域におけるものづくり産業の支援を担う中核拠点として、「丹後·知恵のものづく リパーク」の機能を強化し、地域の課題である製造業の人材育成・確保等を推進する。
		2 施策の実施状況 (1) 人材育成の強化及び新事業創出の促進 地域の中小企業が持つ課題の解決や技術の高度化を推進するため、人材育成の強化や オープンイノベーションの更なる促進を図った。 ア VR技術を活用した効率的な先端的疑似操作体験研修の実施研修回数 13回参加者数 延べ324人 イ 未経験者向け等の3次元CAD研修の実施研修回数 5回参加者数 延べ45人 ウ 交流スペースを活用した産学公連携による研修、会議、商談会等の実施交流スペース利用者数 延べ1,221人 (2) 中小企業支援のための機器の更新北部地域のものづくり企業支援に必要なCADソフトの更新等を実施した。
		3 執 行 額 9,194,000円
\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	ーション創出事業 文化学術研究都市 \	1 施策の趣旨等 けいはんな学研都市に集積する企業・研究機関・大学等が核となり、産産・産学連携や研究成果の共同利用を通じた企業の新製品・サービスの実用化等をサポートする仕組みを構築し、府内企業のオープンイノベーション(外部の技術・知識を活用した研究開発)を促進し、新事業・新産業創出を図る。
		指標:けいはんなR&Dイノベーションコンソーシアムの参画企業・研究機関数

科 目	予算現額決算	主要な施策施策の	実 施 状 況 と 成 果 等
	円	プで支援する。 機 能 知財調整・利害調 活動実績 ア 人材育成プロ 提供 イ 住民参加・選 ウ 「公道走行実調 係るる実証実制 (2)「けいはんなR&Dイノベーシ 目 的 産官学連携、異して推進する。 参加企業 125企業・研究機 機 能 各種セミナー・り施 活動実績 37会員、59人が「 ギー」の4分野の動 の 動 (3) グローバル連携の推進 目 的 ASEAN、IORA(環 トフォーム(AIJ- 携協定を締結し、 活動実績 ア ASEANとIOE	大学等の連携を基軸に研究開発から事業化までワンストッ 調整による産官学連携の加速、人材育成・人材交流等の促進コグラム(ナノテクノロジー高度人材育成プログラム等)のよる新事業創造のためのサポーター組織(Clubけいはんな)会(会員数2,920人)記実験プラットフォーム」(K-PEP)を運営し、自動運転に会等を実施ョンコンソーシアム」の運営業種連携プロジェクトを、オープンイノベーションを基軸と関フークショップの開催、新事業創出に向けたワーキングの実「新テーマ創出」、「農・食」、「健康」、「モビリティ・エネルWG活動に参画し、新事業開発プロジェクトの創出に向け活躍インド洋連合)との新産業創出・イノベーション連携プラッルPF)を構築するとともに、海外サイエンスシティと包括連事業連携を進める。
			}後織物の新たな市場開拓を図るため、丹後織物工業組合中 レス加工技術等を活かした生地の高付加価値加工に向けた設

	2 施策の実施状況 (1) 設備導入に対する補助 組織物等への抗菌抗ウイルス加工等、生地の高付加価値加工に必要な機器の導入に対して助成した。 (2) 生産管理体制の改善 加工場内の生産工程の見直しや、作業環境の改善などの業務改善を通して、生産性の向上やコスト削減を図る取組に対して助成した。 3 執 行 額 7,766,000円 (補助金)
地域商業活性化緊急支援事業 (中小企業総合支援課)	府内経済の回復に向けた需要喚起と更なる感染防止対策の向上等を図るため、商店街等か行う売上向上の取組や、感染防止や来街者の安心・安全のための環境整備の取組を支援する。 2 施策の実施状況 商店街等が実施する来街者の安心・安全な環境を整備するための取組に対して助成した。 交付件数 1件 交付額 2,000千円 3 執行額 2,000,000円
けいはんなコンベン ション誘致推進事業 (文化学術研究都市 (推進課)	けいはんな学研都市に国際会議や学会等を誘致し、国際的な研究交流やビジネス交流を促進するためのプロモーション活動等を展開する。 指標:国際会議等への参加者数 目標:200人 実績:430人(日本・スペイン・デジタルシンポジウム)
	 2 施策の実施状況 「けいはんなコンベンション誘致推進協議会」によるプロモーション活動を展開し、けいはんな学研都市へのコンベンション誘致を促進した。 (1) 観光・コンベンション誘致に係る商談会などイベントへの参加・出展開催日 令和4年2月16日(水)~2月17日(木) 内容 オンラインによる国内の旅行・観光業者などバイヤーに対する学研都市のPR参加者 セーラー81団体、バイヤー239団体実績商談9件(海外5件、国内4件)

科 目	予	算	現を	湏	決	算	額	主	要	な	施	策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
				PT TENERS			円						(2) オール関西第1回中国大商談会開催日 令和4年3月4日(金)、10日(木)、11日(金)内容中国3省2特別市(広東省・江蘇省・浙江省・北京市・上海市)を中心とした旅行会社とのセミナー・商談会実績商談9件 (3) 日本・スペイン・シンポジウム開催記念「国際情勢講演会」開催日令和3年10月17日(日)内容スペイン・EU・世界との外交の将来についての講演参加者リアル参加者75人、オンライン参加者150人 (4) 日本・スペイン・デジタルシンポジウム「ポストコロナ時代の世界を行く:日本・スペインの視点」開催日令和3年12月2日(木)内容経済安全保障を含む地政学、企業間協力や市民交流をテーマにした、スペインをリアル会場として日本とオンラインで結ぶハイブリッド型シンポジウム参加者リアル参加者30人、オンライン参加者400人 (5) 駐日スペイン大使けいはんな学研都市視察日時令和3年12月7日(火)内容けいはんなプラザ、ATR、サントリーワールドリサーチセンター、福寿園CHA遊学パークの視察 (6) けいはんなMICEタウン国際会議誘致用動画製作国際会議誘致等に活用するため、関西文化学術研究都市推進機構と連携し、けいはんな学研都市の英語PR動画を製作した。
													3 執 行 額 1,800,000円 (負担金)
								事業	化学		·究都	清推進 『市 訳	 施策の趣旨等 ICT等の最新技術を用いて都市・地域の機能やサービスを効率化・高度化し、生活の利便 性や快適性を向上させるとともに、持続的に発展する新たな社会システムとイノベーション を創出し、人が主役で安寧な社会づくりを図る。 施策の実施状況 大学・研究機関、企業、行政等が参画する官民連携のプラットフォームである「京都ビッグデータ活用プラットフォーム」において、データの利活用を促進し新たなサービスの創出 や事業連携を通じ、地域課題の解決や産業活性化を図るため、課題別ワーキング活動やセミナー等をオンラインで実施した。

			全体会議 2回 205人 課題別ワーキング活動 10 591 セミナー 2 55 3 執 行 額 1,000,000円 (補助金)
3 中小企業振興費 (P160)	(348, 427, 550, 000) (320, 550, 翌年度への繰越 事業費繰越額 内訳 12, 115, 090, 000 新型コロナウイ ルス感染症拡大 防止推進費 11, 580, 090, 000 金融・経営一体 刑式採体制命化 320, 550, 決算額の 167, 866, 諸 収 150, 580, 一般財	の財源 (産業労働総務課) は金 010,810 入 068,900	
	23, 666, 666	中小企業金融支援事業(中小企業総合支援課)(産業立地課)	

科 目 予算現額 決 算 額 主 要 な 施 策 施 策 の 実	施 状 況	と 成 果	等
円 内 あんしん借換資金(危機関連科新型コロナウイルス対応緊急) (普通保証及びセーフティネッ新型コロナウイルス対応緊急) (3年間無利子・無担保・保証 災害対策緊急資金 (セーフティネット保証4号) 開業・経営承継支援資金 ー 般 資 金 3 執 行 額	や) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	137件 2, 107 2, 606 134, 341 5, 291 2, 905 19, 156,932 (うち貸付金 2) は技術のみ中央で「対のな中央で「対のな中制のは企業京るる小規模な 実績 14,084社 43,959件 弱みを施したとで、京都府中	, 685, 890, 000円 , 751, 796, 000 , 795, 853, 000 , 428, 192, 000 , 008, 656, 000 , 522, 469, 000 2, 343, 010円 150, 000, 000, 000円) をのための事業、商工が実施する中小企業等 中小企業応援隊」によ 企業・中小企業の経営

建設業 4,168
小売業 10,081
卸売業 1,985
サービス業 13,222
その他 1,978
(2) 商工会、商工会議所等育成等事業
小規模事業者の経営改善等を推進する事業に対して助成した。
ア 商工会及び商工会議所が行う小規模事業者のための経営改善普及事業
(ア) 交付団体 京都商工会議所、京丹後市商工会など 28団体
交 付 額 1,392,832千円
(イ) 経営支援員の配置状況
経営支援員
商 工 会 (20箇所) 105人
商工会議所(8) 87
計 192
(ウ) 活 動 状 況 (A)
経営改善等相談指導 36,587件 創業指導 2,221
創業指導 2,221 記帳指導 7,751
これ
大都市対策特別普及振興事業 1件
地域振興推進事業 12
イ 京都府商工会連合会が行う運営指導事業
(ア) 交付団体 京都府商工会連合会
交 付 額 165,394千円
(4) 商工会指導員等の配置状況
商工会指導員 専門経営指導員 補助員 計
7人 4人 2人 13人
(ウ) 活動状況
商工会現地指導 673回
研修会・講習会 51
広域センター指導 155件 155件 155円 155円 155円 155円 155円 155円
倒産防止対策事業 商工調停士の委嘱 4人 相談件数 10件
(3) 中小企業団体中央会等育成指導事業
中小企業等協同組合等の活発化を図るため、中小企業の組織化や組合等への指導・支援
事業に対して助成した。
ア 交付団体 京都府中小企業団体中央会
交 付 額 158,770千円

科目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	H H	H		イ 指導員等の配置状況
			「京の飲食」安全対策 向上事業 (産業労働総務課)	1 施策の趣旨等 飲食時の感染リスク低減に向けて、京都の飲食店等における安全対策を向上させるため、 ハードとソフトの対策を組み合わせてワンランクアップする取組を、飲食店・業界団体と協働してオール京都で推進する。 2 施策の実施状況 (1) 飲食店等のワンランクアップの感染対策支援 ア CO2濃度データ提供協力金

	交付件数 2,653件 交付額 344,255千円 (2) 飲食店の安全対策に関する専門相談窓口の設置 感染対策に関する相談に技術的な助言を行う相談窓口を設置した。 相談件数 30件 (3) 業界団体・組合と連携した感染予防ガイドライン遵守状況の巡回調査 提供されたCO2濃度データをもとに、店舗(施設)ごとの適切な感染防止対策の巡回調査 を実施した。 巡回店舗数 2,662件 (4) 飛沫防止・換気対策の優良事例の積極的広報 効果的な換気の方法や、換気を「見える化」させるCO2センサーの正しい活用方法についてまとめたガイドブックを作成し、府ホームページや新聞・雑誌等での広報を実施するとともに、換気を推奨する啓発チラシ・卓上ポップを飲食店等へ提供した。
「観光・伝統・食関連」 産業連携事業緊急支援 事業	ガイドブック発行数 20,000部 3 執 行 額 773,098,835円 (うち養託料 311,046,813円) (うち補助金 351,284,819)
争乗 (ものづくり振興課)	組を支援する。 2 施策の実施状況 公益財団法人京都産業21を通じて、中小企業等が連携して行う新たな取組を支援する助成事業を実施した。 交付件数 474グループ(2,290事業者) 交 付 額 533,079千円
飲食店安心・安全対策 応援事業 (産業労働総務課)	3 執 行 額 533,078,913円 (補助金) 1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症の再拡大を防止するため、冬場を迎えるに当たり、より一層の 換気対策など飲食店が取り組むワンランク上の安心・安全対策を促進する。
	2 施策の実施状況 感染拡大防止対策を向上させる取組を行う、「京都府新型コロナウイルス感染症防止対策

科目	予算現額	決 算 額 主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	日 日	認証制度」に基づく認証を取得した飲食店に対し、応援金を支給した。 支給件数 9,437件 支給額 471,850千円 3 執 行 額 495,697,367円
		新型コロナウイルス感染症危機克服戦略推進事業 産業労働総務課 中小企業総合支援課 ものづくり振興課	1 施策の趣旨等 「新型コロナウイルス感染症危機克服会議」の提言である「価値創造型産業の育成」や「多様な交流によるイノベーションの誘発と京都産業の深化」を踏まえ、新たなビジネスモデルの創出や販路開拓等をパッケージで支援する。 2 施策の実施状況 (1) 危機克服応援事業 危機克服委員をアドバイザリーボードに据え、新たなビジネスモデルの創出や企業間の連携に対する伴走支援を実施するプラットフォームを構築した。 交流会等実施回数 4回 (2) 危機克服経営改善応援事業 組合による中小企業の経営改善計画の策定支援や、中小企業等が実施する新たな販路開拓や生産性の向上等の取組に対して助成した。 ア 組合経営改善応援 交付件数 124件 交付額 49,405千円 イ 中小企業経営改善応援 交付件数 128件 交付額 66,430千円 (3) 危機克服緊急連携支援事業 事業継続の危機に瀕する企業等同士が助け合い、深刻な局面を打開するための新たな事業に取り組む企業グループ等に対して助成した。 交付件数 260グループ(996事業者) 交付額 248,238千円
			3 執 行 額 370,692,323円 (うち補助金 370,546,773円)
		金融・経営一体型支援 体制強化事業 (中小企業総合支援課)	金融機関、経営支援団体が一体となった支援体制を府内地域毎に構築し、コロナ禍を乗り

	2 施策の実施状況 (1) 中小企業知恵の経営ステップアップ事業 中小企業等の成長段階に応じた販売促進・設備 る取組や創業・第二創業を支援するため、中小企 通じた助成支援を実施した。 交付件数 674件 交付額 125,904千円 (2) WITHコロナ・POSTコロナチャレンジ事業 コロナ禍でのビジネスモデル転換等をよりき POSTコロナチャレンジ補助金」を創設し、中小企た。 交付件数 183件 交付額 94,926千円	≧業応援隊による訪問コンサルティングを め細かく支援するため、「WITHコロナ・
	3 執 行 額	220,830,218円 (補助金)
支援事業	経営改善緊急 1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が 総合支援課) り、経営環境が厳しさを増している中小企業の事業	
	2 施策の実施状況 新型コロナウイルス感染症による人流抑制や最低 中小企業が行う収益改善に繋がる取組、機器購入等 交付件数 275件 交付額 54,368千円	
	3 執 行 額	54, 367, 829円 (補助金)
	事業継続・承 1 施策の趣旨等 七事業 府内中小企業の円滑な事業継続・事業承継を支援 総合支援課 確保等による第三者承継の支援、事業承継型M&A くり振興課 多様な事業承継パターンに対応した総合的な支援を	へに係る経費負担のための資金支援など、
	2 施策の実施状況 (1) 中小企業事業継続・承継支援強化事業 公益財団法人京都産業21に設置する「京都中人 いて、中小企業の事業承継を支援するため、産業	

科目	予算現額	決 算 額	主要な施策 施策の実施状況と成果等
	P.	a P	等の多様な関係機関と連携し、後継者候補とのマッチング等を実施した。相談件数 1,489件 専門家派遣事業 38回 後継者候補マッチング成約件数 61件 (2) 中小企業事業引継ぎ支援事業 地域の中小企業を事業承継型M&Aにより引き継ぐに当たり必要となる就業規則や経営管理システムの再編・統合、従業員が新しい企業風土に馴染むためのメンタリング研修などに係る経費に対して助成した。 交付件数 6件 交付額 2,314千円 (3) 事業承継特別保証事業 事業承継時に一定の要件の下で、経営者保証を不要とする信用保証制度を活用した融資制度により、専門家の支援・確認を受けた場合に保証料を軽減する助成支援を実施した。 助成件数 5件
			飲食事業者宅配緊急支援事業 (中小企業総合支援課) 1 施策の趣旨等 長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、売上の落ち込みなど、厳しい経営環境にある中小飲食事業者が行う売上確保の取組を支援する。 2 施策の実施状況 京都府内で飲食業を営む中小企業者等が行う宅配に要する経費に対して助成した。 交付件数 693件 交付額 40,754千円
			3 執 行 額 45,875,000円 (補助金)
			食品卸・小売業組合緊 急支援事業 (中小企業総合支援課) まででは、 かかででは、 ができるでは、 ができるでは、 ができるでは、 ができるでは、 できるできるでは、 できるでは、 できるでは、 できるできるでは、 できるでは、 できるでは、 できるでは、 できるでは、 できるでは、 できるでは、 できるでは、 できるできるできるでは、 できるでもできるできるでもできるでもでもできるできるでもできるでもできるできるでもできるでもでもできるでもでもできるでもでもできるでもでもできるでもでもできるでもでもできるでもでもできるでもでもできるでもでもできるでもでもでもできるでもでもでもでも
			2 施策の実施状況 新型コロナウイルス感染症により影響を受けた事業者の組合が、厳しい経営環境を乗り切

		るために実施する事業に対して助成した。 交付件数 25件 交付額 27,557千円 3 執 行 額	27, 659, 000円 (補助金)
(P164) (32,476,577,000)(5,195) 翌年度への繰越 決算額 事業費繰越額 内訳 26,984,031,000 国庫支 安全な「京の食・ 観光」応援事業 - 般	類の財源 (観光室) 医出金 92,377,595	1 施策の趣旨等 新型コロナウィルス感染症の影響により、厳しい経策の強化や新たな事業展開の実施を支援する。 2 施策の実施状況 宿泊事業者が実施する感染症対策に資する物品の購投資等に対して助成した。 交付件数 1,112件 交付額2,186,594千円 3 執 行 額 1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでめ、府民及び隣接府県民に対する府内観光の割引等に	入や新たな事業展開のための前向きな 2,323,000,000円 (補助金) だ府内の旅行業界の需要を回復するた
	インバウンド対策事業 (観 光 室)	 2 施策の実施状況 府民及び隣接府県民による府内観光に対する割引及した。 交付件数 7,399件 交付額 1,832,778千円 3 執 行 額 1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症収束後の海外からの誘客ションを展開する。 	2, 165, 676, 000円 (補助金)

科目	予 算 現 額 決 算 額	主要な施策 施策の実施状況と成果等
科	予算現額 決算額	指標 月標 実績 府域外国人宿泊客数 24.8万人 0.4万人 府域観光入込客数 4,040 2,103 2 施策の実施状況 (1) 海外からの誘客促進事業 ア アジアからの誘客促進 新型コロナウイルス感染症収束後の海外からの誘客に向けて、海外における府情報発信拠点の設置、SNS等を活用した情報発信や市場別海外プロモーション等を実施した。・海外情報発信拠点 2箇所(香港、台湾)・台湾の京都展と連携した観光プロモーション 令和3年9月~10月・台湾における観光セミナー等の実施 令和4年1月末~3月末(77人)
		・台湾・香港の観光情報メディアへのWeb記事掲載
		後の訪日誘客及び府域周遊に向けて、観光プロモーションを実施した。 ・在留外国人向け情報誌への特集記事掲載

	(4) 京都文化交流・コンベンション推進事業 MICE誘致の充実強化を図るため、公益財団法人京都文化コンベンションビューローが 実施する国際会議誘致活動や企業インセンティブツアー等の取組に対して助成した。 国際会議開催件数 5件 参加者数 1,097人(うち海外355人) 3 執 行 額 81,193,841円 (うち 補助金 48,398,000円)
京の修学旅行3密防止 対策等支援事業 (観光室)	WITHコロナ時代における安心・安全なおもてなしのために、修学旅行中の3密の解消に要する取組等を支援する。 2 施策の実施状況 修学旅行中の3密を解消するために追加で必要となるバスの増車や宿泊部屋数の増加等に要する経費に対して助成した。
地域の魅力を活かした	交付件数 543件 交付額 64,342千円 3 執 行 額 72,342,000円 (補助金)
地域の魅力を活かした 観光振興事業 (観光 室)	府内の各地域の魅力をSNS等の主観的データや、位置情報の人流データ等の分析により再発見するとともに、これらを活用できる観光関連事業者を育成し、地域の本物の魅力を活かした持続可能な京都観光を実現する。 指標: 府域観光入込客数 目標: 4,040万人 実績: 2,103万人 2 施策の実施状況
	(1) 京都観光データ収集・分析事業 京丹後市夕日ヶ浦エリアを対象に観光データを収集・分析し、観光地としての強みや観 光客の動向・プロフィール像を把握するとともに、分析結果に基づくWebプロモーション を地域観光事業者とともに実施した。 (2) 観光人材育成事業 データに基づき地域の魅力を活用した商品サービスの提供やコンテンツの開発等ができる人材の育成を目的に、観光人材育成プログラムを開発した。

科目	予 算 現 額 決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	P P		(3) 京都観光チャレンジ事業 民間の柔軟かつ先進的な発想によるアイディアを公募し、24時間ライブカメラを活用した府内観光地の情報発信や観光スポットのVR動画の提供等、京都観光の魅力を向上させる取組を展開した。 3 執 行 額 60,000,000円 (補助金)
		観光事業者等緊急応援 事業 (観光室)	1 施策の趣旨等 中小旅行事業者による旅行商品造成に対する補助及び飲食店等で利用可能なクーポン券の 抽選配布を実施する。
			2 施策の実施状況 (1) 府内周遊の旅行商品造成に対する補助 府内観光の旅行商品を造成する府内の中小旅行事業者に対し、安心・安全対策や広報等 に係る経費を助成した。 交付件数 179件 交付額 5,917千円 (2) 観光による府内消費の喚起 平日に府内の宿泊施設に宿泊する旅行者を対象に、抽選で府内の土産物店や飲食店等で 利用可能な3千円分のケーポン券を発行した。 申込者数 50,119人 当選者数 29,189
			3 執 行 額 47,018,123円 (うち補助金 5,916,885円) (うち負担金 41,101,238)
		「食の京都」推進事業 (観光室)	1 施策の趣旨等 府域共通の観光資源でもある「食」を目的とした観光誘客を促進するため、「食の京都」を キーワードに地域の注目食材を活用した地域の魅力向上・消費地での認知度向上を図る。 指標:府域観光入込客数 目標:4,040万人 実績:2,103万人
			2 施策の実施状況 (1) 生産地エリアでの地域の食材を活かした魅力向上 SNSで料理に関する動画を配信している者による地元料理や食材、観光スポットを紹介

	する記事及び動画を制作しWebで配信した。 動画数 8本 記事数 12 (2) 「食の京都」の情報発信・誘客促進 ア ファクトブックの作成・配布 地域の食の魅力を語れる「人」の活動をストーリーとして編集したファクトブックを 作成し、メディアへの配布を実施した。 イ メディアを招待し、府域の「食」の魅力を実際に体験してもらうことで、理解促進及 び認知度向上を図った。 (7) お茶の京都及び竹の里・乙訓エリア 開催日 令和4年2月24日~25日 参加者 延べ3社 記事数 3社4本 (4) 海の京都エリア 開催日 令和4年3月5日~7日 参加者 1社 記事数 1社1本 ウ 京都府文化観光大使による情報発信 京都府文化観光大使の発信力を活かし、府域の道の駅で販売されている地元産品等の 魅力を紹介するファムツアーを実施し、ラジオ番組を通じて情報発信した。 開催日 令和3年10月7日、15日、28日 放送回数 4回 エ メディアとの連携による情報発信 旅と食をテーマとした「もうひとつの京都」エリアの情報発信を行った。 記事数 2社2本 オ 公益社団法人京都府観光連盟運営Webサイト「食らし旅」での情報発信 記事数 14本 3 執 行 額 26,700,000円 (補助金)
京都・かぐや姫観光推 進事業 (観 光 室)	1 施策の趣旨等 世界的観光都市・京都市に近接し、多くの歴史・文化遺産、自然等の資源を有する「竹の 里・乙訓」を中心に、「京都・かぐや姫観光」をテーマに賑わいを創出する。
	2 施策の実施状況(1) 竹の里・乙訓「もの・こと展」乙訓スタイルの実施 新型コロナウイルス感染症の影響により従来の大物産展の開催が困難であることから、

科目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円			スマートフォンを活用したデジタルスタンプラリーの開催と、まち歩きや自転車を活用した観光周遊マップの製作による観光振興を実施した。 (2) 「竹の里・乙訓」のパンフレット制作 向日市・長岡京市・大山崎町のほか、近隣の京都市洛西エリアの情報も含め、旅行会社 向けパンフレットを制作した。 (3) メディアを活用した情報発信 「竹の里・乙訓」エリアの知名度向上のため、Webサイト等を活用し情報発信を行った。 ア Webサイト「京都乙訓」とをかし」の掲載情報の充実 イ 「竹の里・乙訓」の食や文化の情報発信 記事数 3社4本 (4) 背割堤さくらまつりに合わせたさくらであい館と阪急西山天王山駅を結ぶ有料シャトルバスの運行 ア シャトルバス運行 開催期間 令和4年3月26日~4月5日 乗車乗員 4,816人 場 所 淀川河川公園背割堤地区(八幡市) 運行本数 220本 イ ラジオスポット広報 放送期間 令和4年3月19日~3月27日 放送回数 63回(1日7回×9日間) ・ 番組内パブリシティ広報 放送日時 令和4年3月23日~26日 放送日時 令和4年3月23日~26日 放送回数 4回 3 執 行 額 12,544,000円 (うち補助金 8,244,000円)
			「もうひとつの京都」 観光PR事業 (観 光 室)	

	都」の魅力を積極的に発信し、観光誘客を促進した。 名 称 京都府観光案内所・東京(KYOTO tourist information center・TOKYO) 場 所 東京都千代田区丸の内 丸の内トラストタワーN館1階 TIC TOKYO(TOURIST INFORMATION CENTER) 営業時間 10:00~19:00 (年中無休・年末年始を除く) 業務内容 ア 京都府専用コンシェルジュの配置 イ スカイブ連携による観光案内 ウ チャットワーク導入によるデータの共有、管理 エ パンフレット・チラシの配架、ポスターの掲示 オ 館内モニターでの観光プロモーション映像の放映 来館者数 168,266人 (2) 全国の物産展における「もうひとつの京都」情報の発信 「もうひとつの京都」の魅力を発信し、全国から府域へ観光客を誘導するため、全国各地 で開催される「京都物産展」の場を活用し、観光プロモーションを実施した。 百貨店広告への「もうひとつの京都」PR記事掲載 14箇所 「もうひとつの京都」PRプース設置 14 「もうひとつの京都」特産品が当たる抽選会の実施 6 3 執 行 額 9,838,000円 (うち補助金 4,838,000円)
文化観光推進事 (観光室	

科目	予算現額 決算額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	PI PI		参 加 者 538人 イ 寺社等の文化資源等を活用したモデルツアーの開催 開催日 令和 3 年10月30日 参加者 64人 3 執 行 額 4,000,000円 (補助金)
		ミニMICE等誘致促進 事業 (観光室)	1 施策の趣旨等 学会等大規模なものだけでなく、会議や招聘旅行等小規模なMICE(ミニMICE)や、農家 民宿等地域資源を活用した多様なMICEを府域へ誘致する。
			指標:府内における国際会議開催件数 目標:435件 実績:5件 2 施策の実施状況 MICE開催を検討する団体に対して広く情報発信を行うため、公益財団法人京都文化交流 コンベンションビューローやDMO等と連携し、府域におけるMICE開催の魅力を紹介する Webページを制作し、同法人のWebサイト上に掲載した。
			3 執 行 額 1,000,000円 (委託料)
		「京の七夕」・「京都・ 花灯路」連携府域周遊 事業 (観光室)	1 施策の趣旨等 「京の七夕」及び「京都・花灯路」と連携・連動した事業を府域で展開することにより、府 域への周遊観光を促進する。 指標:連携イベント数 目標:30件 実績:2件
			2 施策の実施状況 府域開催イベントに「京の七夕」風鈴灯、「京都・花灯路」行灯を貸出しした。 「京都・花灯路」行灯 1カ所(竹の径・かぐやの夕べ(向日市))
			3 執 行 額 52,880円 (使用料)

科	目	子	,算	Į Į	見	額	決	Ļ	算	額	Į	主	要	な	施	策					ħ	他	策	の		実	Ť.	沲	状	況	٤	=	成	果	等		
						円					円						((5) 問 ア	高実参消工ま題/写着上開	施人者力、意ネゟ加前催	校日数教ル学識ル教育に対している。	令12/推費等高示	生事業 の普及 へ出育	F10月 養・啓 対講生リコ 3 年10	30 発 等 ー つ 月	日を通りをダショ	てい、等ン	ī、消 、消	背費者 費者		の受討					運醸成とともに	-
																	3	執	L	行		額											(う			2, 017F 36, 62)円)

第8款 土 木 費

科目	予 算 現 額 決 算 額	主 要 な 施 策	施策の実	施 状 況 と	成果等
科 目 1 土木管理費 1 土木総務費 (P166)	7,089,887,000 (14,928,452,500) 翌年度への繰越 事業費繰越額 2,518,705,000 (地域密着型社会) 資本整備事業費 872,252,128 府民協働型インフラ保全事業費 1,596,452,872 中小企業等緊急 支援強化事業費 50,000,000	地域密着型社会資本整 (監理課) 1 施策の表 (を	管理を行い、安心・安全 施行箇所数 1711箇所 38 5 11 225 Aな地域づくりに生かすか に関する府民の気付きる 安全対策や災害防止など 施行箇所数 498箇所 431 2 15	全な活用を図る。
		港湾	事業 計		

科目	予算現額	決算額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	P	円	建設DX促進事業 (指導検査課)	1 施策の趣旨等 建設分野における働き方改革や生産性向上のため、ICT技術を習得するための研修等を実施するとともに、工事現場における立会などの現場確認業務のリモート化を促進する。 2 施策の実施状況 (1) ICT技術を習得するための支援 ICT活用工事の普及拡大を図るため、民間事業者等との連携により、ICT活用工事の講習会・現場体験会を実施した。 (2) 施工管理業務の効率化への支援 事業者にウェアラブルカメラを貸出し、リモート化による遠隔臨場を実施することで、施工管理業務の効率化を図った。 3 執 行 額 4,000,000円
3 建築指導費 (P168)	112, 927, 000 (251, 942, 000) 翌年度への繰越 事業費繰越額 29, 930, 000 住宅耐業費 4,630,000 緊急輸送物耐震化 支援事業30,000 変多。 25,300,000	(121,639,186) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 13,740,000 繰 越 金 7,231,000	(建築指導課)	1 施策の趣旨等 住宅の耐震診断及び耐震改修等に係る府民の負担の軽減を目的に、事業を実施する市町村への支援等を行い、府内の住宅の耐震化の促進を図る。 指標 目標 実績 年間本格改修戸数 1,000戸 130戸 年間簡易改修戸数 1,000戸 591 2 施策の実施状況 (1) 耐震診断を実施する市町村への支援 国制度を活用し、耐震診断を実施する市町村に経費の一部を助成した。 助成市町村 24市町村 診断数 木造住宅628戸 (2) 耐震改修を実施する市町村への支援 国制度を活用し、耐震改修を実施する市町村に経費の一部を助成した。 助成市町村 21市町村 本格改修戸数 130戸 簡易改修戸数 591 3 執 行 額 52,300,000円 (補助金)

	大規模建築物耐震化支 援事業 (建築指導課) 緊急輸送道路沿道建築 物耐震化支援事業 (建築指導課)	1 施策の趣旨等 大規模建築物の耐震設計及び耐震改修に係る所有者の負担の軽減を目的に、事業を実施する市町村への支援等を行い、府内の民間大規模建築物の耐震化の促進を図る。 2 施策の実施状況 国制度を活用し、耐震設計を実施する市町村に経費の一部を助成した。 助成市町村 1市 耐震設計棟数 1棟 3 執 行 額 833,000円 (補助金) 1 施策の趣旨等 緊急輸送道路沿道建築物の耐震診断等に係る所有者の負担の軽減を目的に、耐震診断等を 実施する所有者への支援等を行い、府内の緊急輸送道路沿道建築物の耐震化の促進を図る。 2 施策の実施状況 国制度を活用し、耐震診断等を実施する所有者に経費の一部を助成した。 耐震診断棟数 6棟 3 執 行 額 29,256,000円 (補助金)
2 道路橋りよう (P170) 4,952,210,847 (6,903,480,000) 翌年度への繰越 事業費繰越額 157,648,644 (生活・交通基盤)整備事業費 121,086,644 地域密着型社会 資本整備事業費 36,562,000 2,000 繰越金 72,010,847	業 (道路計画課) (道路管理課)	1 施策の趣旨等 京都府総合計画に基づき、「災害からの安心・安全」「成長・交流・暮らしの基盤づくり」 等に向けた基盤整備を着実に推進する。 2 施策の実施状況及び執行額 (1) 道路維持管理 道路及びトンネルの照明、防災設備等の保守管理を行った。 執行額 220,598,000円 (2) 道路維持修繕 道路構造物(側溝・暗きょ等)及び舗装道の維持修繕等を行った。 執行額 478,271,649円 (3) 単費除雪事業 雪寒地域及び雪寒地域外の道路除雪を行った。 執行額 1,187,000,000円

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	府 債 1,206,000,000 一般財源 2,621,448,420	地域密着型社会資本整 備事業 (道路管理課)	(4) 地域活力基盤創造事業 雪寒地域の道路除雪の実施及び除雪機械の購入を行った。 ア 除雪事業 執 行 額 624,879,839円 イ 雪寒機械整備事業 機械名 台数 執 行 額 26,290,000円 1 施策の趣旨等 府民生活や地域の安心・安全の確保につながる、きめ細やかな小規模改良事業を行う。 2 施策の実施状況及び執行額 (1) 道路維持管理 道路及びトンネルの照明、防災設備等の保守管理を行った。 執 行 額 247,595,732円 (2) 道路維持修繕 道路構造物(側溝・暗きょ等)及び舗装道の維持修繕等を行った。 執 行 額 2,009,926,816円
3 道路新設改良費 (P170)	事業費繰越額 11,818,489,174 (生活・交通基盤) 整備事業費 10,849,696,062 防災基盤整備事 業費 224,419,008	, , ,	生活·交通基盤整備事業 原子力防災課 道路管理課	1 施策の趣旨等 京都府総合計画に基づき、「災害からの安心・安全」、「成長・交流・暮らしの基盤づくり」 等に向けた基盤整備を着実に推進する。 2 施策の実施状況及び執行額 (1) 地域活力基盤創造事業 社会資本整備総合交付金により道路整備等を行った。 路 線 名 施 行 場 所 執 行 額 国 道 3,965,943,074円 162号 南 丹 市 54,091,100 163号 木津川市 4,590,000 " 笠 置 町 219,667,600 " 南 山 城 村 139,520,700 173号 京 丹 波 町 10,361,300 175号 舞 鶴 市 101,380,000 " 福知山市 92,235,628 176号 " 62,073,000

178-6			
## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	178号	宮津市	115, 018, 706
## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##			
307号 京田 辺市 35, 552, 976 312号 422号 422号 429号 477号 181, 664, 460 477号 181, 664, 660 477G 181, 660, 660 477G	l II		385, 960, 933
第 月後市 432,179,049 429号 143	307号		
423号			
429号 福知山市 181, 684, 460 477号 18			
# 177号			
# 主要地方道			
主要 地方道			to the state of th
(H3 73 119	
大津南鄉宇治線 宇治 市 19,451,400 京都 宇治 線 " 10,541,910 京都 宇治 線 " 37,520 37,520 城陽 宇治 線 " 37,520 城陽 宇治 線 " 37,688,700 八盾 木津線 京田辺市 21,685,400 上组 城陽線 井 手町 53,937,577 大津南鄉宇治線 芹治田原町 61,603,278 木津 信楽線 木津川市 104,807,390 天理加茂木津線 " 38,450,540 和 東町 1313,261,050 上野南山城線 南山城村 11,614,610 和 方 141,568,242 豊中 亀 岡線 " 20,000,000 元		長岡京市	
京都宇治線 " 83,482,300			
字 治 淀 線 " 33,482,300 大 澤字 治線 " 377,520 切城隔字 治線 " 37,058,700 以			
大津宇治線			
城陽宇治線			to the state of th
八幡木津線 京田辺市 21,685,400 上 14 本 7 年 1			
上 狛 城 陽線 井 手 町 53,937,577 大津南郷宇治線 宇治田原町 61,603,278 木津 市 104,807,390 大理加茂木津線			
大津南郷宇治線 宇治田原町 61,603,278 木津 信楽線 木津川市 104,807,390 天理加茂木津線			
木津信楽線 木津川市 104,807,390 天理加茂木津線			
天理加茂木津線			
木津信楽線 和東町 213,261,050 上野南山城線 南山城村 11,614,610 枚方亀岡線 亀岡市 141,568,242 豊中亀岡線 "20,000,000 茨木亀岡線 "70,129,800 宮前千歳線 "104,289,180 宮前千歳線 "104,289,180 園部平屋線 "48,567,172 亀岡園部線 "26,133,100 京都広河原美山 "26,133,100 京都広河原美山 "122,239,360 園部 能勢線 "54,698,524 京丹波三和線 京丹波町 26,335,755 舞鶴野原港高浜 舞鶴市 75,000,000 小倉西舞鶴線 "472,470,144 舞鶴和知線 "34,915,100 舞鶴福知山線 "34,915,100 舞鶴福知山線 "14,714,000 志高西舞鶴線 "1714,000			
上野南山城線 南山城村 11,614,610 枚方亀岡線 亀 岡 市 141,568,242 豊中亀岡線 "20,000,000 茨木亀岡線 "70,129,800 宮前千歳線 "104,289,180 核部宮島線 "104,289,180 核部宮島線 南丹市 117,620,300 園部平屋線 "48,567,172 亀岡園部線 "26,133,100 京都広河原美山 "26,133,100 京都広河原美山 "122,239,360 國部能勢線 "54,698,524 京丹波三和線 京丹波町 26,335,755 舞鶴野原港高浜 舞鶴市 75,000,000 極高西舞鶴線 "472,470,144 舞鶴和知線 "34,915,100 舞鶴和知線 "34,915,100 舞鶴和知線 "34,714,000 志高西舞鶴線 "14,714,000 志高西舞鶴線 "14,714,000 志高西舞鶴線 "316,552,645			
大方亀岡線			
豐中亀岡線 "20,000,000 茨木亀岡線 "70,129,800 宮前千歳線 "104,289,180 綾部宮島線 南丹市 117,620,300 園部平屋線 "48,567,172 亀岡園部線 "26,133,100 京都広河原美山 "122,239,360 駿 即 能勢線 "54,698,524 京丹波三和線 京丹波町 26,335,755 舞鶴野原港高浜 舞 鶴市 75,000,000 小倉西舞鶴線 "472,470,144 舞 鶴 和 知 線 "472,470,144 舞 鶴 和 知 線 "472,470,144 舞 鶴 和 山線 "474,400 志高西舞鶴線 "316,552,645			
茨木亀岡線			
宮前千歳線			
接部宮島線 南 丹 市 117,620,300 園部平屋線 " 48,567,172 亀岡園部線 " 26,133,100 京都広河原美山 " 122,239,360 園部 能勢線 " 54,698,524 京丹波三和線 京丹波町 26,335,755 舞鶴野原港高浜 舞 鶴 市 75,000,000 小倉西舞鶴線 " 472,470,144 舞 和 知 線 # 34,915,100 舞鶴福知山線 " 14,714,000 志高西舞鶴線 " 316,552,645			
園部平屋線 " 48,567,172 亀岡園部線 " 26,133,100 京都広河原美山 " 122,239,360 園部能勢線 " 54,698,524 京丹波三和線 京丹波町 26,335,755 舞鶴野原港高浜 舞 鶴 市 75,000,000 小倉西舞鶴線 " 472,470,144 舞鶴和知線 " 34,915,100 舞鶴福知山線 " 14,714,000 志高西舞鶴線 " 316,552,645			
亀岡園部線 " 26,133,100 京都広河原美山 " 122,239,360 園部能勢線 " 54,698,524 京丹波三和線 京丹波町 26,335,755 舞鶴野原港高浜 舞 鶴 市 75,000,000 小倉西舞鶴線 " 472,470,144 舞 鶴 和 知 線 " 34,915,100 舞鶴福知山線 " 14,714,000 志高西舞鶴線 " 316,552,645			
京都広河原美山			
線		"	26, 133, 100
京丹波三和線 京丹波町 26,335,755 舞鶴野原港高浜 舞 鶴 市 75,000,000 線 小倉西舞鶴線 " 472,470,144 舞 鶴 和 知 線 " 34,915,100 舞 鶴 和 知 線 " 14,714,000 志 高 西 舞 鶴 線 " 316,552,645	京都区河原美山 	<i>II</i>	122, 239, 360
京丹波三和線 京丹波町 26,335,755 舞鶴野原港高浜 舞 鶴 市 75,000,000 線 小倉西舞鶴線 " 472,470,144 舞 鶴 和 知 線 " 34,915,100 舞 鶴 福 知 山 線 " 14,714,000 志 高 西 舞 鶴 線 " 316,552,645		<i>II</i>	54, 698, 524
舞鶴野原港高浜 舞 鶴 市 75,000,000 線 小倉西舞鶴線 " 472,470,144 舞鶴和知線 " 34,915,100 舞鶴福知山線 " 14,714,000 志高西舞鶴線 " 316,552,645		京 丹 波 町	26, 335, 755
線			
舞鶴和知線#舞鶴福知山線#志高西舞鶴線#	線		
舞鶴福知山線#14,714,000志高西舞鶴線#316,552,645			The state of the s
志高西舞鶴線 " 316, 552, 645			
小 浜 綾 部 線			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	小 浜 綾 部 線	綾 部 市	568, 771, 168

科	目	予:	算玉	見		決	算	類	湏	主	要	な	施	策	施策の実	施	状 沥	兄 と 成 果 等
					円				円						路線名	施行均	易所	執 行 額
															福知山綾部線	綾 部		11, 430, 138円
															綾部大江宮津線	"		7, 670, 800
															舞鶴綾部福知山 線	"		37, 714, 353
															福知山綾部線	福知し	lı it	11, 090, 000
															綾部大江宮津線	IM /II I	TI 113	454, 410
															舞鶴福知山線	"		56, 847, 104
															市島和知線	"		66, 619, 947
															山東大江線	"		54, 000, 000
															舞鶴綾部福知山			
															線	"		266, 704, 199
															綾部大江宮津線	宮津	市	14, 300, 000
															舞 鶴 宮 津 線	"		27, 000, 000
															香美久美浜線	京丹	复 市	6, 193, 000
															網野峰山線	"		103, 435, 333
															弥 栄 本 庄 線	伊根	囲丁	5, 160, 300
															宮津養父線	与 謝 野	野 町	255, 465, 500
															一般府道			2, 380, 011, 967
															伏 見 向 日 線	向 日	市	10, 498, 986
															志水西向日停車 場線	"		6, 000, 000
															長法寺向日線	長岡原	京市	7, 580, 064
															奥海印寺納所線	大山山		38, 174, 000
															向島宇治線	宇治		695, 065, 821
															二尾木幡線	"	·	109, 255, 522
															山城総合運動公 園城陽線	城陽	市	398, 597, 900
															内里城陽線	"		128, 891, 600
															京都八幡木津自 転車道線	八幡	市	31, 806, 360
															11	京田i	辺 市	74, 701, 000
															和 束 井 手 線	井 手		117, 929, 181
															京都八幡木津自 転車道線	木津丿		19, 253, 400
															和束井手線	和束	囲丁	1, 196, 800
															天王亀岡線	亀岡		1, 812, 200
															会 山 須 知 線	京丹》		83, 821, 598
															物部西舞鶴線	舞鶴		2, 774, 200

由良金ヶ岬上福 井線	"	10, 000, 000
私市大江線	福 知 山 市	84, 856, 600
小 坂 青 垣 線	"	160, 317, 940
上延利線	宮津市	83, 400, 900
久美浜気比線	京 丹 後 市	5, 600, 100
大 宮 岩 滝 線	<i>"</i>	19, 674, 520
明田京丹後大宮 停車場線	"	15, 834, 255
掛津峰山線	<i>II</i>	249, 134, 220
浜 詰 網 野 線	<i>II</i>	8, 977, 100
岡 田 浦 明 線	"	6, 919, 100
鱒 留 但 東 線	<i>II</i>	7, 938, 600
小計88路線		10, 159, 536, 290
府 内 全 域		1, 700, 052, 349
事 務 費		169, 532, 533
計		12, 029, 121, 172
(2) 道路新設改良事業		
	民改良区間等の改良を行った	
路線名	施 行 場 所	執 行 額
国 道 163 号	木 津 川 市	1,475,100円
国 道 173 号	綾 部 市	4, 744, 300
国 道 175 号	福 知 山 市	6, 376, 700
国 道 176 号	"	28, 909, 700
国 道 178 号	宮津市	208, 105, 100
"	京 丹 後 市	42, 716, 300
国 道 307 号	城陽市	532, 434, 269
"	宇治田原町	844, 727, 340
国 道 312 号	京 丹 後 市	314, 111, 009
国 道 426 号	福 知 山 市	14, 713, 600
国 道 429 号	<i>II</i>	101, 909, 795
伏見柳谷高槻線	長 岡 京 市	19, 545, 900
宇 治 淀 線	宇治市	27, 748, 100
宇治木屋線	宇治田原町	1, 669, 640, 035
"	和東町	638, 672, 393
枚 方 亀 岡 線	亀 岡 市	52, 533, 823
京都広河原美山 線	南丹市	65, 975, 600
福知山停車場線	福 知 山 市	879, 445
舞鶴福知山線	<i>II</i>	107, 431, 152
市島和知線	"	64, 120, 000

科	目	予 算 現 額	決 算	算 額	主要	なり	施策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
		円		円				路線名 施行場所 執行額
								山東大江線 福知山市 56,901,000円
								二尾木幡線 宇治市 63,427,178
								和 束 井 手 線 井 手 町 48,430,900
								和東町 14,264,144
								園部停車場線 南 丹 市 16,707,236
								田井中田線 舞鶴市 66,105,600
								余部下舞鶴港線 "128,306,024
								由良金ヶ岬上福 "4,737,700 井線
								天の橋立線 宮津市 55,706,122
								小計29路線 5, 201, 355, 565
								府 内 全 域 46,063,050
								事 務 費 91,003,719
								計 5, 338, 422, 334
								(3) 民生安定施設整備事業
								防衛施設周辺の道路改良を行った。
								路線名 施行場所 執行額
								国 道 178 号 京 丹 後 市 71,321,200円
								伊 根 町 190,770,800
								網 野 岩 滝 線 京 丹 後 市 84,485,920
								浜 丹 後 線 " 435, 836, 180
								間 人 大 宮 線 " 337,724,620
								小計 5 路線 1, 120, 138, 720
								事 務 費 5,882,033
								計 1, 126, 020, 753
								(4) 原子力防災対策事業
								UPZ内の市町における避難路等の改良を行った。
								箇 所 名 施 行 場 所 執 行 額
								京丹波三和線 京丹波町 93,403,272円
								舞鶴宮津線 宮津市 29,921,518
								長谷運動公園 南 丹 市 15,500,000
								計 3 箇所 138, 824, 790
					防災基盤	盤整備事 路管理:		1 施策の趣旨等 府民の安心・安全を守るための防災基盤整備について、ハード対策を実施する。
						-H H-E	** /	2 施策の実施状況及び執行額
								(1) 緊急防災事業

	====================================	
路線名	施行場所	執 行 額
国道 162 号	南丹市	1, 370, 000円
国 道 173 号	京丹波町	6, 083, 154
— ~	福知山市	9, 807, 062
国 道 175 号	"	12, 427, 800
国 道 176 号	与 謝 野 町	314, 500
国 道 178 号	舞鶴市	2, 635, 400
	宮津市	50, 546, 879
<i>II</i>	伊根町	675, 331
国 道 307 号	宇治田原町	5, 861, 390
国 道 312 号	京丹後市	6, 981, 590
宇治木屋線	宇治田原町	4, 358, 100
天理加茂木津線	木津川市	13, 368, 300
笠置山添線	笠置町	13, 238, 153
木 津 信 楽 線	一 一 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	16, 960, 691
生駒精華線	精華町	6, 859, 794
枚 方 亀 岡 線	亀 岡 市	3, 243, 058
豊中亀岡線	"	1, 541, 153
園 部 平 屋 線	南丹市	712, 000
京都広河原美山線	"	5, 103, 300
京都日吉美山線	<i>''</i>	1, 897, 500
園 部 能 勢 線	<i>II</i>	3, 234, 500
舞鶴野原港高浜 線	舞鶴市	4, 290, 000
小倉西舞鶴線	<i>''</i>	95, 700
小 浜 綾 部 線	綾 部 市	7, 034, 879
市島和知線	福 知 山 市	5, 339, 665
笠 置 公 園 線	笠置町	4, 118, 400
金河内地頭線	舞鶴市	2, 669, 500
下野条上川口停 車場線	福知山市	1, 578, 188
味 土野 大 宮 線	京 丹 後 市	1, 059, 000
岡 田 浦 明 線	"	2, 016, 831
小計30路線		195, 421, 818
府内全域		25, 348, 787
事 務 費		8, 126, 318
計		228, 896, 923
(2) 防災対策事業		
大規模災害に備えるため	、災害のおそれのある箇所等	の整備を行い、防災対策の推進を

科	■	予	算	現	額	決	算	額	主	要	な	施	策	施策	の 実	€ 旅	色	状	況	ع		成	果	:	等	
					円			円						図った。												
														路線名		旃:	行 場	2 6F						ź	执行 客	酒
														国道 162 号			丹								118, 50	
														国道173号			,」 知 山								347, 17	
														国道 175 号			鶴								517, 80	
														国 道 175 号			謝野								302, 00	
														国道 178 号			鶴								502, 60 518, 60	
														四 追 170 与			津								100, 00	
														」 国道 307 号			一/手 台田原								305, 70	
														木津信楽線			東								303, 70 301, 80	
														京 洋 信 采 線 園 部 平 屋 線			丹								127, 70	
																判	Ħ	נוו								
														京都広河原美山 線			"							1, !	516, 90	00
														舞鶴和知線		舞	鶴	市						5, 5	500, 00	00
														網野峰山線			丹後								918, 90	
														小計12路線				•							975, 07	
														事 務 費											158, 27	
														計											133, 35	
														(3) 地域防災対策事業										,	,	
														大雨等異常気象時の通			内の危		箇所(の整体	帯を行	亍い、	通	行規	制に。	よる孤立集落
														や大規模な迂回の解消を	を凶った	-	/- I=								·	-T
														路線名			行場								执行 客	
														国道 178 号			津								756, 50	
														国 道 312 号		兄:	丹 後	党巾							300, 00	
														大宮岩滝線			"								510, 00	
														井 辺 平 線			//								034, 00	
														計4路線										11, (500, 50	00
									地域	宓美	开川 之十	△ 咨	★敕	1 施策の趣旨等												
									備事	業			华 罡	」の成の趣自寺 府民生活や地域の安心・	・安全の	確保は	こつな	なが	る、き	きめ糾	まかか	かな!	小規	模改	(良事業	業を行う。
									(道路	各計画各建設	ひ課 しんりん かんりん かんりん かんりん かんりん かんりん かんりん かんりん)	2 施策の実施状況及び執行	行額											
									(追遊	各管理	里課 _	/	(1) 道路改良事業						±						. . — .
														幅員の狭小等により道	直路交通	を阻害	害して	てい	る幹約	尿道路	8等(の改良	艮を	行し	1、道路	路交通の円流
														化を図った。		عد	/- I-								·_ /	- =
														路線名			行場								执 行 客	
														八幡木津線		京	田辺	山市						5, 8	300, 00	四円

上狛城陽線	井 手 町	1, 250, 000
宇治木屋線	宇治田原町	6, 801, 600
"	和東町	3, 053, 927
亀 岡 園 部 線	亀 岡 市	5, 090, 800
宮前千歳線	"	2, 291, 000
綾部宮島線	南丹市	54, 966, 000
京都広河原美山線	II .	12, 047, 108
京都日吉美山線	"	6, 600, 000
園 部 能 勢 線	"	2, 261, 600
宮 前 千 歳 線	"	660, 244
日吉京丹波線	"	19, 143, 300
京丹波三和線	京 丹 波 町	5, 321, 800
舞鶴野原港高浜 線	舞鶴市	714, 300
小倉西舞鶴線	"	5, 170, 866
志高西舞鶴線	"	16, 106, 485
小 浜 綾 部 線	綾 部 市	11, 882, 949
市島和知線	福 知 山 市	2, 062, 500
舞鶴綾部福知山 線	"	13, 608, 200
網 野 岩 滝 線	京 丹 後 市	3, 748, 900
浜 丹 後 線	<i>II</i>	6, 171, 000
伏 見 向 日 線	向 日 市	15, 894, 814
長法寺向日線	長 岡 京 市	7, 078, 536
向 島 宇 治 線	宇治市	30, 433, 056
山城総合運動公 園城陽線	城陽市	43, 377, 868
長尾八幡線	八幡市	25, 000, 000
和束井手線	井 手 町	7, 248, 100
宇治田原大石東 線	宇治田原町	681, 200
和束井手線	和東町	5, 765, 100
柚原向日線	亀 岡 市	13, 337, 500
中地日吉線	南丹市	2, 079, 025
富田胡麻停車場 線	"	17, 766, 700
上野水原線	京 丹 波 町	14, 515, 436
地頭四所停車場 線	舞鶴市	2, 320, 000
由良金ヶ岬上福 井線	"	30, 000, 000

科	目	予	算	現		 ÷ :	算	額	主	要	な	施	策	施策の)実	施	状	況	٤	成	果		等		
					円			円						路線名	施	色 行 均	昜 所						執行	額	
														綾 部 大 江 線	級	夌 部	市					14,	885,	395円	
														"	褔	畐知 L	山市					26,	778,	515	
														上夜久野停車場 線		"							600,	000	
														小坂青垣線		"						8	479,	900	
														間人大宮線	京	10 円 1							440,		
														小計40路線	,,	, , , , ,	~ ''				4		434,		
														府内全域									786,		
														事務費									500,		
														計							5		720,		
														(2) 広域幹線アクセス道路割	整備事業							,	,		
														広域幹線道路へのアクセ		D改良	を行	った。							
														路線名		色 行 均		-					執行	額	
														国 道 163 号	<u>~</u>	至 置	町							000円	
														国 道 175 号	舞	葉 鶴	市						363,	000	
														国 道 178 号	京	1. 丹 往	复 市					13,	892,	069	
														"	伊	尹根	囲丁					9,	499,	400	
														国 道 307 号	切	珑 陽	市					4,	359,	600	
														"	宇	F治田.	原町				1	97,	625,	048	
														国 道 372 号		有 丹						24,	474,	273	
														国 道 423 号	亀	11 日	市						862,		
														国 道 477 号		"							000,		
														"	南	有 丹	市						113,		
														小計10路線							2		188,		
														府内全域									345,		
														事 務 費									500,		
														計							2	72,	034,	097	
														(3) 道路企画調査事業											
														道路整備に係る基礎調査 の推進を図った。	登等を行い	1、整	備に	必要な	基本記	†画を	作成	し、	計画	画的な道	道づくり
														の推進を図りた。 路線名	松	色 行 均	부태						執行	安百	
														国道 178号		U 1 J A								400円	
														広野綾部線		支 部							625,		
														小計2路線	กเร	ᆺ	נוי						482,		
														府内全域									291,		
														事務費									939,		
														·····································									712,		
															堂車 堂							50,	,	.00	

	困難箇所に限定した小規模改	マスタイプ (R)
化を図った。	th 12 18 CC	보는 소프 호프
路線名	施 行 場 所	執行額
府 内 全 域		91, 092, 041円
事務費		1, 000, 000
計		92, 092, 041
	差解消等、きめ細やかな小規	記模道路改良を実施し、安心・安全 ・ フェ
で快適なみちづくりの推進		
路線名	施 行 場 所	執 行 額
国 道 163 号	笠 置 町	4,655,200円
ll ll	南 山 城 村	21, 688, 838
国 道 176 号	福 知 山 市	4, 800, 000
国 道 178 号	宮津市	5, 581, 200
国 道 429 号	福 知 山 市	3, 247, 400
国 道 477 号	亀 岡 市	1, 500, 000
国 道 482 号	京 丹 後 市	1, 646, 388
大山崎大枝線	長 岡 京 市	6, 486, 000
宇治淀線	宇治市	92, 400
八幡宇治線	"	31, 831, 652
上狛城陽線	城陽市	1, 038, 400
八幡木津線	京田辺市	12, 745, 162
八幡宇治線	久御山町	8, 593, 200
上狛城陽線	井 手 町	6, 517, 700
宮前千歳線	亀 岡 市	25, 036, 880
園 部 平 屋 線	南丹市	20, 207, 070
園 部 能 勢 線	"	8, 529, 400
小倉西舞鶴線	舞鶴市	1, 865, 600
福知山綾部線	綾部市	5, 692, 500
綾部大江宮津線	//X LI3 1/3	3, 034, 900
舞鶴綾部福知山		
線	"	3, 179, 300
福知山綾部線	福 知 山 市	2, 751, 100
舞鶴福知山線	// // // // // // // // // // // // //	8, 147, 200
志水西向日停車場線	向 日 市	10, 064, 400
宇治小倉停車場線	宇治市	26, 400
八幡城陽線	城陽市	2, 000, 000
和束并手線	井 手 町	9, 084, 900
東掛小林線	亀岡市	4, 673, 900
大 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		4,013,300

科 目	予算現額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	P	P		路線名 施行場所 執行額 園部停車場線 南 丹 市 2,455,000円 余部下舞鶴港線 舞 鶴 市 735,900 私 市 大 江 線 福 知 山 市 2,743,063 天 の 橋 立 線 宮 津 市 2,957,900 下世屋本庄線 "7,078,507 加悦岩滝自転車 与謝野町 11,950,400 小計34路線 242,637,860 府 内 全 域 174,823,685 計 417,461,545
			緊急自然災害防止対策事業 (道路管理課)	1 施策の趣旨等 安心して暮らせる地域をつくるため、災害の発生を予防し、又は被害の拡大を防止することを目的として対策工事を実施する。 2 施策の実施状況及び執行額 法面対策工事等を実施することにより、災害の発生予防及び拡大防止を図った。 路線名施行場所執行額 国道173号福知山市 15,000,000円 国道175号舞鶴市 42,710,400 国道178号 宮津市 105,000,000 国道307号 宇治田原町 20,302,410 計4路線 183,012,810
			自転車活用推進事業 (道路管理課)	1 施策の趣旨等 京都の地域資源を紡ぐサイクルルートの形成及び活用による地域の活性化に向けた取組等を推進する。 2 施策の実施状況及び執行額 舗装修繕や路面表示等による自転車走行環境整備を実施した。 路線名施行場所執行額 宇治淀線宇治市 12,000,000円 木津信楽線

				京都八幡木津自 木 津 川 市 390,400 転車道線 97,087,100
4 橋りよう維 持費 (P172)	翌年度への繰越 事業費繰越額 2,192,864,000 生活・交通基盤 整備事業費 1,630,888,341 防災基盤整備事	(3,001,191,072) 決算額の財源 内訳	(道路建設課)	 施策の趣旨等 京都府総合計画に基づき、「災害からの安心・安全」、「成長・交流・暮らしの基盤づくり」 等に向けた基盤整備を着実に推進する。 施策の実施状況 社会資本整備総合交付金等により橋りょうの点検及び修繕を行った。 執行額 1,844,908,816円
	業費 144,305,463 社会基盤長寿命 化対策事業費 417,670,196	府 債 1,967,000,000 一般財源 19,290,167	防災基盤整備事業 (道路建設課)	1 施策の趣旨等 府民の安心・安全を守るための防災基盤整備について、ハード対策を実施する。 2 施策の実施状況及び執行額 府民の安心・安全を守るための防災基盤整備について、ハード対策を実施した。 路線名(橋りょう名)施行場所執行額 京都宇治線(宇治橋)宇治市451,128,200円 綾部美山線(横谷橋)南丹市40,438,807 向日善峰線(井ノ内橋)長岡京市56,826,000 岩ケ鼻須川線(井の口橋)京丹後市9,786,697 小計4路線 万ち8,179,704 府内全域 事務費 3,309,668 計 573,329,972
			社会基盤長寿命化対策 事業 (道路建設課)	 施策の趣旨等 「京都の道長寿プラン」に基づき、橋りょうの予防補修を行う。 施策の実施状況及び執行額 老朽危険橋の修繕、腐食防止及び緊急耐震対策等を行い、通行の安全確保を行った。 路線名(橋りょう名)施行場所執行額 国道312号(第一高架橋)京丹後市17,036,960円府内全域 548,782,055

科 目	予算現額	決 算 額	主要な施策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		路線名 (橋りょう名) 施行場所 執行額 事務費 2,767,320円 計 568,586,335
5 橋りよう新 設改良費 (P172)	2,590,181,000 (2,676,719,000) 翌年度への繰越 事業費繰越額 576,099,000 生活・交通基盤 整備事業費 561,441,613 地域密着型社会 資本整備事業費 14,657,387	(2,088,623,890) 決算額の財源 内訳	(道路建設課)	1 施策の趣旨等 京都府総合計画に基づき、「災害からの安心・安全」、「成長・交流・暮らしの基盤づくり」 等に向けた基盤整備を着実に推進する。 2 施策の実施状況及び執行額 社会資本整備総合交付金等により橋りょう整備等を行った。 路線名(橋りょう名)施行場所執行額 山城総合運動公(城陽橋)城陽市905,784,738円 郷ノ口余部線(宇津根橋)亀岡市1,078,108,292 小計2路線 事務費 20,976,970 計 2,004,870,000
			地域密着型社会資本整 備事業 (道路建設課)	1 施策の趣旨等 府民生活や地域の安心・安全の確保につながる、きめ細やかな小規模改良事業を行う。 2 施策の実施状況及び執行額 道路新設や河川改修に伴い、老朽化、幅員狭小等により交通を阻害している幹線道路等の 橋りょうの整備を行い、道路交通の円滑化を行った。 路線名(橋りょう名)施行場所執行額 山城総合運動公(城陽橋)城陽市7,308,133円 園城陽線 事務費 1,903,777 計 9,211,910
6 国直轄事業 費負担金 (P174)	4, 795, 809, 000 (4, 795, 809, 000)	4, 786, 758, 472 (4, 786, 758, 472) 決算額の財源		1 施策の趣旨等 国直轄道路の新設・改築等に要した費用を負担し、道路交通の円滑化及びくらしの安心・ 安全の推進を図る。

	内訳 府 債 4, 755, 000, 000 一般財源 31, 758, 472	2 施策の事 変を 変を 変を 変を 変を 変を 変を 変を 変を 変を	事業費 10, 216, 000, 000円 666, 000, 000 2, 740, 000, 000 4, 000, 000, 000 1, 080, 000, 000 1, 730, 000, 000 973, 000, 000 425, 900, 000 1, 180, 000, 000 124, 000, 000 624, 000, 000 410, 000, 000 89, 000, 000 14, 041, 900, 000 63, 499 14, 041, 836, 501	執行額 (府負担金) 3,404,999,999円 222,000,000 913,000,000 1,333,333,333 360,000,000 576,666,666 324,333,332 212,950,000 393,333,331 62,000,000 207,999,999 136,666,666 44,500,000 4,786,783,327 24,855 4,786,758,472
3 河川海岸費 1 河川総務費 (P174) 500,815,544 (1,401,491,000	4 500, 648, 160) (1, 400, 046, 393) 決算額の財源 内訳 府 債 430, 000, 000 一般財源 70, 648, 160	京都府総合計画に基づき、「災 等に向けた基盤整備を着実に推っ 2 施策の実施状況及び執行額	進する。	長・交流・暮らしの基盤づくり」 と河川の美化、環境整備等を図っ 執行額 5,511,000円 27,228,340 16,293,600 5,896,960 9,385,800 18,178,430 10,391,460 11,945,340 376,129,614

科目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		河 川 名 施 行 場 所 執 行 額 小計205河川 480, 960, 544円 事 務 費 9, 947, 000 計 490, 907, 544
			鴨川環境保全対策推進 事業 (河 川 課)	1 施策の趣旨等 京都府鴨川条例に基づく規制の実施や鴨川府民会議による府民との意見交換等を行い、鴨 川の総合的治水対策の推進、良好な河川環境の保全及び快適な利用の確保を図る。 指標:京都府鴨川条例で規制する迷惑行為に対する指導件数 目標:644件(前年度実績)以下 実績:585件
				2 施策の実施状況 (1) 京都府鴨川条例に基づく規制の実施 ア バイク乗入禁止区域指導 553件(前年586件) イ 打上花火禁止区域指導 26 (" 47) ウ バーベキュー禁止区域指導 6 (" 11) (2) 鴨川府民会議の開催 構成:公募9人、有識者17人、行政2人 内容:令和3年6月11日(第52回)鴨川・高野川 令和3年度整備予定内容等 9月14日(第53回)府民会議での意見交換議題の提案について等 12月20日(第54回)鴨川上流の流木止め効果について等 令和4年3月18日(第55回)魚道の設置について等 (3) 鴨川四季の日の取組 春 :令和3年3月21日~4月11日 夏 :令和3年7月25日~8月15日 秋 :令和3年10月7日~10月12日 冬 :令和4年1月26日~2月3日 内容:府民協働による河川愛護活動の実施や、ホームページ等による鴨川等の四季の魅 力を全国に発信する取組を行った。 3 執 行 額 9,740,616円
2 河川改良費 (P174)		x 12, 700, 135, 424) 決算額の財源 内訳	安心・安全基盤整備事業 (河川課) (砂防課)	1 施策の趣旨等 京都府総合計画に基づき、「災害からの安心・安全」、「成長・交流・暮らしの基盤づくり」 等に向けた基盤整備を着実に推進する。 2 施策の実施状況及び執行額 (1) 広域河川改修事業

「安心・安全基盤」 国庫支出金	河川改修事業の実施において、水系一貫した広域的な動	逢備を図った。
整備事業費 4,479,210,581	河 川 名 施 行 場 所	執 行 額
5,249,695,436 ^{4,479,210,581} 防災基盤整備事 繰 越 金	古川城陽市	1, 348, 438, 484円
	大 谷 川 八幡市他	100, 901, 660
1 112, 122, 4241	桂 川 亀岡市他	571, 318, 730
地域密着型社会 府	雑 水 川 亀 岡 市	80, 197, 370
203, 723, 268	七谷川"	415, 899, 475
l	犬 飼 川 "	72, 213, 751
清流事業費 19,999,055 595,346,256	千 々 川 "	168, 172, 300
	法 貴 谷 川 "	229, 000, 000
	東所川南丹市	340, 839, 916
334, 536, 089 中小河川タイム	高野川 舞鶴市	28, 367, 675
	宮 川 福知山市	120, 693, 690
┃	牧 川 "	97, 590, 350
15,700,000	竹 野 川 京丹後市	512, 770, 604
	福田川 "	157, 660, 833
348, 906, 241	野 田 川 与謝野町	175, 651, 340
	小計15河川	4, 419, 716, 178
	事務費	75, 048, 881
	計	4, 494, 765, 059
	(2) 都市基盤河川改修事業	
	京都市等が実施する市街地整備等に併せた河川改修事業	
	河川名施行場所事業費	補 助 金
	西高瀬川 右京区 123,418,100	
	新 川 西京区 165,450,234	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	七 瀬 川 伏 見 区 298, 199, 430	
	東高瀬川 " 36,049,200	
	西羽束師川 " 161,660,592	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	蓼原川福知山市 365,394,795	
	その他 2 河川 33,588,210	
	計 8 河川 1, 183, 760, 561	394, 586, 852
	(3) 流域治水対策河川改修事業	#/# # FIRST - #
	流域における貯留施設の整備と併せた総合的な河川の製	
	河川名施行場所	執行額
	煤 谷 川 精 華 町	78, 715, 761円
	事務費	2, 901, 026
	計 (4)	81, 616, 787
	(4) 総合流域防災事業 流域一体で河川改修や情報基盤の整備等を行い、水害が	
	流域一体で河川政修や情報基盤の整備寺を行れ、小書が 総合的な防災対策の推進を図った。	いっか 氏の土叩別 性を寸るための
	総口的な例次別束の推進を凶つた。	

科	目	予算現額	決	算 額	主	要	な	施	策	施策の実	施状数	元との	丸 果	等
		F	3	F	9					ア 統合河川整備事業				
											施行場所			執 行 額
											山科区		1:	87, 645, 100円
											木津川市			97, 414, 000
											京丹波町			40, 329, 550
											舞鶴市			07, 923, 100
											福知山市			73, 952, 391
										相長川	//			37, 889, 164
										法川	<i>''</i>			64, 935, 754
										大 谷 川	<i>''</i>			52, 653, 346
											京丹後市			27, 785, 026
										その他2河川				14, 676, 621
										小計11河川				05, 204, 052
										事 務 費				33, 402, 308
										計				38, 606, 360
										イ 情報基盤整備事業				
										河 川 名				執 行 額
										府内全域			1	59, 217, 653円
										事務費				941, 413
										計			10	60, 159, 066
										(5) 床上浸水対策特別緊急事業				
										再度災害の発生を防止するため、		産進を図った	-0	
											施 行 場 所			執 行 額
											福知山市			65, 426, 346円
										事務。費				7, 038, 700
										計			2	72, 465, 046
										(6) 特定洪水対策等推進事業				S-111 - #5 ## #- 10 / -
										頻発化・激甚化する水害に対する	る治水安全度を	を向上させる	ため、	河川の整備促進を図っ
										た。	₩			±4
											施行場所			執行額 57,000,000 円
											伏 見 区			57, 800, 000円
											宇治市			14, 075, 100
											木津川市			80, 580, 635 FF 857 400
											亀 岡 市 舞 鶴 市			55, 857, 400 74, 363, 699
														74, 363, 699 20, 366, 477
											福知山市			20, 366, 477 86, 494, 816
										・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	京丹後市		Te	6, 006, 568
										ての他1週川				0, 000, 300

	小計8河川	1, 495, 544, 695
	事 務 費	33, 094, 239
	計	1, 528, 638, 934
	- -	_,,,
	1 施策の趣旨等	
(河川課)	府民の安心・安全を守るための防災基盤整	備について、ハード対策を実施する。
	2 施策の実施状況及び執行額	
	(1) 地域防災対策事業	
	度々浸水被害が発生している河川のネッ	ク箇所について、局所的に緊急河川改修を行う
	とともに、老朽化等により破損した場合に	甚大な被害が予想される天井川の水路橋におい
	て、現況調査を実施し計画的な防災対策の	推進を図った。
	ア 緊急河川整備事業	
	河 川 名 施 行 場	所 執 行 額
	赤 田 川 木津川	市 16,327,107円
	その他 4 河川	20, 189, 770
	計 5 河川	36, 516, 877
	イ 天井川水路橋整備事業	
	河 川 名 施 行 場	所 執行額
	天 津 神 川 京田辺	市 12,870,000円
	(2) 集中豪雨・天井川等対策事業	
		害が予想される天井川等の対策を実施した。
	河 川 名 施 行 場	
	堂の川 宇治	市 12,826,000円
		市 24,664,744
		市 13,649,200
	鳴子川木津川	
	新 川 "	
	その他 3 河川	19, 571, 400
	小計8河川	101, 365, 044
	管 内 一 円 管内一	
	計	128, 548, 367
	-	, 0.0, 00.
	4 14 177 - 177	
地域密着型社会資本整	1 施策の趣旨等	18 11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-1
備事業	村民生活や地域の安心・安全の確保につな	がる、きめ細やかな小規模改良事業を行う。
(河川課)	2 施策の実施状況及び執行額	
	(1) 地域振興河川事業	
		した良好な水辺空間の整備を行い、治水安全度
	では、	した区別 な小児工団の正開で刊り、 口小女王反
	の円上に内川城児の体土で凶りた。	

科 目	予算現額	決	算	額	主	要	な	施	策	施 策 の	実 施 状 況 と	: 成果等
	F	9		円						河 川 名	施 行 場 所	執 行 額
										小 畑 川	長岡京市	16, 768, 900円
										与保呂川	舞鶴市	18, 342, 500
										高野川	// μπg 1/3	13, 683, 547
										弘法川	福 知 山 市	14, 316, 371
										加悦奥川	与謝野町	19, 000, 000
										その他 9 河川	5 403 23 113	40, 746, 390
										小計14河川		122, 857, 708
										管内一円	管内一円	90, 055, 246
										事務費	113 13	2, 400, 786
										計		215, 313, 740
										(2) 京の川づくり事業		210, 010, 7.10
											改修等を行い、山紫水明の	D歴史都市・京都にふさわしい水辺
										空間の創出を図った。	DAIS G CITT (LINGWING	>
										河川名	施行場所	執 行 額
										天神川	右京区	9, 993, 122円
										管内一円	管内一円	223, 436, 428
										事務費		2, 664, 398
										計		236, 093, 948
										(3) 河川企画調査事業		,,
											\る河川の流量観測や治水詞	十画の検討等を行い、治水安全度 <i>の</i>
										向上を図った。		
										河 川 名	施 行 場 所	執 行 額
										鴨川	左京区他	23, 000, 000円
										桂 川	亀 岡 市	18, 565, 800
										 その他 5 河川		22, 614, 300
										小計 7 河川		64, 180, 100
										管内一円	管内一円	990, 000
										計		65, 170, 100
										(4) 河川災害防除事業		,,
)取除き等を行い、いつ流.	浸水等の災害の未然防止を図った
										河川名	施行場所	執行額
										小畑川	西京区	10,772,900円
										その他2河川	7 % -	4, 288, 854
										小計 3 河川		15, 061, 754
										管内一円	管内一円	15, 326, 200
										事務費	i 1.1 1.1	10, 020, 200

	計	30, 698, 446
千年の都・鴨川清流事 業 (河 川 課)	1 施策の趣旨等 「千年の都・鴨川清流プラン」に基づき、魅力的な空間 の向上を目指す。	間の創出、美しい鴨川及び治水安全度
	2 施策の実施状況及び執行額 快適な利用の促進と季節や自然を身近に感じる公共空 除去等を実施した。	
	河 川 名 施 行 場 所	執 行 額 886, 033, 318円
防災情報共有化対策事業 (砂 防 課)	1 施策の趣旨等 迅速な市町村の避難勧告等や速やかな住民の自主避難 の提供を実施する。	を支援するため、効果的な防災情報
	2 施策の実施状況 迅速な市町村の避難勧告等や速やかな住民の自主避難 想定区域図の作成を実施した。	まにつなげるため、条例に基づく浸水
	3 執 行 額	149, 625, 140円 (委託料)
緊急自然災害防止対策事業 (河川課)	1 施策の趣旨等 安心して暮らせる地域をつくるため、災害の発生を予 とを目的として対策工事を実施する。	·防し、又は被害の拡大を防止するこ
	2 施策の実施状況及び執行額 小規模の河川改修を計画的に実施することにより、 た。	災害の発生予防及び拡大防止を図っ
		執行額 45,000,000円 18,200,000
	長 谷 川 城 陽 市 田 原 川 宇治田原町 不 動 川 木 津 川	22, 838, 610 10, 587, 750 25, 615, 300
	本梅川 南丹市 田原川 " 上和知川 京丹波町	42, 518, 694 47, 496, 400 44, 192, 800
	그 개 세 개	++, ± <i>52</i> , 000

科	目	予 算 現 額	決	算	額	主 要 な 施 策	施策の	実 施 状 況	と 成 果 等
		円			円		河 川 名 河 辺 川 京 ア 地 川 木 声 野 川 音 野 川 その他 9 河川 計23河川	施 行 場 所 市	執行額 27, 205, 800円 18, 272, 700 29, 994, 168 29, 739, 490 26, 781, 756 22, 295, 149 41, 769, 760 452, 508, 377
						中小河川タイムライン 作成支援事業 (砂防課)	1 施策の趣旨等 市町村の避難情報発令等に活 を設定し、住民の避難行動を保 2 施策の実施状況		川において避難開始の目安となる水位
									て、避難開始を判断する目安となる水 支援した。
							3 執 行 額		24, 300, 000円 (委託料)
						緊急浚渫推進事業 (河川課)	1 施策の趣旨等 昨今の相次ぐ河川氾濫を踏ま を図る。	まえ、緊急かつ集中的に沒	俊渫事業に取り組み、危険箇所の解消
							2 施策の実施状況及び執行額 堆積状況や人家への危険度に した。	こ応じて、対策の優先度の	D高い箇所において河川の浚渫を実施
							河 川 名	施 行 場 所	執 行 額
							鴨川	中京区他	17, 560, 000円
							山科川	山科区	41, 407, 400
							弓 削 川	右京区	27, 376, 800
							長谷川	城 陽 市	13, 137, 100
							青谷川 普賢寺川	" 京 田 辺 市	15, 903, 042 17, 729, 700
							日	泉 田 辺 巾 宇治田原町	17, 729, 700 39, 683, 658
							一	于石田凉叫 #	29, 178, 512
							和東川	和 束 町	17, 044, 100
1							桂川	亀岡市他	119, 544, 100

		七犬園高須伊犀上雲牧和加土大福川筒野そ谷飼部屋知 林原 久 師手田 田19河 の計477 良 谷 河川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川	亀 南京 舞綾 福 宮京 伊与 岡 " 丹 " 鶴部 " 知 " " " " 津 後 " 根野市 市町 市市 市 市 町町	12, 787, 300 13, 400, 000 21, 362, 600 24, 220, 200 16, 199, 700 20, 890, 000 26, 008, 400 52, 717, 691 10, 000, 000 13, 289, 100 16, 689, 600 16, 103, 900 42, 061, 700 26, 475, 900 12, 090, 900 10, 466, 500 18, 299, 600 60, 654, 800 98, 501, 268 850, 783, 571
3 砂 防 費 (P176) (9,901,744,000 翌年度への繰越 事業費繰越額 3,457,539,040 安心・安全基盤 整備事業費 3,047,512,997 防災費 37,898,264 社会基整事業費 93,515,304 緊急自然災失事防止対策事業費 278,612,475	(6, 294, 716, 700)業 決算額の財源 内訳	京都府総合計画に基づき、 等に向けた基盤整備を着実に 2 施策の実施状況及び執行額 (1) 通常砂防事業	こ推進する。 顔	「成長・交流・暮らしの基盤づくり」 による災害の未然防止を図った。 執行額 152, 429, 878円 38, 830, 660 48, 664, 700 153, 218, 400 116, 075, 075 46, 594, 465 164, 311, 465 499, 400 29, 580, 200

科	目	予算	算 琲	見額		決	算	額	3	ŧ :	要	な	施	策	施 策 の	実 施 状 況	と 成 果 等
					円				円						河 川 名	施 行 場 所	執 行 額
															菖 蒲 谷 川	南丹市	26, 622, 700円
															小計10河川		776, 826, 943
															イ 由良川水系		
															河 川 名	施 行 場 所	執 行 額
															大 町 谷 川	南丹市	36, 197, 200円
															谷 山 川	"	25, 000, 000
															上乙見川	京 丹 波 町	2, 299, 000
															篠原西一谷川	// + +=	64, 748, 850
															旭ヶ丘川	綾 部 市	9, 600, 800
															大島川	//) = /-)	13, 598, 800
															大谷川支川	福知山市	41, 679, 900
															大 呂 川 支 渓 樋 ノ ロ 川	II II	63, 972, 000 7, 315, 000
															樋 ノ 口 川 水 坂 川	// //	7, 315, 000 29, 189, 700
															上北谷川	"	81, 753, 139
															谷 河 川	"	4, 030, 559
															西ノ谷川	 //	8, 751, 000
															小計13河川		388, 135, 948
															ウ 2 級 水 系		333, 233, 3.3
															河川名	施行場所	執 行 額
															万願寺川支渓	舞鶴市	93, 983, 917円
															天 台 川	<i>II</i>	9, 191, 005
															白 滝 川	//	19, 228, 800
															瀬 崎 川	<i>II</i>	21, 529, 200
															桃 ケ 谷 川	宮津市	169, 351, 400
															目 黒 谷 川	京 丹 後 市	88, 681, 264
															シシ、伏川	//	26, 368, 100
															平地川	与 謝 野 町	31, 700, 000
															小計8河川		460, 033, 686
															エーその他水系	☆ 仁 #B CC	호선 소프 주요 -
															河 川 名 イ ガ ロ 川	施 行 場 所 伊 根 町	執行額
															1 カ ロ 川 小計32河川	1光 作成 単」	51, 500, 000円 1, 676, 496, 577
															事務費		1, 676, 496, 577 35, 479, 633
															新		1, 711, 976, 210
															。 (2) 地すべり対策事業		1, 111, 310, 210
																排水工や法枠工等の地で	すべり対策工事を行い、地すべり被害
															の未然防止を図った。	111.5.T (121T T (7)76	

箇 所 名	施 行 場 所	執 行 額
切 山	笠 置 町	35, 920, 400円
東畑	精 華 町	10, 070, 000
長 江	宮津市	63, 000, 000
小計3箇所		108, 990, 400
事務費		2, 703, 092
計		111, 693, 492
(3) 急傾斜地崩壊対策事業		, ,
	における擁壁工や法枠工等の	D急傾斜地対策工事を行い、急傾斜
地の崩壊による災害の未然		2 C 13 C 1
箇 所 名	施行場所	執 行 額
岩倉上蔵町	左京区	5, 355, 900円
松室	西京区	170, 374, 183
大 波 下	舞鶴市	51, 586, 000
行永	"	6, 578, 000
小 西	綾 部 市	1, 300, 000
三河	福知山市	118, 782, 009
平	京丹後市	48, 922, 781
早 稲 田	大山崎町	122, 909, 275
志高	舞鶴市	113, 905, 888
上安久	"	25, 495, 300
小	京 丹 後 市	179, 804, 499
谷内	"	14, 837, 800
本 庄 上	伊 根 町	73, 011, 841
小 坪	<i>II</i>	13, 194, 500
仕 伏	左 京 区	968, 000
小 田 宿 野	宮津市	10, 430, 750
小計16箇所		957, 456, 726
事務費		15, 849, 541
計		973, 306, 267
(4) 総合流域防災事業		
流域一体で砂防事業を行	い、土砂災害から府民の生命	前財産を守るための総合的な防災対
策の推進を図った。		
箇 所 名	施 行 場 所	執 行 額
管内一円	管内一円	1, 196, 384, 111円
事務費		20, 714, 084
計		1, 217, 098, 195
(5) 事業間連携砂防事業		
河川事業や道路事業と連	携して、堰堤工や流路工等の	D砂防工事を行い、土石等の流出に
よる災害の未然防止を図っ		

科	予算現象	魚 決 第	額	主要	更な	施	策	施 策 の	実 施 状 況	と 成 果 等
		円	円					ア 淀川水系		
								ア ル 川 小 糸 河 川 名	施 行 場 所	執 行 額
								草生川	左京区	88, 153, 600円
								ポーニー 川	西京区	119, 553, 100
								炭山谷川	宇治市	61, 347, 439
								かり 日本 川 門 前 川	和東町	80, 204, 880
								小計4河川	和米叫	349, 259, 019
								イ 由良川水系		349, 239, 019
								河川名	施 行 場 所	執 行 額
								谷山川	施 1〕场 別 南 丹 市	#M 1」 音樂 53, 031, 525円
								大町谷川	判力巾	109, 028, 700
								(本)		110, 669, 346
									京丹波町	
								上北谷川	福 知 山 市	22, 562, 900
								小計 4 河川		295, 292, 471
								ウ 2級水系	th 仁 H CC	ᆂᆔᄼᆖᇶᇴᅙ
								河川名	施行場所	執 行 額
								シシ伏川	京 丹 後 市	102, 945, 740円
								エーその他水系	+/- /= 18 cr	±4 /- +=
								河川名	施行場所	執 行 額
								イ ガ 口 川	伊根町	1, 725, 943円
								小計10河川		749, 223, 173
								事務費		12, 029, 081
								計 (4) 表光照法性此大多点光深表	= 2114	761, 252, 254
								(6) 事業間連携地すべり対策事		
										域における排水工や法枠工等の地すべ
								り対策工事を行い、地すべり		
								箇所名	施行場所	執 行 額
								長 江	宮津市	62, 352, 624円
								事務費		759, 046
								計		63, 111, 670
								(7) 特定緊急砂防事業	1144 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	
										点的な対策の実施により、甚大な土砂
								災害が発生した地域の災害防		
								河川名	施行場所	執行額
								谷 河 川	福 知 山 市	260, 212, 976円
								事 務 費		2, 715, 672

	計	262, 928, 648
防災基盤整備	事業 1 施策の趣旨等	
(砂 防 記	課) 府民の安心・安全を守るための防災基盤整	{備について、ハード対策を実施する。
	2 施策の実施状況及び執行額	
	(1) 土砂災害対策事業	
		お設備の改築工事を行ったほか、急傾斜地崩壊危
		区域における排水工等を行い、土砂災害の未然防
	止を図った。	
	箇 所 名 施 行 場	所 執行額
	小塩	区 9,013,900円
	南 山 向日	市 1,500,000
	坂 川 長岡京	市 1,981,400
	切 山 笠 置	- ,
	東畑精華	- ,
	中 谷 川 亀 岡	
	清源寺谷川南丹	
	大橋川 宮津	
	小計8箇所	48, 781, 600
	事務費	4, 428, 856
	計 (2) 集中豪雨「防災・減災」対策事業	53, 210, 456
		がある箇所及び流木による災害が発生するおそれ
	のある箇所の防災・減災対策を行い、災害	
	箇所名 施行場	
	不動谷川 笠置	
	乾 谷 精 華	
	大畠川舞鶴	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	瀬ヶ谷川支渓 "	16, 685, 900
	如願寺川宮津	
	小計5箇所	98, 024, 144
	事務費	4, 126, 574
	計	102, 150, 718
社会基盤長寿命	命化対策 1 施策の趣旨等	
事業	府民の安心・安全を守るための土砂災害防	ī止施設の計画的修繕を行う。
(砂 防 記		

科目		主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	P P		2 施策の実施状況及び執行額 土砂災害防止施設の計画的修繕を行った。 箇 所 名 施 行 場 所 執 行 額 管 内 一 円 91,801,355円 事 務 費 1,177,168 計 92,978,523
		地域密着型社会資本整整備事業 (砂防課)	1 施策の趣旨等 府民生活や地域の安心・安全の確保に繋がる、きめ細やかな小規模改良事業を行う。 2 施策の実施状況及び執行額 河川名 施行場所 執行額 大呂川支渓 福知山市 700,000円
		緊急自然災害防止対策 事業 (砂防課)	1 施策の趣旨等 安心して暮らせる地域をつくるため、災害の発生を予防し、又は被害の拡大を防止することを目的として対策工事を実施する。
			2 施策の実施状況及び執行額 砂防指定地内の流域で砂防堰堤等の砂防設備の改築工事を行ったほか、急傾斜地崩壊危険 区域における擁壁工等を行い、土砂災害の未然防止を図った。 箇所名施行場所執行額 北 川 西京区 13,701,600円
			物集女 向日市 1,194,600 坂川 長岡京市 17,377,250 養老谷川 宇治市 91,483,199 大谷川 " 7,460,900 大野 木津川市 4,017,720
			下 有 市 笠 置 町 19,353,775 中 谷 川 亀 岡 市 1,842,900 境 川 " 3,631,100 宍 人 南 丹 市 1,831,500
			内 林 町 " 11,352,900 清源寺谷川 " 2,264,700 三宅川支渓 舞鶴市 55,644,000

						00 500 500
				大 丹 生	<i>"</i>	20, 580, 000
				西岡	福 知 山 市	3, 517, 800
				谷内	京 丹 後 市	1, 170, 000
				目 黒 谷 川	<i>II</i>	4, 095, 800
				平	<i>II</i>	43, 000, 000
				桃山	<i>II</i>	3, 767, 500
				計19箇所		307, 287, 244
			緊急浚渫推進事業 (砂 防 課)	1 施策の趣旨等昨今の相次ぐ土砂災害を設を図る。2 施策の実施状況及び執行額	額	議事業に取り組み、危険箇所の解消 の高い箇所において砂防施設の浚渫 執行額 704,500円 9,000,000 6,165,100 6,029,000 3,400,000 4,370,000 29,668,600
	335, 459, 500 (363, 282, 000) 翌年度への繰越 事業費繰越額 140, 574, 300 安心・事業費 115, 973, 685 地域密着事業費 24, 600, 615	(220,978,766) 決算額の財源 内訳	(河川課) 地域密着型社会資本整	1 施策の趣旨等 京都府総合計画に基づき、 等に向けた基盤整備を着実1 2 施策の実施状況及び執行を 海岸保全区域において人 海 岸 名 神 崎 海 岸 事 務 費 計	こ推進する。 額 エリーフ等の整備を行い、風雨 施 行 場 所 舞 鶴 市	成長・交流・暮らしの基盤づくり」 耐波浪からの災害防止を図った。 執行額 95,972,100円 1,951,000 97,923,100

科目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施策の実施状況	と 成 果 等
	P	P		2 施策の実施状況及び執行額 (1) 海岸環境整備事業 うるおいとふれあいのある海浜環境の整備を図え 海 岸 名 施 行場 市 神 嶋 海 岸 舞 鶴 市 由 良 海 岸 宮 津 市 小計 2 箇所 事 務 計 (2) なぎさく (2) なぎさく (4) 年 海 において緊急を (5) 年 海 において緊急を (6) 第一	執行額 5,000,000円 9,426,200 14,426,200 124,940 14,551,140
7 国直轄事業 費負担金 (P180)	5, 185, 163, 000 (5, 185, 163, 000)	5, 184, 668, 550 (5, 184, 668, 550) 決算額の財源 内訳 府 債 5, 178, 000, 000 一般財源 6, 668, 550		1 施策の趣旨等 国直轄河川の改修、整備、ダム建設等のために要し 災害の未然防止を図る。 2 施策の実施状況及び執行額 事業名河川名 河川事業 直轄河川改修 淀川、桂川、木津川 瀬田川、由良川 都市水環境整備事業 直轄総合水系環境 整備事業 河川総合開発事業	ま業費 執行額 (府負担金) 9,455,650,000円 3,151,880,000円 141,000,000 70,500,000

			直轄河川総合開発 事業 水資源開発事業 多目的ダム建設事業 小 計 過年度分精算 計	大戸川ダム 川上ダム等 天ヶ瀬ダム	673, 910, 000 1, 968, 797, 000 3, 921, 971, 000 16, 161, 328, 000 23, 728, 005 16, 137, 599, 995	202, 171, 000 590, 638, 000 1, 176, 591, 000 5, 191, 780, 000 7, 111, 450 5, 184, 668, 550
4 港 湾 費 2 港湾建設費 (P180)	1,516,122,000 (1,589,454,000) 翌年度への繰越 事業費 611,189,000 (生活・事業) 581,189,000 緊急対策事費 30,000,000	 (港湾企画課 (港湾施設課)	1 施策のかない (1) を (1	正推進する。 頭 D道路、物揚場、防波 施石 は 施 下第 2 4 年 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	84、橋梁等の整備を行 64 65 65 海岸の護岸工事等を行 8 3 12	京った。 執行額 4,407,613円 8,512,100 2,919,713 6,826,202 9,745,915
		緊急自然災害防止対策 事業 (港湾企画課 (港湾施設課)	1 施策の趣旨等 安心して暮らせる地域をつ とを目的として対策工事を実		生を予防し、又は被害	引の拡大を防止するこ

科目	予算現額	決 算 額	主要な施策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		2 施策の実施状況 久美浜港の海岸保全区域における治水対策を図るため、護岸工事等を行った。
				3 執 行 額 54,000,000円
3 国直轄事業 費負担金 (P182)	841, 500, 000 (841, 500, 000)		(港湾企画課 (港湾施設課)	1 施策の趣旨等京都舞鶴港の国直轄港湾改修のために要した費用を負担し、港湾施設を整備する。 2 施策の実施状況及び執行額港湾名施行場所事業費 (府負担金)京都舞鶴港 和 田 1,870,000,000円 841,419,877円
5 都市計画費 2 街路事業費 (P182)	2,670,160,530 (2,779,533,530) 翌年度への繰越 事業費繰越額 806,862,000 (生活・業費 688,971,661 地域密着型主義 58,390,339 JR向日町駅周辺 地区市街地再開発事業費 59,500,000) (1,869,815,398) 決算額の財源 内訳	(道路建設課) 都市計画課)	1 施策の趣旨等 京都府総合計画に基づき、「災害からの安心・安全」、「成長・交流・暮らしの基盤づくり」 等に向けた基盤整備を着実に推進する。 2 施策の実施状況及び執行額 地域活力基盤創造事業 社会資本整備総合交付金等により街路整備、土地区画整理事業を行った。 ア 街路整備事業 路 線 名 施 行 場 所 執 行 額 御 陵 山 崎 線 向 日 市 236,762,190円

		38, 923, 500 28, 025, 216 1, 292, 952, 589 助対象事業費 312, 888, 000円 44, 855, 100 44, 855, 100 44, 855, 100 44, 439, 322 362, 182, 422
地域密着型社会資本整備事業(道路建設課)	1 施策の趣旨等 府民生活や地域の安心・安全の確保につながる 2 施策の実施状況及び執行額 新名神高速道路や京奈和自動車道のインター会と併せて整備を行い、広域交通ネットワーク整(路線名施行場所) の はいいでは、一般のでは、	チェンジへのアクセス道路等、国庫補助事業 備の促進を図った。 執行額 2,212,694円 1,881,800 11,637,834 5,086,962
JR向日町駅周辺地区市 街地再開発事業費補助 金 (都市計画課)	小倉西舞鶴線 舞鶴市 小計6路線 府内全域事務費 計 1 施策の趣旨等 JR向日町駅周辺地区の広大な未利用地を活用点としての魅力を高めるため、市街地再開発事業2 施策の実施状況市街地再開発事業で整備する施設建築物の基準に必要となる事業計画を策定した。 3 執 行 額	38, 097, 927 45, 985, 300 1, 665, 229 85, 748, 456 することにより、都市機能を集積し、都市拠 業による都市基盤の整備を支援する。

科	目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と	成 果 等
3	下水道事業 費 (P182)	円 22, 206, 000 (632, 247, 000) 翌年度への繰越	(616, 176, 752) 決算額の財源	マイクロ呑龍1万基構	1 施策の趣旨等 近年のゲリラ豪雨や集中豪雨による都市浸水被害の頻発を る」取組を進め、防災意識の向上、雨水利用による環境意識	
		事業費繰越額 14,906,000 (きょうと上下水) 道未来づくり総 合対策事業費	内訳 国庫支出金 1,840,000 一般財源 4,407,462		指 標 目 標 雨水貯留施設の設置基数 400基(令和3年度) 本事業実施前の雨水貯留施設の設置基数 本事業による雨水貯留施設の設置基数(令和2年度まで	実 績 304基 1,823) 2,320 4,447(総計)
					2 施策の実施状況 個人の雨水貯留施設の設置に要する経費の一部を市町村と 識・環境意識の向上を図った。	連携して支援し、府民の防災意
					市町村名 設置基数 京 都 市 129基	補助金 971,600円
					福 知 山 市 7 綾 部 市 11	83, 100 116, 200
					字 治 市 19 宮 津 市 4	100, 800 41, 600
					亀 岡 市 40 城 陽 市 7	369, 700 72, 200
					向 日 市 15 長 岡 京 市 20	164, 500 195, 900
					八 幡 市 8 京 田 辺 市 8	76, 300 70, 900
					南 丹 市 6 木 津 川 市 13	53, 400 79, 100
					大山崎町 3 久御山町 4	29, 000 46, 900
					宇治田原町 1	10, 000 61, 400
					与謝野町 1 計 304	15, 000 2, 557, 600
					3 執 行 額	2,557,600円 (補助金)
						(112-7-346)

			きょうと上下水道未来 づくり総合対策事業 (水環境対策課)	ザイン等に基づく市町村の取 2 施策の実施状況 広域化・共同化のテーマの	双組を支援する。	別を築くため、京都水道グランドデ 同化」について、府内市町村と協 登基本方針の検討を行った。 3,689,862円 (うち委託料 3,680,000円)
6 公 園 費 2 都市公園費 (P184)	1,778,875,421 (3,085,897,682) 翌年度への繰越事業費940,277,787 生産備まででででは、1000年でででは、1000年ででででは、1000年ででは、1000年ででは、1000年では	(2,137,256,812) 決算額の財源 内訳	(自然環境保全課) 都市計画課)	等に 2 施府 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	推進する。 生きがいのある地域生活の実 た。 施南宇 宮 所区市 市 市 田 町 町 町 町 でながる、きめ細	成長・交流・暮らしの基盤づくり」 現を図るため、都市公園の運動施 執行額 26,700,000円 300,884,600 7,300,000 13,000,000 21,158,100 250,995,500 620,038,200 9,234,700 16,513,322 645,786,222

科目	予算現額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と	成果等
	F	円		公園名 施行場所区 ・	執行額 11,740,000円 6,075,200 32,491,776 10,000,000 16,149,218 4,090,394 18,526,180 93,300 99,166,068 29,500 1,591,000 100,786,568
			嵐山公園等魅力向上事 業 (都市計画課)	1 施策の趣旨等 嵐山公園及び天橋立公園において、公園利用者が魅力を 進する。 2 施策の実施状況及び執行額 嵐山公園においてトイレの洋式化等、天橋立公園におい 公園名施行場所 嵐山公園、古京区 天橋立公園 宮津市 計	感じることができる環境整備を推
			千年の都・鴨川清流事 業 (都市計画課)	1 施策の趣旨等 「千年の都・鴨川清流プラン」に基づき、魅力的な空間の の向上を目指す。 2 施策の実施状況及び執行額 快適な利用の促進と季節や自然を身近に感じる公共空間 トイレ棟の建築・設備工事を行った。 公園名 施行場所 鴨川公園 左京区 事務費	

				計		42, 153, 188
			木津川運動公園北側区 域官民連携調査事業 (都市計画課)		域について、周辺土地利用計画の具 軟に対応できるよう、総合的な視点 る。	
				2 施策の実施状況 早期整備に向けて、官 行った。	民連携手法の検討、造成計画、園路	・駐車場等の施設配置の検討を
				3 執 行 額		28,443,600円 (委託料)
			木津川運動公園整備事業 (都市計画課)	区域と一体となった魅力 康長寿社会の実現等、府 2 施策の実施状況	て、新名神高速道路の整備や周辺士 溢れる都市公園を目指し、子育て世 民から親しまれ賑わう空間を創出す 土質調査及び公園の設計を行った。	代が住みやすい環境づくり、健
				3 執 行 額		15, 577, 941円
3 自然公園費 (P186)	72, 127, 000 (129, 132, 000) 翌年度への繰越		生活・交通基盤整備事 業 (自然環境保全課)	1 施策の趣旨等 案内標識、休憩施設、	園地等の整備を行い、国定公園等の	利用促進を図る。
	事業費繰越額	内訳	(Himself Stirl Lan)	2 施策の実施状況及び執		
		国庫支出金		公 園 名 山陰海岸国立公園	施 行 場 所 京 丹 後 市	執 行 額 11, 720, 865円
	(生活・交通基盤) 整備事業費	20, 225, 000		丹後天橋立大江山	宮津市 京丹後市	4, 279, 135
	【 整 犡事業費	繰越金		国定公園京都丹波高原国定		, ,
		2, 200, 000 府 債		公園	綾部市 南丹市	16, 727, 000
		36,000,000		東海自然歩道計4箇所	宇治田原町	30, 719, 400 63, 446, 400
		5, 021, 400				

科 目	予算現額	決 算 額 主 要 な	施策 施策の実施状況と成果等
4 国直轄事業 費負担金 (P186)	28, 097, 000 (28, 097, 000	28,096,728 国直轄公園事	
7 住 宅 費 2 住宅建設費 (P186)	2,747,357,000 (3,212,318,000 翌年度への繰越 事業費繰越額 1,282,588,414 生活・交通基盤 整備事業費)(1,466,838,501)業 決算額の財源 内訳	京都府総合計画に基づき、「災害からの安心・安全」、「成長・交流・暮らしの基盤づくり 等に向けた基盤整備を着実に推進する。 2 施策の実施状況及び執行額 (1) 府営住宅整備等事業 PFI手法を導入して建て替えた府営住宅の維持管理を行い、住宅環境の向上を図った。管理戸数 令和3年度末 1団地 145戸 50,920,029円 (2) 府営住宅建設事業 府営住宅建設事業 府営住宅等長寿命化計画に基づき、既存府営住宅の建替による整備推進を図った。ア 管 理 戸 数 特定公共賃 特別賃 公営住宅法に基づく府営住宅 準公営住宅 貸府営住宅 貸府営 木造簡平 簡二耐二 中耐高層 計中耐高層 計中耐高層 計住宅 合計戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸
			令和 2 年度末 98 375 1,053 28 11,264 407 13,225 62 42 104 13 8 21 1,600 14,950 令和 3 年度 1 106 107 107 107

(3) 府営住宅ストック給合活用事業				다 차 4도 형i
解営住宅の手り122至、 P差解消等の住戸改善やエレベーター設置等の共用部分 行い、住宅環境の向上を図った。 ア 住 戸 改 書 身体障害者・高齢者向け改善 34回地 (城隔市、寮田辺市、京丹後市、交御山町) イ 共用部分改善 エレベーター設置 1 団地 (京都市) 外型改修 (福知山市、終部市、亀岡市、京田辺市、与謝野町) 設備改修 2 団地 (京都市) 集会所活用型コミュニティ再生 4 団地 (木津川市、与謝野町) ウ 執 行 額 293,531,453円 (大津川市、与謝野町) ウ 執 行 数 293,531,453円 共用部分改善 608,678,333 計 902,209,786 1 施策の趣旨等 府営住宅等長寿命化計画に基づき、府営住宅向日台団地の建替事業についてPFI手 る民間活力を活用した整備推進を図る。 2 施策の実施状況 専門的知識を有するPFIアドバイザーの助言を受けて、実施方針の策定等を行った。 3 執 行 額 39,731,000円 (委託料)				ウ 執 行 額 271,597,800円 (3) 府党住宅ストック総会活用事業
行い、住宅環境の向上を図った。 ア 住 戸 改 善身体障害者 「高齢者向け改善 34団地 (城陽市、京田辺市、京治市) (城陽市、京田辺市、京丹後市、久御山町 (東部市) 外壁改修 (京都市) 外壁改修 (京都市) 外壁改修 (福知山市、鎮部市) 外壁改修 (福知山市、鎮部市) 外壁改修 (福知山市、 結部市、 亀岡市、京田辺市、与謝野町) 設備改修 2 団地 (京都市) 集会所活用型コミュニティ再生 4 団地 (大津川市、与謝野町) ウ 執 行 額 生 戸 改 蓋				
ア 住 戸 改 善身体障害者・高齢者向け改善34団地 (京都市、福知山市、舞橋市、終部市、字治市) (城橋市、京田辺市、京伊後市、久御山町) イ 共用部分改善 エレベーター設置 1 団地 (京都市) 外壁改修 (京都市) 外壁改修 (福知山市、綾部市、陰間市、京田辺市、与謝野町) 2 (京都市) 株会所活用型コミュニティ再生 4 団地 (木津川市、与謝野町) ウ 執 行 額 生 2 2 3 5 3 1 4 5 3 円 共用部分改善 608 6 78 3 3 計 902, 209, 786 府営住宅向日台団地整 備事業 (住 宅 課) 1 施策の趣旨等 府営性宅向日台団地の建替事業についてPFI手) る民間活力を活用した整備推進を図る。 2 施策の実施状況 専門的知識を有するPFIアドバイザーの助音を受けて、実施方針の策定等を行った。 3 執 行 額 39, 731,000円 (委託料) 3 住宅対策費 (P188) (35, 167,000) (34,028,132) (住 宅 課) 1 施策の趣旨等 住宅建設及び増改築・修繕に必要な資金の貸付け等を行い、住宅環境の向上及び良ま 住宅建設及び増改築・修繕に必要な資金の貸付け等を行い、住宅環境の自力を取ります。 (4,028,132)				
身体障害者・高齢者向け改善 3 団地 (京都市、福知山市、舞館市、接部市、東沿市)				
イ 共用部分改善 エレベーター設置 1 団地 (京都市) 外壁改修 8 団地 (京都市) 外壁改修 8 団地 (福知山市、綾部市、亀岡市、京田辺市、与謝野町) 2 団地 (京都市) 集会所活用型コミュニティ再生 4 団地 (大津川市、与謝野町) ウ 執 行 額 住 戸 改 善 293,531,453円 共用部分改善 (住 戸 改 善 293,531,453円 共用部分改善 (代 声) 改善 (大津川市、与謝野町) ウ 執 行 額 住 戸 改 善 608,678,333 計 902,209,786				
イ 共用部分改善 エレベーター設置 1 団地 (京都市) 外壁改修 8 団地 (京都市) 外壁改修 8 団地 (福知山市、綾部市、亀岡市、京田辺市、与謝野町) 2 団地 (京都市) 集会所活用型コミュニティ再生 4 団地 (大津川市、与謝野町) ウ 執 行 額 住 戸 改 善 293,531,453円 共用部分改善 (住 戸 改 善 293,531,453円 共用部分改善 (代 声) 改善 (大津川市、与謝野町) ウ 執 行 額 住 戸 改 善 608,678,333 計 902,209,786				/ 京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宇治市 /
エレベーター設置 1 団地 (京都市) 外壁改修 8 団地 (福知山市、綾部市、竜岡市、京田辺市、与謝野町) 2 団地 (京都市) 集会所活用型コミュニティ再生 4 団地 (木津川市、与謝野町) ウ 執 行 額 住 戸 改 善 293,531,453円 608,678,333 計 902,209,786				
(京都市) 外壁攻修 8団地 (福知山市、綾部市、亀岡市、京田辺市、与謝野町) 設備攻修 2団地 (京都市) 集会所活用型コミュニティ再生 4団地 (木津川市、与謝野町) ウ 執 行 額 住 戸 改 善 293,531,453円 共用部分改善 608,678,333 計 902,209,786 府営住宅向日台団地整 備事業 (住 宅 課) 1 施策の趣旨等 府営住宅等長寿命化計画に基づき、府営住宅向日台団地の建替事業についてPFI手) る民間活力を活用した整備推進を図る。 2 施策の実施状況 専門的知識を有するPFIアドバイザーの助言を受けて、実施方針の策定等を行った。 3 執 行 額 39,731,000円 (委託料) 3 住宅対策費 (P188) (35,167,000) (34,028,132) (住 宅 課)				
外壁改修 8 団地 (福知山市、綾部市、亀岡市、京田辺市、与謝野町) 設備改修 (京都市) 集会所活用型コミュニティ再生 4 団地 (大津川市、与謝野町) ウ 執 行 額 住 戸 改 善 293,531,453円 共用部分改善 608,678,333 新 902,209,786 内営住宅向日台団地整 備事業 (住 宅 課) 1 施策の趣旨等 所営住宅等長寿命化計画に基づき、府営住宅向日台団地の建替事業についてPFI手 る民間活力を活用した整備推進を図る。 2 施策の実施状況 専門的知識を有するPFIアドバイザーの助言を受けて、実施方針の策定等を行った。 3 執 行 額 39,731,000円 (委託料) 3 住宅対策費 (ア188) (35,167,000) (34,028,132) (住 宅 課) 1 施策の趣旨等 住宅建設及び増改築・修繕に必要な資金の貸付け等を行い、住宅環境の向上及び良野				
(福知山市、綾部市、亀岡市、京田辺市、与謝野町) 2 団地 (京都市) 集会所活用型コミュニティ再生 4 団地 (大津川市、与謝野町) ウ 執 行 顧 住戸 改善 293,531,453円 特別では、大津川市、与謝野町) ウ 執 行 顧 特別では、大津川市、与謝野町) ウ 執 行 顧 大田部分改善 608,678,333 新 902,209,786 1 施策の趣旨等 所営住宅等長寿命化計画に基づき、府営住宅向日台団地の建替事業についてPFI手) る民間活力を活用した整備推進を図る。 2 施策の実施状況 専門的知識を有するPFIアドパイザーの助言を受けて、実施方針の策定等を行った。 3 執 行 顧 39,731,000円 (委託料)				
設備改修 2 団地 (京都市) 集会所活用型コミュニティ再生 4 団地 (木津川市、与謝野町) ウ 執 行 額 住 戸 改 善 293,531,453円 井 部分改善 608,678,333 計 902,209,786				· · · = · · · · · · · · · · · · · · ·
(京都市) 集会所活用型コミュニティ再生 4 団地 (木津川市、与謝野町) ウ 執 行 額 住 戸 改 善 293,531,453円				
集会所活用型コミュニティ再生 4 団地 (木津川市、与謝野町) ウ 執 行 額 住 戸 改 善 293,531,453円 共用部分改善608,678,333 計 902,209,786				, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
(木津川市、与謝野町) ウ 執 行 額 住 戸 改 善 293,531,453円 608,678,333 902,209,786				
ウ執行額 293,531,453円 住戸改善 293,531,453円 608,678,333 902,209,786 府営住宅向日台団地整備事業(住宅課) 1 施策の趣旨等 府営住宅等長寿命化計画に基づき、府営住宅向日台団地の建替事業についてPFI手である民間活力を活用した整備推進を図る。 2 施策の実施状況専門的知識を有するPFIアドバイザーの助言を受けて、実施方針の策定等を行った。 3 執行額 3 執行額 39,731,000円(委託料) (委託料) (委託料)				
#用部分改善 608,678,333 902,209,786 計 902,209,786				
計 902, 209, 786 府営住宅向日台団地整 備事業 (住宅課) 1 施策の趣旨等 府営住宅等長寿命化計画に基づき、府営住宅向日台団地の建替事業についてPFI手 る民間活力を活用した整備推進を図る。 2 施策の実施状況 専門的知識を有するPFIアドバイザーの助言を受けて、実施方針の策定等を行った。 3 執 行 額 39, 731, 000円 (委託料) 3 住宅対策費 (P188) 18, 858, 000 (35, 167, 000) (34, 028, 132) (住宅課) 1 施策の趣旨等 住宅建設及び増改築・修繕に必要な資金の貸付け等を行い、住宅環境の向上及び良賃				住 戸 改 善 293, 531, 453円
府営住宅向日台団地整 備事業 (住 宅 課) 1 施策の趣旨等 府営住宅等長寿命化計画に基づき、府営住宅向日台団地の建替事業についてPFI手がる民間活力を活用した整備推進を図る。 2 施策の実施状況 専門的知識を有するPFIアドバイザーの助言を受けて、実施方針の策定等を行った。 3 執 行 額 39,731,000円 (委託料)				
構事業 (住 宅 課)				計 902, 209, 786
(P188) (35, 167, 000) (34, 028, 132) (住宅課) 住宅建設及び増改築・修繕に必要な資金の貸付け等を行い、住宅環境の向上及び良い			備事業	府営住宅等長寿命化計画に基づき、府営住宅向日台団地の建替事業についてPFI手法による民間活力を活用した整備推進を図る。 2 施策の実施状況 専門的知識を有するPFIアドバイザーの助言を受けて、実施方針の策定等を行った。 3 執 行 額 39,731,000円
内訳 2 施策の実施状況及び執行額 住宅のバリアフリー化等に必要な資金融資を行った。 4,118,000 住宅建設資金融資事業貸付金 1,790,000円		(34,028,132) 決算額の財源 内訳 国庫支出金	(住宅課)	住宅建設及び増改築・修繕に必要な資金の貸付け等を行い、住宅環境の向上及び良質な住宅ストックの形成を図る。 2 施策の実施状況及び執行額 住宅のバリアフリー化等に必要な資金融資を行った。

科目	予算現額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	P	音 収 入 1,790,000 一般財源		住宅改良資金融資事業費 152,914円 1,942,914
		12, 041, 632	住宅相談事業 (住宅課)	1 施 策 の 趣 旨 等 府民からの住宅に関する法律的・技術的な相談への対応を行い、府民の安心の向上を図る。
				2 施策の実施状況及び執行額 住宅に関する耐震・法律・不動産取引知識などの相談に応じるため、京都府住宅供給公社 に住宅相談業務を委託した。 相談件数 1,960件 8,996,000円 (委託料)
			高齢者向け優良賃貸住 宅供給促進事業 (住宅課)	1 施策の趣旨等 高齢者向けの優良賃貸住宅の家賃助成を行い、住宅環境の確保を図る。 2 施策の実施状況及び執行額 民間事業者が行う高齢者向けの優良賃貸住宅の家賃助成を行った。 管理戸数 令和3年度末 1団地 34戸 2,543,000円
			次世代下宿「京都ソリ デール」事業 (住宅課)	若者への低廉で質の高い住宅確保と自宅の一室を提供する高齢者との交流を図る同居マッチングを促進する。
				指標:同居マッチング成立組数 目標:50組 実績:29組 2 施策の実施状況 若者への低廉で質の高い住宅確保と自宅の一室を提供する高齢者との交流を図るため、同居マッチングを行った。
				3 執 行 額 2,573,130円
			地域再建被災者住宅支援事業 (住宅課)	1 施策の趣旨等 平成29年台風18号、台風21号並びに平成30年7月豪雨等の大規模自然災害により住宅等に 被害を受けた府民が、早期に安定した生活を取り戻すため、被災した住宅の再建に要する経 費について、被災者生活再建支援法に基づく支援金に加え、府独自の制度として再建に要す

る経費を支援する。 2 施策の実施状況 (1) 地域再建被災者住宅支援補助 被災した住宅等の再建に要する補助を行った市 補助金交付市町 6市町 (2) 地域再建被災者住宅融資 被災した住宅を再建するための建設・改良資金	
3 執 行 額	1,894,588円 (うち補助金 1,851,000円)

第9款警察費

科	B	予算現	1 額	決	算	額	主	要	な施	策	施策の実施状況と成果等
1 掌	警察 管 理 費 警察本部費 (P190)		円 55, 000	7 (71, 99 決算4 内訳 国庫 一般	737, 81	円 0, 342 , 365) 源 1, 700	警察安業	全相		2世事	
							少 ワ ー グ	事業	—		1 施策の趣旨等 警察本部及び警察署にスクールサポーターを配置し、学校、地域ボランティア、保護者、 警察等の行政機関がネットワークを構築して連携することにより、少年非行等を抑止する。 指標:非行防止教室実施小中学校数 目標:566校(府内全小中学校) 実績:494校(87.3%) 2 施策の実施状況 (1) スクールサポーターの運用 元警察官42人をスクールサポーターとして採用し、警察本部及び各警察署に配置して、学校、地域ボランティア及びPTAと協働した非行防止、立ち直り支援等の活動を行うことにより、京都の未来を担う子供たちの規範意識の向上と教育環境の正常化を図った。学校訪問(高等学校を含む。) 10,401回 指導、助言 4,988件 パトロール 33,429回 17,740時間 非行防止教室等開催 2,395 (2) 少年の性被害(福祉犯被害)防止対策 SNS上における性被害防止に係る社会機運が高まりを見せる中、サイバーパトロールを

科目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施策の実施状況と成果等
	円	円		効率的かつ効果的に行うため、SNS等ビッグデータ検索システムの活用により、不適切な 書き込みをした者に対し、注意喚起を行い、被害の未然防止を図った。
				3 執 行 額 140,301,349円
			交番機能強化事業 (地 域 課)	1 施策の趣旨等 交番相談員を交番に配置し、警察官のパトロールの強化や事件・事故等の対応により交番 に警察官が不在の場合でも来訪者に適切な対応ができるようにするほか、地域の防犯アドバ イザーとして、子ども・地域安全見守り隊等の自主防犯活動に対する指導連絡や助言を行い、 交番の機能強化を図る。
				2 施策の実施状況 158交番に各1人の交番相談員を配置して、警察官のパトロール時間を確保するとともに、 地理案内や遺失・拾得届の受理、交番の出入口付近に立ち、通行人等に対して声かけや道案 内等を行う活動、事件又は事故発生時における警察官への連絡を行うなど、交番の円滑な活動に寄与した。また、防犯アドバイザーとして、地域住民の自主的な防犯活動に対する指導 連絡及び助言を行った。 交番相談員(158人)の年間取扱件数(令和3年中) 248,548件
				(内訳)各種相談受理、事件事故通報13,796件遺失・拾得届の受理29,037被害届代書預かり122各種防犯ボランティア団体に対する指導連絡及び助言6,540電話による独居高齢者等に対する防犯指導等(いたわりテレホン)137,663その他来訪者対応(地理案内等)61,390
				3 執 行 額 525,461,550円
			警察行政サービス・デジタライズ事業 総務課 情報管理課 運転免許試験課	1 施策の趣旨等 警察行政サービス等のデジタル化により、府民の利便性の向上、警察行政の効率化・省力化・迅速化を図り、府民生活の更なる安全安心等を確保する。 2 施策の実施状況 (1) 運転免許更新等予約システムの導入スマートフォン等から更新時講習・学科試験の受講日時を予約できるシステムを導入し、受付窓口の混雑緩和等を図った。

				予約状況(令和4年3月1日から同月31日までの間 更新予約件数 7,802件(更新者の37.9%) 学科試験予約件数 3,989件(学科試験受験者の (2) デジタル申請等決裁システムの導入 電子決裁が可能となるシステムを導入し、令和4年 (3) 会議、教養等のリモート化 リモート会議やeラーニングが実施できる環境を整した。 3 執 行 額	966.0%) 2月から運用を開始した。
3 装 備 費 (P190)	8, 002, 000 (781, 398, 000)	7,858,532 (754,611,925) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 1,775,258 府 債 2,000,000 一般財源 4,083,274	(警備第一課)	1 施策の趣旨等 東日本大震災や豪雨災害の教訓を踏まえ、大規模災害機材を整備するほか、感染症対策資機材の整備により、機管理態勢の充実・強化を図る。 2 施策の実施状況 (1) 空気式切断機の整備豪雨災害や水難事故現場において、迅速な救出・救能な空気式切断機を整備した。空気式切断機 2台 (2) 感染症防護服の整備新型コロナウイルス感染症が拡大する中、警察職員ため、感染症防護服を整備した。感染症防護服を整備した。感染症防護服を整備した。感染症防護服を整備した。	初動態勢の早期確立を始めとする危助活動を行うため、水中でも使用可
4 警察施設費 (P190)		(3,434,720,153) 決算額の財源 内訳	宇治警察署整備事業 (会 計 課)	 施策の趣旨等 昭和43年築で、老朽化、狭あいが著しい宇治警察署のする。 施策の実施状況 現地建替に向けた実施設計、車倉庫棟解体工事等を実 執 行 額 	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,

科目	予算現額	決 算 額 主	主要な施策	施策の実施状況と成果等
	Þ		番・駐在所整備事業 (会 計 課) 地 域 課)	1 施策の趣旨等 安全で安心なまちづくりを推進するため、交番・駐在所の整備を計画的に実施する。
				 2 施策の実施状況 (1) 老朽化交番・駐在所の建替整備 富小路交番(旧三条寺町交番・中京警察署) 府立大学前交番(旧芝本町交番・下鴨警察署) 上林駐在所(綾部警察署) (2) 公共事業(道路拡張)に伴う駐在所の移転建替整備郷駐在所(京丹後警察署)
				3 執 行 額 161,425,574円
			民協働型インフラ保 事業 (交通規制課)	 施策の趣旨等 身近な安心・安全につながるインフラの劣化等に関する府民の気付きを募集し、府民協働によるインフラ保全を推進する。 施策の実施状況 ア 交通信号機の新設 押ボタン式信号機新設
				イ 交通信号機の改良整備 信号機多現示化 3基
				歩車分離化1視覚障害者用付加装置2高齢者等感応化1歩行者用・車両用灯器LED化15灯歩行者用・車両用灯器増設25歩行者用・車両用灯器更新11
				ウ 道路標識の整備 8本 集中3可変灯火式可変標識取替 3面
				標識の建植手入れ -式 エ 道路標示の整備 横断歩道の設置塗替 534本
				実線標示の設置塗替 26.18km 図示標示の設置塗替 771個 自転車横断帯の設置塗替 46本
				道路標示の消除 1. 166km エスコートゾーンの新設 140.4m

	 3 執 行 額	199, 533, 400円
交通安全施設整備事業	 1 施策の趣旨等	
(交通規制課)	交通事故の抑止と交通の円滑化による交通渋滞や交	通公害の減少を図るため、交通安全施
	設の計画的な整備を行い、安全な交通環境の実現を図	వ .
	 指標:交通事故死者数	
	目標: 年間40人以下(令和7年末まで) 実績: 51人	人(令和3年中)
	 2 施策の実施状況	
	(1) 補助事業	
	アー交通管制システムの整備	
	交通管制センター整備	
	集中制御機 25	—
	情報収集装置 33	-
	情報収集提供装置 14	—
	交通情報板11監視用テレビカメラ2	台
	半感応式信号機新設 1	其
	プログラム多段式信号機新設 4	
	歩行者用・車両用灯器増設 45	灯
	ウ 交通信号機の改良整備	
	信号機プログラム多段系統化 15	基
	信号機プログラム多段化 24	
	押ボタン化 5	
	歩車分離化 1	
	信号機多現示化 6	
	高齢者等感応化 2	
	歩行者用・車両用灯器LED化 80	· -
	信号機移設等 5 エ 道路標識の整備	式
	エー垣崎標識の登開 路側式標識(高輝度) 380	*
	オー道路標示の整備	4
	横断歩道の塗替 10.67	km
	実線標示の塗替 4.00	
	(2) 単独事業	
	ア 交通管制システムの整備	
	交通管制センター整備 ー	式

科目	予算現額	決 算 額	主 要 な 施 策	施策の実施状況と成果等
	P	円	子供安全安事通規制課 (交通指導課)	イ 交通信号機の改良整備 歩行者用・車両用灯器LED化 67基 ウ 道路標識の整備 路側式標識 1,201本 大型固定反射式標識板 34枚 標識の整備

			可搬式速度違反自動監視装置 6 基を活用し、追 実施した。 通学路における運用回数 444回、検挙数 79 子供の交通事故発生状況(小学生、歩行中) 死者数 0人(前年対比±0人) 負傷者数 38 ("+14)	
- 13.1112323	,816,000 165,832,530 (1,973,965,899) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 29,527,150 諸 収 入 3,097,396 一般財源 133,207,984	犯罪被害者等支援活動推進事業 (警務課)	1 施策の趣旨等 犯罪被害者等の権利利益の保護を図るため、犯罪 本計画に基づき各種施策を推進する。 2 施策の実施状況 (1) 関係機関・団体と連携を強化するとともに、を運を醸成した。 京都府犯罪被害者支援連絡協議会の運営 (2) 被害者支援の確実な実施のために、相談受理をた。 ア 性犯罪相談ダイヤル「ハートさん」等の各種イ 警察における被害者支援の広報用リーフレッ(主な広報啓発活動) 地域イベント、街頭等における広報啓発活高校における被害者遺族講演の実施及び政警察署単位犯罪被害者支援連絡協議会に対策のメッセージ展の開催 (3) 身体犯被害者・性犯罪被害者等の診断書料等に済的負担の軽減を図った。 ア 身体犯被害者に対する初診料、診断書料等イ 性犯罪被害者に対する初診料、診断書料等ウ 精神科医師の診察料等 エ 司法解剖後における死体検案書料 3 執 行 額	社会全体で犯罪被害者等をサポートする気 本制の充実と効果的な広報啓発活動を行っ 重相談窓口の運用 小ト等を活用した広報啓発活動の実施 活動 広報啓発活動 おける広報啓発活動

科目	予算現額	決 算 額	主 要 な 施 策	施策の実施状況と成果等
	円	р	Welcome Kyoto Project 事業 (警務課)	1 施策の趣旨等 訪日外国人が当事者となる事件事故や遺失拾得、地理案内等の様々な警察事象に迅速・的確に対応し、府民はもとより訪日外国人等も京都の良好な治安を等しく体感できる環境を整備する。
				2 施策の実施状況 (1) 日本語を解さない外国人からの急訴、各種届出等に対応するための資機材を訪日外国人等の来所が多く見込まれる交番等に整備するなど、コミュニケーションの円滑化を図った。 ア 外国語翻訳タブレットの運用 32台 36件 (2) 防犯・防災情報や遺失届・拾得届の届出要領のほか、日本の司法制度・刑事手続等といった情報を容易に入手できるように、訪日外国人等に対する情報伝達手段の強化を図った。ア 京都府警察ホームページ(一部)の英語・中国語(簡体字)・韓国語への翻訳イ 外国人向け広報紙を活用した防犯情報の発信 15,000部ウ 外国人110番サポートカードの作成 20,000枚エ 押ボタン式信号機外国語説明板の整備 8箇所オ 京都駅デジタルサイネージを活用した情報発信 2 (3) 英会話が堪能な会計年度任用職員1人を採用して、英会話能力向上のため、効果的・継続的な教養のほか、外国人を対象とした交通安全指導を実施した。ア 初任科生や入校者、再採用職員に対する英会話教養 1,076人イ 外国人を対象とした交通安全教室の開催 1回
			身近な犯罪を許さない 社会づくり推進事業 (生活安全企画課)	3 執 行 額 8,602,105円 1 施策の趣旨等 刑法犯少年の検挙・補導人員の中で高い割合を占める万引き・自転車盗等の身近な犯罪の 発生を抑止するため、住民、事業者、行政との協働による抑止活動を推進する。 指標:刑法犯認知件数 目標:年間15,000件以下(令和5年末まで)実績:10,483件(令和3年中) 2 施策の実施状況 (1) 京都府万引き防止対策推進協議会加盟店舗等と連携し、防犯アドバイザーによる防犯診断・防犯指導を実施するとともに、各店舗に防犯ハンドブックを配布して、万引きを許さない社会気運を醸成した。

イオンモール京都桂川店に対する防犯診断及び店長等責任者会議での防犯講演(南 警察署) アル・プラザ城陽に対する防犯診断及び支配人、警備員、テナント責任者等を対象 とした防犯講演(城陽警察署) イ 万引き防止ハンドブックを活用した防犯指導 京都府万引き防止対策推進協議会会員店舗等 1.500部 (主な取組) 管内コンビニエンスストアを対象とした防犯指導(中京警察署、東山警察署、下鴨 警察署) (2) 自転車の施錠を幼児期から習慣づけるため、絵本やチラシ等を作成し、自転車利用者の 規範意識、防犯意識を醸成した。 ア 児童施設に対する絵本の配布 188施設 564部 イ 自転車販売店と連携した広報啓発活動 チラシ 11店舗 19,100枚 ポスター 11 (3) 自動車関連犯罪被害防止を目的としたリーフレットを作成し、自動車利用者の防犯意識 を醸成した。 京都府自動車整備振興会 18,000部 京都府自動車販売協会 15, 000 (4) 学生・現役世代による防犯ボランティア活動を促進するため、活動用ベスト等の物的支 援や防犯ボランティア保険への加入支援を行った。 (学生防犯ボランティアの主な活動実績) 啓発活動 42回 パトロール 18 防犯教室 4 3 執 行 額 2,402,694円 子供安全安心実感まち 1 施策の趣旨等 づくり事業 子育て世代等が、子供の安全安心を実感できるように、通学路等における子供の防犯・交 生活安全企画課 通安全対策の強化・充実を図る。 (少 年 課) 交 通 企 画 課) 2 施策の実施状況 (1) 通学路等における子供の交通安全対策 ア 通学路等における「こども110番のいえ」、「こども110番のくるま」の整備・拡充 「こども110番のいえ」等の継続的な実態把握と訪問点検を通じ、活動マニュアルの交 付や経年劣化によるプレートの交換、新規設置等を実施した。 (登録状況) こども110番のいえ 17,464軒 こども110番のくるま 81団体 4,380台

科	予 算 現		 算	額	主	要	な施	策	施策の実施状況と成果等
		円 ·		田	バー	犯罪被	対する段害防山	対策	イ 子供の合図横断の推進と家庭内での交通安全教育のフォローアップ 幼児、児童に身近な教諭、保育士、保護者等が体系的かつ効果的な交通安全教育動画を作成した。 幼児・児童向け 8本 保護者向け 2 (2) 発達段階に応じた防犯教育プログラムの実施 子供の年齢に応じた危険予測・回避能力の向上を目的として策定された防犯教育プログラムに沿って、参加・体験型の防犯教室や不審者対応訓練等を実施した。防犯教室・不審者対応訓練(教職員向け) 375回 防犯教室・不審者対応訓練(教職員向け) 372 (3) 情報発信による地域見守り力の強化 子育て世代等を対象に、日常生活の中で各種被害防止を呼びかけるため、パペット人形を活用した動画を作成し、府警察公式YouTubeで配信したほか、デジタルサイネージを活用した情報発信を行った。 3 執 行 額 7,531,357円 1 施策の趣旨等 サイバー犯罪から青少年を守るための対策を実施するとともに、複雑、多様化、増加するサイバー犯罪に対する捜査体制の強化を図る。 指標:警察職員やネット安心アドバイザー等によるサイバー犯罪被害防止講演の実施回数実績:2,912回(令和3年中) 2 施策の実施状況 (1) 青少年のネット問題等の専門的知識を有する大学准教授等を「ネット安心アドバイザー」として登録し、府内の高等学校等においてサイバー犯罪被害防止に係る講演を実施し、青少年のネットモラルの酸成や、ネットトラブル対応能力の向上を図った。アドバイザー登録数 22人実施回数 20回 (2) 多様化するネットトラブルから青少年や高齢者を守るため、受講者各自がタブレット端末を操作して、ワンクリック詐欺やSNSへの不用意な投稿によるトラブル等を疑似体験しながら犯行の手口や対処法を学ぶ体験型講座(アクティブラーニング)を開催した。実施回数 140回

犯罪防御システム活用 事業 (刑事企画課)	1 施策の趣旨等 高度な犯罪分析機能を用いて、効果的なパトロールコを強化するとともに、犯罪の早期検挙を推進する。 2 施策の実施状況 (1) 選定したパトロールコースにおける府民との協働/たほか、犯罪リスクの高いエリアにおける警戒活動を挙した。 (2) 現行システムに移行した交通事故分析機能を活用し締り等を行い、交通死亡事故抑止対策を推進した。 (3) 犯罪関連情報と交通事故情報を統合した犯罪・交近発信機能を強化し、地域防犯力の向上を図った。	パトロール等の犯罪抑止活動を実施しを行うことにより、住宅侵入犯罪を検 し、交通規制・交通安全教育・交通取 通事故情報マップの提供により、情報
	3 執 行 額	100, 668, 855円
特殊詐欺被害撲滅総合対策事業(組織犯罪対策第二課)	2 施策の実施状況 (1) だまされた振り作戦において、被害者の心理的負担 「支援ツール(通信端末)」を警察本部、各警察署で活力 た。 支援ツール運用台数 81台 だまされた振り作戦実施数 31件(令 だまされた振り作戦による検挙数 3 (2) 犯人グループが使用する電話に集中的に電話をかけ 「集中架電システム」を運用し、犯行ツール対策の発	上対策を実施する。 旦の軽減、被害者と警察の連携を図る 用し、同作戦による検挙の強化を図っ 和3年中) 対続け、その使用を事実上不能とする 強化を図った。 令和3年中) アマットを金融機関に配布し、利用客
1		

科	目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施策の実施状況と成果等	
		H	р.	月 児童虐待総合対策事業 (捜査第一課)	1 施策の趣旨等 すべての子供が健全に育成されるよう、児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応、再 防止、自立支援に至るまで、一貫した施策を関係機関と連携しながら総合的に推進する。	
					2 施策の実施状況 被害児童等の供述の任意性・信用性等に配慮した適切な聴取技法を習得するため、司法 接研修を受講し、司法面接体制を強化するとともに関係機関との連携の強化を図った。 司法面接研修 警察職員 8名	支面
					3 執 行 額 898,458円	
				危機管理態勢充実・強 化事業 (警備第一課)	1 施策の趣旨等 東日本大震災や豪雨災害の教訓を踏まえ、大規模災害発生時に備えて、災害警備活動用機材を整備することにより、初動態勢の早期確立を始めとする危機管理態勢の充実・強化図る。	
					2 施策の実施状況 放射線防護資機材の点検整備 原子力関連事故等発生時の部隊活動に必要となる放射線防護資機材(サーベイメータ、 人線量計)の点検整備を実施した。 サーベイメータ 表面用 49台、空間用 52台 個人線量計 1,106台	個
					3 執 行 額 26,785,601円	

第10款 教 育 費

科目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
科 目 1 教育総務費 4 教育連絡調整費 (P194)	7 1,132,611,750 (1,634,474,395) 翌年度への繰越 事業費繰越額 38,000,000 (スマート業費 30,000,000 新型コッセラウイルルス 動型コッセラウイルルス 動力である。	円 1,082,356,520)(1,575,369,921) 決算額の財源 内訳 国庫支出金	いじめ防止・不登校支 接等総合推進事業 学校教育課 高校教育課 社会教育課	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等 1 施策の趣旨等 いじめや不登校が大きな問題となる中で、学校等における児童生徒や保護者の相談に対応する総合的なサポート体制を充実するとともに、いじめ、不登校対策や生徒指導の充実を図る。 指 標 目 標 実 績 スクールカウンセラーの配置校数 小27校、中高全校配置 小27校、中高全校配置 2 施策の実施状況 (1) スクールカウンセラー配置 学校における教育相談機能の充実を図るため、専門的な知識を有する臨床心理士をス
				学校における教育相談機能の充実を図るため、専門的な知識を有する臨床心理士をスクールカウンセラーとして小・中・府立高等学校に配置した。 配置校(小学校)向日市立向陽小学校ほか26校 (中学校)全中学校 (高等学校)全府立高等学校 (2)心の居場所サポーター配置 学校に登校できるが教室に入りにくい児童生徒に対し、相談室等で相談・学習支援を行うための「心の居場所サポーター」を小・中学校に配置し、不登校の未然防止と早期解決を図った。 配置校(小学校)宇治市立槇島小学校ほか15校 (中学校)向日市立西ノ岡中学校ほか21校 (3)24時間電話相談 いじめ問題等に関し、24時間体制での電話相談を実施した。相談件数3,478件 (4)トータルアドバイスセンター 学校教育及び家庭教育に関する相談体制の充実を図るため、精神科医、臨床心理士の適応指導相談員や臨床・発達心理学等専門的な知識や技能を有するカウンセラーを配置し、来所及び巡回教育相談を実施した。来所及び巡回教育相談場所 府総合教育センター及び同北部研修所巡回教育相談場所 教育局及びアグリセンター大宮 (5)フリースクール連携推進事業 不登校児童生徒の学校復帰や希望進路の実現に向けて取り組んでいるフリースクールとの連携を推進し、児童生徒の社会的自立を支援した。

科目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円 ·			(6) SNSを活用した相談体制構築事業 通信手段が電話からSNS等に移行していることを踏まえ、多様な相談体制の構築を目的としてLINE等による相談窓口「子どもSNS相談@京都」を開設した。 設置期間 令和3年8月16日から9月30日まで及び 令和4年1月4日から1月31日まで 受付件数 120件 (7) 不登校児童生徒支援拠点整備事業 市町村が設置する教育支援センターにスクールカウンセラー等の専門家を配置し、相談業務や個別学習の支援を行うなど、同センターを不登校児童生徒支援の拠点として機能拡充を図った。 実施市町村 10市町 (8) 「もう1つの教室」モデル構築事業 小学校において、別室登校している児童に対し、個別の学習計画を作成するなど、状況に応じた支援を実施した。 実施校 福知山市立雀部小学校 (9) 学校問題対策チームの設置 事務局に設置した法律や心理学等の専門家を中核としたチームにより、学校が法的根拠を求める事案及び重大事案に対して助言を行った。 (10) 不登校児童生徒に対する支援体制整備事業 教育支援センターにおける相談・支援体制の強化や関係機関との連携を支援するコーディネーターの配置等を実施した。 実施市町村 7市町
				3 執 行 額 417,593,373円
			京都グローバル人づく り事業 (学校教育課) 高校教育課)	1 施策の趣旨等 小・中・高校生の英語によるコミュニケーション能力の育成を図るとともに、高校生の海 外語学研修や留学への支援・英語指導助手の配置などにより、国際感覚を身に付けた国際社 会で活躍できるグローバル人材を育成する。
				指 標 目 標 実 績 英検準2級相当を取得して 42.5% 45.7% いる府立高校生の割合
				2 施策の実施状況 (1) 英語指導助手の配置 英語による実践的なコミュニケーション能力の充実や国際理解教育の推進を図るため府

立高等学校等にIETプログラム等による英語指導助手を配置した。 (2) 府立高校生グローバル文化カフェ事業 茶道を通じて外国人留学生とのおもてなし交流を実施した。 実施校 洛北高等学校 (3) 英語 4 技能向上事業 中学2年生を対象に英語4技能テストを実施した。 実施校 長岡京市立長岡第四中学校ほか12校 (4) 教員向け研修の実施 義務教育段階での系統的な英語指導力の向上を図るため、小・中学校教員を対象に研修 を実施した。 (5) 府立高校生ハイブリッド型留学事業 対面形式とオンライン形式のハイブリッドによる異文化理解と語学の研修を実施した。 参加生徒数 22校194人 3 執 行 額 228, 595, 644**円** 京都式「学力向上教育」 1 施策の趣旨等 サポーター」事業 「まなび・生活アドバイザー」を配置・派遣し、児童生徒への支援とネットワークづくりに より、学校をプラットフォームとした福祉関係機関等との連携支援体制を構築する。 (学校教育課) 「まなび・生活アドバイザー」の配置校数 小学校29校 小学校29校 中学校40 中学校40 2 施策の実施状況 (1) 地域の状況に詳しい退職教員等を小・中学校に「まなび・生活アドバイザー」として配 置し、担任と連携した支援や福祉関係機関等と連携した家庭環境の改善を行い、生活習慣 の確立と学習習慣の定着を図った。 (2) 学校に社会福祉士、臨床心理士等を派遣し、困難な家庭環境にある子どもの状況を学校 で把握し、教育的、福祉的観点から学習・生活支援策を検討・実施できるようケース会議 を開催した。 3 執 行 額 195, 291, 900円 スマートスクール推進 1 施策の趣旨等 事業 情報活用能力の向上や、各教科等におけるICTを活用した学習活動の充実により新しい時 (ICT教育推進課) 代に必要とされる資質を身に付けるため、府内公立学校におけるICT環境を整備する。 2 施策の実施状況 (1) 民間企業やNPO、大学等が参画する「ICT利活用サポートセンター」においてICT専門家

科目	予算現額	決 算 額 主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	F	日	と連携し、ICTを活用した授業実施のための教員に対する支援体制を強化した。 (2) 新しい授業づくりリーダー教員育成研修において、ICT利活用を先導的に進める市町(組合)立学校及び府立学校の教員を育成した。 研修実施数 10回 (3) 府立学校における教員用タブレット端末や校内通信ネットワークの保守・サポートを実施した。 3 執 行 額 120,990,000円
		効果の上がる学力対策事業 (学校教育課)	1 施策の趣旨等 基礎・基本の徹底や個別課題に対応するための取組を充実し、児童生徒に確かな学力が身につくよう、学力向上に向けた実践的・効果的な支援を実施する。 2 施策の実施状況 (1) 小学校・中学校学力診断テスト 小・中学校児童生徒の学力を客観的にきめ細かく把握し、一人ひとりに対応した指導及び授業改善に役立てるため、学力診断テストを実施した。 (2) 小学生個別補充学習~ジュニア・わくわくスタ~学習内容が高度化する小学4・5年生段階のつまずきを解消するとともに、主体的に学習に取り組む意欲・態度を身に付けさせるため、基礎・基本を徹底する補充学習を実施した。実施校162枚 (3) 中1振り返り集中学習~ふりスタ~中学1年生の早期に学習のつまずきの解消を図るとともに、主体的に学習に取り組む意欲・態度を身に付けさせるため、基礎的・基本的な内容を振り返る集中学習を実施した。実施校93校 (4) 中2学力アップ集中講座中学2年生段階における基礎学力の定着を図り、さらに発展した学習ができるよう集中学習を実施した。実施校90校 (5) 中学生読解力向上対策「読む力」と「書く力」を総合的に高めていき、実生活で活用できる力を身に付けた生徒を育成するため、小論文グランプリ等を実施した。 実施校85枚 (7) 理科教育推進事業 理科の観察実験の機会確保と質の向上のため、理科支援員を配置するとともに、大学教

授による指導助言を実施した。 配置校 久御山町立久御山中学校ほか4校 (8) 学びの深化プロジェクト 学校独自の創意ある教育活動を行う研究校を指定し、学校の課題解決に結び付けた実践 研究を実施した。 実 施 校 京田辺市立大住小学校ほか5校 3 執 行 額 70, 331, 111円 新しい学び総合推進事 1 施策の趣旨等 課題解決型学習等の実施を通し、児童生徒の将来のために必要な資質・能力を育成できる (学校教育課) よう、総合的な施策を推進する。 指 標 目 標 実 績 22校 5 中学校区 事業指定校数 22校5中学校区 2 施策の実施状況 (1) 次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業 学習指導要領改訂に伴い、児童生徒の英語4技能をバランス良く育成するため、市町村 等と連携し、小学校から高等学校までの一貫した英語教育を実施した。 実 施 校 7校(小学校 3校 中学校 2校 高等学校 2校) (2) 未来を拓く学校づくり推進事業 「認知能力」と「非認知能力」をともにバランス良く育むため、プログラムの作成等の実 践研究を実施した。 (3) 課題解決型学習推進事業 府内企業等とタイアップし、子ども達が社会に出たときに直面するような「答えのない」 問い」に長期的・継続的に取り組む課題解決型学習を実施した。 実 施 校 向日市立寺戸中学校ほか4校 (4) PISA型読解力育成事業 文章と図表などを正しく対応させたり、複数の文章を読解し、質と信ぴょう性を評価す るなどのPISA型読解力の育成に向けた実践研究を中学校で実施した。 実 施 校 宇治市立広野中学校 舞鶴市立白糸中学校 (5) 文化継承を目的とした地域創生事業 郷土学習を活用しながら社会参画意識を醸成させるため、地元の文化財を題材とした課 題解決型学習を府内小学校で実施した。 実 施 校 向日市立第5向陽小学校ほか7校 (6) KYO発見 仕事・文化体験活動

京都の伝統や文化を大切にする心や、望ましい職業観・勤労観及び様々な知識・技能、

科	目	予算現額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
		F.	B F	9	社会の一員としての規範意識やコミュニケーション能力などを身につけさせるため、地域における仕事や文化、古典等の体験活動を小・中学校において実施した。 (7) 子どもの読書活動の推進 子どもが積極的に読書活動を行おうとする意欲を高めるため、「子ども読書本のしおりコンテスト」を実施した。 応募者数 7,767人
					3 執 行 額 14,660,962円
				次世代型学力・学習状 況調査研究事業 (学校教育課)	1 施策の趣旨等 学校のICT環境が整備され学習手法も変化する中、これまで紙ベースで実施してきた府学 力診断テストをタブレット端末等を用いてCBT化するとともに、学力の伸びも把握し、児童 生徒の学力向上に繋げる実証研究を実施する。
					2 施策の実施状況 (1) IRTとパネルデータを組み合わせた学力・学習状況調査実証研究 各問題に対して統計的に難易度を設定する技術等を活用し、児童生徒が自らの学力の伸びを実感するとともに、教員が客観的データに基づいて改善された効果的な指導・支援を行うことにより学力と非認知能力の向上を図るための調査研究を行った。 実施校長岡京市立長岡第三小学校ほか18校 (2) CBTシステム構築・活用実証研究
					GIGAスクール構想で配備されたタブレット端末を用いて児童生徒の学力や学習状況を 測定し、結果の早期活用と個に応じた指導の充実につなげるCBTシステムの構築を図るた めの実証研究を行った。 実 施 校 向日市立第6向陽小学校ほか 10校
					3 執 行 額 11,000,000円 (うち委託料 10,788,245円)
				高校生「京の文化力」 推進事業 (高校教育課)	1 施策の趣旨等 府立高等学校における文化系部活動への支援を通じて、京都の伝統文化の次世代への継承 を図るとともに、京都ならではの文化をはぐくむことを目指す。
					指標與學術學的學術學的學術學的學術學的學術學術學的學術學術學學術學學術學學術學學術學學
					事業指定校数 外部指導者の技術指導による 22校30部 文化系部活動の充実

	2 施策の実施状況各種大会等で顕著な活動実績のある部や、特に育成に契として学校を指定し、活動を支援するとともに、その成果3 執 行 額	
幼児教育の質向上・課 題解決事業 (学校教育課)	1 施策の趣旨等 京都府幼児教育センターを中心に、幼児教育の質の向上 図る。 指標 標 目標 幼児教育アドバイザーによる 幼児教育施設への指導助言回数 40回	ニや、小学校教育への円滑な接続を 実 績 70回
	2 施策の実施状況 (1) 幼児教育アドバイザーの配置 幼児教育の専門的な知見や豊富な実践経験を有する幼児教育を担う各施設への巡回・指導助言や研修等を実施 指導助言回数 70回 (2) 幼児教育の推進 幼児教育関係機関と連携し、保育者と小学校教員によの充実や、市町村幼児教育アドバイザーによる幼児教育研究などにより、円滑な幼小接続の推進や幼児教育の質	をした。 にる幼小接続に向けたカリキュラム 質施設への継続的な支援の在り方の
	3 執 行 額	6, 525, 530円
新型コロナウイルス感 染症対策事業 (保健体育課)	 施策の趣旨等公立幼稚園における新型コロナウイルス感染症の防止対 施策の実施状況公立幼稚園に対してマスクや消毒液、感染防止用の備品支援先 10市町35園 執 行 額 	

科目	予算現額決	央 算 額 主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
2 小 学 校 費	円	円	
1 教職員費 (P196)	(33,715,188,000 X 33, 決算 内 国 国	2, 432, 449, 631 , 675, 417, 800) 算額の財源 訳 庫支出金 445, 372, 651 般財源 1, 987, 076, 980	1 施策の趣旨等 義務教育9年間を見通し、児童生徒や学校の実態に即して必要な教員を配置し、一人ひとりの児童生徒の確かな学力の定着を図る。 指標 目標 実績 学校の実態等に即した教員配置数 全小学校に配置 全小学校に配置 2 施策の実施状況 (1) 小学校低学年指導充実事業 児童に学校での基本的な生活習慣及び学習習慣を身に付けさせ、保育園や幼稚園等から小学校への円滑な移行と定着を図るため、小学校第1及び第2学年の児童数30人を超える学級に非常勤講師を配置した。 配置状況 第1学年 100学級第2学年 119 (2) 京の子ども・少人数教育推進事業 小学校第3から第6学年で30人程度の学級編制が可能となるよう教員配置を充実するとともに、児童に応じた指導を行うため、少人数授業・ティームティーチング・少人数学級を市町村教育委員会の選択により実施した。配置状況 少人数授業・ティームティーチング 68校 86人少人数学級 81 139
		教職員の働き方改革推 進事業 (教職員企画課) (教職員人事課)	3 執 行 額 1,992,074,008円 1 施策の趣旨等 教育の質を高めるため、教職員の意識改革を行うとともに、外部人材の活用などにより、 学校における新型コロナウイルス感染症の防止対策の徹底や、教員が授業や準備等に集中で きる環境を構築する。 指標 目標 実績 小学校英語教育推進教員の配置 64人 64人 スクール・サポート・スタッフの配置 198校 188校 2 施策の実施状況 (1) 小学校英語教育推進教員の配置 配置校で英語授業を実施するとともに、公開授業や研修を通じて、小学校英語教育を先導する教員を配置した。

特別支援教育充 (教職員企画) (教職員人事)	
3 中学校費 1 教職員費 (P196) 1,537,899,548 1,537,165,362 (21,016,535,000) (20,946,840,821) 決算額の財源内訳 国庫支出金 355,277,127 一般財源 1,181,888,235	議業 義務教育9年間を見通し、児童生徒や学校の実態に即して必要な教員を配置し、一人ひと 駅 い りの児童生徒の確かな学力の定着を図る。

科目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	スクール・サポート・ スタッフ配置事業 (教職員企画課) 教職員人事課)	1 施策の趣旨等 児童生徒が安心・安全に学習できるよう、学校における新型コロナウイルス感染症の防止 対策の徹底や、教員が授業や準備等に集中できる環境を構築する。
				指 標 目 標 実 績 スクール・サポート・スタッフの配置 90校 86校
				2 施策の実施状況 教員を補助するスタッフを中学校に配置し、教員の事務作業や校内の消毒等をサポートす る体制を整備した。
				3 執 行 額 44,787,388円
			特別支援教育充実事業 (教職員企画課 (教職員人事課)	1 施策の趣旨等 中学校の通常学級に在籍する発達障害等の生徒に対して、適切な教育的支援や支援体制の 整備等を先導的に行うため、非常勤講師を配置し、中学校における特別支援教育の充実を図 る。
				指 標 目 標 実 績 支援を要する中学校への非常勤講師配置数 18校 18人 18校 18人
				2 施策の実施状況 特に支援を必要とする生徒が在籍する中学校において、校内委員会での検討等学校全体と しての支援体制の充実を図るため、退職教員や特別支援教育専攻の大学院生等を非常勤講師 として配置した。
				3 執 行 額 39, 187, 426円
2 教育振興費 (P198)	(学校教育活動継)			1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、府立学校の実情に合わせた感染防止対策等を実施する。 2 施策の実施状況 学校の実情に合わせた感染防止対策や学習保障に資する物品等を全府立中学校に整備した。
	続事業費 			3 執 行 額 2,838,282円

4 高等学校費 1 高等学校総 務費 (P198)	43, 887, 000 (27, 582, 959, 000)	43, 695, 745 (27, 502, 405, 999) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 12, 478, 000 一般財源 31, 217, 745	(教職員企画課) (教職員人事課)	1 施策の趣旨等 生徒が安心・安全に学習できるよう、学校における新型コロナウイルス感染症の防止対策 の徹底や、教員が授業や準備等に集中できる環境を構築する。 指標
2 全日制高等 学校管理費 (P198)	364, 581, 000 (1, 983, 634, 000) 翌年度への繰越 事業費繰越額 208, 672, 467 (学校教育活動継) 続事業費	(1,766,060,709) 決算額の財源 内訳	学校教育活動継続事業 (総務企画課) (管理課)	1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、府立学校の実情に合わせた感染防止対策等を実施する。 2 施策の実施状況 (1) 学校の実情に合わせた感染防止対策や学習保障に資する物品等を全府立高等学校に整備した。 (2) 夏季・冬季において生徒が安心して授業を受けられるよう空調管理を実施した。 3 執 行 額 153,762,750円

科	目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
3	定時制高等 学校管理費 (P200)	円 31,332,000 (128,019,000) 翌年度への繰越 事業費繰越額 19,000,000 (学校教育活動継) 続事業費	11, 089, 184	(管理 課 <i>)</i>	1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、府立学校の実情に合わせた感染防止対策等を実施する。 2 施策の実施状況 (1) 学校の実情に合わせた感染防止対策や学習保障に資する物品等を全府立高等学校に整備した。 (2) 夏季・冬季において生徒が安心して授業を受けられるよう空調管理を実施した。 3 執 行 額 11,089,184円
4	教育振興費 (P200)	翌年度への繰越 事業費繰越額	(7,277,767,952) 決算額の財源 内訳 国庫支出金		1 施策の趣旨等 経済的理由により修学が困難な高校生等に対し、修学資金の貸与や就学支援金の給付等を 行うことにより、教育の機会均等を図り、社会の発展に貢献する人材の育成に資する。 2 施策の実施状況 (1) 修学資金等貸与 経済的理由により修学が困難な高校生等に対し、修学資金等を貸与するとともに、金融機関の特別制度融資を利用した者に対し、利子相当額を補助した。 貸与者数 修 学 金 2,315人 支 度 金 226人 利子補給 575 (2) 通学費補助 高額の通学費を負担する家庭に対し、通学費の支援を実施した。 助成者数 114人 (3) 定時制・通信制教育振興奨励 定時制・通信制教育振興奨励 定時制・通信制教育振興奨励 定時制・通信制教育振興奨励 定時制・通信制教育振興受励 定時制・通信制教育振興受励 定時制・通信制教育振興受励 定時制・通信制教育振興受励 に対し、後学委励費の貸与等を実施した。 資与者数 35人 (4) 奨学のための給付金 授業料以外の教育費負担を軽減するため、低所得世帯の高校生等に対し、奨学のための給付金を支給した。 受給者数 4,558人 (5) 公立高校就学支援金 一定の収入額未満世帯の生徒に対し、授業料に充てるため公立高等学校就学支援金を支給した。 対象者数 29,494人

	3 執 行 額 4,555,740,049円 (うち貸付金 685,705,000円)
府立高校産業 タル化事業 (高校教育	地域産業を牽引する人材を育成するため、最先端のデジタル化に対応した産業教育設備を
	2 施策の実施状況 職業系専門学科のある高等学校において、精密旋盤や金属3Dプリンタ等の産業教育デジタル化機器を整備した。 実施校 北桑田高等学校ほか18校
	3 執 行 額 1,875,948,256円 (うち備品購入費 1,787,466,311円)
スマートスク・ 事業 (高校教育 (ICT教育推	情報活用能力の向上や、各教科等におけるICTを活用した学習活動の充実により新しい時
夢に応えられ。 校づくり事業 (高校教育	「府立高校特色化推進プラン」に基づき、生徒一人ひとりに応じた教育と時代の変化に対応

科目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円 一			形 式 オンライン開催 (2) グローバルネットワーク京都等 大学教授等による論文作成講座や高校生による論文コンテスト、民間企業と連携した商品開発等の取組を実施した。 (3) 京都フロンティア校支援事業 各高等学校の特色に応じて自ら設定したテーマに基づく先進的な取組を支援した。 実 施 校 清明高等学校ほか28校 (4) 京都フレックス学園構想推進事業 清明高等学校及び清新高等学校における教育環境の充実に関する取組を支援した。 (5) ワールドワイドラーニングコンソーシアム構築支援事業 イノベーティブでグローバルな人材を育成するための先進的なカリキュラムを開発・実践した。 実 施 校 鳥羽高等学校 (6) 地域との協働による高等学校教育改革推進事業 地域課題の解決等の探究的な学びの実現に向けて、先進的なカリキュラムを開発・実践した。 実 施 校 京都すばる高等学校 3 執 行 額
			確かな学力を身につけるための支援事業 (高校教育課)	1 施策の趣旨等 生徒一人ひとりの能力・個性を伸ばすため、生徒の学力・学習状況をきめ細かに把握・分析し、状況に応じた取組を推進することで、学力や学校生活の基礎・基本の向上と定着を図る。 2 施策の実施状況 (1) 府立高校生学びの基礎診断 生徒の学力状況を把握し教科指導の充実を図るため、学びの基礎診断の受験料を一部補助した。 (2) 府立高校「セカンドラーニング教室」設置事業 義務教育段階の学び直しが必要な生徒の学習不安を解消し、学力不足による中退等の防止や学習意欲の向上による希望進路実現を図るため、学習内容の定着が十分でない生徒を対象に個別指導を実施した。 (3) 基礎学力補習 学習習慣の確立、基礎・基本の徹底により、生徒の基礎学力の充実を図るため、補習の実施や独自教材の作成を行った。 (4) 進路補習

系校生伝統文化事業 (高校教育課)	ム 実 執 1 の が 3 1 1 の の が の が に は の の の が に は の の が に の が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に に に が に に に に に に に に に に に に に	ート農林水産業権 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	学校ほか3校 学重する態度の育成に当たり、 ひを高めるとともに、豊かに生 目標7,800人 総合的な学習の時間等を活用し や思いやりの心を学ぶ授業を実 高等学校ほか46校	18,784,000円 府にゆかりの深い茶道及び華 ききる力を育む。 実 績 7,052人 ン、茶道や華道、古典に関する	産道を
特別支援教育総合推進 事業 (高校教育課)	3 執 行 1 施策の起	華道 山城 古典 山城 京の文化継 額 額 軍旨等	高寺子校はか46校 高等学校ほか28校 高等学校ほか25校 承・価値創造推進校 鴨沂高等	等学校ほか15校 14, 011, 842円	

科 目	予算現額決算額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円 F	3	実施校 2校 3 執 行 額 1,321,770円
5 学校建設費 (P200)	(2,910,452,000) 翌年度への繰越 事業費繰越額 362,163,000 学校施設長寿命 化推進費 236,453,000 府立高校トイレ 洋式化推進事業 費	(管理課) 0	1 施策の趣旨等 学校施設の計画的な改修により長寿命化を推進する。 2 施策の実施状況 大規模改修、空調改修及び体育施設改修工事を実施した。 実 施 校 大規模改修 田辺高等学校 空 調 改 修 嵯峨野高等学校、西城陽高等学校、京都八幡高等学校(南キャンパス) 体育施設改修 洛水高等学校、北桑田高等学校、東舞鶴高等学校 3 執 行 額 1,372,017,602円
	3, 906, 87	老朽校舎等改修事業 (管理課)	 施策の趣旨等 老朽化した校舎等の維持補修を計画的に実施する。 施策の実施状況 老朽校舎改修及び設備改修等を実施した。 老朽校舎・設備改修等 564,061,168円 建築物定期点検 43,673,800
		府立高校トイレ洋式化 推進事業 (管理課)	3 執 行 額 607,734,968円 1 施策の趣旨等 府立高等学校のトイレ洋式化を推進し、学習環境及び衛生環境の向上を図る。 2 施策の実施状況 トイレ洋式化のため改修工事及び改修設計を実施した。 実 施 校 トイレ改修 鳥羽高等学校ほか9校 改修設計 北稜高等学校ほか19校

				3 執 行 額	567, 878, 000円
5 特別支援学校 費 1 特別支援学 校費 (P202)	(16,615,966,482) 翌年度への繰越 事業費繰越額	3, 617, 861, 266 (16, 419, 278, 200) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 1, 026, 616, 731 繰 越 金 91, 295, 201 府 債 2, 455, 000, 000 一般財源 44, 949, 334	(管理課) 学校教育活動継続事業 「総務企画課」 管理課	1 施策の趣旨等 山城地域の特別支援学校における児童生徒の急増に対 もと、新設特別支援学校を整備する。 2 施策の実施状況 令和4年4月の開校に向け、井手やまぶき支援学校の 3 執 行 額 1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、府立学校の施する。 2 施策の実施状況 (1) 学校の実情に合わせた感染防止対策や学習保障に資整備した。 (2) スクールバスの運行を増便した。 実施校向日が丘支援学校ほか7校 (3) 夏季・冬季において児童生徒が安心して授業を受け	新築工事を実施した。 2,960,044,736円 実情に合わせた感染防止対策等を実 する物品等を全府立特別支援学校に られるよう空調管理を実施した。
			向日が丘支援学校校舎 等整備事業 (管理課)	 3 執 行 額 1 施策の趣旨等 「向日が丘支援学校改築基本構想」に基づき、校舎等の福祉施設構想と連携した教育と福祉の総合的な連携によ教育環境の充実を図る。 2 施策の実施状況 向日が丘支援学校の改築工事を行うための実施設計を 3 執 行 額 	る切れ目のない支援の実現に向けて

科目	予算現額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	P.	3 F.	老朽校舎等改修事業 (管理課)	1 施策の趣旨等 老朽化した校舎等の維持補修を計画的に実施する。
				2 施策の実施状況老朽校舎改修及び設備改修等を実施した。老朽校舎・設備改修2 築物定期点検134,365,865円6,850,000
				3 執 行 額 141, 215, 865円
			スマートスクール推進 事業 (ICT教育推進課)	1 施策の趣旨等 情報活用能力の向上や、各教科等におけるICTを活用した学習活動の充実により、新しい 時代に必要とされる資質を身に付けるため、府立学校におけるICT環境を整備する。
				2 施策の実施状況 府立特別支援学校の校内通信ネットワーク等を整備した。
				3 執 行 額 24,930,000円 (うち委託料 17,767,618円)
			特別支援教育総合推進 事業 (特別支援教育課)	1 施策の趣旨等 発達障害を含む障害のある幼児児童生徒一人ひとりの教育ニーズに応じて、一貫した支援 を総合的に行う。
				指標 目標 実 績 京都府スーパーサポートセンターにおける 1,000人 1,859人 教員への体験型専門研修受講者数 京都府スーパーサポートセンター及び各地 6,800件 4,403件
				域支援センターにおける小・中学校等に対する相談支援件数
				2 施策の実施状況 (1) 特別支援教育サポート拠点事業 特別支援教育の拠点校である宇治支援学校内にある「京都府スーパーサポートセンター」 において、総合教育センター、各地域支援センター、盲学校及び聾学校と連携、子ども・ 保護者・教員・地域を支援した。 ア 宇治支援学校の授業等を活用した教員への体験型専門研修 20講座開催 受講者 1,859人

特別支援学校職業教育	イ 医師や作業療法士等からなる専門家チーム等を活用した相談支援 相談件数 51件 ウ 府南部地域における就学前からの視覚・聴覚障害のある子どもへの相談支援 相談件数 626件 (2) 地域等連携推進事業 ア 各地域支援センターにおける教育相談、医師、臨床心理士、福祉関係者及び教員等に よる教育相談 相談件数 3,777件 イ 小・中学校等での研修会への講師派遣 支援件数 128件 3 執 行 額 17,521,994円
等充実事業 (特別支援教育課)	特別支援学校高等部生徒の職業的自立を促進するため、就労支援及び職業教育内容の充実を行う。 指標 目標 実績 特別支援学校生徒の就職率(特別 支援学校高等部卒業者に占める就 30% 令和3年度末卒業生34.4% 職者の割合(福祉就労を除く。)) 2 施策の実施状況 進路指導担当教員がハローワーク等と連携し、新しい職場の開拓や現場実習の受入先の確保に一層取り組めるよう非常勤講師を10校に配置した。
スクール・サポート・ スタッフ配置事業 (教職員企画課) (教職員人事課)	3 執 行 額 7,185,000円 1 施策の趣旨等 児童生徒が安心・安全に学習できるよう、学校における新型コロナウイルス感染症の防止 対策の徹底や、教員が授業や準備等に集中できる環境を構築する。 指 標 目 標 実 績 スクール・サポート・スタッフの配置 10校 10校 2 施策の実施状況 教員を補助するスタッフを特別支援学校に配置し、教員の事務作業や校内の消毒等をサポートする体制を整備した。 3 執 行 額 5,918,434円

科目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	P	円	羽ばたけ就労支援事業(特別支援教育課)	1 施策の趣旨等 外部機関等と連携し、生徒の清掃や接客などの職種別専門的技能を客観的に評価するシステム(京しごと技能検定)を構築する。 2 施策の実施状況 教職員向け指導者講習会の実施や介護分野の指導マニュアル及び評価基準を策定するとともに、各種目で京しごと技能検定を実施した。 実施種目 清掃、接客、介護、パソコン実務 3 執 行 額 2,881,860円
6 大 学 費 1 大 学 費 (P204)	(11,716,762,000) 翌年度への繰越 事業費繰越額	(11, 188, 965, 233)	(大学政策課)	1 施策の趣旨等 府立医科大学及び府立大学が法人化により、質の高い教育研究等を実施することを通じて、府民の健康增進及び福祉の向上等に貢献するとともに、中期計画期間に合わせた収支見通しを立て、弾力的・効率的で透明性の高い運営の実現が行えるよう支援を行う。 2 施策の実施状況 京都府公立大学法人によって行われた、幅広い教養、高度の専門的知識及び高い倫理観を備えるための人材育成、他大学や地域の多様な主体と協力・連携した研究成果等の活用、附属病院における医療の提供等を通じた社会への貢献等の事業を支援した。 府立 医科 大学

施設設備整備事,000円
,000円
寸金)

的な医療を提供
EU)を備える消 ,000円
,000円
,000円 才金)
市町村、NPO等 (ACTR)」の取
性解析とそれを

科 目	予	算	現		 算	額	主	要	な	施	策	É			施	策	の	実	施	状	況	٤	成	果	等		
				円		P	3						公	共 政	策	2			た地域 関西文			『都市Ⅰ	こおけ	る産	業集和	責及び割	怪備のあ
																	•	庁検討									
													生	命 環	境	13			産木材 的研究		iのデシ	ブタル	トラン	スフ	オーン	√ーショ	ョンに向
													(o) TH E	計	1 +O 4	21											
													(2) 研	允放朱 開 催		会寺())開惟					開催内	宓				参加者
														用 1位 1113年		17 日			オン=	ライン				生			多加有 15人
																	- 27日					が館にる			成果(D展示	10/(
													3 執	行	額										,	0,000P 付金)	9
							陽 ⁻ 業			府民助 策課		事	1 施策 治療鬚 大学附属	豊が高	額な	陽子線											府立医 る。
													2 施策(陽子約 助成)	泉治療		する費	費用の⁻	一部を	助成し	った。							
													3 執	行	額											0,000P 助金)	9
								症対策	事業	ウイル 業 :策課		感	1 施策 府立 を行う。	医科大			『医療-	センタ	- の際	完内感	染防山	上対策 ·	や資機	材確存	保等を	を行える	るよう支
													2 施策の 感染症 対策、 した。	定指定	医療	機関と											内感染防 対策を実
													3 執	行	額									39		7,000P 付金)	9

			医科大学機能整備計画 検討事業 (大学政策課) 文化施設政策監付)	 1 施策の趣旨等 「世界トップレベルの医学を地域へ」の基本理念の実現に向けた教育・研究機能や高度急性 期医療提供に係る機能整備計画の検討に対して支援を行う。 2 施策の実施状況 関連病院との機能分担の明確化や施設設備の基本的機能等の調査を踏まえた機能整備計画 の策定に対して支援した。
				3 執 行 額 52,000,000円 (交付金)
			新生·府立大学構想策定事業 (大学政策課) 文化施設政策監付)	 1 施策の趣旨等 新生・府立大学の実現に向けて、府民が求める研究の推進と人材の育成を図るため、新たな教育研究体制の具体化に向けた調査・検討に対して支援を行う。 2 施策の実施状況 学部・学科再編を中心とする新たな教育研究体制の方向性を示す「『新生・京都府立大学』 改革プラン」及び学部・学科の再編計画を踏まえた「京都府立大学整備構想」の策定に対して支援した。
				3 執 行 額 18,000,000円 (交付金)
			北部医療センター医療体制検討事業 (大学政策課) (文化施設政策監付)	 施策の趣旨等 地域における中核病院としての役割を果たすために必要な医療体制の検討に対して支援を 行う。 施策の実施状況 医療資源や医療提供体制を踏まえた将来のあるべき姿の検討に対して支援した。
				3 執 行 額 1,000,000円 (交付金)
7 社会教育費				
1 社会教育総 務費 (P204)	69, 901, 000 (211, 337, 000)	· · ·	子どものための地域連 携事業 (社会教育課)	1 施策の趣旨等 「学校・家庭・地域」が連携・協働し、地域社会全体で教育に取り組む体制づくりや子ども たちを心豊かで健やかに育てる環境づくりを推進し、社会全体の教育力の向上や地域の活性

科	目	予	算	現	額	決	算	額	主	要	な	施	策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
					円	決算 内訳 国庫 一般	支出章 23,9 k 財 》	È 50,00	0					# 標 目 標 実 績 「京のまなび教室」の開設数 89教室 48教室 「地域学校協働本部」の本部数 46本部 80本部 「地域未来塾」の開設数 48箇所 41箇所 2 施策の実施状況 (1) 「京のまなび教室」の開設等 放課後の体験活動・学習活動等の充実を図るため、「京のまなび教室」を開設する市町 (組合)に対し、助成を行った。 開設数 15市町(組合) 48教室 (2) 地域学校協働活動の推進 地域の住民・団体等の協力を得て、子どもたちの学びや成長を支えるとともに、郷土学習や登下校安全指導などの地域と学校が連携・協働して行う活動を推進し、新たな取組校が増えるよう市町(組合)に助成を行った。 実施本部数 20市町(組合) 80本部 183校 (3) 「地域未来塾」の開設 学習が遅れがちな中学生等を対象とした地域住民の協力による学習支援を行う「地域未来塾」の開設 学習が遅れがちな中学生等を対象とした地域住民の協力による学習支援を行う「地域未来塾」の開設を行う市町(組合)に助成を行った。
											支援会教育			実施箇所数 11市町(組合) 41箇所 52校 3 執 行 額
														-層の向上を目指す。 指標 目 標 実 績 家庭教育に関する学習機会提供数 70回 51回 家庭教育支援活動チーム数 7チーム 7チーム 2 施策の実施状況 (1) 家庭の教育力の向上のため、保護者への学習機会の提供や家庭教育支援チーム活動を行う市町(組合)に対し、助成を行った。 実施箇所数 5市町(組合) (2) ネットトラブルから子どもを守るため、PTAと連携して保護者を対象とした研修会を実施した。

				8	ること を行っ 実施	や、 [‡] た。 箇所数			「に悩みや不安を抱える家庭を対象に訪問す ・ネットワーク会議を行う市町に対し、助成 5,480,103円 (うち補助金 3,720,000円)
2 図書館費 (P206)	800, 000 (521, 963, 000)	·	新型コロナウイルス感 染症対策事業 (社会教育課)	2 旅	図書館を策のマスク	にお 実施 や消毒	, である ける新型コロナ 犬況	トウイルス感染症の欧 上用の消耗品等を図書	
8 文化財保護費 1 文化財保護費 (P206)		(1,976,441,943) 決算額の財源 内訳	(文化財保護課)	2 旅	守 徳 とく ウ ていま できない かく てい の の の き 宝 を 願徳 法 隆 護 正 竹 栗 隆 福 殿 宗 本	貴 実物・受寺寺院寺院院居神寺寺山本家重 施保重け阿方庫本書本茶社桂常荘廟住	文文 文文 文 文 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	物のうち、破損の甚だ E実施した。 か	Eとにより、文化財の後世への継承を図る。 123,537,000円 120,173,000 116,930,000 113,186,000 111,915,000 95,698,000 84,821,000 72,698,000 66,962,000 61,117,000 49,942,000 47,828,000 47,827,000 30,741,000

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円 · · · · · · · · · · · · ·		 竜吟庵方丈ほか 28,697,000円 平野神社本殿 14,348,000 清風荘正門ほか 11,360,000 平等院鳳凰堂中堂 10,750,000 十八神社本殿 5,043,000 八坂神社蛭子社本殿及び大政所社本殿 4,584,000 計 20件 1,218,157,000 (2) 国指定文化財等補助 国指定文化財の保存修理等に対して補助した。大徳寺ほか266件 (3) 文化財巡視 文化財保護指導委員を委嘱し、文化財の巡視や文化財保護に関する指導・助言を行うとともに、地域住民の文化財保護意識の高揚を図るための普及活動を行った。委嘱人数 69人 巡視状況 延べ1,000日 事要伝統的建造物群保存地区保存事業貴補助 重要伝統的建造物群保存地区の保存事業に対して補助した。南丹市美山町北重要伝統的建造物群保存地区ほか2保存地区 (5) 祇園祭山鉾保存費補助 重要引邦民俗文化財である祇園祭山鉾のうち、緊急に修理を要するものに対して、補助した。 放下鉾ほか2件 (6) 京都の史跡・埋蔵文化財活用事業 府内の史跡・埋蔵文化財活用事業 府内の史跡・埋蔵文化財活用事業 府内の史跡・埋蔵文化財に対しての理解や関心を深めるため、出土品の展示や現地見学会等を実施した。 参加者数 1,673人 3 執 行 額 1,299,680,811円 (うち補助金 72,838,000円)
			府指定文化財等保存修 理事業 (文化財保護課)	1 施策の趣旨等 府内の貴重な文化財を適切に保存・活用することにより、文化財の後世への継承を図る。 2 施策の実施状況 府指定・登録・暫定登録文化財の保存修理等に対して助成を行った。 三玄院ほか166件

			文化財活用支援事業 (文化財保護課)	1 施策の趣旨等 文化財の「保存」と「活用」の両輪により文化財を後世に結携した文化財の活用を支援する取組等を実施する。 2 施策の実施状況 (1) 文化財保存活用調査 文化財の保存促進や活用に向けた検討のため、未指定文化を実施した。 (2) 丹後郷土資料館における特別展等 山城・丹後郷土資料館においてナイトミュージアムや特別の建造物保存修理現場公開 建造物の歴史・修理の仕方等について学ぶ機会を提供し、てるため、妙法院庫裏の修理現場を公開した。 3 執 行 額	化財を含む府内文化財の調査等 別展等を実施した。
2 郷土資料館 費 (P208)	200, 000 (143, 832, 000)	200,000 (143,167,857) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 200,000	(文化財保護課)	1 施策の趣旨等 郷土資料館における新型コロナウイルス感染症の防止対策を 2 施策の実施状況 マスクや消毒液、感染防止用の消耗品等を山城・丹後郷土賞 3 執 行 額	
9 保健体育費 1 保健体育総 務費 (P208)	7, 772, 000 (380, 381, 000)		(保健体育課)	1 施策の趣旨等 府立学校における新型コロナウイルス感染症の防止対策を 2 施策の実施状況 マスクや消毒液、感染防止用の消耗品等を全府立学校に整備 3 執 行 額	

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
2 体育振興 (P208)	258, 349, 00 (402, 253, 000)) (355,467,438) 決算額の財源	京のアスリート育成・ 強化総合推進事業 (保健体育課)	1 施策の趣旨等 トップアスリートや国体選手の育成強化を図り、府民スポーツの更なる振興と競技力の向 上を目指す。
		内訳 国庫支出金 9,277,496 諸 収 入		指標 目標 実 績 国体選手等派遣事業、もっと元気な京 25種目25会場 12種目12会場 都ジュニア夢・発見プロジェクト体験 25種目25会場 12種目12会場 事業 実施種目数、会場数、参加者数 延べ1,600人 延べ529人
		5, 721, 000 一般財源 212, 879, 528		2 施策の実施状況 (1) パワフル京都推進 競技団体主導による選手強化施策の支援を実施した。 指定強化選手(ジュニア層)の支援 17競技 46人 国体京都代表選手(大学生等)の支援 9 15 専門的指導者による多角的な強化支援 23 (2) チーム京都推進 府競技力向上対策本部主導による競技横断的な強化施策の支援を実施した。 社会人選手の雇用主への活動支援 7 社 31人 (3) ジュニア層強化事業 京都ゆかりのジュニア選手が花開くための速やかな競技力向上に向けた支援を実施した。 ジュニア指導者を対象とした講習会 7 競技 275人 オリンピック出場選手等による体験教室等 12 529
				3 執 行 額 199,060,301円 (うち補助金 191,908,271円)
			地域一体型部活動推進 事業 (保健体育課)	1 施策の趣旨等 学校部活動支援のため、学校の実態に応じた外部人材を配置するとともに質の高い部活動 を確保する体制を地域と一体で構築するため、拠点地域で実践研究を実施する。
				指 標 目 標 実 績 地域のスポーツ指導者による 中学校 部活動等指導の実施 府立学校 150運動部 170運動部
				2 施策の実施状況 (1) 学校部活動の校内業務を担う部活動指導員を中学校及び高等学校に配置した。 配置人数 中学校 58人

会開催事業	派遣校数 中学校 51校	として中学校及び府立学校に派遣した。 担うための課題整理に向けた実践研究を実施した。 24,700,009円 か生涯スポーツ推進に寄与するとともに、ワールドマ 運の醸成を図る。 目標実績 23種目 16種目 が部門を設置し、京都府版マスターズ大会を開催した。 4,117,714円 (補助金)
10 私学振興費 (P210) 33,406,351,000 33,184,286,515 (33,502,835,000) 33,233,084,061) 翌年度への繰越事業費繰越額92,000,000 新型コロナウイルス感染症対策費26,000,000学校教育活動継続事業費66,000,000 一般財源22,663,180,143	府内の私立学校(高等学校、中学校を図る。 2 施策の実施状況 (1) 私学運営費補助 必要な経費の一部を学校法人に対 向上及び経営の健全化を図った。 (2) 北部過疎地域私立高等学校運営費	等学校の生徒の減少に対応し、学校経営の健全化を図

科	目	予	算	瑪	割	Ā	決	算	額		主	要	な	施	ĵ	策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
						円				円							(3) 私立高等学校生徒通学費補助
																	高額の通学費を負担する家庭に対し、通学費の支援を実施した。
																	同額の過子員を負担する家庭に対し、過子員の又接を実施した。 108人 2,413,000円
																	(4) 私立高等学校等授業料減免事業等補助
																	府内の私立小学校及び私立中学校に在籍する生徒の保護者の教育費負担の軽減を図る
																	め、経済的理由により学校法人が行った授業料減免を支援した。
																	16校 36, 657, 977円
																	(5) 私立高等学校定時制及び通信制課程教科書等給与費補助
																	高等学校定時制及び通信制の課程に学ぶ勤労青少年の経済的負担を軽減し、学習意欲
																	向上を図るため、有職者で希望する者に教科書及び学習書を給与することを支援した。
																	25人 105,000円
																	(6) 私立幼稚園幼児教育振興補助
																	宗教法人が設置する私立幼稚園((1)の対象外)における幼児教育の振興を図るため、
																	験学習等の教育事業を支援した。
																	1 園 198,000円
																	(7) 私立幼稚園教材費補助
																	宗教法人が設置する私立幼稚園((1)の対象外)の振興と保護者の教育費負担の軽減を
																	接した。
																	1 園 9, 566, 000円
																	(8) 私立幼稚園心身障害児教育費補助
																	幼稚園設置者に対して補助し、心身障害園児の就園の促進と幼児教育の振興を図った
																	115園 775人 589, 413, 000円
																	(9) 私立幼稚園預かり保育推進特別補助
																	私立幼稚園児の保護者の子育て支援及び幼児教育の振興を図るため、預かり保育事業
																	支援した。
																	127園 355, 973, 000円
																	(10) 私立専修学校・各種学校教育振興費補助
																	必要な経費の一部を学校法人に対して補助し、専修学校教育及び各種学校教育の振興
																	図った。
																	34校 60,000,000円
																	(11) 私立高等専修学校生徒奨学補助
																	私立高等専修学校に在籍する生徒の奨学と保護者の教育費負担の軽減を図るため、一
																	の所得以下の府民の子弟である生徒を対象に、年額18,000円の授業料軽減措置を行った
																	3人 64,000円
																	(12) 私立学校教職員研修費等補助
																	私立学校の教職員の資質向上を図るための研修等を奨励し、私学教育の振興を図る
																	め、私学団体が行う私立学校教職員等の研修事業等を支援した。
										- 1							5 団体 10, 207, 000円

(13) 私立学校教職員共済事業団補助	
私立学校教職員共済事業団加入者及び学校法人等の掛金、負担金の軽減を	図るため、日
本私立学校振興・共済事業団に対して、厚生年金保険の保険料のうち標準報酬	
分の7.5の1箇年分を補助した。	,
7,286人 224,555,95	51円
(14) 私立学校教職員退職金補助	
私立学校教職員の福祉の増進を図り、もって私学教育の振興を図ることを	目的として、
公益財団法人京都府私学退職金財団に対して、標準給与月額の1,000分の190	カ1箇年分を
補助した。	
4,423人 324,644,4(20円
(15) 私立学校施設緊急耐震化事業費補助金	
府内私立学校(幼稚園含む)施設の耐震化を促進するため、私立学校の耐 事業に要する経費の一部を補助した。	
42,998,00)0円
(16) 幼児教育推進支援事業補助金	
幼児教育の振興を図るため、公益社団法人京都府私立幼稚園連盟に対して、	
担う人材確保・資質の向上、読書習慣育成等の子育て支援等に要する経費の・	一部を補助し
た。	00.00
1 団体 4, 780, 00 (I7) 高等学校等就学支援金	ル円
Min 高寺子校寺M子又接並 私立高等学校等に在籍する生徒の保護者の教育費負担の軽減を図るため、打	运光 料 取 活 柱
松立向守子代寺に任精りる王促の休暖省の教育員負担の発達機を図るため、1 置を行った。	又未个7#±//%]日
23,530人 6,299,224,89	93円
(18) 奨学のための給付金	
授業料以外の教育負担の軽減を図るため、高等学校等就学支援金の対象校	(特別支援学
校の高等部を除く。) に在籍する低所得世帯の保護者に対して、給付金を支給	むた。
4,445人 500,541,47	75円
(19) 学び直し支援金	
高等学校等を中途退学した者が再び高等学校等で学び直す場合に、法律上の	
就学支援金の支給期間経過後も、卒業までの間(最長24月)継続して授業料	
20人 2,920,56)3円
20 専門学校生への効果的な経済的支援実証研究事業 専門学校生に対する経済的支援策等について総合的な検討を進めるため、約	级这的理由口
等日学校主に対する経済的支援束寺にづいて総古的な検討を進めるため、 より修学が困難な生徒に対し、学校法人が実施する授業料減免を支援した。	社内の注田に
4 校 715, 00	00Щ
②)教育支援体制整備事業費補助	,~IJ
幼稚園及び認定こども園における教育支援体制の整備事業を支援し、子供	を安心して育
てることができる体制の整備を促進した。	
1 士 166国 70 007 00	2011

79,097,000円

1市、166園

科	目	予	算	現		 Ļ	算			要	な	施	策					施	j	策	の	実		施	状	況	j	٢	成	果	₹	等			
					円			円								私立		学校				児童生	上徒	の保	誤護者	が教	育	費負担	旦の軽	経滅を	主図	るた	:め、	授業	米斗車圣洞
															• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •										195	人					23	, 990	, 000)円	
																幼稚		諭の					こめ	、私	公立幼)稚園	が詞	実施し	った奴	遇改	女善	に要	する	経費	の一部
															60 7	r,	<u> </u>	224 1-2-		L TN 1	1. 6	- 1= /			67	/園					24	, 420), 000)円	
																私立		学校	の専	享攻				生徒	の保	護者	のす	教育	貴負担	回動	圣減	を図	るた	:め、	授業料
															+211	, ,,,,,		13 -	, _ 0						61	人					15	, 064	, 600)円	
															3 執		行	額										(?					3, 993 502, 8		38円)
									修学	高等: 支援: (文	事業			,		庭の . 修	経済 学費	状況 用負	にか 担の																込め <i>る</i> ことか
															万F	私立 存内 円未	高等	学校 立高 度の	等接 等等 世帯	学校 帯に	に在 おけ	籍する	3生	徒σ)保護 5万円	まで				るな	ょど	、学	!校法	人が	三収590 行った
																府内 の所	の私	立高	等学	学校	に在	籍する		上徒 [:])奨学	象に、				負担 円の	旦の)授	軽減業料		るた 措置	め、- を行っ
																 存外	(兵	庫県) (0私	立高	等学材 存民 <i>0</i>		在籍	する :ある	生徒				[者の	D教 ¥軽	育費 減措	負担	!の軽 :行っ	減を図 た。

	3 執 行 額 3,158,221,390円 (補助金)
いじめ防止・不登校支 援等総合推進事業 (文 教 課)	いじめ、体罰、不登校等の課題に対応するため、生徒や保護者の相談に対応する相談機関の運営を支援するとともに、いじめ対応のための附属機関等を設置する。 2 施策の実施状況 (1) 私学修学支援相談センター事業 いじめ問題等の解決を促進するため、京都府私立中学高等学校連合会が設置する相談機関の運営経費の一部を補助した。 (2) いじめ対応のための附属機関等の設置 多くの関係機関が相互に連携を図るために、京都府いじめ問題対策連絡会議を開催するとともに、教育委員会や学校が行った重大事案調査の再調査を行う京都府いじめ調査委員会を開催した。 京都府いじめ問題対策連絡会議の開催 1回 京都府いじめ問題対策連絡会議の開催 1回 (3) SNSを活用した相談体制の構築 通信手段が電話からSNS等に移行していることを踏まえ、多様な相談体制の構築を目的として、公立・私立の中学生、高校生を対象に「子どもLINE相談@京都」を開設した。設置期間 令和3年8月16日から9月30日まで及び令和4年1月4日から1月31日まで受付件数 54件
	3 執 行 額 8,014,759円 (うち補助金 4,500,000円)
子育て支援施設利用支 援事業 (文 教 課)	すべての子どもに質の高い幼児教育を保障するため、私立幼稚園における幼児教育の無償化に必要な経費を負担する。 2 施策の実施状況 3歳から5歳全ての子どもの施設利用費を月額上限25,700円まで無償化するとともに、保護者が保育の必要性の認定を受けた場合の、預り保育利用料を月額上限11,300円まで無償化するため、市町村が実施する子育て支援施設利用支援事業に助成した。
	実施市町村 23市町村 3 執 行 額 1,465,266,773円 (補助金)

科 目	予算現額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	私立専門学校修学支援 事業 (文 教 課)	1 施策の趣旨等 真に支援が必要な低所得者世帯の者に対し、修学に係る経済的負担を軽減することに。 り、子どもを安心して生み、育てることができる環境の整備を図る。
				2 施策の実施状況 高等教育の無償化に伴い、一定の世帯年収区分に応じて府内の専修学校が減免した授業料及び入学料について全額を助成した。 実施校 35校
				3 執 行 額 982,113,600円 (補助金)
			私立幼稚園教育環境緊 急支援事業 (文教課)	1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症対策に必要となる、施設の消毒等の追加的な経費に対して支持を行うことにより、教育環境の維持・充実を図る。
				2 施策の実施状況 幼稚園における新型コロナウイルス感染症対策を支援し、子どもを安心して育てることができる体制の整備を促進した。 実施園 133園
				3 執 行 額 13,300,000円 (補助金)
			新型コロナウイルス感 染症対策事業 (文教課)	1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症対策に万全を期すため、幼稚園の新型コロナウイルス感染防」 用の備品購入等を支援する。
				2 施策の実施状況 幼稚園における新型コロナウイルス感染症対策を支援し、子どもを安心して育てることができる体制の整備を促進した。 実施園 131園
				3 執 行 額 25,018,000円 (補助金)

大学等教育環境緊急支援事業 (文教課)	新型: の年末年 2 施策の 年末年	F始のst D実施ね F始や看 に係るす	ウイルス感染症の影響を大きく受けた生徒が安心し E活不安の解消のために、府内の専門学校が行う取	組に対して支援する。 活必需品の支援、生徒同士
	3 執	行	額	8,833,000円 (補助金)

第11款 災害復旧費

科	目	予算	現 額	決	算	額	主	要	な	—— 施	策				施	<u> </u>	策	の	実	施	状	況	٤	成	果	等			
1 農林水産施災害復旧費			F.	3		円																							
1 農業施記 害復旧費 (P212)	•	(146, 翌年度 [^] 事業費約	, 629, 359) 決算 内訳 国庫	70,682 額の財 さ さ さ 26,69 ひ り り り り り り り り り り り り り り り り り り	才源 ₹ 58, 703			復旧事				回復と	、再のづの災災豪度暫き実	雨、流の変形を開いています。	洪水 害を 置に の復	防止関すに	し、見る法律対して	農業経 津及び	営の3 激甚が	定定を 注害に 1, 2, 16, 6,	図るた	きめ、 う で で で の の の の の の の の の の の の の	農林水	産業	施設災 財政技 相 1,32 77 2,15 15,86 4,71	害復旧	月や機能 日事業計 に関する	費国
2 林業施記 害復旧費 (P212)	1	(75, 翌年度 [^] 事業費約	操越額 , 383, 000) (決算 内訳 国庫	28,40 額の財 支出金 15,98 越 金	才源 È 88, 000) (;		復旧事		果)	1	び林業 法律及 を実施 施策	、経びすの 営	取雨の甚。 施	計 額 等洪定害 況 災災	等の: 図る:	担常 実常が、 するが 箇所	農林	水産業	30, に た 設 り 財 政 14, 5,	547, 4 て被災 災害後	00 そ した に関す 費 00 00	林道施業費国	お補いまでは、おは、おは、おは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	26, 65 26, 84 26, 84 つ助基 で 軸 12, 78 3, 09	3,703 3,221F 26,65 二、機能 元、機能	8,703F をの 回行 置に関す 客復旧事	 复及 する
												3	執	行		額		٠			_3,	, 0		(5		16, 04	4, 000F	9 4, 000 f	円)

科目	予 算 現 額 決 算 額	主要な施策 施策の実施状	況 と 成 果 等
2 土木施設災害 復旧費	FI F		
1 河川等災害 復旧費 (P212)	1,286,537,000 (1,350,448,000) 翌年度への繰越 事業費繰越額 353,104,000 令和3年発生士 木災害復旧事業 費 241,473,538 単独災害復旧事 業費 111,630,462 111,630,462 763,701,866 (826,144,726 決算額の財源 内訳 国庫支出金 317,965,888 繰 越 金 6,189,494 府 債 439,000,000 一般財源 546,484	公共土木施設災害復旧 事業 (砂 防 課 (都市計画課) 2 施策の実施状況 箇所数 事業費 30年災 1 箇所 119,482,770円 2年災 5 192,463,910 3年災 1 165,427,148 計 7 477,373,828 3 執 行 額	477, 373, 828円
		2 施策の実施状況 箇所数 事業費 2年災 10箇所 47,958,500円 3年災 151 238,369,538 計 161 286,328,038 3 執 行 額	286, 328, 038円
2 国直轄事業 費負担金 (P214)	1, 678, 000 (1, 678, 000) (1, 678, 000) 決算額の財源 内訳 府 債 1, 000, 000 一般財源 678, 000	国直轄災害復旧事業 (砂防課) 1 施策の趣旨等 国直轄河川、道路等の災害復旧のために要した 2 施策の実施状況及び執行額 事業名 年 災 河川名等 直轄河川等 災害復旧事業 3年災 淀川室生ダム	費用を負担し、再度災害の未然防止を図る。 事業費 執行額 (府負担金) 5,040,000円 1,678,000円

特 別 会 計

京都府営林事業特別会計

科 目	予算現額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
1 営林事業費	円	円		
2 府有林造成 事業費 (P226)	60, 871, 100 (267, 907, 100)			1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症の影響による住宅着工数の減少等、木材需要の減退を受け、林業事業体の雇用維持を図るとともに、府内産木材の利用拡大を支援することで、林業・木材産業の維持を図る。 2 施策の実施状況 林業事業体の業務量確保による雇用維持のため、府有林の間伐を前倒して実施した。間伐面積 90.28ha 3 執 行 額 60,871,100円 (うち委託料 60,798,100円)

京都府港湾事業特別会計

科	目	予算	. 現	額	決	算	額	主	要	な	施	策				施	策	の	実	施	状	況	٤	成	果		
2 ;	港湾整備費			円			円																				
1	港湾整備費			0,000		,	00,000				流基語	盤重	1			日等	亦‱≐Д	の数	生太石	:1 1 2	ᆎᆣᅷ	ロレの	、トールかいさく	加上北	ロロートコ	『の地域振興拠』	占づく
	(P272)	(990 翌年度		,000) 繰越	`	16,90 額の販	3, 000) 才源				課))			は 建進を		弓爬政	の空	佣℃1」	(I ,)	以开始	国 C V.	ノヤクルボコ	拠点 ト	,NJ YC트	10071世现1成典1处)	点ノく
		事業費		額 0,000	内訳	信	Ę	'	(ÆÆ	ᇰᄱᄖ	又 □不 /	'			指標					-	15年)				実績	
		京都舞	鶴港	物流			₹ 00, 000)							/テナ!				25	5, 0007	reu					14, 746TEU	
		基盤重 業費	点整	備事									2	施策 港		も状況。 名	及び執	け額	旃	i 行 場	易所				₽	丸 行 額	
																鶴港			和		田					0,000,000円	
				,																							